RICOH

IPSiO GX 3000SF

操作ガイド



ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『セットアップハンドブック』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

1. はじめにお読みください

2. 本機を使うための準備

3. 機能の設定・調整をする

4. プリンター機能を使う

5. コピー機能を使う

6. スキャナー機能を使う

7. ファクス機能を使う

8. こんなときには

9. 機器の状態を確認する

10. 保守・運用

11. 付録

1. はじめにお読みください

マニュアルの使いかたや表記、本機の各部の名称とはたらきについて説明しています。
また、本機をよりよくお使いいただくために、「やりたいこと目次」をお読みいただくことをおすすめします。

製品について

製品について説明しています。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。
安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『セットアップハンドブック』「安全上のご注意」をお読みください。

商標

Adobe、PostScript、Acrobat、PageMaker、Adobe Type Manager、Flash、Macromedia は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。

UNIX は、X/Open カンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国々における登録商標です。

Citrix、MetaFrame は、Citrix Systems, Inc. の登録商標です。

UPnP™ is a trademark of the UPnP™ Implementers Corporation.

IPS-PRINT Printer Language Emulation Copyright© 1999-2000 Oak Technology, Inc., All rights reserved.

Pentium は、Intel Corporation の商標です。

Netscape は、Netscape Communications Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Macintosh、および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、WindowsNT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

- Windows 98 の製品名は、Microsoft® Windows® 98 です。
- Windows Me の製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。
- Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® 2000 Professional
  Microsoft® Windows® 2000 Server
  Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
- Windows XP の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® XP Media Center Edition
  Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
  Microsoft® Windows® XP Professional
- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Vista® Ultimate
  Microsoft® Windows Vista® Business
  Microsoft® Windows Vista® Home Premium
  Microsoft® Windows Vista® Home Basic
  Microsoft® Windows Vista® Enterprise
- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 Web Edition
- Windows NT 4.0 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows NT® Server 4.0
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0
- 本書では、NTT グループ各社の総称を NTT と表記しています。

おことわり

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

1) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2) 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3) 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。
4) 画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。
5) 本書中のコピーサンプルは、機能の差をわかりやすくするため印刷処理で表現してあります。本書のコピーサンプルと実際にコピーされた色は多少異なります。

使用説明書の分冊構成

お使いになる目的に応じて、必要な使用説明書をお読みください。

♦ かんたんセットアップ

本製品を箱から取り出し、操作が行えるまでの手順を説明しています。またオプションの取り付けや基本的な設定と操作方法も説明しています。

♦ セットアップハンドブック

操作ガイドのインストール方法や使い方、セットアップがうまくいかないときの対処方法を説明しています。

♦ 操作ガイド（本書）

付属の CD-ROM「ドライバー & ユーティリティー」に収録されています。
本機の詳しい使いかたを説明しています。ネットワーク環境で使うための設定方法、各種ドライバーのインストール方法、各機能（プリンター、コピー、スキャナー、ファクス）の操作方法、Web ブラウザーやユーティリティーを使っての本機の状態確認や設定などの説明をしています。
また印刷が始まらないときや思いどおりに印刷されないときの解決方法、紙づまりの対処方法、困ったときの対処方法、用紙に関する情報、消耗品の交換など使用するための重要な情報をまとめて説明しています。すぐに利用できるように、パソコンにインストールすることをおすすめします。

♦ プリンタードライバーガイド Macintosh 編

付属の CD-ROM「ドライバー & ユーティリティー」に収録されています。
MacOS、MacOS X からプリントする方法を説明しています。

♦ クイックガイド

困ったときの対処方法、お問い合わせ先などの情報を抜粋して説明しています。

1

マニュアルの使いかた

このマニュアルを使用する前に必ずお読みください。

- この操作ガイドは Windows XP の画面で説明しています。他の OS をお使いになる場合は、操作が異なる場合があります。また表示される画面はお使いの環境によって異なります。
- 画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

マークについて

マニュアルで使われているマークの意味を示します。

⚠警告

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。『セットアップハンドブック』「安全上のご注意」にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。『セットアップハンドブック』「安全上のご注意」にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。
各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

操作ガイドの削除方法

パソコンにインストールしたマニュアルを削除します。

■マニュアルの［アンインストール］で削除する場合

1. ［スタート］から［すべてのプログラム］をポイントします。
2. 登録されている「お使いの機種名」をポイントし、［操作ガイドのアンインストール］をクリックします。
3. メッセージにしたがって、マニュアルを削除します。

■［アプリケーションの追加と削除］で削除する場合

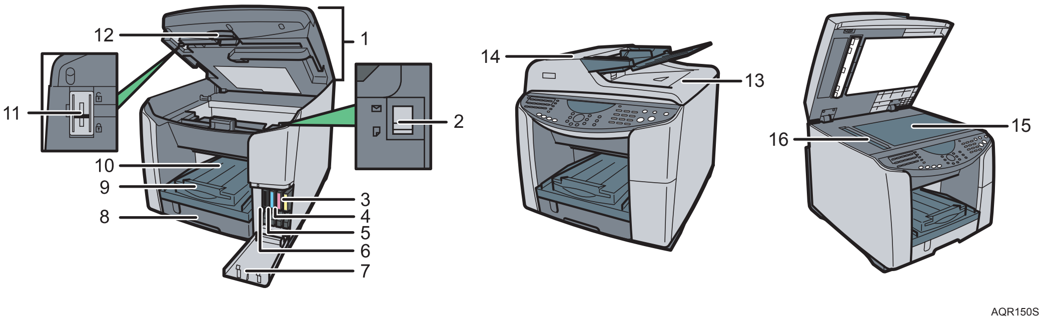
1. ［マイコンピュータ］の中にある［コントロールパネル］を開きます。
2. ［プログラムの追加と削除］をクリックします。
3. 登録されている「お使いの機種名」を選び、［変更と削除］を選びます。
4. メッセージにしたがって、マニュアルを削除します。

各部の名称とはたらき

本体、操作部、オプションの各部の名称とはたらきを説明します。

全体

本機の全体図です。



1 スキャナーユニット

印刷中は閉めておきます。封筒・標準切替レバーや運搬時固定レバーを操作するときは開けてください。

2 封筒・標準切替レバー

封筒に印刷するときは✉側（奥側）に、それ以外の用紙に印刷するときは🗋側（手前側）にします。

3 GX カートリッジ（イエロー）

4 GX カートリッジ（マゼンタ）

5 GX カートリッジ（シアン）

6 GX カートリッジ（ブラック）

7 右前カバー

印刷中は閉めておきます。GX カートリッジを取り付けるとき、または交換するときに開閉します。

8 トレイ 1

用紙をセットします。

9 延長排紙トレイ

大きいサイズの用紙を使用する場合は、印刷された用紙が落下しないように、延長部を引き出してお使いください。

10 排紙トレイ

印刷された用紙が排出されます。

11 運搬時固定レバー

スキャナーユニット内部のユニットを固定します。本機を輸送する際に使用します。

12 スキャナーユニット解除レバー
スキャナーユニットを開けるときに使用します。

13 ADF（自動両面原稿送り装置）
原稿をセットすると、自動的に給紙されます。また、両面原稿にも使用できます。

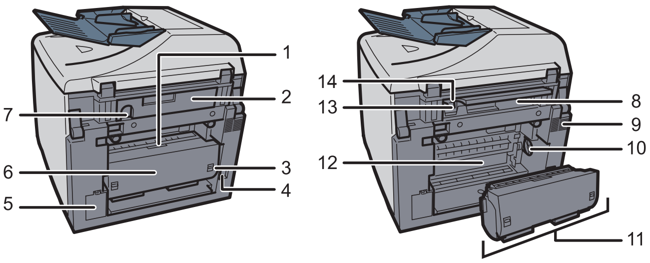
14 ADF カバー
ADF に原稿がつまったときに、ADF カバーを開けて原稿を取り除きます。

15 原稿ガラス
原稿をセットします。

16 読み取りガラス
ADF に原稿をセットすると、読み取りガラスから原稿を読み取ります。

背面

本機の背面図です。



1 両面ユニットカバー開閉ボタン
両面ユニットカバーを開くときに、押してロックを外します。

2 コネクターカバー
電話線、外付け電話機、USB ケーブル、またはネットワークボードを取り付けるときに開けます。

3 両面ユニット脱着用レバー
両面ユニットの取り外しに操作します。

4 電源コード
電源コードをコンセントに差し込みます。
電源プラグに付属しているアース線は、アース接続に使います。

5 インク回収ユニットカバー
インク回収ユニットを交換するとき、またはセット不良時のときに開けます。

6 両面ユニットカバー
両面ユニットで用紙がつまったときに開けます。

7 USB ケーブルコネクター
パソコンからの USB ケーブルを接続します。

1

8 ネットワークボード装着部

オプションのネットワークボードを装着します。

9 排気口

機械内部の温度上昇を防ぐために空気が排出されます。物を立て掛けるなどして、排気口を塞がないでください。機械内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

10 用紙送りダイヤル

ガイド板で用紙がつまったときに回して用紙を取り出しやすくします。

11 両面ユニット

両面印刷をするときに用紙を反転させます。

12 ガイド板

機械内部で用紙がつまったときに開けます。

13 外付け電話機接続端子

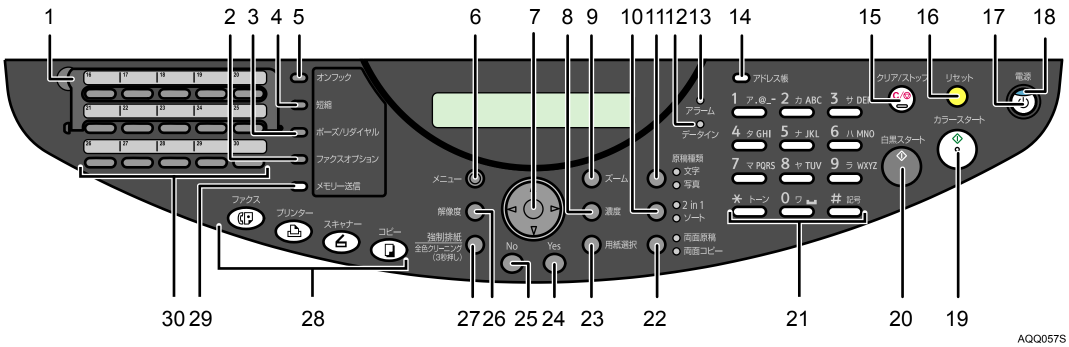
本機に外付け電話機を接続します。

14 電話回線接続端子

本機に電話線を接続します。

操作部の名称とはたらき

本体操作部の名称とはたらきについて説明します。



1 ワンタッチキー切替プレート

［ワンタッチ 01］キーから［ワンタッチ 15］キーを選択するときはプレートを下側に、［ワンタッチ 16］キーから［ワンタッチ 30］キーを選択するときはプレートを上側に倒します。

2 ［ファクスオプション］キー

ファクス機能に関する設定を行うときに押します。

3 ［ポーズ / リダイヤル］キー

・ポーズ :
ファクス番号の間の待ち時間を入れるときに押します。一桁目には入力できません。ポーズを入力した箇所は、「P」と表示されます。

・リダイヤル :
最後にダイヤルした相手先を指定できます。

4 ［短縮］キー

短縮ダイヤルからファクス送信するときに押します。

5 ［オンフック］キー

受話器を上げているのと同じ状態でダイヤルできます。相手先の状態を確認してから送信できます。

6 ［メニュー］キー

本機に関する設定を操作部で行うときに、このキーを押して、メニューに入ります。

7 スクロールキー

カーソルを上下左右に移動します。

本書で［▲］:［▼］:［▶］:［◀］: と表記されているときは、同方向のスクロールキーを押します。

8 ［濃度］キー

コピー濃度を調整するときに押します。5 段階の調整ができます。また自動でコピーの濃度を調整する［A］の設定もできます。

9 [ズーム] キー

1% 刻みで拡大 / 縮小コピー、またはあらかじめ設定されている倍率でコピーするときに押します。

10 [2 in 1/ ソート] キー

・2 in 1：

複数枚の原稿を 1 枚の用紙にまとめて集約するときに押します。[2 in 1/ ソート] キーを押して集約モードに切り替えてください。集約モードでは、“2 in 1” のランプが点灯します。

・ソート :

出力紙を自動的に仕分けるときに押します。[2 in 1/ ソート] キーを押してソートモードに切り替えてください。ソートモードでは、“ ソート ” のランプが点灯します。

11 [文字 / 写真] キー

セットした原稿に最も適切な読み取り方法を選択します。「文字」と「写真」のランプが両方点灯しているときは、「文字 / 写真」モードになります。

・文字

文字が主体の原稿に適した設定で読み取ります。[文字 / 写真] キーを押して文字モードに切り替えてください。文字モードでは、“ 文字 ” のランプが点灯します。

・写真

写真や絵画原稿に適した設定で読み取ります。[文字 / 写真] キーを押して写真モードに切り替えてください。写真モードでは、“ 写真 ” のランプが点灯します。

・プリント（現像）された写真を原稿にするとき

・雑誌などに印刷された写真を原稿にするとき

・カラーコピーを原稿にするとき

・文字 / 写真

写真や絵画と文字が混じった原稿に適した設定で読み取ります。[文字 / 写真] キーを押して文字 / 写真モードに切り替えてください。文字 / 写真モードでは、“ 文字 ” と “ 写真 ” の両方のランプが点灯します。

12 データインランプ

パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

13 アラームランプ

本機にエラーが起きたときに点灯します。画面でエラーの内容を確認し、対処してください。

14 [アドレス帳] キー

ファクス宛先、メール宛先、またはフォルダー宛先などを検索したり、呼び出すときに押します。

15 [クリア / ストップ] キー

・クリア :

入力した数値や文字を取り消します。

・ストップ :

原稿の読み取り、送信 / 受信、印刷などの動作を中断します。

16 [リセット] キー

設定した内容を取り消します。操作の前に設定した数値は初期値に戻ります。

17 ［電源］キー
電源を入れるときはキーを押し、電源ランプを点灯させます。電源を切るときはキーを長押しして、電源ランプを消灯させます。

18 電源ランプ
電源スイッチがオンになっているときに点灯します。

19 ［カラースタート］キー
原稿のカラー読み取りを開始します。

20 ［白黒スタート］キー
原稿のモノクロ読み取りや受信文書の印刷を開始します。

21 テンキー
印刷枚数やファクス番号などの数字、およびカタカナを入力します。

22 ［両面原稿 / 両面コピー］キー
両面原稿をコピーしたり、複数枚の原稿をまとめて両面コピーをするときに押します。両面原稿を両面コピーするには［両面原稿 / 両面コピー］キーを押して、両面原稿 / 両面コピーモードに切り替えてください。両面原稿 / 両面コピーモードでは、" 両面原稿 " と " 両面コピー " の両方のランプが点灯します。

・両面原稿 :
両面原稿を読み取ります。［両面原稿 / 両面コピー］キーを押して両面原稿モードに切り替えてください。両面原稿モードでは、" 両面原稿 " のランプが点灯します。

・両面コピー :
複数枚の原稿を用紙の両面にコピーします。［両面原稿 / 両面コピー］キーを押して両面コピーモードに切り替えてください。両面コピーモードでは、" 両面コピー " のランプが点灯します。

23 ［用紙選択］キー
給紙するトレイを変更するときに押します。

24 ［Yes］キー
入力した数値や内容を確定します。

25 ［No］キー
操作を取り消したり、前の画面に戻るときに押します。操作の前に設定した数値は設定したまま残ります。

26 ［解像度］キー
コピーの読み取り解像度を調整するときに押します。以下の 3 つの解像度から選択します。
・コウソク（高速）
・フツウ（普通）
・セイミツ（精密）
ファクス原稿の読み取り解像度を調整するときに押します。以下の 4 つの解像度から選択します。
・フツウジ（普通字）
・チイサナジ（小さな字）
・コマカイジ（細かい字）
・シャシン（写真）

27 ［強制排紙 / 全色クリーニング］キー

読み取った原稿、またはクライアントコンピューターから送られたデータの用紙サイズや用紙種類が、実際にセットされている用紙サイズや用紙種類と合わなかった場合に、強制的に印刷することができます。

3 秒間押すと、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのヘッドクリーニングを行います。

28 ファンクションキー

コピー、スキャナー、プリンター、またはファクス機能の画面に表示を切り替えます。選択した機能のランプが点灯します。

29 ［メモリー送信］キー

直接送信とメモリー送信を切り替えるときに押します。[メモリー送信] キーを押すと、ランプが点灯します。

30 ワンタッチキー

登録した宛先をワンタッチで選択できます。

画面について

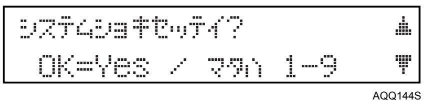
画面には、操作の状態、メッセージや機能のメニューが表示されます。

参照

- 画面に表示されるアイコンについては、P.26 「画面に表示されるアイコンについて」を参照してください。
- 画面の切り替えについては、P.28 「機能を切り替える」を参照してください。

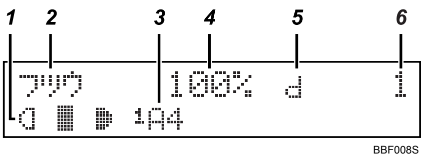
メニュー画面

［メニュー］キーを押すとメニュー画面が表示されます。



コピー機能画面

［コピー］キーを押すとコピー機能画面が表示されます。



1) 現在選択されているコピー濃度が表示されます。
2) 現在選択されているコピー解像度が表示されます。
3) 現在選択されている給紙トレイ、用紙サイズが表示されます。
4) 現在選択されているコピー倍率が表示されます。
5) コピー機能が表示されます。
6) コピーセット枚数が表示されます。コピー中は残りのコピー枚数が表示されます。

補足

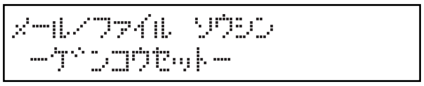
- 工場出荷時の設定では、電源を入れたときにコピー機能の操作画面が表示されます。

スキャナー機能画面

重要

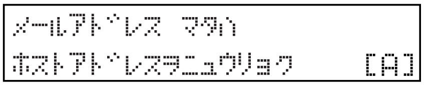
- スキャナー機能画面を使って操作を行うには、オプションのネットワークボードが必要です。

［スキャナー］キーを押すとスキャナー機能画面が表示されます。



AQQ065S

ADF に原稿をセットすると、次の画面に切り替わります。



AQQ064S

補足

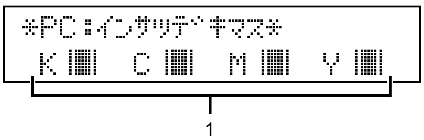
- ネットワークの設定が完了していないと、「＊ネットワークセッテイ　ミカンリョウ＊」と表示されます。次の手順でネットワークの設定を完了させてください。
  1) ネットワークボードを正しく取り付ける。
  2) ［ネットワークセッテイ］メニューの設定をする。
  3) ［SMTP セッテイ］メニューの SMTP サーバー名を設定する。

参照

- P.179 「ネットワーク設定」
- P.182 「インターネットファクス・メール送信機能を使うには（SMTP 設定）」

プリンター機能画面

［プリンター］キーを押すとプリンター機能画面が表示されます。



AQQ069S

1) カートリッジの交換時期が確認できます。カートリッジ交換表示は左からブラック（K)、シアン（C)、マゼンタ（M)、イエロー（Y）の GX カートリッジの状態を表示します。

補足

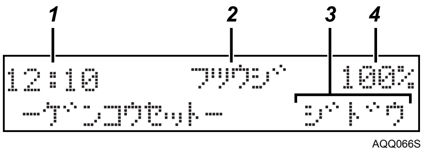
- ステータスモニターの表示からもインクカートリッジの交換時期を確認することができます。

参照

- P.379 「インク交換時期の表示」

ファクス機能画面

［ファクス］キーを押すとファクス機能画面が表示されます。



1) 現在時刻が表示されます。
2) ファクス原稿の読み取り解像度が表示されます。
3) 受信モードが表示されます。
4) メモリー残量が表示されます。

参照

• P.172 「送信機能の設定をする」
• P.173 「受信機能の設定をする」

画面に表示されるアイコンについて

操作中に画面に表示されるアイコンについて説明します。

[A]	［濃度］キーで選択します。モノクロコピーで新聞などの地肌が濃い画像に有効です。
1	トレイ 1 から用紙を給紙します。
2	トレイ 2（オプション）から用紙を給紙します。500 枚増設トレイ（オプション）を装着すると選択できます。
┴	手差しトレイから用紙を給紙します。マルチ手差しフィーダー（オプション）を装着すると選択できます。
			GX カートリッジ内のインクがなくなっています。
|↓|	GX カートリッジ内のインクが完全になくなっているか、GX カートリッジがセットされていません。
[□]	［ヨウシセッテイ］で不定形サイズを選択すると表示されます。
☎=	ファクス番号を入力できる状態です。
⇒☎	相手先を呼び出し中です。
☎⇐	相手先からの呼び出しに応答中です。
□□	ファクス送信中です。
□□	ファクス受信中です。
✉	インターネットファクスの送受信中、またはスキャナー機能のメール送信、フォルダー送信中です。
［▼］［▲］［◀］［▶］	表示された方向のスクロールキーを押してください。

パスワード入力画面が表示されたとき

［ユーザーセイゲン］を［スル］に設定するとパスワード入力画面が表示され、パスワードを入力しなければ本機の操作を続けることができません。以下の状態の時にパスワード入力画面が表示されます。

- 電源投入時
- 省エネモードからの復帰時
- オートパネルリセットからの復帰時

1

補足

- 認証に失敗したときは、「*パスワードガイッチシマセン*」と表示されます。パスワードをご確認ください。

参照

- P.141 「ユーザー制限を設定する」

パスワードを入力する

［ユーザーセイゲン］が［スル］に設定されているときは、次の画面が表示されます。

```
パスワード=
  OK=Yes
```

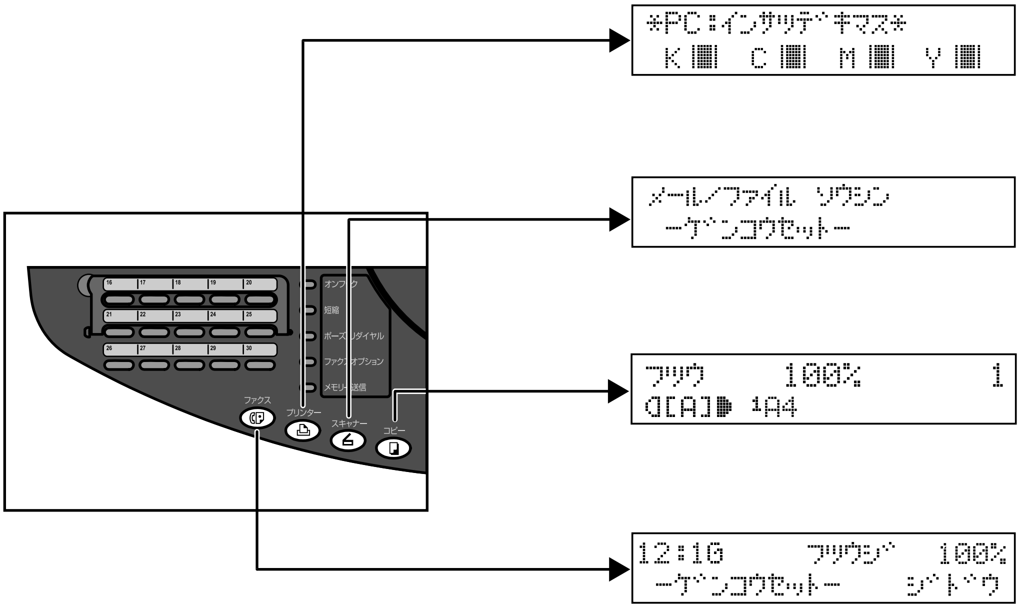
1 パスワード（1 桁から 8 桁までの任意の数字）を入力して、[Yes] キーを押します。

参照

- P.141 「ユーザー制限を設定する」

機能を切り替える

ファンクションキーを押して、機能の切り替えを行います。
ご利用になりたい機能のファンクションキーを押すと、その機能に切り替わり、選択したファンクションキーのランプが点灯します。操作部の画面には、それぞれの機能の初期画面が表示されます。



AQQ071S

♦ コピー機能

コピー機能以外の機能をご利用のときに、以下のキーを押すと自動的にコピー機能に切り替わり、コピー機能キーのランプが点灯します。

- [2 in 1/ ソート]キー
- [ズーム]キー
- [用紙選択]キー

♦ ファクス機能

ファクス機能以外の機能をご利用のときに、以下のキーを押すと自動的にファクス機能に切り替わり、ファクス機能キーのランプが点灯します。

- [メモリー送信]キー
- [ポーズ / リダイヤル]キー
- [オンフック]キー
- [ファクスオプション]キー
- [アドレス帳]キー
- [短縮]キー

♦ 優先機能設定

電源投入時、または、[オートリセットセッテイ]で、画面がリセットされた状態から復帰するときに、自動的に指定した機能になるように設定できます。優先機能の設定は、[システムショキセッテイ]の[ユウセンキノウセッテイ]で行います。工場出荷時の設定では、電源を入れたときにコピー機能の操作画面が表示されます。

補足

- [メニュー]キー、または[ファクスオプション]キーを押して、システム初期設定を変更しているときは、モード切替できません。
- 各機能の操作を操作部から実施する場合は、ファンクションキーで使用する機能を選択しておく必要があります。
- [プリンター]キー以外の機能キーが点灯している状態で " インサツエラー " となった場合、[プリンター]キーを押して、エラーメッセージを確認してください。

参照

- P.132 「システム初期設定を変更・調節する」

電源の入れかた、切りかた

本機の電源の入れかた、切りかたについて説明します。

♦ 電源について

- [電源]キー(操作部右側)
  本機を動作させるときに押します。ウォームアップ終了後、各機能の操作ができます。

補足

- 本機は電源「On」の状態で一定時間使用しないと、自動的に電力の消費を一段低くするように設定され、省エネモードになります。
- 動作可能温度範囲外のメッセージが表示されたときは、設置環境を確認してください。

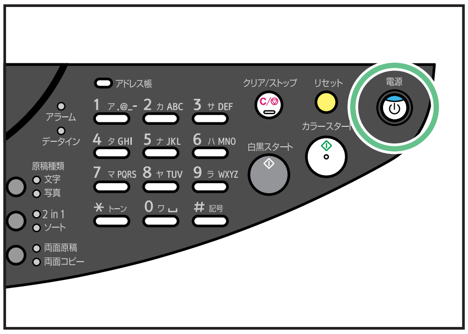
参照

- P.31 「節電」
- P.132 「省エネモード移行時間(ショウエネモードイコウジカン)」
- P.453 「使用可能温度範囲外」

電源の入れかた

本機の電源の入れかたについて説明します。

1 操作部の右側にある［電源］キーを押し、ランプを点灯させます。



AQQ029S

補足

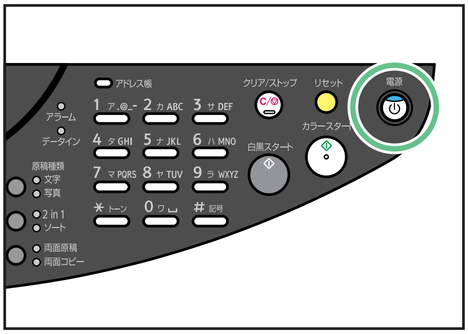
- ［電源］キーを押しても電源が入らないときは、電源プラグが確実にコンセントに差し込まれているか確認してください。

電源の切りかた

本機の電源の切りかたを説明します。

1 ADF が閉じていることを確認します。

2 ［電源］キーを長押しして、電源ランプを消灯させます。



AQQ029S

補足

- 電源ランプが点滅したら、電源キーから指を離してください。

節電

本機は節電のために、以下のような機能を持っています。

◆ 省エネモード

一定時間何も操作しないと、自動的に電力の消費を一段低くするように設定され、省エネモードの状態になります。

◆ オートオフ時間設定

一定時間操作を行わなかったとき、自動的に電源を切るように設定することができます。

補足

- 次のようなときは省エネモードに入りません。
  - スキャナーユニットが開いているとき
  - 右前カバーが開いているとき
  - 両面ユニットカバーが開いているとき
  - GX カートリッジがセット不良のとき
  - 両面ユニットがセット不良のとき
  - インク回収ユニットがセット不良のとき
  - マルチ手差しフィーダーがセット不良のとき
  - エラー発生時
  - 印刷中のとき
  - インク補給中のとき
  - ヘッドクリーニングなどのメンテナンス中のとき
  - 乾燥待ち中のとき

参照

- P.132 「システム初期設定を変更・調節する」

1

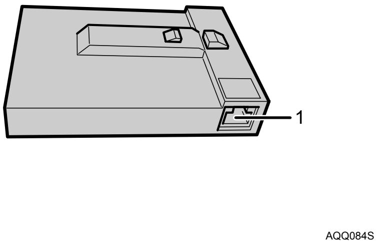
オプション

重要

- オプションを取り付ける際は、必ず本機の電源を切ってから取り付けてください。

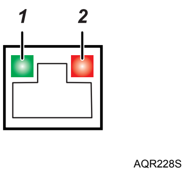
ネットワークボード GX4

オプションのネットワークボードです。本機に装着すると、ネットワーク経由で印刷できるようになります。



1. **LAN ケーブルコネクター**
   LAN ケーブルを接続します。

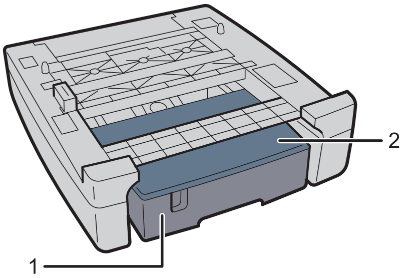
♦ LED の見方



1. ネットワークに正常に接続していると、緑色 LED が点灯します。
2. ネットワークに正常に接続し、データを送受信すると橙色 LED が点滅します。

500 枚増設トレイ TK1020

オプションの増設トレイです。



AQR029S

1 トレイ 2

用紙をセットします。トレイ 2 にセットできる用紙は普通紙とハイグレード普通紙です。

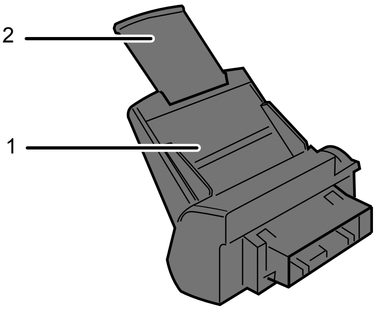
2 トレイカバー

トレイ 2 にセットします。

用紙をセットするときは取り外します。

マルチ手差しフィーダー BY1000

オプションのマルチ手差しフィーダーです。



AKR136S

1 手差しトレイ

用紙を手差しで給紙します。

2 延長トレイ

二段階に引き出せます。用紙サイズに合わせて延長トレイを引き出します。

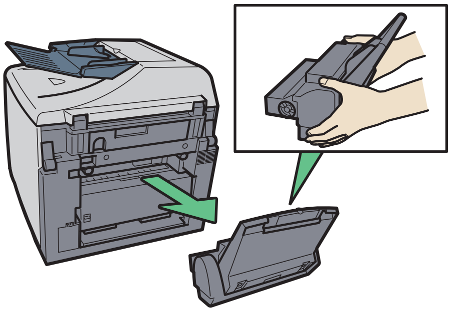
マルチ手差しフィーダー（オプション）の脱着

つまった用紙を取り除くときに、マルチ手差しフィーダーを一時的に取り外す場合があります。
ここではマルチ手差しフィーダーの脱着方法について説明します。

1 手差しトレイの用紙を取り除きます。

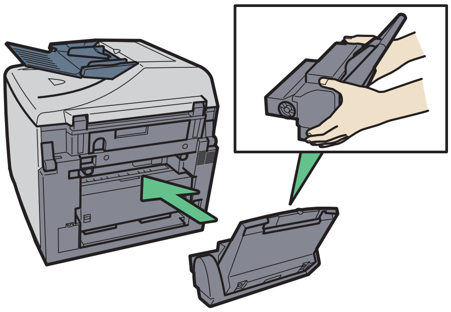
2 延長部をしまいます。

3 マルチ手差しフィーダーをはずします。



AQR278S

4 マルチ手差しフィーダーを最後までしっかり差し込み、取り付けます。



AQR362S

5 使用時には用紙サイズに合わせて延長トレイを伸ばし、サイドフェンスを合わせてください。

6 手差しトレイに用紙をセットします。

おすすめ機能

便利な機能を説明しています。

- ♦ **情報漏洩を抑止するための印刷物の不正コピー防止機能**
  P.232 「文書の複製（不正コピー）を抑止する」を参照してください。
- ♦ **複数言語のパソコンがある環境でプリンターを共有する方法**
  P.237 「いろいろな言語に対応する」を参照してください。
- ♦ **用紙切れや紙づまりなどのアラートが発生したときにメールで通知する機能**
  P.478 「本機の状態をメールで通知する」を参照してください。
- ♦ **自動でトレイを選択して印刷する機能**
  P.138 「トレイや用紙の設定をする」を参照してください。
- ♦ **読み取った文書をメールに添付し、電子メールシステムを使って LAN やインターネット経由で送信する方法**
  P.281 「読み取った文書をメールで送信する」を参照してください。
- ♦ **両面印刷や集約印刷など、決まった印刷設定を簡単に選択できる機能（ワンクリック機能）**
  プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1

1

やりたいこと目次

ここでは、本機を使いこなすために必要な操作の大まかな流れを説明しています。
詳しい手順や設定については、参照 に記載されているそれぞれの参照先を参照してください。

重要

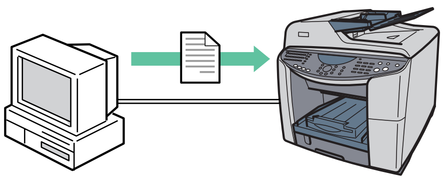
- オプションによってできる機能が異なります。

プリンターを使いたい

本機をプリンターとして使うために必要な手順の大まかな流れを説明します。

USB で使いたい

ここでは本機をパソコンと USB で接続して使用するときの、準備から印刷までの大まかな流れを説明します。



AQR239S

1) 本機とパソコンを USB で接続します。
2) プリンタードライバーなどをインストールします。
3) 印刷のための操作をします。

参照

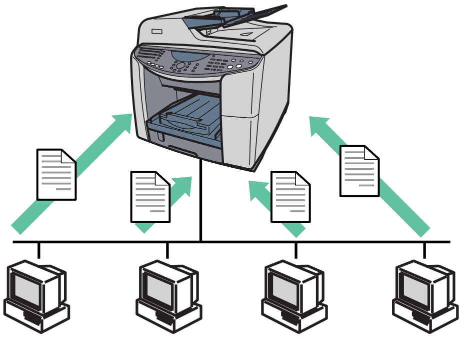
- 手順 1 の詳しい手順や設定については、『かんたんセットアップ』「インストールする前に（USB 接続用）」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.51 「接続方法を確認する」、P.53 「USB 接続でドライバーをインストールする」、『かんたんセットアップ』「おすすめインストール（USB 接続用）」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.221 「用紙の種類に応じた印刷方法」を参照してください。

ネットワーク環境で使いたい

ここでは本機をネットワーク環境に接続して使用するときの、準備から印刷までの大まかな流れを説明します。

重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。



1) 本機とパソコンをネットワーク環境に接続します。
2) プリンタードライバーなどをインストールします。
3) ネットワークの設定をします。
4) 印刷のための操作をします。

参照

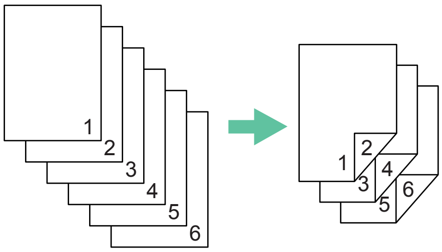
- 手順 1 の詳しい手順や設定については、『かんたんセットアップ』「インストールする前に（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.51 「接続方法を確認する」、P.65 「ネットワーク接続でドライバーをインストールする」、『かんたんセットアップ』「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.213 「プリンター機能を使う」を参照してください。

コピーを使いたい

本機をコピー機として使うときに便利な機能を説明します。

いつも両面コピーにして用紙を節約したい

両面コピーを初期状態に設定することで、用紙の節約をすることができます。



AQR243S

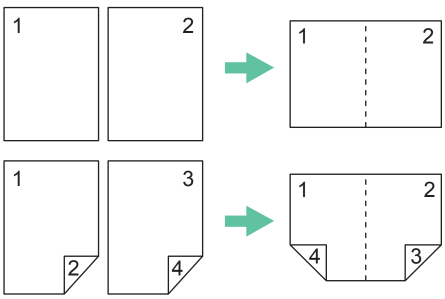
1) コピー初期設定を設定します。
2) コピーのための操作をします。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、P.144 「コピー機能の設定をする」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.246 「基本的なコピーのとりかた」を参照してください。

いつも集約コピーにして用紙を節約したい

2 in 1 を初期状態に設定することで、用紙の節約をすることができます。



AQR244S

1) コピー初期設定を設定します。
2) コピーのための操作をします。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、P.144 「コピー機能の設定をする」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.246 「基本的なコピーのとりかた」を参照してください。

必要に応じて両面コピーにして用紙を節約したい

必要に応じて両面コピーにすることで、使い分けながら用紙の節約をすることができます。

1) コピーのための操作をします。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、P.259 「両面コピーのとりかた」を参照してください。

必要に応じて集約コピーにして用紙を節約したい

必要に応じて 2 in 1 にすることで、使い分けながら用紙の節約をすることができます。

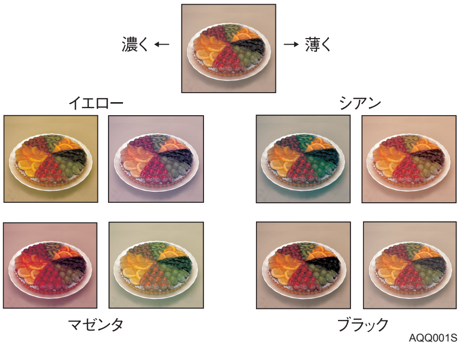
1) コピーのための操作をします。

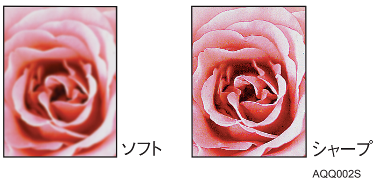
参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、P.256 「集約コピーのとりかた」を参照してください。

画質の詳細設定を変えたい

カラーバランス、シャープ / ソフトやコントラストを調整することができます。







1) コピー初期設定を設定します。

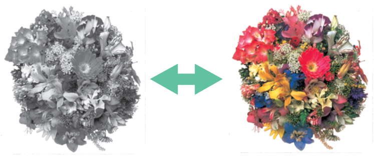
参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、P.270 「画質詳細設定」を参照してください。

1

カラーコピー／白黒コピー

［白黒スタート］キー、［カラースタート］キーでコピーのカラーモードを使い分けることができます。


AQR248S

1) コピーのための操作をします。

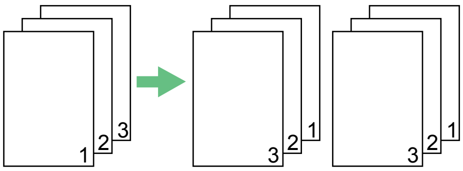
参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、P.246 「基本的なコピーのとりかた」を参照してください。

複数枚の原稿をソートして何部かコピーしたい

1 セットずつそろえてコピーします。

原稿をページ順にそろえる場合、［コピーショキセッテイ］の［インサツメン シタムキハイシ］を［スル］に設定してください。



BGF013S

1) コピーのための操作をします。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、P.250 「コピー書類をソートする」を参照してください。

スキャナーを使いたい

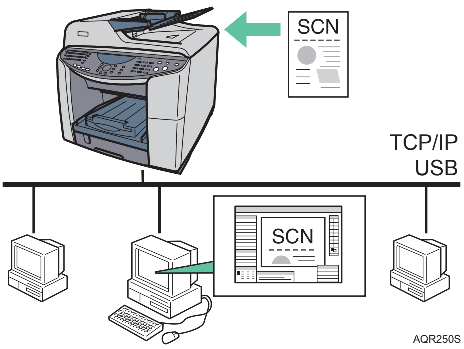
本機をスキャナーとして使うために必要な手順の大まかな流れを説明します。

TWAIN を使って PC から操作したい

ここでは TWAIN ドライバーを使ってパソコンから文書をスキャンするときの、準備からスキャンまでの大まかな流れを説明します。

重要

- この機能をネットワーク環境で使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。



1) 本機とパソコンを USB で接続するか、ネットワーク環境に接続します。
2) TWAIN ドライバーをインストールします。
3) ネットワーク環境に接続して TWAIN ドライバーを使用する場合は、本体の IP アドレスなど、ネットワークの設定をします。
4) スキャンのための操作をします。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、『かんたんセットアップ』「インストールする前に（USB 接続用）」、「インストールする前に（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.51 「接続方法を確認する」、P.53 「USB 接続でドライバーをインストールする」、P.65 「ネットワーク接続でドライバーをインストールする」、『かんたんセットアップ』「おすすめインストール（USB 接続用）」、「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.179「ネットワーク設定」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、P.275 「TWAIN スキャナーで文書を読み取る」を参照してください。

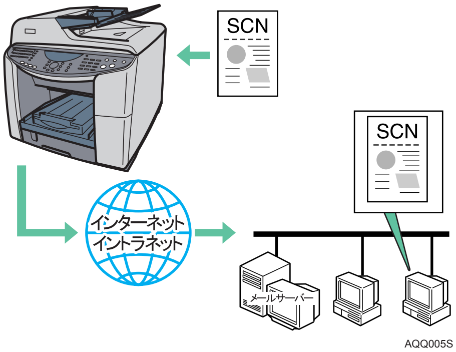
読み取った文書をメールで送信したい

ここではスキャンした文書を E メールでパソコンに送信するときの、準備から送信までの大まかな流れを説明します。

1

重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。



1) 本機とパソコンをネットワーク環境に接続します。
2) 本体の IP アドレスやゲートウェイアドレスなど、ネットワークの設定をします。
3) 送信者、SMTP サーバーやポート番号など、SMTP の設定をします。
4) 必要に応じて宛先を登録します。
5) スキャンのための操作をします。

参照

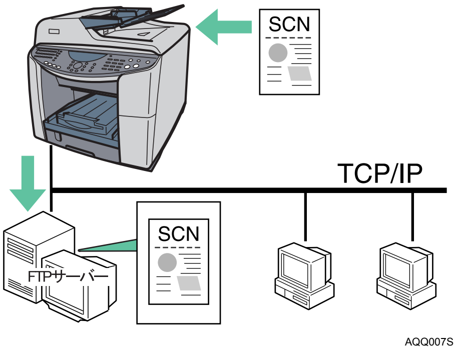
- 手順 1 の詳しい手順や設定については、『かんたんセットアップ』「インストールする前に（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.179「ネットワーク設定」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.182 「インターネットファクス・メール送信機能を使うには（SMTP 設定）」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、P.147 「宛先を登録する」を参照してください。
- 手順 5 の詳しい手順や設定については、P.281 「読み取った文書をメールで送信する」を参照してください。

読み取った文書を FTP サーバーに送信したい

ここではスキャンした文書を FTP サーバーに送信するときの、準備から送信までの大まかな流れを説明します。

重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。



1) 本機とパソコンをネットワーク環境に接続します。
2) 本体の IP アドレスやゲートウェイアドレスなど、ネットワークの設定をします。
3) 必要に応じて宛先を登録します。
4) スキャンのための操作をします。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、『かんたんセットアップ』「インストールする前に（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.179「ネットワーク設定」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.474 「Web Image Monitor で設定できる項目」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、P.295「読み取った文書をフォルダーに送信する」を参照してください。

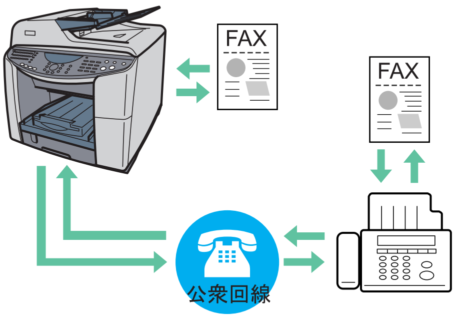
ファクスを使いたい

本機をファクスとして使うために必要な手順の大まかな流れを説明します。

1

本機をファクス専用機として使いたい

ここでは本機をファクスとして使うときの、準備からファクスの送受信までの大まかな流れを説明します。



AQQ008S

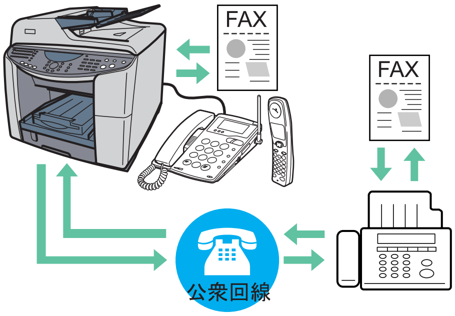
1) 本機と電話回線を接続します。
2) 電話回線の種別を設定します。
3) 送信のための設定をします。
4) 受信のための設定をします。
5) 必要に応じて宛先を登録します。
6) ファクス送受信のための操作をします。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、P.99 「一般電話回線に接続する場合」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.106 「電話回線の種別を設定する」、P.176 「電話回線の設定をする」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.172 「送信機能の設定をする」、P.178 「発信元の情報を登録する」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、P.173 「受信機能の設定をする」を参照してください。
- 手順 5 の詳しい手順や設定については、P.147 「宛先を登録する」を参照してください。
- 手順 6 の詳しい手順や設定については、P.305 「ファクスを送信する前に」、P.349 「ファクスを受信する前に」を参照してください。

外付け電話機や留守番電話機を接続して使いたい

ここでは、本機に外付け電話機を接続して電話とファクスを切り替えて本機を使うときの、準備の大まかな流れを説明します。



AQQ009S

1) 本機と電話回線を接続します。
2) 本機に外付け電話機を接続します。
3) 電話回線の種別を設定します。
4) 送信のための設定をします。
5) 受信モードなど、受信のための設定をします。
6) 必要に応じて宛先を登録します。
7) ファクス送受信のための操作をします。

参照

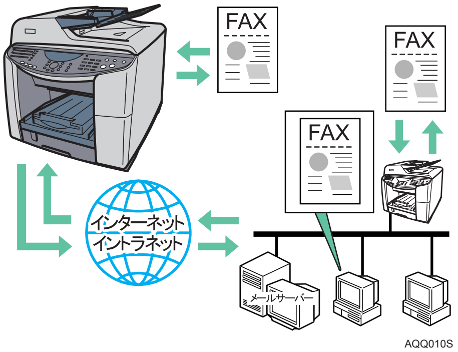
- 手順 1 の詳しい手順や設定については、P.99 「一般電話回線に接続する場合」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.100 「本機に電話機を取り付ける場合」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.106 「電話回線の種別を設定する」、P.176 「電話回線の設定をする」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、P.172 「送信機能の設定をする」、P.178 「発信元の情報を登録する」を参照してください。
- 手順 5 の詳しい手順や設定については、P.173 「受信機能の設定をする」を参照してください。
- 手順 6 の詳しい手順や設定については、P.147 「宛先を登録する」を参照してください。
- 手順 7 の詳しい手順や設定については、P.305 「ファクスを送信する前に」、P.349 「ファクスを受信する前に」を参照してください。

インターネットファクスを使いたい

ここでは本機をインターネットファクスとして使うときの、準備からインターネットファクスの送受信までの大まかな流れを説明します。

重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。



1) 本機をネットワーク環境に接続します。
2) 本体の IP アドレスやゲートウェイアドレスなど、ネットワークの設定をします。
3) 送信者、SMTP サーバーやポート番号など、SMTP の設定をします。
4) POP3 サーバーやポート番号など、POP3 の設定をします。
5) インターネットファクス送受信のための操作をします。

参照

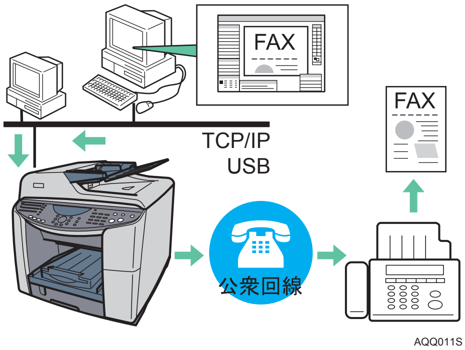
- 手順 1 の詳しい手順や設定については、『かんたんセットアップ』「インストールする前に（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.179「ネットワーク設定」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.182 「インターネットファクス・メール送信機能を使うには（SMTP 設定）」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、P.184 「インターネットファクス・メール受信機能を使うには（POP3 設定）」を参照してください。
- 手順 5 の詳しい手順や設定については、P.147 「宛先を登録する」、P.362 「インターネットファクス」を参照してください。

PC ファクスを使いたい

ここではパソコンからファクス文書を出力せずにファクス送信するときの、準備から PC ファクスの送信までの大まかな流れを説明します。

重要

- この機能をネットワーク環境で使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。



1) 本機とパソコンを USB で接続するか、ネットワーク環境に接続します。
2) PC FAX ドライバーをインストールします。
3) ネットワーク環境に接続して PC FAX ドライバーを使用する場合は、本体の IP アドレスなど、ネットワークの設定をします。
4) PC ファクスを送信するための操作をします。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、『かんたんセットアップ』「インストールする前に（USB 接続用）」、「インストールする前に（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.51 「接続方法を確認する」、P.53 「USB 接続でドライバーをインストールする」、P.65 「ネットワーク接続でドライバーをインストールする」、『かんたんセットアップ』「おすすめインストール（USB 接続用）」、「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.179「ネットワーク設定」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、P.370 「パソコンからファクス機能を活用する」を参照してください。

各機能の設定を変えたい・調整したい

本機の初期設定を変えることができます。

各機能の初期値を変えたい

各設定の初期値を切り替えることができます。

1) 設定を変更します。

参照

- P.132 「システム初期設定を変更・調節する」
- P.138 「トレイや用紙の設定をする」
- P.136 「音量を調節する」
- P.144 「コピー機能の設定をする」
- P.185 「スキャナー機能の設定をする」

操作部から宛先を直接入力したい

宛先をテンキーで入力することができます。

1) 宛先を入力します。

参照

- P.209 「文字の入力のしかた」
- P.290 「メールアドレスを直接入力するとき」
- P.340 「テンキーで指定する」

操作部からアドレス帳を登録したい

アドレス帳を登録することができます。

1) 宛先を登録します。

参照

- P.209 「文字の入力のしかた」
- P.147 「宛先を登録する」

アドレス帳キー、ワンタッチキー、短縮キー、グループダイヤルを使って宛先を指定する

アドレス帳に登録した宛先を［アドレス帳］キー、ワンタッチキー、［短縮］キー、グループダイヤルを使って指定することができます。

1) 宛先を指定します。

参照

- P.286 「メール送信先を指定する」
- P.291 「メール送信者を指定する」
- P.300 「フォルダー送信先を指定する」
- P.340 「相手先を指定する」

LDAP サーバーを使って宛先を指定する

アドレス帳に登録された宛先を LDAP サーバーから検索します。

重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

1) 本機とパソコンをネットワーク環境に接続します。
2) 本体の IP アドレスなど、ネットワークの設定をします。
3) LDAP サーバーやポート番号など、LDAP の設定をします。
4) 宛先を指定します。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、『かんたんセットアップ』「インストールする前に（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.179「ネットワーク設定」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.180 「LDAP サーバーを使うには」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、P.288 「［ケンサク］から検索してメール送信先を選択する」を参照してください。

2. 本機を使うための準備

印刷するための準備について説明しています。

接続方法を確認する

本機は、USB 接続またはネットワーク接続することができます。
ソフトウェアをインストールする前に、本機をどのように接続したかを確認し、ご使用の接続方法でのインストール方法を参照し、ソフトウェアをインストールしてください。



♦ USB 接続

USB 接続で使用する場合、[おすすめインストール（USB 接続用）] で同梱の CD-ROM から簡単にソフトウェアをインストールすることができます。

インストールボタン	インストールされるソフトフェア
おすすめインストール（USB 接続用）	・プリンタードライバー ・TWAIN ドライバー ・PC FAX ドライバー ・機器設定ユーティリティー ・操作ガイド

♦ ネットワーク接続

ネットワーク接続で使用する場合、[おすすめインストール（ネットワーク接続用）]、[プリンタードライバー]、[TWAIN ドライバー（ネットワーク接続用）]、[PC FAX ドライバー（ネットワーク接続用）]、または[Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi]で同梱の CD-ROM から簡単にソフトウェアをインストールすることができます。

インストールボタン	インストールされるソフトフェア
おすすめインストール（ネットワーク接続用）	・プリンタードライバー ・操作ガイド ・Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi
プリンタードライバー	プリンタードライバー
TWAIN ドライバー（ネットワーク接続用）	TWAIN ドライバー
PC FAX ドライバー（ネットワーク接続用）	PC FAX ドライバー
Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi	Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi

補足

- 設定が完了すると本機が使用できる状態になります。
- ネットワーク接続では、Windows の印刷ポートを使用してプリンターへダイレクト印刷（Peer-to-Peer ネットワーク）、またはサーバーを使用してクライアントから印刷するネットワークプリンターとして本機を使用します。

参照

- 『かんたんセットアップ』「プリンタードライバーをインストールする（ネットワークボード）」
- P.70 「Ridoc IO Navi ポートを使う（TCP/IP）」
- P.85 「Windows ネットワークプリンターを使う」
- P.92 「PC FAX ドライバーをインストールする」
- P.89 「TWAIN ドライバーをインストールする」
- P.94 「Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi をインストールする」
- P.67 「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」
- P.53 「おすすめインストール（USB 接続用）」

USB 接続でドライバーをインストールする

USB 接続で使用するときの各種ドライバーのインストール方法と設定について説明します。

参照

- P.53 「おすすめインストール（USB 接続用）」
- P.59 「プリンターを共有する」

おすすめインストール（USB 接続用）

プリンタードライバー、TWAIN ドライバー、PC FAX ドライバー、機器設定ユーティリティー、操作ガイドをインストールします。

重要

- 本機の電源は指示があるまで入れないでください。



AQR034S

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 の場合、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 **Windows を起動して、付属の CD-ROM「ドライバー& ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

2 **すべてのアプリケーションを終了します。**

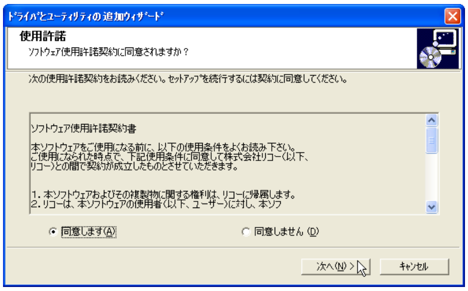
Windows を起動すると、新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示される場合があります。この場合は、[キャンセル] をクリックして画面を閉じてください。もう一度、本機の電源がオフになっていることを確認してください。

2

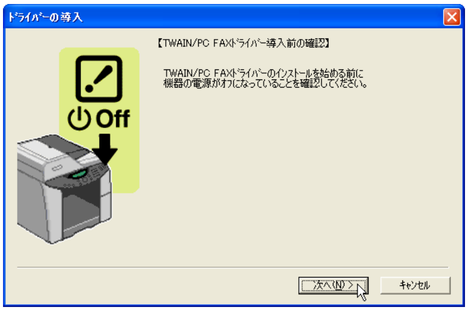
3 ［おすすめインストール（USB 接続用）］をクリックします。



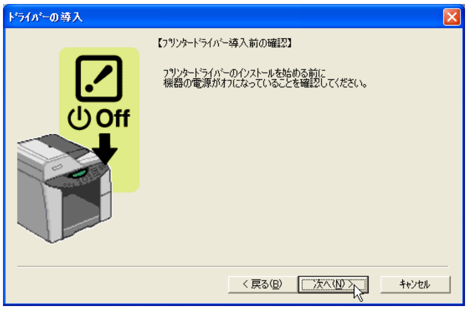
4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は［同意します］をクリックし、［次へ］をクリックします。

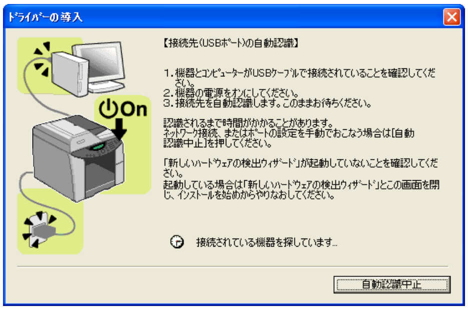


5 本機の電源がオフになっていることを確認し、［次へ］をクリックします。

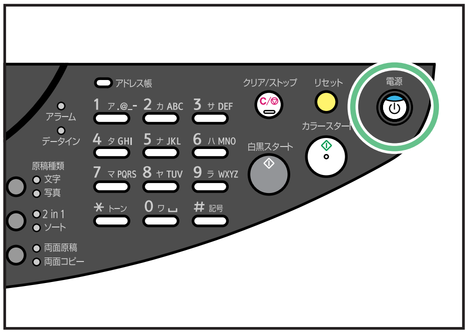


6 本機の電源がオフになっていることをもう一度確認し、［次へ］をクリックします。





7 本機とパソコンが正しく接続されていることを確認し、本機の［電源］キーを押します。



AQQ029S

ソフトウェアのインストールが始まります。

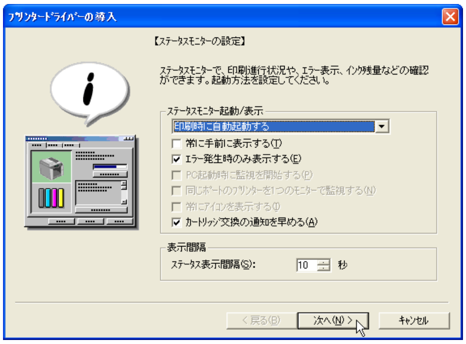
［電源］キーを押した後、自動認識されるまで約 2~3 分かかる場合があります。

接続先が確認されない場合は、インストール終了後にポートをもう一度設定してください。『セットアップハンドブック』「インストールする環境を確認する」の「おすすめインストール（USB 接続用）の場合」を参照してください。

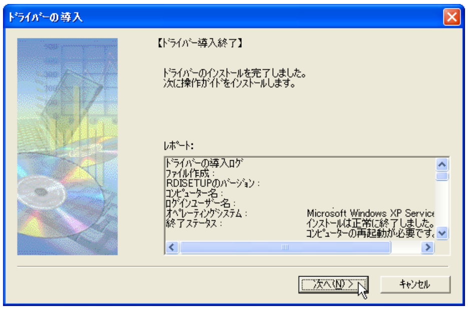
2

2

8 ステータスモニターの起動方法を設定し、[次へ] をクリックします。

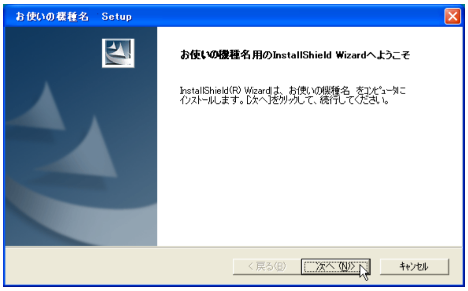


9 インストールの結果を確認し、[次へ] をクリックします。

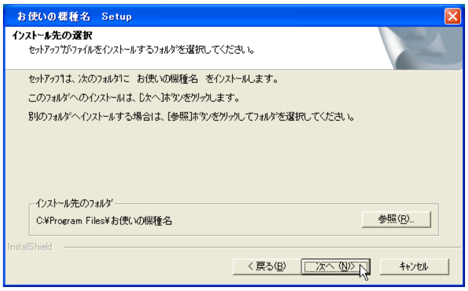


操作ガイドのインストールが始まります。

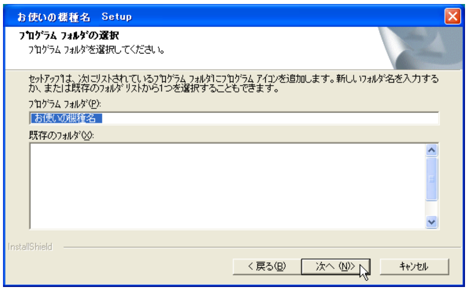
10 [次へ] をクリックします。



11 [インストール先のフォルダ] を確認し、[次へ] をクリックします。

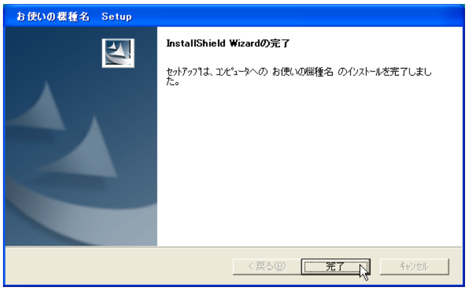


12 ［プログラムフォルダ］を確認し、［次へ］をクリックします。

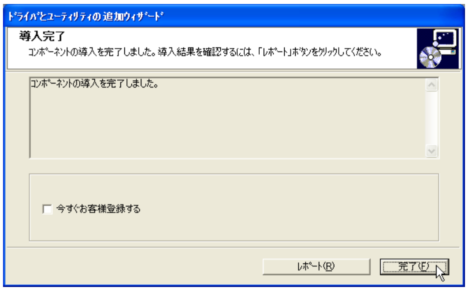


機器設定ユーティリティーのインストールが始まります。

13 ［完了］をクリックします。



14 インストールの完了を確認し、インターネットでお客様登録を行う場合は、［今すぐお客様登録する］をチェックしてから［完了］をクリックします。



再起動のメッセージが表示される場合は、「今すぐお客様登録する」のチェックボックスは表示されません。

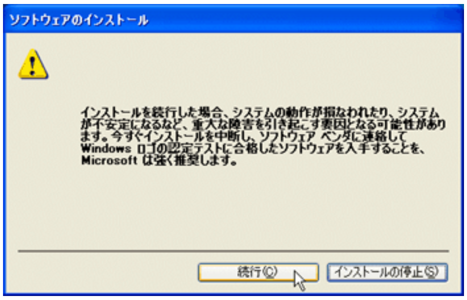
15 手順 14 で［今すぐお客様登録する］をチェックした場合は、インターネットに接続し、［お客様登録］ページが表示されますので、ページの指示にしたがって登録を行います。

インターネットに接続している場合に利用できます。
インターネットの通信料金がかかります。
インターネットでご登録される場合、お客様登録はがきの送付は不要です。
プリンタードライバー、TWAIN ドライバー、PC FAX ドライバー、機器設定ユーティリティー、操作ガイドのインストールが完了しました。

2

補足

- CD-ROM をセットすると、[ドライバー & ユーティリティー] 画面が表示されます。表示されない場合は、[マイコンピュータ] または [エクスプローラ] から CD-ROM ドライブを開き、[Setup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。
- インストールが完了すると、デスクトップに操作ガイドのアイコンが登録されます。
- 「コンピューターを再起動してください」のメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。
- プリンタードライバーが正しくインストールされたことを確認するためには、本機の [電源] キーが点灯していることを確認し、印字テストを行ってください。
- インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、[はい] または [続行] を選択して、インストールを続行してください。



プリンターを共有する

プリンターを共有します。

サーバー側を設定する

プリントサーバーを設定して、プリンターを共有にします。

重要

- Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 で設定する場合は、管理者（Administrators）権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

本機に接続したパソコンを、プリントサーバーに設定します。

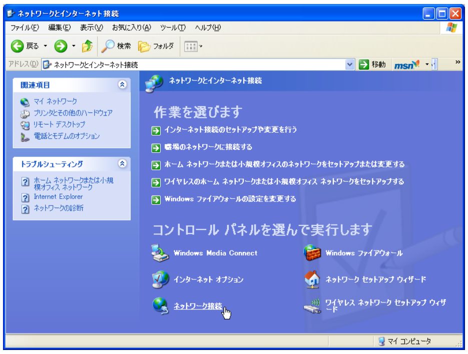
ここでは、ネットワーク上でプリンターを共有して使うためにプリンターを接続して管理するパソコンを、プリントサーバーと呼びます。

1 ［スタート］メニューから、［コントロールパネル］を選びます。

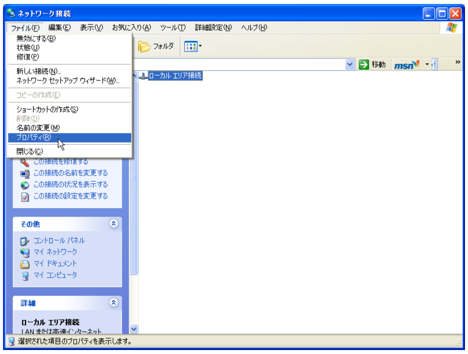
2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。



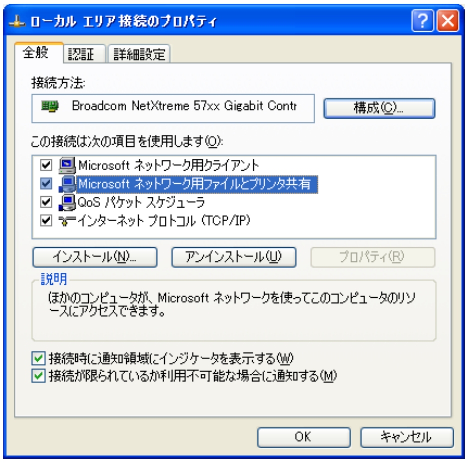
3 ［ネットワーク接続］をクリックします。



4 ［ローカルエリア接続］をクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。



5 ［Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有］をクリックしてチェックを付けます。

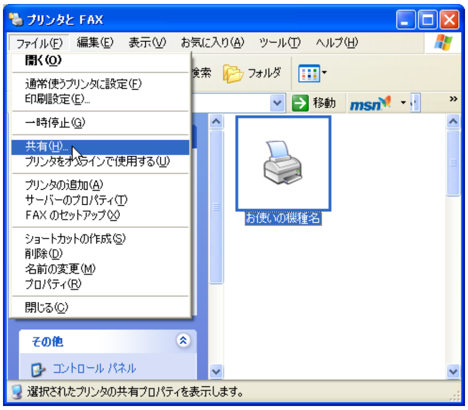


6 ［OK］をクリックします。

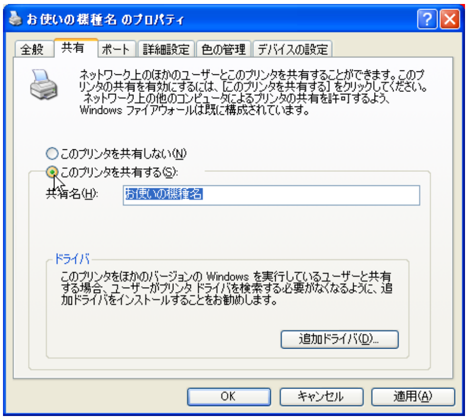
7 プリンタードライバーをインストールします。

8 ［スタート］メニューの［設定］から、［プリンタと FAX］を選びます。

9 本機のアイコンを選び、[ファイル] メニューから [共有] を選びます。



10 [共有する] を選び、[共有名] を入力します。



11 [OK] をクリックします。

補足

- プリントサーバーが接続されているネットワークに接続したパソコンを、クライアントに設定します。

参照

- クライアントの設定方法については、P.62 「クライアント側を設定する」を参照してください。

クライアント側を設定する

クライアントを設定して、共有するプリンターに接続します。設定は、付属の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールするときに行います。

重要

- Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 で設定する場合は、管理者（Administrators）権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

2

プリントサーバーが接続されているネットワークに接続したパソコンから設定します。

1 Windows を起動して、付属の CD-ROM「ドライバー& ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

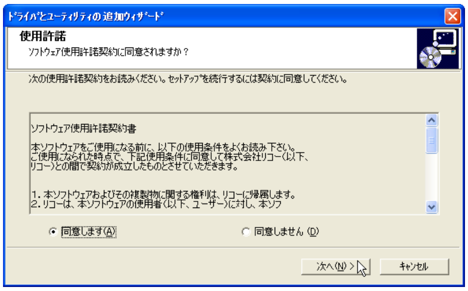
2 すべてのアプリケーションを終了します。

Windows を起動すると、新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が開く場合があります。この場合は、［キャンセル］をクリックして画面を閉じてください。もう一度、本機の電源がオフになっていることを確認してください。

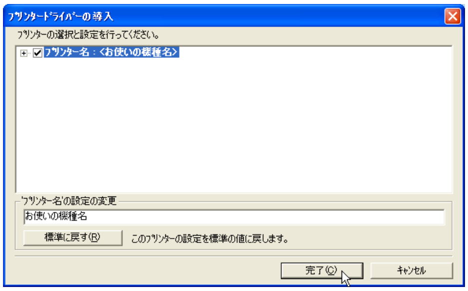
3 ［プリンタードライバー］をクリックします。



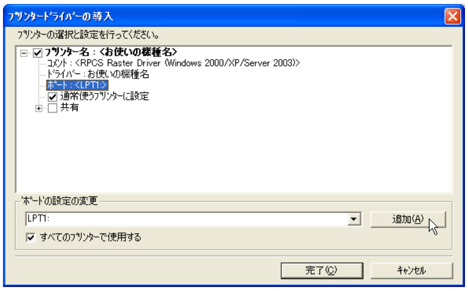
4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は［同意します］をクリックし、［次へ］をクリックします。



5 ［プリンター名］の横の+をクリックします。



6 ［プリンター名］の下の［ポート：＜ LPT1: ＞］を選びます。



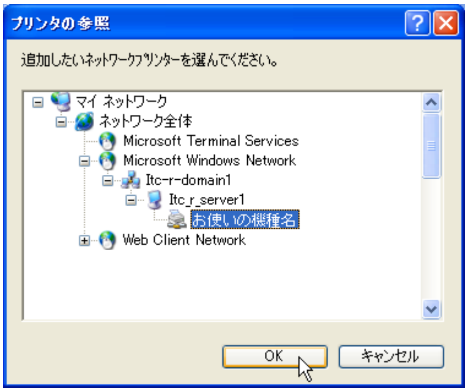
7 ［追加］をクリックします。

8 ［ネットワークプリンター］を選びます。



9 ［OK］をクリックします。

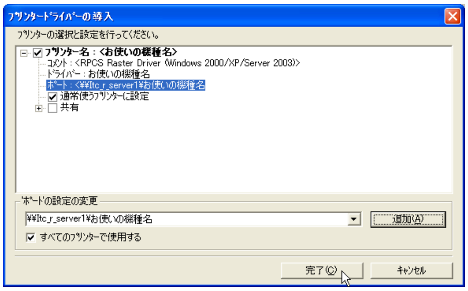
10 ネットワークから共有するプリンターを選びます。



2

11 [OK] をクリックします。

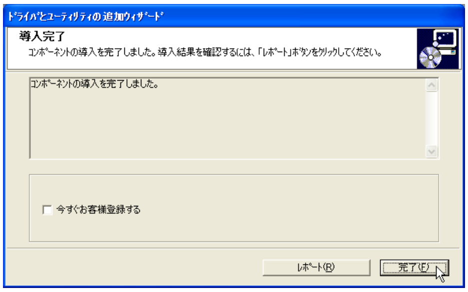
12 [ポート：] の後に [< ¥¥ サーバー名 ¥ 共有プリンター名>] が表示されていることを確認します。



13 [完了] をクリックします。

プリンタードライバーのインストールが始まります。

14 インストールの完了を確認し、インターネットでお客様登録を行う場合は、[今すぐお客様登録する] をチェックしてから [完了] をクリックします。



15 手順 **14** で [今すぐお客様登録する] をチェックした場合は、インターネットに接続し、[お客様登録] ページが表示されますので、ページの指示にしたがって登録を行います。

インターネットに接続している場合に利用できます。
インターネットの通信料金がかかります。
インターネットでご登録される場合、お客様登録はがきの送付は不要です。

補足

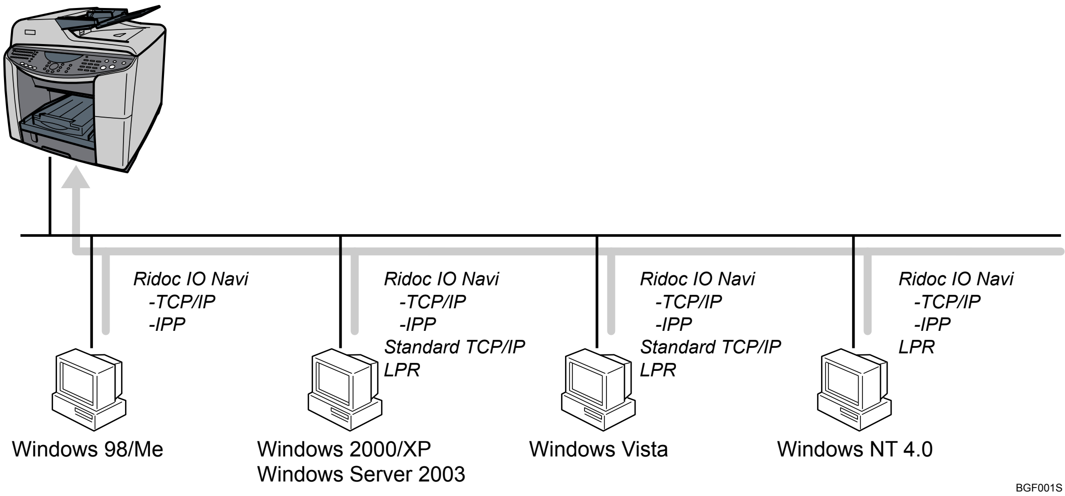
- CD-ROM をセットすると、[ドライバー & ユーティリティー] 画面が表示されます。表示されない場合は、[マイコンピュータ] または [エクスプローラ] から CD-ROM ドライブを開き、[Setup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。
- 「コンピューターを再起動してください」のメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。

ネットワーク接続でドライバーをインストールする

本機をネットワーク接続しているときの各種ドライバーのインストール方法と設定について説明します。

♦ Windows の印刷ポートを使用する

ご使用の Windows によって使用できるポートが異なります。インターフェースは、イーサネットを使用します。



Windows 98/Me の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット	Ridoc IO Navi ポート ・TCP/IP ・IPP

Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット	Ridoc IO Navi ポート ・TCP/IP ・IPP Standard TCP/IP ポート LPR ポート

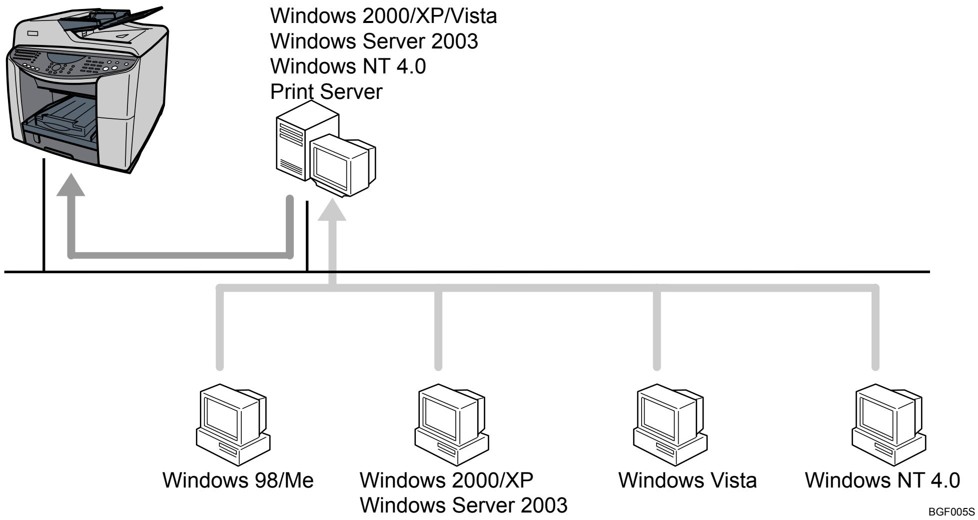
Windows NT 4.0 の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット	Ridoc IO Navi ポート ・TCP/IP ・IPP LPR ポート

2

♦ プリントサーバーを使用する

Windows ネットワークプリンターとして使用できます。



参照

- P.67 「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」
- P.70 「プリンタードライバーをインストールする（ネットワーク接続用）」
- P.92 「PC FAX ドライバーをインストールする」
- P.89 「TWAIN ドライバーをインストールする」
- P.85 「Windows ネットワークプリンターを使う」

おすすめインストール（ネットワーク接続用）

プリンタードライバー、操作ガイド、Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi をインストールします。

重要

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ［おすすめインストール（ネットワーク接続用）］からインストールされる Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi のバージョンよりも新しいバージョンのものがすでにインストールされていると、インストール中にインストールが中断されてしまいます。［プリンタードライバー］をクリックし、ドライバー単体のみのインストールを行い、その後、手動で Ridoc IO Navi のポートを作成してください。

2

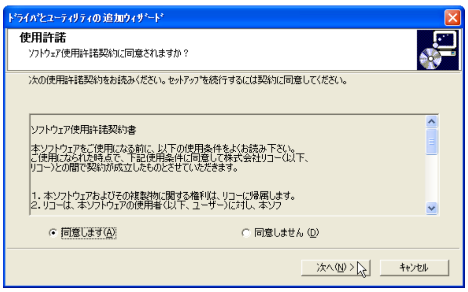
1 Windows を起動して、付属の CD-ROM「ドライバー& ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

2 すべてのアプリケーションを終了します。

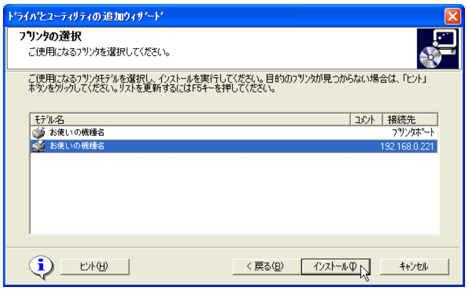
3 ［おすすめインストール（ネットワーク接続用）］をクリックします。



4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は［同意します］をクリックし、［次へ］をクリックします。

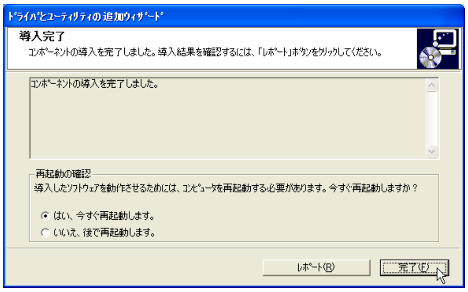


5 ネットワークプリンターの検索が始まります。選択画面が表示されたら、お使いの機種名を選択し、[インストール] をクリックします。



インストールが始まります。
プリンターが見つからず、選択画面に「プリンターポート」のみ表示される場合は、本機の IP アドレスが設定されていないか、パソコンと本機が別セグメントのネットワークにあります。本機の IP アドレスとネットワーク環境を確認してからインストールしてください。または、選択画面で「プリンターポート」を選択してインストールしてください。この場合は、Ridoc IO Navi はインストールされないので、プリンタードライバーのインストール後に Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi をインストールし、ポートを設定してください。

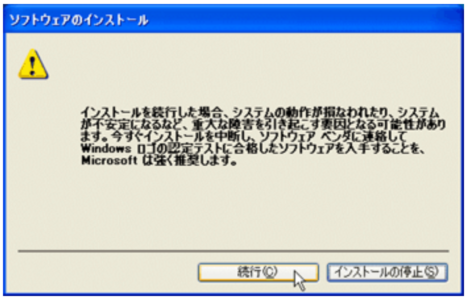
6 [完了] をクリックします。



プリンタードライバーと、操作ガイド、Ridoc IO Navi のインストールが完了しました。

補足

- CD-ROM をセットすると、[ドライバー & ユーティリティー] 画面が表示されます。表示されない場合は、[マイコンピュータ] または [エクスプローラ] から CD-ROM ドライブを開き、[Setup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。
- 「コンピューターを再起動してください」のメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。
- インストールが完了すると、デスクトップに操作ガイドのアイコンが登録されます。
- プリンタードライバーが正しくインストールされたことを確認するためには、本機の [電源] キーが点灯していることを確認し、印字テストを行ってください。
- インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、[はい] または [続行] を選択して、インストールを続行してください。



参照

- プリンタードライバーのみをインストールする方法については、P.70 「プリンタードライバーをインストールする(ネットワーク接続用)」を参照してください。
- プリンターを共有する方法については、P.59 「プリンターを共有する」を参照してください。

2

プリンタードライバーをインストールする（ネットワーク接続用）

ポート別にプリンタードライバーをインストールする方法について説明します。

Ridoc IO Navi ポートを使う（TCP/IP）

TCP/IP で印刷する場合の設定方法です。Ridoc IO Navi ポートを使用するには、Ridoc IO Navi がクライアントコンピューターにインストールされている必要があります。

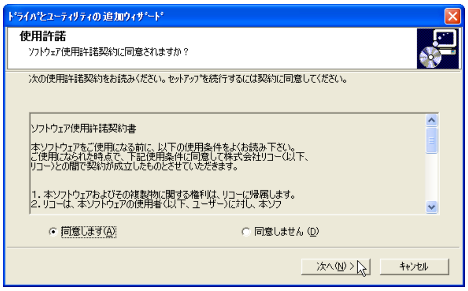
重要

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。

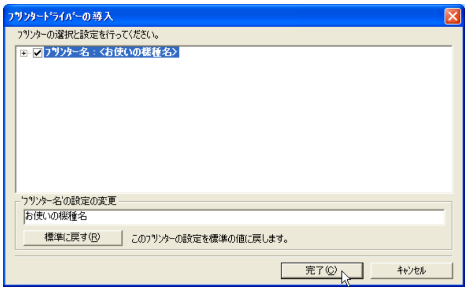
1. Windows を起動して、付属の CD-ROM「ドライバー& ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
2. すべてのアプリケーションを終了します。
3. ［プリンタードライバー］をクリックします。



4. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は［同意します］をクリックし、［次へ］をクリックします。

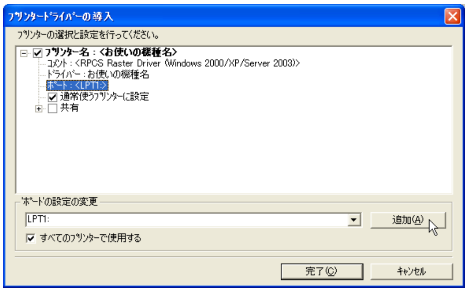


5 「プリンター名」の横の+をクリックします。

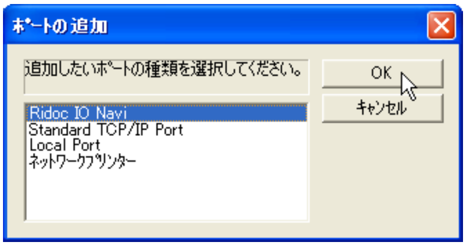


［コメント］、［ドライバー］、［ポート］は、ご使用の OS、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

6 ［プリンター名］の下の［ポート：＜ LPT1: ＞］を選び、［追加］をクリックします。



7 「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。



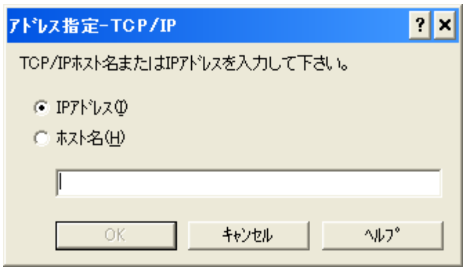
8 「プロトコル選択」の［TCP/IP］をクリックし、［機器検索］をクリックします。

TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

2

9 印刷するプリンターをクリックして選択し、[OK] をクリックします。

ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、プリンターの IP アドレスを直接入力してください。



10 選択したプリンターのポートが［ポート］に表示されていることを確認します。

11 [共有] の横の+をクリックし、共有の設定を展開します。

Windows NT 4.0、Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 では、代替ドライバーのチェックボックスが表示されます。インストールしたい代替ドライバーにチェックを付けると、インストールできます。

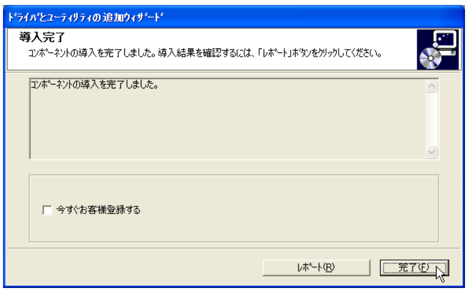
12 プリンターを共有する場合は、[共有] の左のチェックボックスにチェックを付けます。

13 必要に応じて、通常使うプリンターの設定をします。

14 [完了] をクリックします。

プリンタードライバーのインストールが始まります。

15 インストールの完了を確認し、インターネットでお客様登録を行う場合は、[今すぐお客様登録する] をチェックしてから [完了] をクリックします。

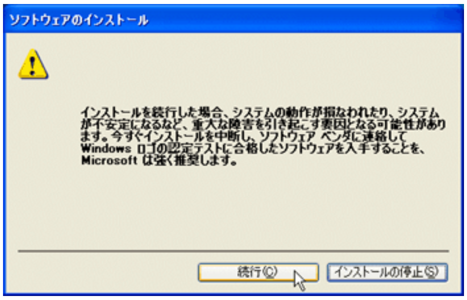


16 手順 15 で [今すぐお客様登録する] をチェックした場合は、インターネットに接続し、[お客様登録] ページが表示されますので、ページの指示にしたがって登録を行います。

インターネットに接続している場合に利用できます。
インターネットの通信料金がかかります。
インターネットでご登録される場合、お客様登録はがきの送付は不要です。

補足

- CD-ROM をセットすると、[ドライバー & ユーティリティー] 画面が表示されます。表示されない場合は、[マイコンピュータ] または [エクスプローラ] から CD-ROM ドライブを開き、[Setup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。
- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windows を再起動してください。
- インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、[はい] または [続行] を選択して、インストールを続行してください。



参照

- 「新しいドライバーが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.413 「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照して、インストールしなおしてください。
- P.94 「Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi をインストールする」

Ridoc IO Navi ポートを使う（IPP）

IPP で印刷する場合の設定方法です。Ridoc IO Navi ポートを使用するには、Ridoc IO Navi がクライアントコンピューターにインストールされている必要があります。

重要

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 **Windows を起動して、付属の CD-ROM「ドライバー& ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

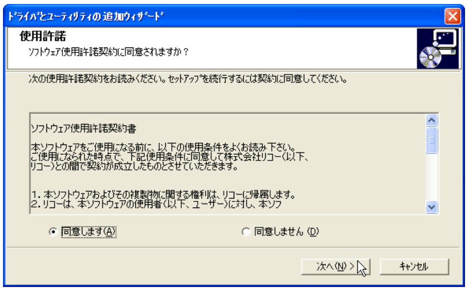
2 **すべてのアプリケーションを終了します。**

2

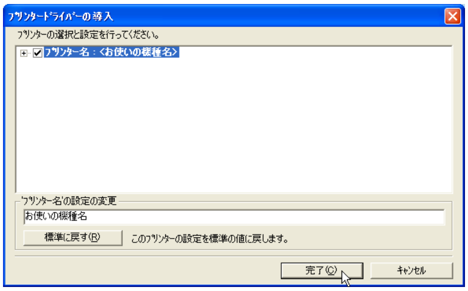
3 [プリンタードライバー]をクリックします。



4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は[同意します]をクリックし、[次へ]をクリックします。



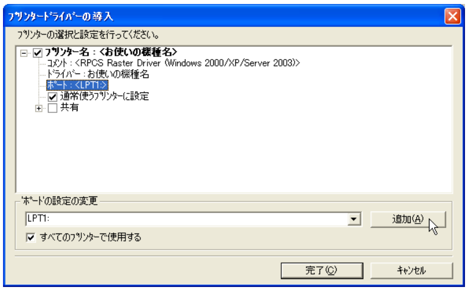
5 「プリンター名」の横の+をクリックします。



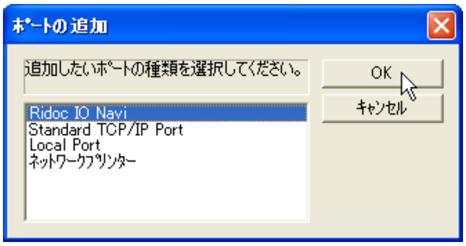
[コメント]、[ドライバー]、[ポート]は、ご使用のOS、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

2

6 ［プリンター名］の下の［ポート：< LPT1: >］を選び、［追加］をクリックします。



7 「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。



8 「プロトコル選択」の［IPP］をクリックします。

「プリンタ選択」に、IPP を設定するための入力画面が表示されます。

9 ［プリンタの URL］に「http://（本機のアドレス）/ipp.cgi」のように入力します。

10 必要に応じて［IPP ポート名］に本機を区別するための名前を入力します。すでにある他の IPP ポート名と違う名前を入力してください。

入力を省略すると、［プリンタの URL］に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

11 プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックして必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。

12 ［OK］をクリックします。

［ポートの追加］ダイアログが閉じます。

13 選択したプリンターのポートが［ポート］に表示されていることを確認します。

14 ［共有］の横の+をクリックし、共有の設定を展開します。

Windows NT 4.0、Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 では、代替ドライバーのチェックボックスが表示されます。インストールしたい代替ドライバーにチェックを付けると、インストールできます。

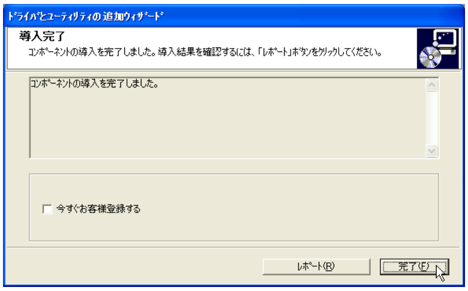
15 **本機を共有する場合は、［共有］の左のチェックボックスにチェックを付けます。**

16 **必要に応じて、通常使うプリンターの設定をします。**

17 **［完了］をクリックします。**

プリンタードライバーのインストールが始まります。

18 **インストールの完了を確認し、インターネットでお客様登録を行う場合は、［今すぐお客様登録する］をチェックしてから［完了］をクリックします。**

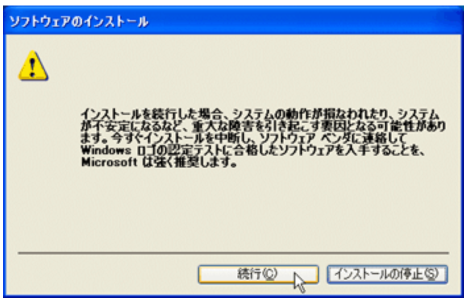


19 **手順 18 で［今すぐお客様登録する］をチェックした場合は、インターネットに接続し、［お客様登録］ページが表示されますので、ページの指示にしたがって登録を行います。**

インターネットに接続している場合に利用できます。
インターネットの通信料金がかかります。
インターネットでご登録される場合、お客様登録はがきの送付は不要です。

補足

- CD-ROM をセットすると、［ドライバー & ユーティリティー］画面が表示されます。表示されない場合は、［マイコンピュータ］または［エクスプローラ］から CD-ROM ドライブを開き、［Setup.exe］アイコンをダブルクリックしてください。
- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windows を再起動してください。
- インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、［はい］または［続行］を選択して、インストールを続行してください。



参照

- 「新しいドライバーが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.413 「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照して、インストールしなおしてください。
- P.94 「Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi をインストールする」

Ridoc IO Navi ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

重要

- Ridoc IO Navi ポートで本機を接続しているネットワークプリンターをご使用の場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。

◆ Windows 98/Me の場合

1) ［プリンタ］ウィンドウを表示します。
2) 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。
3) ［詳細］タブをクリックし、［ポートの設定］をクリックします。
［ポート］の設定画面が表示されます。

◆ Windows 2000/Windows NT 4.0 の場合

1) ［プリンタ］ウィンドウを表示します。
2) 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。
3) ［ポート］タブをクリックし、［ポートの構成］をクリックします。
［ポートの構成］の設定画面が表示されます。

◆ Windows XP、Windows Server 2003 の場合

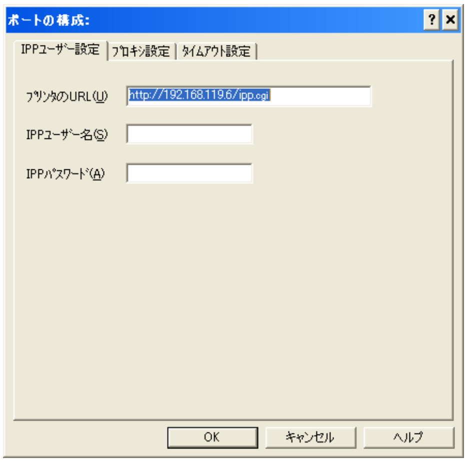
1) ［プリンタと FAX］ウィンドウを表示します。
2) 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。
3) ［ポート］タブをクリックします。
［ポート］の設定画面が表示されます。

◆ Windows Vista の場合

1) ［プリンタ］ウィンドウを表示します。
2) 印刷するプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。
3) ［ポート］タブをクリックし、［ポートの構成］をクリックします。
ポートの設定画面が表示されます。

補足

- ［代行印刷 / 並行印刷］タブの項目を設定できないときは、以下の手順にしたがってください。
  1) ［キャンセル］をクリックして、［ポート］の設定画面を閉じます。
  2) Ridoc IO Navi を起動し、タスクバーの Ridoc IO Navi アイコンを右クリックします。
  3) ［拡張機能設定］をクリックし、［代行 / 並行印刷をポート毎に設定する］にチェックを付けます。
  4) ［OK］をクリックして、［拡張機能設定］ダイアログを閉じます。
- IPP の場合、IPP ユーザー設定、プロキシ設定、タイムアウト設定ができます。



- Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

参照

- これらの設定については、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

Standard TCP/IP ポートを使う

本機とパソコンを TCP/IP でネットワーク接続している場合のインストール方法です。

重要

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 の場合、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

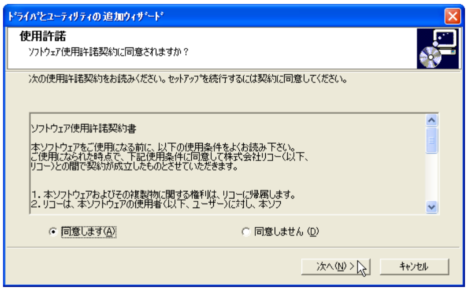
1 **Windows を起動して、付属の CD-ROM「ドライバー& ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

2 **すべてのアプリケーションを終了します。**

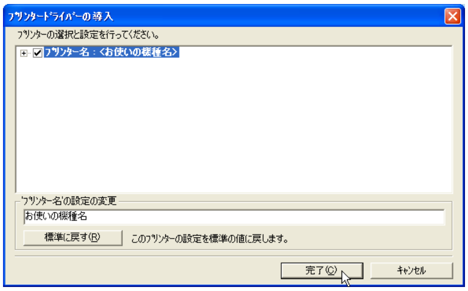
3 ［プリンタードライバー］をクリックします。



4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は［同意します］をクリックし、［次へ］をクリックします。



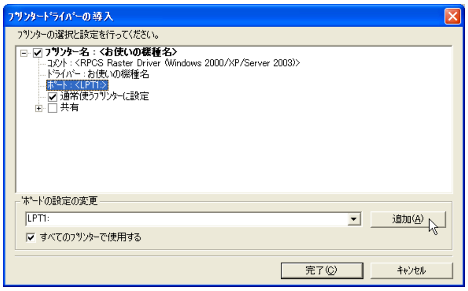
5 「プリンター名」の横の+をクリックします。



［コメント］、［ドライバー］、［ポート］は、ご使用の OS、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

2

6 [プリンター名]の下の[ポート:< LPT1: >]を選び、[追加]をクリックします。



7 「Standard TCP/IP Port」を選択し、[OK]をクリックします。



8 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、[次へ]をクリックします。

9 [プリンタ名または IP アドレス]ボックスにプリンター名、または本機のアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

10 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、[完了]をクリックします。

11 選択したプリンターのポートが[ポート]に表示されていることを確認します。

12 [共有]の横の+をクリックし、共有の設定を展開します。

Windows NT 4.0、Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 では、代替ドライバーのチェックボックスが表示されます。インストールしたい代替ドライバーにチェックを付けると、インストールできます。

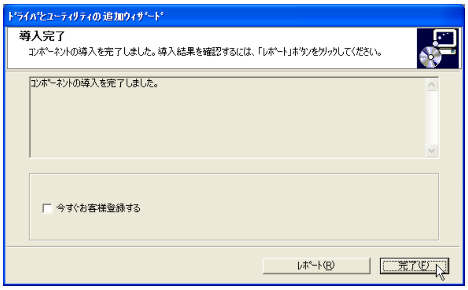
13 プリンターを共有する場合は、[共有]の左のチェックボックスにチェックを付けます。

14 必要に応じて、通常使うプリンターの設定をします。

15 [完了]をクリックします。

プリンタードライバーのインストールが始まります。

16 **インストールの完了を確認し、インターネットでお客様登録を行う場合は、［今すぐお客様登録する］をチェックしてから［完了］をクリックします。**

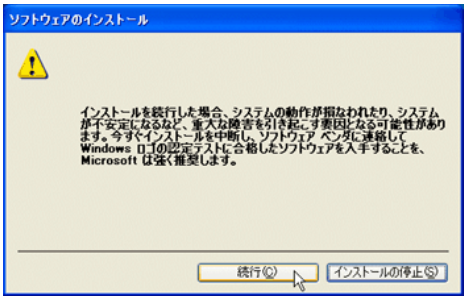


17 **手順 16 で［今すぐお客様登録する］をチェックした場合は、インターネットに接続し、［お客様登録］ページが表示されますので、ページの指示にしたがって登録を行います。**

インターネットに接続している場合に利用できます。
インターネットの通信料金がかかります。
インターネットでご登録される場合、お客様登録はがきの送付は不要です。

補足

- CD-ROM をセットすると、［ドライバー & ユーティリティー］画面が表示されます。表示されない場合は、［マイコンピュータ］または［エクスプローラ］から CD-ROM ドライブを開き、［Setup.exe］アイコンをダブルクリックしてください。
- インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、［はい］または［続行］を選択して、インストールを続行してください。



- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windows を再起動してください。

参照

- 「新しいドライバーが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.413「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照して、インストールしなおしてください。

LPR ポートを使う

本機とパソコンを TCP/IP でネットワーク接続している場合のインストール方法です。

重要

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。

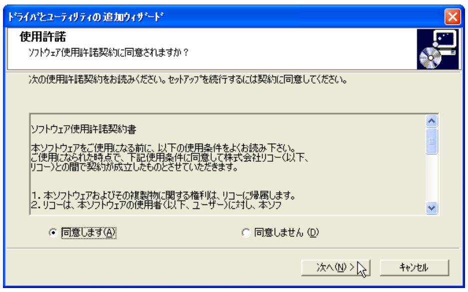
1. Windows を起動して、付属の CD-ROM「ドライバー& ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

2. すべてのアプリケーションを終了します。

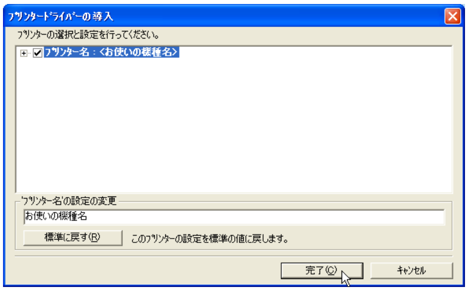
3. ［プリンタードライバー］をクリックします。



4. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は［同意します］をクリックし、［次へ］をクリックします。

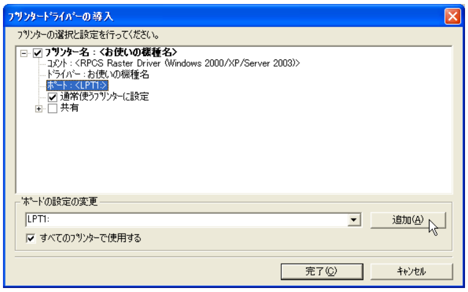


5 「プリンター名」の横の+をクリックします。



[コメント]、[ドライバー]、[ポート]は、ご使用の OS、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

6 [プリンター名]の下の[ポート：< LPT1: >]を選び、[追加]をクリックします。



7 「LPR Port」を選択し、[OK]をクリックします。



「LPR Port」が表示されない場合は、Windows のヘルプを参照して組み込んでください。

8 [LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス]ボックスに、本機のアドレスを入力します。

TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

9 [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名]ボックスに「lp」と入力し、[OK]をクリックします。

ポートが追加されます。

10 選択したプリンターのポートが[ポート]に表示されていることを確認します。

11 **［共有］の横の+をクリックし、共有の設定を展開します。**

Windows NT 4.0、Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 では、代替ドライバーのチェックボックスが表示されます。インストールしたい代替ドライバーにチェックを付けると、インストールできます。

12 **プリンターを共有する場合は、［共有］の左のチェックボックスにチェックを付けます。**

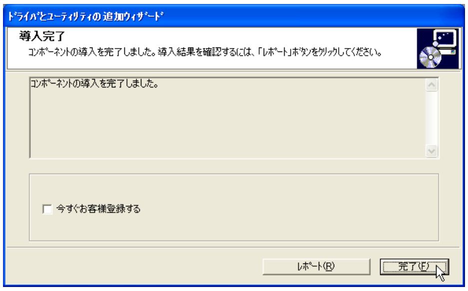
2

13 **必要に応じて、通常使うプリンターの設定をします。**

14 **［完了］をクリックします。**

プリンタードライバーのインストールが始まります。

15 **インストールの完了を確認し、インターネットでお客様登録を行う場合は、［今すぐお客様登録する］をチェックしてから［完了］をクリックします。**

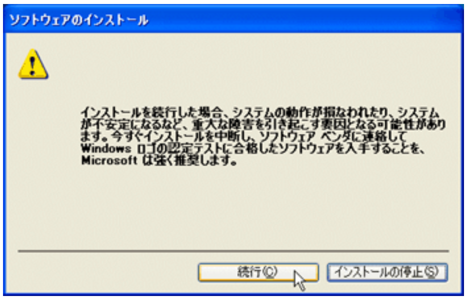


16 **手順 15 で［今すぐお客様登録する］をチェックした場合は、インターネットに接続し、［お客様登録］ページが表示されますので、ページの指示にしたがって登録を行います。**

インターネットに接続している場合に利用できます。
インターネットの通信料金がかかります。
インターネットでご登録される場合、お客様登録はがきの送付は不要です。

補足

- CD-ROM をセットすると、[ドライバー & ユーティリティー]画面が表示されます。表示されない場合は、[マイコンピュータ]または[エクスプローラ]から CD-ROM ドライブを開き、[Setup.exe]アイコンをダブルクリックしてください。
- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windows を再起動してください。
- インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、[はい]または[続行]を選択して、インストールを続行してください。



参照

- 「新しいドライバーが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.413「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照して、インストールしなおしてください。

Windows ネットワークプリンターを使う

ここでは、クライアントが Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 のプリントサーバーと通信できるように設定されていることを前提にしています。以下の手順を実行する前に、必ずクライアントをセットアップし、正しく設定してください。

Windows ネットワークプリンターを使う場合は、プリンタードライバーに「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windows ネットワーク上の共有プリンターを選択します。

重要

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Ridoc IO Navi ポートで本機を接続しているネットワークプリンターをご使用の場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。
- Windows XP/Vista、Windows Server 2003 の共有プリンターの場合、クライアントに印刷通知が行われない場合があります。
- 共有プリンターが Windows NT 4.0 の場合は、共有プリンターに接続する前にプリンタードライバーをインストールしておいてください。

2

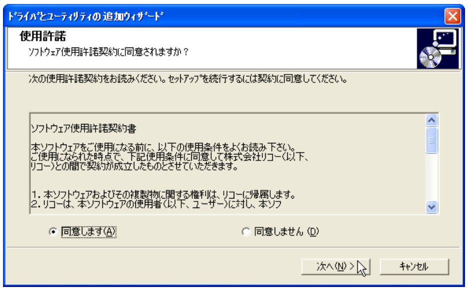
1 Windows を起動して、付属の CD-ROM「ドライバー& ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

2 すべてのアプリケーションを終了します。

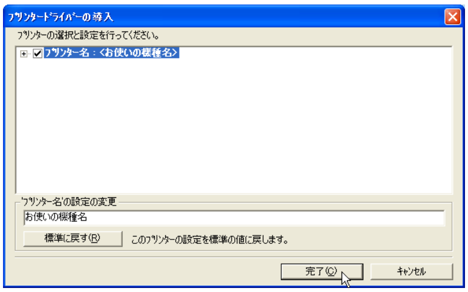
3 ［プリンタードライバー］をクリックします。



4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は［同意します］をクリックし、［次へ］をクリックします。

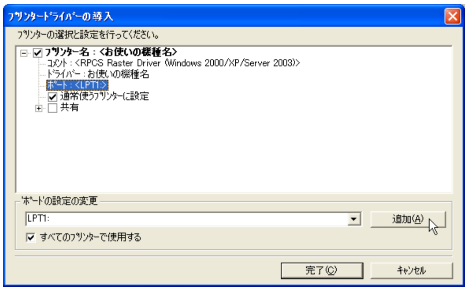


5 「プリンター名」の横の+をクリックします。



［コメント］、［ドライバー］、［ポート］は、ご使用の OS、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

6 ［プリンター名］の下の［ポート：＜ LPT1: ＞］を選び、［追加］をクリックします。



7 ［ネットワークプリンター］を選択し、［OK］をクリックします。



8 ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。

9 印刷するプリンターを選択し、［OK］をクリックします。

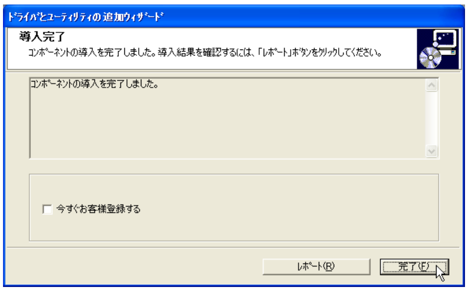
10 ［ポート :］に選択したプリンターのパスが表示されていることを確認します。

11 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

12 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

13 インストールの完了を確認し、インターネットでお客様登録を行う場合は、［今すぐお客様登録する］をチェックしてから［完了］をクリックします。



2

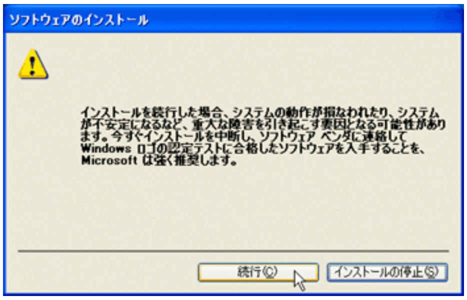
14 手順 13 で［今すぐお客様登録する］をチェックした場合は、インターネットに接続し、［お客様登録］ページが表示されますので、ページの指示にしたがって登録を行います。

インターネットに接続している場合に利用できます。
インターネットの通信料金がかかります。
インターネットでご登録される場合、お客様登録はがきの送付は不要です。

2

補足

- インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windows を再起動してください。
- インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、［はい］または［続行］をクリックし、インストールを続行してください。



参照

- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.413「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールしなおしてください。
- Windows ネットワークプリンターが正しく設定されていないと、インストールを続けることができません。インストールをキャンセルしてから、P.59「サーバー側を設定する」を参照してWindows ネットワークプリンターを設定してください。

TWAIN ドライバーをインストールする

TWAIN ドライバーのみをインストールします。TWAIN スキャナーを使用するには、TWAIN ドライバーがクライアントコンピューターにインストールされている必要があります。

重要

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。

2

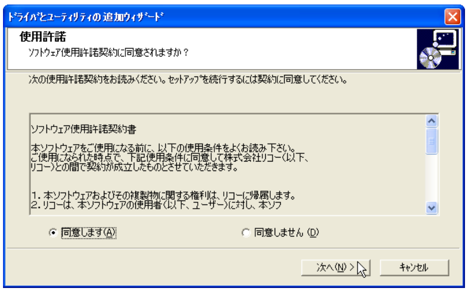
1. Windows を起動して、付属の CD-ROM「ドライバー& ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

2. すべてのアプリケーションを終了します。

3. [TWAIN ドライバー （ネットワーク接続用)］をクリックします。

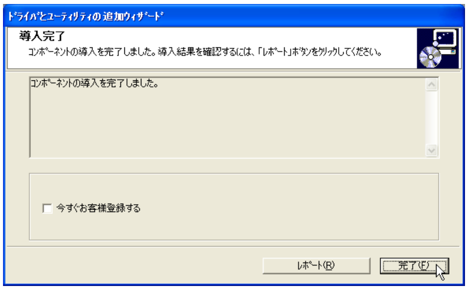


4. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は［同意します］をクリックし、次へをクリックします。



5. 本機の IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

6 インストールの完了を確認し、インターネットでお客様登録を行う場合は、[今すぐお客様登録する]をチェックしてから[完了]をクリックします。



7 手順 6 で[今すぐお客様登録する]をチェックした場合は、インターネットに接続し、[お客様登録]ページが表示されますので、ページの指示にしたがって登録を行います。

インターネットに接続している場合に利用できます。
インターネットの通信料金がかかります。
インターネットでご登録される場合、お客様登録はがきの送付は不要です。

補足

- CD-ROM をセットすると、[ドライバー & ユーティリティー]画面が表示されます。表示されない場合は、[マイコンピュータ]または[エクスプローラ]から CD-ROM ドライブを開き、[Setup.exe]アイコンをダブルクリックしてください。
- インストールを始める前に TWAIN ドライバーの動作環境を確認してください。詳しい動作環境については、「RICOH TWAIN ドライバー」を参照してください。
- インストールが終了したときに、クライアントコンピューターを再起動するように指示するメッセージが表示されることがあります。この場合は、クライアントコンピューターを再起動してから操作を続けてください。

参照

- P.527 「RICOH TWAIN ドライバー」

[インターフェース切り換え] を設定する

TWAIN ドライバーのインターフェース設定を行います。

1 **アプリケーションから TWAIN ドライバーを起動します。**

2 **[ネットワーク] と [自動] にチェックをつけて、[検索] をクリックします。**



クライアントコンピューターとネットワーク接続しているマシンを検索します。
[指定] にチェックをつけた場合は直接本機の IP アドレスを入力し、[接続] をクリックします。[指定] にチェックをつけた場合手順 4 に進んでください。

3 **ドロップダウンメニューから本機の IP アドレスを選択し、[接続] をクリックします。**

4 **[OK] をクリックします。**

確認画面を閉じます。

参照

- TWAIN ドライバーの詳細については、TWAIN ドライバーのヘルプを参照してください。

2

PC FAX ドライバーをインストールする

PC FAX ドライバーのみをインストールします。PC ファクスを使用するには、PC FAX ドライバーがクライアントコンピューターにインストールされている必要があります。

重要

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 の場合、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Windows NT4.0 には、PC FAX ドライバーをインストールすることができません。

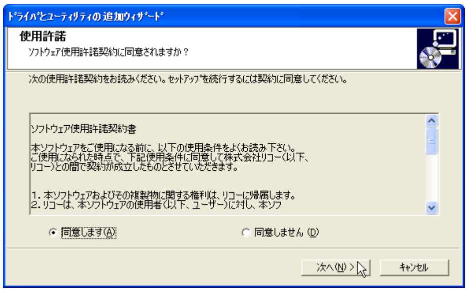
1 Windows を起動して、付属の CD-ROM「ドライバー& ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

2 すべてのアプリケーションを終了します。

3 [PC FAX ドライバー （ネットワーク接続用）] をクリックします。

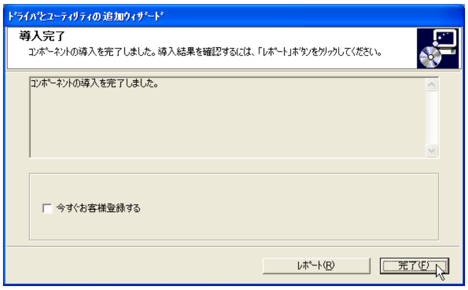


4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。



5 本機の IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

6 インストールの完了を確認し、インターネットでお客様登録を行う場合は、[今すぐお客様登録する] をチェックしてから [完了] をクリックします。



7 手順 6 で [今すぐお客様登録する] をチェックした場合は、インターネットに接続し、[お客様登録] ページが表示されますので、ページの指示にしたがって登録を行います。

インターネットに接続している場合に利用できます。
インターネットの通信料金がかかります。
インターネットでご登録される場合、お客様登録はがきの送付は不要です。

補足

- CD-ROM をセットすると、[ドライバー & ユーティリティー] 画面が表示されます。表示されない場合は、[マイコンピュータ] または [エクスプローラ] から CD-ROM ドライブを開き、[Setup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

2

Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi をインストールする

Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi のみをインストールします。

重要

- ご使用の OS が Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 の場合、管理者権限が必要です。Administratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。

Ridoc IO Navi のインストール方法は、次の 2 種類があります。

◆ **フルインストール**

全てのモジュールをインストールします。

◆ **カスタムインストール**

モジュールごとにインストールします。

ここでは、「フルインストール」での説明をしています。

1 Windows を起動して、付属の CD-ROM「ドライバー& ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

2 すべてのアプリケーションを終了します。

3 [Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi] をクリックします。

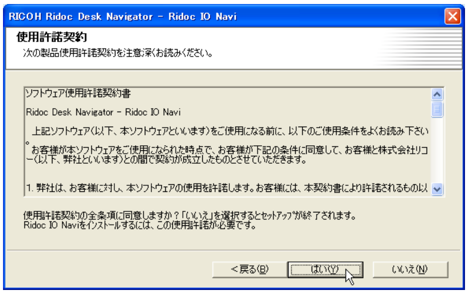


Ridoc IO Navi のインストーラーが起動します。

4 [次へ] をクリックします。



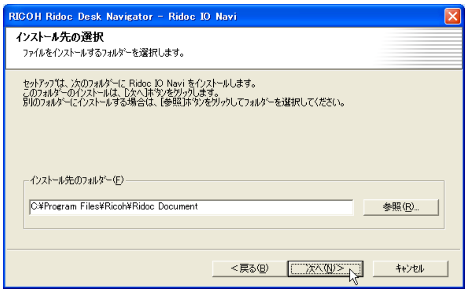
5 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は［はい］をクリックします。



6 ［フルインストール］をクリックします。



7 インストール先を選択し、［次へ］をクリックします。



8 「ショートカット」の登録をします。

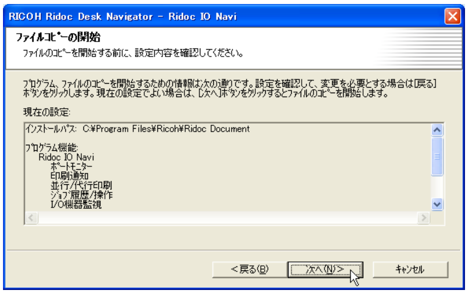
必要に応じて、作成する「ショートカット」を選択し、［次へ］をクリックします。



2

2

9 設定内容を確認し、［次へ］をクリックします。



10 ［完了］をクリックします。



「コンピューターを再起動してください」のメッセージが表示された場合は、パソコンを再起動してください。

補足

- CD-ROM をセットすると、［ドライバー & ユーティリティー］画面が表示されます。表示されない場合は、［マイコンピュータ］または［エクスプローラ］から CD-ROM ドライブを開き、［Setup.exe］アイコンをダブルクリックしてください。

ネットワーク接続するときの注意

ネットワーク接続するときの注意事項です。

DHCP を使用する

本機を DHCP 環境で使用することができます。

重要

- ネットワークに ISDN 回線を接続している環境で DHCP リレーエージェントを使用した場合、本機からパケットが送出されるたびに ISDN 回線が接続され、多大な通信料がかかることがあります。
- DHCP 環境で本機の IP アドレスを自動取得に設定したのに Auto-IP（169.254.xxx.xxx) で動作している場合は、DHCP サーバーから IP アドレスを正しく取得できていないか、または IP アドレスが重複している可能性があります。ネットワーク管理者の方に確認してください。

補足

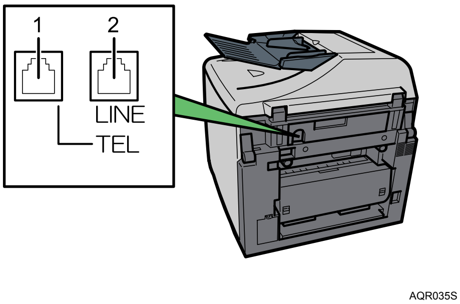
- 動作対象の DHCP サーバーは、Windows 2000 Server 日本語版、Windows Server 2003 日本語版、Windows NT Server 4.0 日本語版、および UNIX に標準添付されている DHCP サーバーです。
- 毎回同じ IP アドレスが割り当てられるように、本機に割り当てる IP アドレスを DHCP サーバーで予約してください。
- 複数の DHCP サーバーが存在する場合は、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。

電話線を接続する

電話回線と外付け電話機の接続方法について説明します。

重要

- ここでは一般的な接続例を紹介しています。接続例以外の方法で接続したい場合は、サービス実施店に連絡してください。また、お使いの環境によっては、ファクスがご使用できない場合があります。
- 間違った接続をするとファクスの送受信ができなかったり、他の機器に悪影響を与える可能性が有ります。
- IP 電話でのファクス送受信は、設置する環境によって回線の品質が左右されることが多く、送受信時にデータが一部途切れる可能性があるため、動作保証できません。
- NTT とモデムダイヤルイン／ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしている場合、本機のユーザーパラメーター設定で「呼出し信号誤検出防止機能」を「防止する」に設定してください。「防止する」に設定しないと FAX 受信ができなくなります。



1. 外付け電話機接続端子（TEL）
2. 電話回線接続端子（LINE）

補足

- 電話回線接続端子には「LINE」、外付け電話機接続端子には「TEL」の刻印がされています。確認をしてから接続してください。
- 本機は、G3 回線のみをサポートしています。

参照

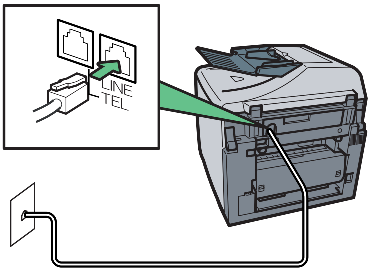
- P.178 「発信元の情報を登録する」
- P.134 「ユーザーパラメーター設定」

一般電話回線に接続する場合

一般電話回線に接続する方法について説明します。

ファクス専用として使う場合

すべての呼び出しに対してファクスで受信します。呼出音は鳴りません。



AQR036S

電話線はコネクターカバーを開けて、「LINE」側に接続してください。
受信モードを「ファクス専用」に設定してください。
電話回線の種別を「外線」に設定してください。

補足

- 外付け電話機を取り付ける場合は、「TEL」側に接続してください。
- 各種サービスの提供を受けている電話回線は、ファクス用に使用できない場合があります。詳しくはサービスを提供している電話会社にお問合せください。

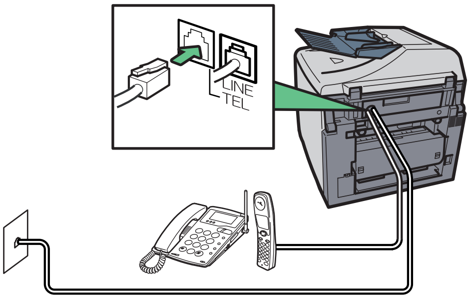
参照

- P.106 「電話回線の種別を設定する」
- P.173 「受信機能の設定をする」
- P.354 「ファクス専用（ファクスセンヨウ）」

2

本機に電話機を取り付ける場合

本機に外付け電話機を接続できます。本機に接続した電話機で電話をかけたり、受けたりできます。



AQR038S

外付け電話機はコネクターカバーを開けて、「TEL」側に接続してください。
受信モードを「電話優先」、「手動」のいずれかに設定してください。
電話回線の種別を「外線」に設定してください。

♦ 留守番電話機を取り付ける場合

外付け電話機として留守番電話機を接続する場合、受信モードを「電話優先」に設定し、留守番電話検出時間とファクス検出時間の設定を行ってください。

補足

- 電話線は「LINE」側に接続してください。
- 外付け電話機の性能によっては、接続できなかったり機能の一部が使えなくなることがあります。

参照

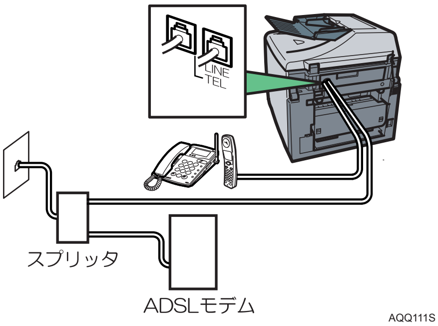
- P.105 「受信モードを設定する」
- P.106 「電話回線の種別を設定する」
- P.173 「受信機能の設定をする」
- P.352 「自動（ジドウ）」
- P.352 「手動（シュドウ）」
- P.354 「電話優先（デンワユウセン）」

ADSL 環境に接続する場合

本機を ADSL 環境に接続する方法について説明します。

重要

- この接続は代表例であり、すべての接続を保証するものではありません。詳しい設定・接続方法に関しては、スプリッタ・ADSL モデムの取扱説明書を参照してください。
- ブランチ接続（並列接続）はしないでください。一つの電話回線に複数台の電話機を接続すると、送信した画像品質が低下したり、正しくファクスの送信や受信ができないなど、通信エラーの原因となります。



電話線を「LINE」側に、外付け電話機を「TEL」側に接続してください。
電話回線の種別を「外線」に設定してください。

補足

- スプリッタと ADSL モデムが一体のものもあります。その場合は新たにスプリッタを介する必要はありません。

参照

- P.105 「受信モードを設定する」
- P.106 「電話回線の種別を設定する」
- P.173 「受信機能の設定をする」
- P.352 「自動（ジドウ）」
- P.352 「手動（シュドウ）」
- P.354 「電話優先（デンワユウセン）」

ISDN 環境に接続する場合

本機を ISDN 環境に接続する方法について説明します。

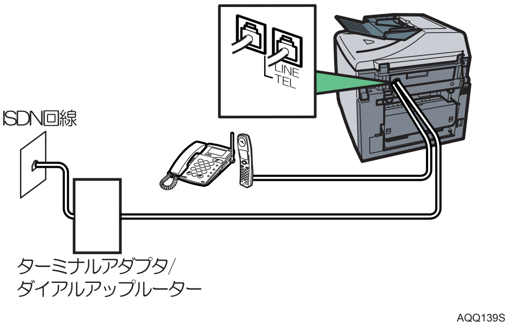
重要

- ISDN 回線への直接接続には対応していません。
- 詳しい説明については、ターミナルアダプタ、またはダイヤルアップルータの取扱説明書を参照してください。

2

電話番号が 1 つの場合

電話番号が 1 つの場合は、電話とファクスを同時に使用できません。



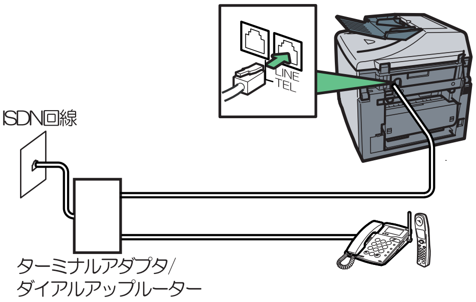
電話線を「LINE」側に、外付け電話機を「TEL」側に接続してください。
受信モードを「ファクス専用」、「電話優先」、「手動」のいずれかに設定してください。
電話回線の種別を「外線」に設定してください。

参照

- P.105 「受信モードを設定する」
- P.106 「電話回線の種別を設定する」
- P.173 「受信機能の設定をする」
- P.352 「自動（ジドウ）」
- P.352 「手動（シュドウ）」
- P.354 「電話優先（デンワユウセン）」

電話番号が 2 つの場合

電話番号が 2 つの場合は、ファクス通信中に電話を使用することができます。



電話線はコネクターカバーを開けて、「LINE」側に接続してください。
受信モードを「ファクス専用」に設定してください。
電話回線の種別を「外線」に設定してください。

補足

- ターミナルアダプタ、またはダイアルアップルータのファクス番号が割り当てられているポートに本機を接続してください。

参照

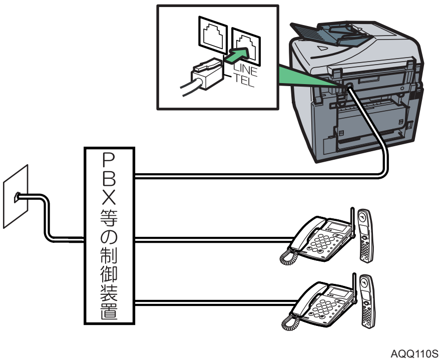
- P.105 「受信モードを設定する」
- P.106 「電話回線の種別を設定する」
- P.173 「受信機能の設定をする」
- P.352 「自動（ジドウ）」

構内交換機（PBX）の内線に本機を接続する場合

構内交換機（PBX）の内線に本機を接続する方法について説明します。

重要

- 構内交換機（PBX）の内線に本機を接続する場合、構内交換機（PBX）主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更してください。設定を変更しないと本機をご利用になれません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご連絡ください。



電話線はコネクターカバーを開けて、「LINE」側に接続してください。
受信モードを「ファクス専用」に設定してください。
電話回線の種別を「内線」に設定してください。

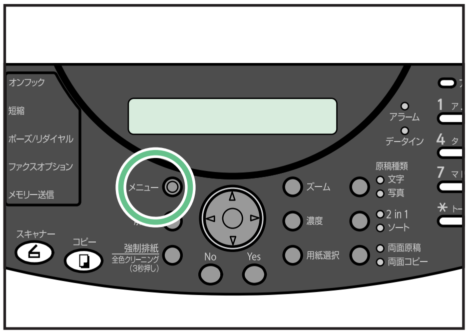
参照

- P.105 「受信モードを設定する」
- P.106 「電話回線の種別を設定する」
- P.108 「加入電話回線（外線)、自営構内回線（内線）の種別を選択する」
- P.173 「受信機能の設定をする」
- P.352 「自動（ジドウ)」

受信モードを設定する

お使いの環境に合わせて、ファクスの受信モードを設定します。

1 **操作部の［メニュー］キーを押します。**



AQQ030S

2 **［▲］［▼］キーを押して、［ジュシンセッテイ］を選択し、［Yes］キーを押します。**

```
ジュシンセッテイ?                ▲
 OK=Yes / マタハ 1-9            ▼
```

3 **［▲］［▼］キーを押して、［ジュシンモード］を選択し、［Yes］キーを押します。**

```
5 ジュシンモード?                ▲
 OK=Yes                          ▼
```

4 **［◀］［▶］キーを押して、設定したい受信モードを選択し、［Yes］キーを押します。**

［◀］［▶］キーを押すごとに＊マークが移動します。

```
◀ *ファクスセンヨウ    デンワユウセン
 ◀,▶  &  Yes
```

受信設定画面が表示されます。

［No］キーを押すと通常の画面が表示されます。

補足

- 工場出荷時は「ファクスセンヨウ」に設定されています。

参照

- P.352 「受信モードの種類」
- P.173 「受信機能の設定をする」

電話回線の種別を設定する

電話回線の種別を設定します。
電話回線にはプッシュ回線とダイヤル回線があります。またダイヤル回線には 10PPS と 20PPS の 2 種類があり、地域によって異なります。

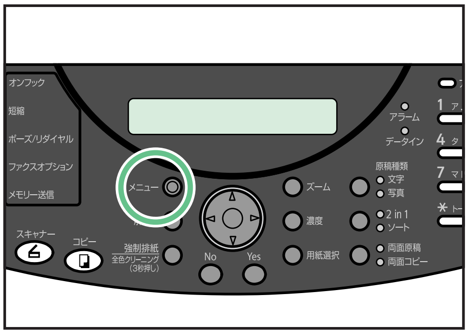
補足

- NTT の回線を利用していて回線の種類がわからないときは、NTT にお問い合わせください。正しく設定しないと、受信はできますが、送信できないことがあります。
- 加入電話回線（外線）の種類がわからないときは、[カイセン セッテイ] の設定を「プッシュ」にして、177（天気予報）などにオンフックでダイヤルしてみます。正しくつながったときは「プッシュ回線」です。また、自営構内回線（内線）の種類がわからないときも同様に、G3 アナログ回線の「ダイヤル / プッシュ選択」の設定を「プッシュ」にして、内線の電話番号などにオンフックでダイヤルしてみます。正しくつながったときはプッシュ回線です。つながらなかったときは「20PPS」に設定して、同じようにオンフックでダイヤルしてみます。正しくつながったときは 20PPS、つながらなかったときは 10PPS です。

[プッシュ] を選択する

電話回線の種別にプッシュ回線を指定します。

1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AQQ030S

2 [▲] [▼] キーを押して、[カイセン セッテイ] を選択し、[Yes] キーを押します。

```
カイセン　セッテイ？　　　　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１－２　▼
```

3 [▲] [▼] キーを押して、[ダイヤル / プッシュ] を選択し、[Yes] キーを押します。

```
１　ダイヤル／プッシュ？　　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　　▼
```

4 **[◀] [▶] キーを押して、[プッシュ] を選択し、[Yes] キーを押します。**

[◀] または [▶] キーを押すごとに＊マークが移動します。

＊プッシュ　　　ダイヤル 　◀,▶　＆　Ｙｅｓ

受信設定画面が表示されます。

[No] キーを押すと、初期画面に戻ります。

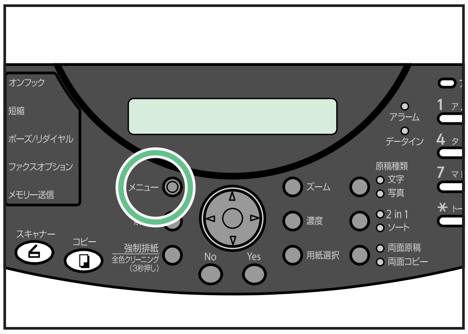
参照

・P.176「電話回線の設定をする」

[ダイヤル] を選択する

電話回線の種別にダイヤルを指定します。

1 **操作部の [メニュー] キーを押します。**



AQQ030S

2 **[▲] [▼] キーを押して、[カイセン セッテイ] を選択し、[Yes] キーを押します。**

カイセン　セッテイ？　　　　　▲ 　ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１－２　▼

3 **[▲] [▼] キーを押して、[ダイヤル / プッシュ] を選択し、[Yes] キーを押します。**

１　ダイヤル／プッシュ？　　　▲ 　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　▼

4 **[◀] [▶] キーを押して、[ダイヤル] を選択し、[Yes] キーを押します。**

[◀] または [▶] キーを押すごとに＊マークが移動します。

＊プッシュ　　　ダイヤル 　◀,▶　＆　Ｙｅｓ

5 ［◀］［▶］キーを押して、［10pps］、または［20pps］を選択し、［Yes］キーを押します。

```
＊10pps       20pps
 ◀,▶  &  Yes
```

受信設定画面が表示されます。

［No］キーを押すと、初期画面に戻ります。

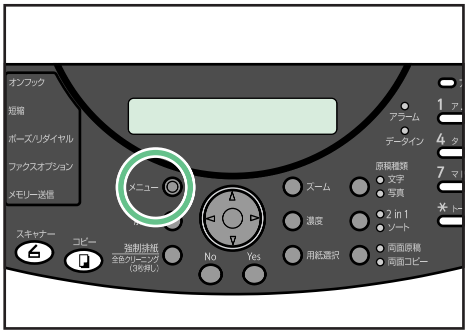
参照

・P.176 「電話回線の設定をする」

加入電話回線（外線）、自営構内回線（内線）の種別を選択する

加入電話回線で本機をご利用の場合は「ガイセン」を指定し、自営内回線で本機をご利用の場合は、「ナイセン」を指定してください。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

2 ［▲］［▼］キーを押して、［カイセン セッテイ］を選択し、［Yes］キーを押します。

```
カイセン セッテイ?          ▲
 OK=Yes / マタハ 1-2      ▼
```

3 ［▲］［▼］キーを押して、［ガイセン / ナイセン］を選択し、［Yes］キーを押します。

```
2 ガイセン/ナイセン?        ▲
 OK=Yes                  ▼
```

4 **[◀] [▶] キーを押して、[ガイセン]、または [ナイセン] を選択し、[Yes] キーを押します。**

[ナイセン] を選択する場合は、手順 **5** に進んでください。

```
＊ガイセン　　ナイセン
　◀,▶　＆　Ｙｅｓ
```

回線設定画面が表示されます。

[No] キーを押すと、初期画面に戻ります。

2

5 **外線発信番号（ガイセンハッシン No.）をテンキーで入力します。**

登録できる数字の桁数は 4 桁です。

```
ガイセン　ハッシン　Ｎｏ．＝１２３４
ＯＫ＝Ｙｅｓ
```

回線設定画面が表示されます。

[No] キーを押すと、初期画面に戻ります。

補足

・工場出荷時は [ガイセン] に設定されています。

MetaFrame/Citrix Presentation Server を使用する場合

MetaFrame/Citrix Presentation Server を使用する場合の説明は、リコーのホームページでご覧いただけます。

http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/os/meta.html

用紙のセット方法

給紙トレイに使用できる用紙の種類や用紙のセット方法について説明しています。

使用できる用紙の種類

目的に合わせて、いろいろな種類の用紙が使用できます。

◆ **普通紙**
この用紙は、通常、コピーや印刷などに使用されます。ハイグレード普通紙や光沢紙とは異なり、コーティングされていません。

◆ **ハイグレード普通紙**
リコージェルジェットプリンター推奨ハイグレード普通紙タイプ E A4

◆ **光沢紙**
リコービジネスコートグロス 100 A4

◆ **専用 OHP シート**
リコージェルジェットプリンター専用 OHP シート A4 RM-1OF01

◆ **インクジェット郵便ハガキ**

◆ **郵便ハガキ**

◆ **封筒**
使用できる封筒の種類については、P.116 「用紙に関する注意」を参照してください。

◆ **厚紙**
使用できる厚紙の種類については、P.116 「用紙に関する注意」を参照してください。

補足

- 厚紙以外の用紙はトレイ 1 にセットして印刷できます。
- トレイ 2（オプション）にセットできる用紙は普通紙、ハイグレード普通紙です。

参照

- それぞれの用紙の取り扱いについては、P.116「用紙に関する注意」を参照してください。
- それぞれの用紙の印刷方法については、P.221 「用紙の種類に応じた印刷方法」を参照してください。
- コピー機能では、用紙によって対応している解像度が異なります。P.268 「解像度を調整する」

セットできる用紙サイズと枚数

各トレイにセットできる用紙のサイズ、枚数は次のとおりです。

トレイ 1

用紙種類	用紙サイズ	用紙枚数
普通紙 / ハイグレード普通紙 (フツウシ/ハイグレードフツウシ)	A4 (210 × 297 mm)(A4 タテ) A5 (210 × 148 mm)(A5 ヨコ) A6 (105 × 148 mm)(A6 タテ) B5 (182 × 257 mm)(B5 タテ) Letter ($8^{1}/_{2}$" × 11")(LT タテ) Legal ($8^{1}/_{2}$" × 14")(LG タテ) Half Letter ($8^{1}/_{2}$" × $5^{1}/_{2}$")(HL ヨコ) Executive ($7^{1}/_{4}$" × $10^{1}/_{2}$")(EXE L) F (8" × 13")(F タテ) Folio ($8^{1}/_{4}$" × 13")(FO) Foolscap ($8^{1}/_{2}$" × 13")(F4) 16 開 (195 × 267 mm) (16 カイタテ) 不定形サイズ (カスタム) 縦 140 から 356 mm、横 90 から 216 mm	給紙量:250 枚 排紙量:150 枚
光沢紙 (コウタクシ)	A4 (210 × 297 mm)(A4 タテ)	給紙量:250 枚 排紙量:1 枚
専用 OHP シート (OHP)	A4 (210 × 297 mm)(A4 タテ)	給紙量:1 枚 排紙量:1 枚
郵便ハガキ / インクジェット郵便ハガキ (ユウビンハガキ/インクジェットユウビンハガキ)	郵便ハガキ (100 × 148 mm) (ハガキ) 往復ハガキ (148 × 200 mm) (オウフクハガキ)	給紙量:70 枚 排紙量:70 枚
封筒 (フウトウ)	長形 3 号封筒(120 × 235 mm) (ENV#3) 長形 4 号封筒 (90 × 205 mm) (チョウケイ 4 (Env#4))	給紙量:30 枚 排紙量:30 枚

用紙種類	用紙サイズ	用紙枚数
封筒（フウトウ）	洋形 4 号封筒（105 × 235 mm） （ヨウケイ 4（YEnv#4）） Com10 Env.（$4^{1}/_{8}$" × $9^{1}/_{2}$"） （Com10 Env.） Monarch Env.（$3^{7}/_{8}$" × $7^{1}/_{2}$"） （Monarch Env.） C6 Env.（114 × 162 mm） （C6 Env.） C5 Env.（162 × 229 mm） （C5 Env.） DL Env.（110 × 220 mm） （DL Env.）	給紙量：20 枚 排紙量：20 枚

トレイ 2（オプション）

用紙種類	用紙サイズ	用紙枚数
普通紙 / ハイグレード普通紙 （フツウシ/ハイグレードフツウシ）	A4（210 × 297 mm）（A4 タテ） B5（182 × 257 mm）（B5 タテ） Letter（$8^{1}/_{2}$" × 11"）（LT タテ） Executive（$7^{1}/_{4}$" × $10^{1}/_{2}$"）（EXE L） F（8" × 13"）（F タテ） Folio（$8^{1}/_{4}$" × 13"）（FO） Foolscap（$8^{1}/_{2}$" × 13"）（F4） 16 開（195 × 267 mm） （16 カイタテ） 不定形サイズ（カスタム） 縦 210 から 356 mm、横 148 から 216 mm	給紙量：500 枚 排紙量：150 枚

手差しトレイ（オプション）

用紙種類	用紙サイズ	用紙枚数
普通紙 / ハイグレード普通紙 （フツウシ/ハイグレードフツウシ）	A4（210 × 297 mm）(A4 タテ) A5（210 × 148 mm）(A5 ヨコ) A6（105 × 148 mm）(A6 タテ) B5（182 × 257 mm）(B5 タテ) Letter（$8^{1}/_{2}$" × 11"）(LT タテ) Legal（$8\ ^{1}/_{2}$" × 14"）(LG タテ) Half Letter（$8^{1}/_{2}$" × $5^{1}/_{2}$"）(HL ヨコ) Executive（$7^{1}/_{4}$" × $10^{1}/_{2}$"）(EXE L) F（8" × 13"）(F タテ) Folio（$8^{1}/_{4}$" × 13"）(FO) Foolscap（$8^{1}/_{2}$" × 13"）(F4) 16 開（195 × 267 mm） （16 カイタテ） 不定形サイズ（カスタム） 縦 127 から 1296 mm、横 55 から 216 mm	給紙量：100 枚 排紙量：150 枚
光沢紙（コウタクシ）	A4（210 × 297 mm）(A4 タテ)	給紙量：100 枚 排紙量：1 枚
専用 OHP シート（OHP）	A4（210 × 297 mm）(A4 タテ)	給紙量：1 枚 排紙量：1 枚
郵便ハガキ / インクジェット郵便ハガキ （ユウビンハガキ/インクジェットユウビンハガキ）	郵便ハガキ（100 × 148 mm） （ハガキ） 往復ハガキ（148 × 200 mm） （オウフクハガキ）	給紙量：50 枚 排紙量：70 枚
封筒（フウトウ）	長形 3 号封筒（120 × 235 mm） （ENV#3） 長形 4 号封筒（90 × 205 mm） （チョウケイ 4（Env#4））	給紙量：10 枚 排紙量：30 枚

用紙種類	用紙サイズ	用紙枚数
封筒（フウトウ）	洋形 4 号封筒（105 × 235 mm）□ （ヨウケイ 4（YEnv#4）） Com10 Env.（4 1/8" × 9 1/2"）□ （Com10 Env.） Monarch Env.（3 7/8" × 7 1/2"）□ （Monarch Env.） C6 Env.（114 × 162 mm）□ （C6 Env.） C5 Env.（162 × 229 mm）□ （C5 Env.） DL Env.（110 × 220 mm）□ （DL Env.）	給紙量：10 枚 排紙量：20 枚
厚紙（アツガミ）		給紙量：20 枚 排紙量：20 枚

補足

- 手差しトレイ（オプション）からの光沢紙の給紙は、コピー機能では対応していません。
- 不定形サイズの用紙はすべてタテ方向にセットしてください。
- 厚紙は、135 kg 紙（163 g/m^2）を超える用紙です。

参照

- セットできる原稿のサイズと種類については、P.239 「原稿をセットする」を参照してください。

2

用紙に関する注意

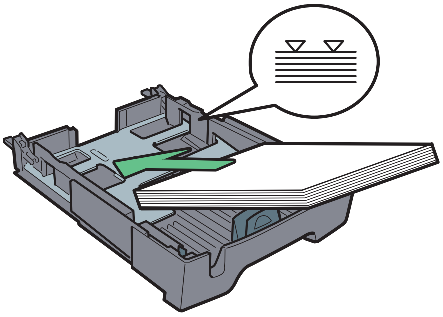
使用する用紙や用紙をセットする際の注意事項です。

用紙をセットするとき

正しく印刷するためには、用紙の取り扱いに注意してください。

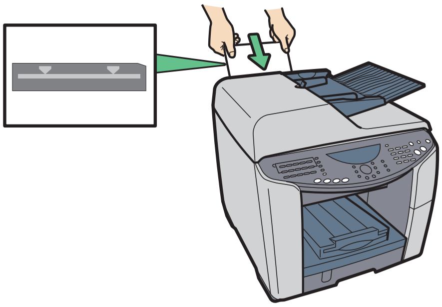
セットするときの注意

- 用紙はリコー推奨の用紙をご利用ください。
- 給紙トレイに用紙をセットするときは、印刷する面を下にします。
- 縦目（T 目）、横目（Y 目）のある用紙をセットするときは、縦目方向に給紙されるようにセットしてください。
- 種類の異なる用紙を一度にセットしないでください。
- すでにセットされている用紙と種類の異なる用紙をセットする場合は、必ずセットされている用紙を取り除いてから、新しい用紙をセットしてください。
- 給紙トレイの上限表示を超えないようにセットしてください。



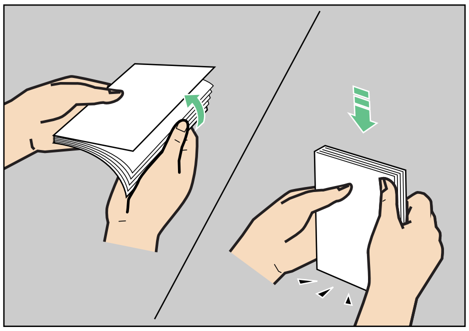
AQR203S

- 手差しトレイ（オプション）の上限表示を超えないように用紙をセットしてください。



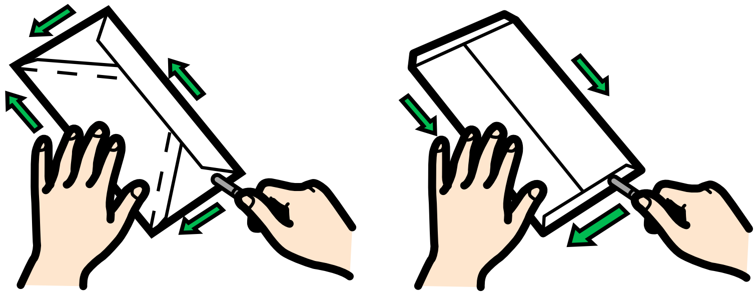
AQR160S

・用紙がカールしていると、紙づまりの原因になります。カールをなおしてから用紙をセットしてください。



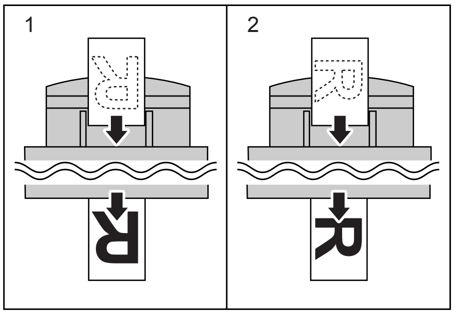
ZDJY202J

・封筒の端を一枚ずつ、ペンなどでしっかりつぶしてからセットしてください。



手差しトレイ（オプション）の用紙のセット面と方向について

印刷面を上にし、用紙の短い側を給紙される方向に向けてセットします。
縦長の原稿と横長の原稿はそれぞれ以下のように印刷されます。



AKR150S

1 縦長の原稿を印刷するとき
用紙の上端（天側）を給紙される方向に向けてセットします。

2 横長の原稿を印刷するとき
用紙の右側を手差し給紙される方向に向けてセットします。

2

用紙を保管するとき

用紙を保管するときの注意事項です。
本機に適切な用紙でも、保存状態が悪い場合は、紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因となることがあります。用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 湿気の多いところには置かないでください。
- 直射日光の当たるところには置かないでください。
- 用紙は立てかけないでください。
- 残った用紙は購入時に入っていた袋や箱の中に入れて保管してください。

用紙の種類ごとの注意

使用する用紙の種類ごとの注意事項です。

♦ 普通紙

- 135 kg 紙（163 g/m^2）を超える用紙は手差しトレイ（オプション）から印刷してください。
- トレイ 1 に A6 サイズの用紙を給紙する場合、使用できる用紙は 135 kg 紙（163 g/m^2）のみです。
- セットする用紙の量は、給紙トレイ内に表示された上限表示（▼▼）を超えないようにしてください。

♦ ハイグレード普通紙

- ハイグレード普通紙に印刷する場合は、プリンタードライバーで「ハイグレード普通紙」を選択してください。普通紙より鮮やかな印刷ができます。
- プリンタードライバーで「ハイグレード普通紙」を選択すると片面印刷になります。両面印刷をする場合には、「普通紙」を選択してください。
- 開封後はなるべく早くご使用ください。

♦ 光沢紙

- インクが乾燥するまでの時間は、画像・環境により異なります。耐水性、耐油性が必要な場合には、一昼夜程度乾燥させて使用してください。
- 画像によっては、印刷後にカールする場合があります。この場合には、用紙を取り除いてから次の印刷を行ってください。
- 画像によっては、用紙の反りにより印刷面が擦れる場合があります。この場合には、印刷品質を「きれい」にしてご使用ください。
- 片面印刷専用です。両面印刷には対応しておりません。
- これらの光沢紙を使用する場合、用紙に同封された注意事項を読んでください。

2

♦ 専用 OHP シート

- 印刷面は用紙を縦にして、欠けている角を左下コーナーに置いたときの表側が印刷面です。
- 1 枚ずつセットしてください。トレイ 1 にまとめてセットすると、先端に細かい傷が付くことがあります。
- 印刷面に指紋などの汚れがつかないよう、用紙の端をお持ちください。
- 折り曲げたり強くこすったり、印刷面を傷付けないようご注意ください。
- 片面印刷専用です。両面印刷には対応しておりません。
- 印刷後は 1 枚ずつ排紙トレイから取り出してください。
- 印刷後、インクが乾くまで印刷面に触れないよう、ご注意ください。
- 印刷後すぐに用紙を重ねる場合は、コピー用紙など吸湿性のある紙を間に挟むことをおすすめします。
- インクが乾くまでに時間がかかります。また専用 OHP シートどうしの貼りつきを防ぐために、印刷後は 1 枚ずつ排紙トレイから取り出してください。
- 印刷時に横筋が出る場合は、用紙の送り量を調整してください。
- 一般の室温環境（温度 15〜25 ℃、湿度 30〜70%）でご使用ください。
- 開封後はなるべく早くご使用ください。
- これらの OHP シートを使用する場合、用紙に同封された注意事項を読んでください。

♦ インクジェット郵便ハガキ

- 印刷する面と向きに注意してセットしてください。トレイ 1 にセットして片面印刷する場合は、印刷する面が下、ハガキの上端（郵便番号欄側）が奥になるようセットします。
- 両面に印刷する場合は、あて名面から印刷することをおすすめします。通信面から印刷する場合は、インクを十分な時間（重ねずに広げた場合、30 分以上）乾燥させてから、あて名面を印刷してください。
- ハガキを自動両面で印刷する場合は、あて名面から印刷をしてください。また、自動両面印刷の場合は、ハガキの上端（郵便番号欄側）が手前になるようにセットする必要がありますので、ご注意ください。

♦ 郵便ハガキ

- 印刷する面と向きに注意してセットしてください。トレイ 1 にセットして片面印刷する場合は、印刷する面が下、ハガキの上端（郵便番号欄側）が奥になるようセットします。
- 両面に印刷する場合は、あて名面から印刷することをおすすめします。通信面から印刷する場合は、インクを十分な時間（重ねずに広げた場合、15 分以上）乾燥させてから、あて名面を印刷してください。

♦ 封筒

- トレイ 1 に一度にセットできる封筒の枚数は、最大 30 枚です（洋形封筒は 20 枚）。
- 封筒がふくらんでいる場合は、できるだけ平たくなるように押しつぶしてください。
- 封筒をしっかりとセットしてください。セット方向によって印刷可能な範囲が変わります。
- 印刷するときは封筒・標準切替レバーを✉側（奥側）にしてください。

◆ **厚紙**

- 135 kg 紙（163 g/m^2）以下の用紙はトレイ 1 またはトレイ 2（オプション）から印刷してください。
- 手差しトレイ（オプション）には 220 kg 紙（255 g/m^2）までセットできます。
- 手差しトレイ（オプション）にセットするときは、印刷面を上向きにして 1 枚ずつセットしてください。

補足

- 用紙の種類によっては、インクの乾燥に時間がかかる場合があります。取り扱い時には、インクで汚れないように、印刷した用紙が完全に乾くのを待ってください。
- 画像の種類によっては、印刷面がこすれることがあります。この場合には封筒・標準切替レバーを✉側（奥側）にしてください。

使用できない用紙

本機で使用できない用紙を確認してください。

以下のような用紙は使用しないでください。

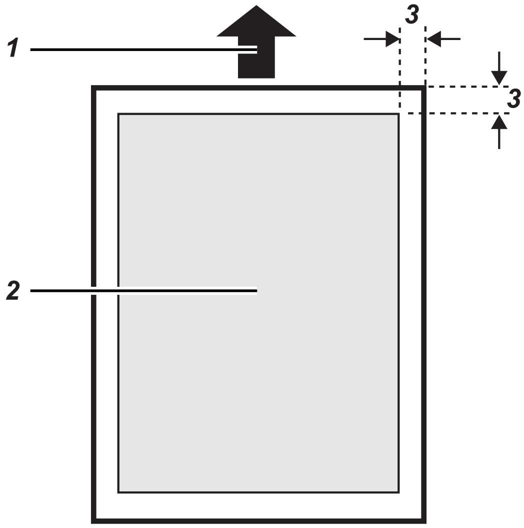
- しわ、折れ、破れがある用紙
- 端部が波打っている用紙
- カールしている用紙
- 湿気を吸っている用紙
- 乾燥して静電気が発生している用紙
- 一度印刷した用紙（裏紙など）
- 表面が加工された用紙（指定用紙を除く）
- 感熱紙やノンカーボン紙など特殊な用紙
- 厚さが規定以外の用紙（極端に厚い・薄い用紙）
- ミシン目などの加工がされている用紙
- 糊がはみ出したり、台紙が見えるラベル紙
- ステープラー・クリップなどを付けたままの用紙
- 色の濃い部分がある用紙
- 長方形、正方形ではない用紙

補足

- 本機に適切な用紙でも、保存状態が悪い場合は、紙づまりや印刷品質の低下、故障の原因となることがあります。

印刷範囲

印刷可能範囲を説明します。



1 給紙方向

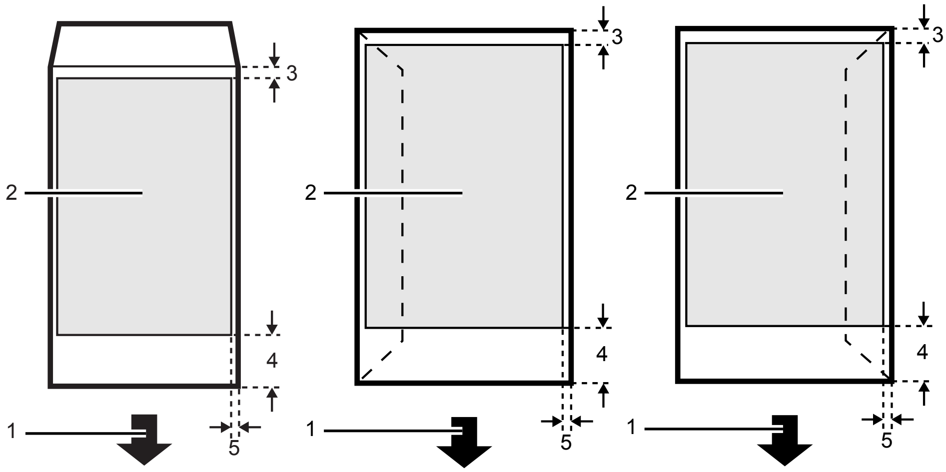
2 印刷可能範囲

3 3 mm

2

補足

・封筒に印刷する場合の印刷範囲は以下のとおりです。



1 給紙方向

2 印刷可能範囲

3 8 mm

4 38 mm

5 5 mm

用紙をセットする

給紙トレイに印刷する用紙をセットします。
通常は用紙をトレイ 1 にセットして印刷します。オプションを設置している場合は、トレイ 2（オプション）に普通紙とハイグレード普通紙をセットできます。

補足

- 縦目（T 目）、横目（Y 目）のある用紙をセットするときは、縦目方向に給紙されるようにセットしてください。

2

トレイ 1 にセットする

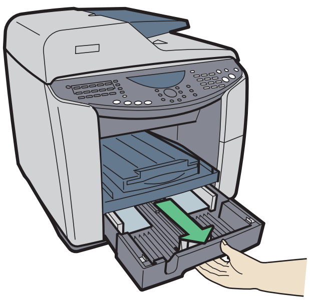
トレイ 1 に用紙をセットします。
ここでは A4 サイズの用紙をセットしています。

1 排紙トレイを持ち上げます。



AQR040S

2 トレイ 1 の取っ手をつかんで引き出し、少し持ち上げてから手前に抜き出します。

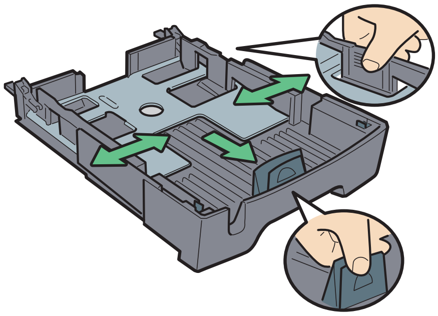


AQR041S

トレイ 1 は本体から取り外せます。引き抜いたトレイを落とさないように注意してください。

2

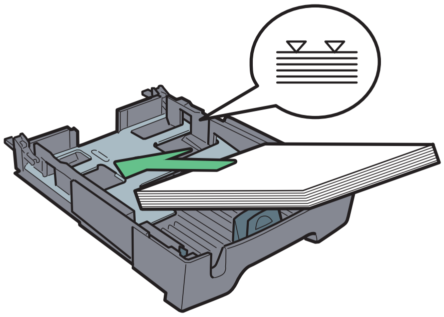
3 右の用紙ガイドをつまんで、用紙のサイズに合わせてスライドさせます。



AQR184S

手前の用紙ガイドをつまんで、広げておきます。

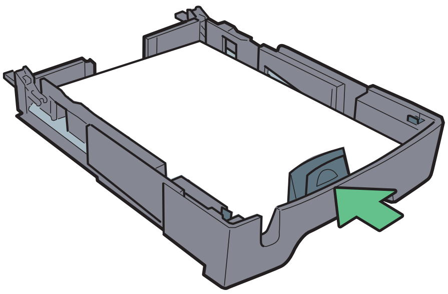
4 印刷する面を下にして、上限表示を超えないように用紙をセットします。



AQR203S

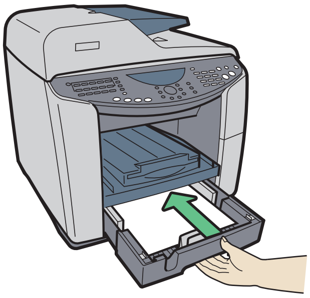
仕様の給紙容量をお守りの上、用紙をセットしてください。

5 手前の用紙ガイドをつまんで、用紙の長さに合わせてスライドさせます。



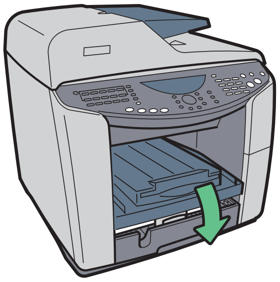
AQR204S

6 トレイ 1 を突き当たるまで静かに押し込みます。



AQR042S

7 排紙トレイを下ろします。



AQR043S

トレイ 2（オプション）にセットする

トレイ 2 に用紙をセットします。
トレイ 2 にセットできる用紙は普通紙とハイグレード普通紙です。
ここでは A4 サイズの用紙をセットしています。

1 トレイ 2 の取っ手をつかんで引き出し、少し持ち上げてから手前に抜き出します。

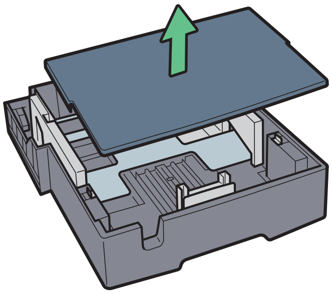


AQR044S

トレイ 2 は本体から取り外せます。引き抜いたトレイ 2 を落とさないようにご注意ください。

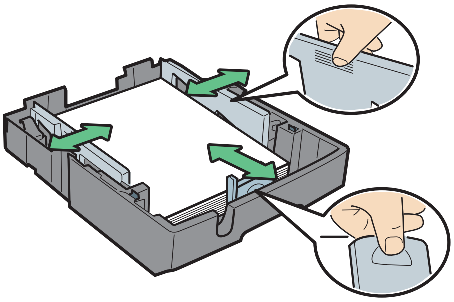
2

2 トレイカバーを外します。



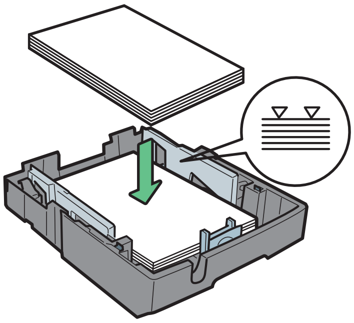
AQR045S

3 印刷する面を下にして用紙をセットし、用紙のサイズに合わせて用紙ガイドをスライドさせます。



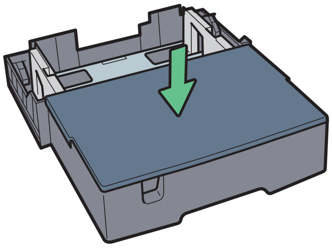
AKS074S

250 枚以上の用紙をセットする場合は、200 枚程度までの用紙をセットしてから、上限表示を超えないように残りの用紙をセットしてください。



AKS075S

4 トレイカバーを取り付けます。



AQR046S

5 トレイ 2 を奥に突き当たるまで静かに押し込みます。



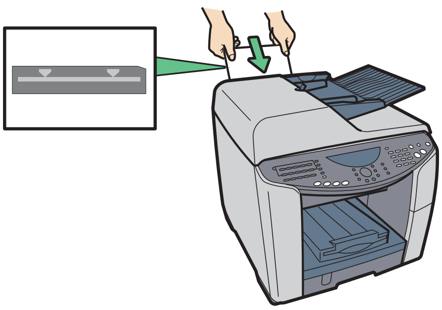
AQR047S

手差しトレイ（オプション）にセットする

手差しトレイに用紙をセットします。
ここでは A4 サイズの用紙をセットしています。

1 延長部を最大に引き出します。

2 印刷する面を上にして、上限表示を超えないように手差しトレイに用紙をセットします。



AQR160S

A6 サイズなどの幅のせまい用紙をセットする場合は、あらかじめサイドフェンスを用紙サイズに合わせてください。

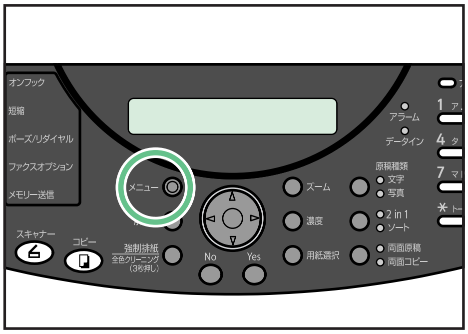
3. 機能の設定・調整をする

本体の設定・調整方法について説明しています。

基本的なメニュー画面の操作のしかた

各機能の設定や調整をする基本的な手順を説明しています。
ここでは例として、「コピーショキセッテイ」の「リョウメンコピー」を選びます。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 [▲] または [▼] キーを押して、[コピーショキセッテイ] を表示させます。

3 [Yes］キーを押します。

```
コピーショキセッテイ?              ▲
  OK=Yes  /  マタハ  1-9           ▼
```

テンキーで［8］を押すことによっても［リョウメンコピー］を表示させることができます。テンキーを押して項目を選択した場合は、選択した項目の確認画面が以下のように表示されたあと、手順 **5** の画面に切り替わります。

```
8  リョウメンコピー
```

4 [▲］または［▼］キーを押して、［リョウメンコピー］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
8  リョウメンコピー                 ▲
  OK=Yes                            ▼
```

5 **[◀] または [▶] キーを押して項目を選択し、[Yes] キーを押します。**

[◀] または [▶] キーを押すごとに＊マークが移動します。

```
スル　　＊シナイ
◀,▶　＆　Ｙｅｓ
```

コピー初期設定画面が表示されます。

[No] キーを押すと通常の画面が表示されます。

3

メニュー一覧

各機能の設定や調整をするメニュー一覧を説明します。
各機能の詳細は次のページから説明します。

メニュー
システムショキセッテイ
ヨウシ セッテイ
ユーザーセイゲン
コピーショキセッテイ
アテサキ トウロク
ソウシン セッテイ
ジュシン セッテイ
カイセン セッテイ
レポート ジドウ インサツ
キホンセッテイ
ネットワークセッテイ *1
LDAP セッテイ *1
SMTP セッテイ *1
POP3 セッテイ *1
スキャナーショキセッテイ *1
ソウシン／ジュシン ケッカ
カウンター
エンジンセッテイ
インターフェースセッテイ
メンテナンス

*1　オプションのネットワークボード装着時

システム初期設定を変更・調節する

システム初期設定メニューでは、本機を使用する上で基本的な動作に関わる設定を行うことができます。通常は工場出荷時の設定のままでご使用になれますが、お客様の環境に合わせて変更できます。変更したシステム初期設定の内容は電源を切っても保存されます。

♦ オートリセット設定（オートリセットセッテイ）

一定時間操作を行わなかったとき、設定を自動的に初期状態に戻す機能を「オートリセット設定」といいます。

- スル
- シナイ

3

★重要

- コピー中に用紙なし・用紙サイズ違いなどのエラーが発生したとき、一定時間（設定したリセット時間中）、本機の操作を行わないと「* コピーチュウシ *」のメッセージが表示され、設定値が元に戻り、コピーがキャンセルされます（印刷がキャンセルされる対象機能は、コピーのみです）。

工場出荷時の設定は「シナイ」です。

「スル」を選択したときは、［◀］または［▶］キーを押して「0.5」、「1～5」（分単位）の間でリセット時間を設定します。

♦ 省エネモード移行時間（ショウエネモードイコウジカン）

一定時間操作しない状態が続いたとき、自動的に電力の消費を一段低くするよう設定されています。これを「省エネモード」といいます。

省エネモードに移行するまでの時間を設定します。

「1 分～240 分」の範囲で時間をテンキーで入力します。

工場出荷時は「15 分」に設定されています。

エラー表示中のときなど、省エネモードに移行しないことがあります。

♦ オートオフ時間設定（オートオフジカンセッテイ）

一定時間操作を行わなかったとき、自動的に電源が切れる機能を「オートオフ時間設定」といいます。オートオフ時間設定機能が働くまでの時間を設定します。

- スル
- シナイ

工場出荷時の設定は「シナイ」です。

「スル」を選択したときは、「15～240」（1 分単位）の範囲でテンキー入力します。

工場出荷時は 60 分に設定されています。

エラー表示中のときなど、オートオフ時間設定機能が働かないことがあります。

♦ 表示言語（ヒョウジゲンゴ）

本体操作部に表示される言語を設定します。

- ニホンゴ
- エイゴ

工場出荷時の設定は「ニホンゴ」です。

♦ 音量調節（オンリョウチョウセツ）

音量を調節する方法について説明します。

- キー
  キーを押したときや ADF に原稿をセットしたとき、オートリセット設定機能が働いたときのブザーの音量を調節します。
  工場出荷時は［チュウ］に設定されています。
- 警告（ケイコク）
  通信エラー時などの警告の音量を調節します。
  工場出荷時は［チュウ］に設定されています。
- 回線音（カイセンオン）
  オンフック時などの音量を調節します。
  工場出荷時は［チュウ］に設定されています。

♦ 国 / 地域（クニ / チイキ）

お使いの国 / 地域を設定します。

国 / 地域を変更すると以下の項目の設定が変更した国 / 地域に合わせて自動的に変わります。

国 / 地域を変更すると、用紙設定などユーザーが設定できる項目は、国 / 地域ごとの初期値に戻りますのでご注意ください。

- 発信元情報印字（ハッシンモトジョウホウインジ）
- 自動再送信（ジドウサイソウシン）

工場出荷時は［ニホン］に設定されています。

♦ 優先機能設定（ユウセンキノウセッテイ）

電源を入れた直後やオートリセット設定機能が働いたときに、優先的に表示する機能を設定します。

- コピー
- ファクス
- プリンター

工場出荷時の設定は「コピー」です。

♦ ユーザーパラメーター設定（ユーザーパラメーターセッテイ）

パラメーター設定で各種の機能を利用状況にあった設定に変更できます。パラメーターのスイッチを操作して変更します。

参照

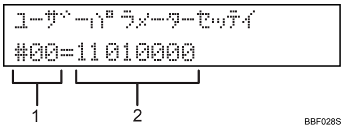
・P.136 「音量を調節する」

ユーザーパラメーター設定

ユーザーパラメーター設定で各種の機能を利用状況にあった設定に変更できます。パラメーターのスイッチを操作して変更します。

♦ スイッチとビット

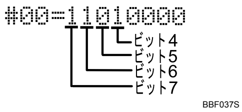
ユーザーパラメーター設定のスイッチは、1 と 0 の組み合わせによる 8 桁の数字の並びで構成され、その 1 桁 1 桁をビットと言います。



1 スイッチ

2 ビット

右端がビット 0、左端がビット 7 になります。ビットの数字を 0 または 1 に変更することで、機能の設定を変えることができます。



上図はスイッチ 00 の工場出荷時の表示 です。変更できるビットと設定内容については、ユーザーパラメーター設定一覧表を参照してください。

♦ ユーザーパラメーター設定一覧表

スイッチ	ビット	項目	0	1
00	7	発信時にダイヤルトーンを検出する	検出しない（すべて発信する）	検出する（検出したときは発信する）※
	6	発信時（外線発信番号を発信する前）にダイヤルトーンを検出する	検出しない（すべて発信する）	検出する（検出したときは発信する）※
	5	発信時（外線発信番号を発信した後）にダイヤルトーンを検出する	検出しない（すべて発信する）※	検出する（検出したときは発信する）
	4	発信時に話中音を検出する	検出しない（相手ファクスからの応答を待つ）	検出する（検出したときは回線を切断する）※
01	7	リモート切り替え機能	使用しない※	使用する
	6	呼出し信号誤検出防止機能	防止しない※	防止する
	5	Fネット無鳴動着呼選択	着呼しない※	着呼する
	4	相手先繰り返し入力	使用しない※	使用する

※は工場出荷時の設定値です。

参照

- P.353 「外付け電話機で切り替える（リモート切替）」
- P.98 「電話線を接続する」
- P.361 「F ネットから受信する」
- P.346 「相手先繰り返し入力」

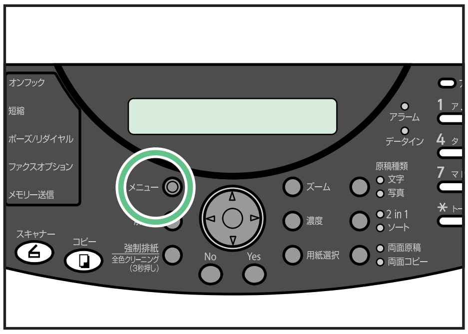
ユーザーパラメーター設定のしかた

ユーザーパラメーター設定の設定方法を説明します。

重要

- ユーザーパラメーター設定一覧表に載っていないビットは変更しないでください。
- 本機の設置環境を確認し、必要な設定を行なってからパラメーターのスイッチを操作してください。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［システムショキセッテイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

システムショキセッテイ？ ▲ ＯＫ＝Ｙｅｓ ／ マタハ １－７ ▼

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［7 ユーザーパラメーターセッテイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

７ ユーザーパラメーターセッテイ？ ▲ ＯＫ＝Ｙｅｓ ▼

4 ［▲］または［▼］キーを押して、目的のスイッチを表示させます。

ユーザーパラメーターセッテイ ＃００＝１１０１００００

5 **テンキーの［0］または［1］を押して、変更するビットを上書きします。**

```
ユーザーパラメーターセッテイ
#00=10000000
```

使用できるテンキーは、［0］または［1］です。カーソルを移動するときは、［◀］または［▶］キーを押します。

6 **［Yes］キーを押します。**

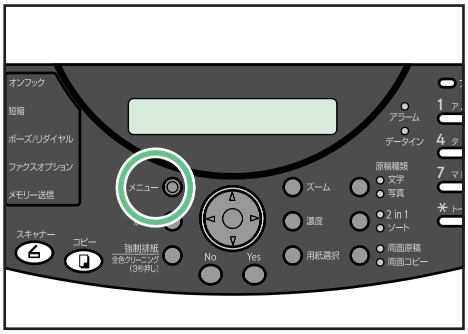
［システムショキセッテイ］の設定画面が表示されます。
［No］キーを押すと通常の画面が表示されます。

3

音量を調節する

オンフックや直接送信時に本体内部のスピーカーから聞こえるモニターやキーを押したときのブザーの音量を調節します。

1 **操作部の［メニュー］キーを押します。**



AQQ030S

2 **［▲］または［▼］キーを押して、［システムショキセッテイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。**

```
システムショキセッテイ?                ▲
  OK=Yes  /  マタハ  1-7          ▼
```

3 **［▲］または［▼］キーを押して、［オンリョウチョウセツ］を表示させ、［Yes］キーを押します。**

```
4  オンリョウ  チョウセツ?             ▲
  OK=Yes                          ▼
```

4 **［◀］または［▶］キーを押して、［キー］［ケイコク］または［カイセンオン］を選択し、［Yes］キーを押します。**

```
*キー            ケイコク
  ◀,▶   &  Yes
```

5 [◀] または [▶] キーを押して、音量を調節し、[Yes] キーを押します。

```
＊ダイ　　　　　チュウ　　　　　▶
 ◀,▶　＆　Ｙｅｓ
```

システム初期設定画面が表示されます。
[No] キーを押すと通常の画面が表示されます。

補足

・音量は大（ダイ）、中（チュウ）、小（ショウ）とオフの間で調節できます。

3

トレイや用紙の設定をする

各トレイにセットする用紙のサイズや種類の設定など、用紙設定（ヨウシセッテイ）メニューで設定できる項目の説明です。

トレイ 1-2、手差しトレイ（テサシトレイ）

3

♦ 用紙種類（ヨウシシュルイ）

給紙トレイにセットする用紙の種類を設定します。トレイと用紙の種類を指定します。

- 普通紙（フツウシ）
- ハイグレード普通紙（ハイグレードフツウシ）
- 光沢紙（コウタクシ）
- OHP
- 郵便ハガキ（ユウビンハガキ）
- インクジェット郵便ハガキ（インクジェットユウビンハガキ）
- 封筒（フウトウ）
- 厚紙（アツガミ）

♦ 用紙サイズ（ヨウシサイズ）

給紙トレイにセットする用紙サイズを設定します。トレイと用紙サイズを指定します。

- Letter（$8^1/_2$" × 11"）▯（LT タテ）
- Leagal（$8^1/_2$" × 14"）▯（LG タテ）
- Half Letter（$8^1/_2$" × $5^1/_2$"）▭（HL ヨコ）
- Executive（$7^1/_4$" × $10^1/_2$"）▯（EXE L）
- F（8" × 13"）▯（F タテ）
- Foolscap（$8^1/_2$" × 13"）▯（F4）
- Folio（$8^1/_4$" × 13"）▯（FO）
- 16 開▯（16 カイタテ）
- 郵便ハガキ（100 × 148 mm）▯（ハガキ）
- 往復ハガキ（148 × 200 mm）▯（オウフクハガキ）
- 長形 3 号封筒（120 × 235 mm）▯（チョウケイ 3（ENV#3）
- 長形 4 号封筒 (90 × 205 mm)▯（チョウケイ 4(Env#4)）
- 洋形 4 号封筒 (105 × 235 mm)▯（ヨウケイ 4(YEnv#4)）
- Com10 Envelope（$4^1/_8$" × 9 $^1/_2$"）▯（Com10 Env.）
- Monarch Envelope（$3^7/_8$" × 7 $^1/_2$"）▯（Monarch Env.）
- C6 Envelope（114 × 162 mm）▯（C6 Env.）
- C5 Envelope（162 × 229 mm）▯（C5 Env.）
- DL Envelope（110 × 220 mm）▯（DL Env.）
- A4（210 × 297 mm）▯（A4 タテ）
- A5（210 × 148 mm）▭（A5 ヨコ）
- A6（105 × 148 mm）▯（A6 タテ）
- B5（182 × 257 mm）▯（B5 タテ）

- 不定形（カスタム）
  トレイ 1：横：90〜216 mm、縦：140〜356 mm
  トレイ 2：横：148〜216 mm、縦：210〜356 mm
  手差しトレイ：横：55〜216 mm、縦：127〜1296 mm

◆ 自動トレイ選択（ジドウトレイセンタク）

自動トレイ選択は印刷用紙サイズと用紙種類に応じたトレイが自動的に選択されます。トレイを指定します。

自動トレイ選択機能は、500 枚増設トレイ（オプション）またはマルチ手差しフィーダー（オプション）を装着しているときに設定できます。

自動トレイ選択機能は、あらかじめ「ヨウシサイズ」で設定された各トレイの用紙サイズの情報を元に、トレイが自動的に選択されます。

補足

- 操作部からは、小数点以下の不定形サイズの設定はできません。

参照

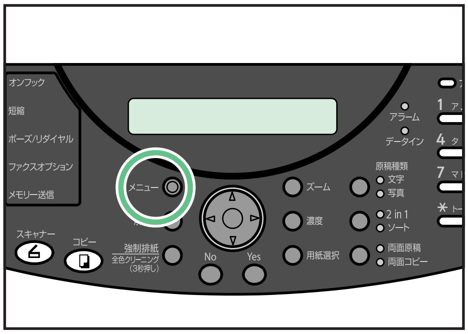
- 設定できる用紙種類については、P.111「使用できる用紙の種類」を参照してください。
- 設定できる用紙サイズについては、P.112「セットできる用紙サイズと枚数」を参照してください。
- 不定形サイズの用紙については、P.248「不定形サイズにコピーする」を参照してください。
- ファクス時の自動トレイ選択機能を設定するには、P.173「受信機能の設定をする」を参照してください。

用紙種類・用紙サイズを設定する

ここでは例として、トレイ 1 に郵便ハガキをセットする場合の操作を説明します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。

メニュー画面が表示されます。



AQQ030S

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［ヨウシ セッテイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
ヨウシ　セッテイ？　　　　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１−３　▼
```

3

3 [▲]または[▼]キーを押して[トレイ 1]を選択し、[Yes]キーを押します。

```
1　トレイ1？　　　　　　　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　▼
```

4 [▲] または [▼] キーを押して [ヨウシシュルイ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
ヨウシシュルイ？　　　　　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　▼
```

5 [▲] または [▼] キーを押して [ユウビンハガキ] を選択し、[Yes] キーを押します。

```
ユウビンハガキ？　　　　　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　▼
```

用紙設定画面が表示され、用紙タイプの設定が完了しました。続けて用紙サイズを設定します。

6 [Yes] キーを押します。

```
ヨウシ　セッテイ？　　　　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１－３　▼
```

7 [▲]または[▼]キーを押して[トレイ 1]を選択し、[Yes]キーを押します。

```
1　トレイ1？　　　　　　　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　▼
```

8 [▲] または [▼] キーを押して [ヨウシサイズ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
ヨウシサイズ？　　　　　　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　▼
```

9 [▲] または [▼] キーを押して [ハガキ] を選択し、[Yes] キーを押します。

```
ハガキ？　　　　　　　　　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　▼
```

用紙設定画面が表示されます。
[No] キーを押すと通常の画面が表示されます。

ユーザー制限を設定する

ユーザー制限（ユーザーセイゲン）でパスワードを登録することによって、本機の使用者を制限することができます。

重要

- パスワードは、絶対に忘れないようにしてください。万一忘れてしまった場合は、サービス実施店に連絡し、工場出荷時の値に戻すことになります。本機のデータが失われますのでご了承ください。

◆ 制限（セイゲン）

ユーザー制限を ON/OFF します。

- スル
- シナイ

工場出荷時の設定は「シナイ」です。

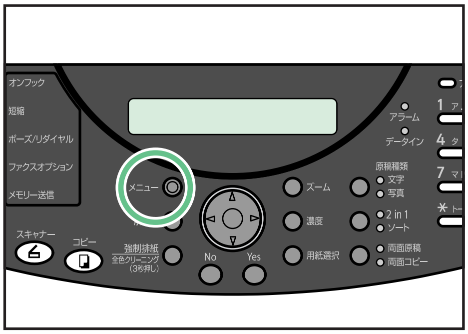
◆ 新規パスワード（新規パスワード）

パスワードを 8 桁以内の数字で設定・変更します。

工場出荷時は空欄になっています。

パスワードを設定する

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［ユーザーセイゲン］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
ユーザーセイゲン?                ▲
 OK=Yes  /  マタハ  1-2        ▼
```

パスワード入力画面が表示されます。

3 **テンキーでパスワードを入力し、［Yes］キーを押します。**

初めてパスワードを設定するときは何も入力せずに［Yes］キーを押します。
工場出荷時はパスワードは何も設定されていません。

```
パスワード＝
  ＯＫ＝Ｙｅｓ
```

4 **［▲］または［▼］キーを押して、［パスワードヘンコウ］を表示させ、［Yes］キーを押します。**

```
2 パスワード ヘンコウ？        ▲
  ＯＫ＝Ｙｅｓ                 ▼
```

5 **テンキーで新しいパスワードを入力し、［Yes］キーを押します。**

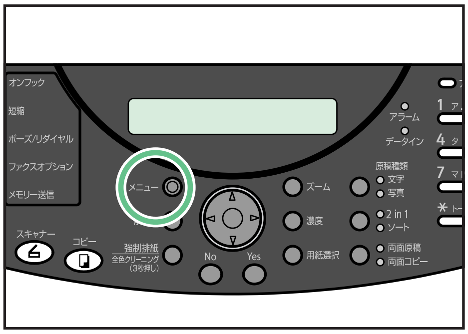
パスワードは 8 桁以内の数字で入力してください。

```
シンキ パスワード＝_
  ＯＫ＝Ｙｅｓ
```

ユーザー制限画面が表示されます。
［No］キーを押すと通常の画面が表示されます。

ユーザー制限を設定する

1 **操作部の［メニュー］キーを押します。**



AQQ030S

2 **［▲］または［▼］キーを押して、［ユーザーセイゲン］を表示させ、［Yes］キーを押します。**

```
ユーザーセイゲン？                     ▲
  ＯＫ＝Ｙｅｓ ／ マタハ １－２        ▼
```

パスワード入力画面が表示されます。

3 **テンキーでパスワードを入力し、[Yes] キーを押します。**

パスワードが工場出荷時のままの場合は、何も入力せず [Yes] キーを押します。

```
パスワード=
 OK=Yes
```

4 **[▲] または [▼] キーで [セイゲン] を表示させ、[Yes] キーを押します。**

```
1 セイゲン?           ▲
 OK=Yes              ▼
```

5 **[◀] または [▶] キーを押して [スル] を選択し、[Yes] キーを押します。**

```
*スル     シナイ
 ◀,▶  &  Yes
```

ユーザー制限画面が表示されます。

[No] キーを押すと通常の画面が表示されます。

コピー機能の設定をする

「コピー初期設定（コピーショキセッテイ）」の各種項目について説明します。

3

♦ 優先給紙トレイ（ユウセンキュウシトレイ）
コピー機能で、優先する給紙トレイを設定します。

♦ 原稿種類（ゲンコウシュルイ）
原稿の種類を「モジ」「シャシン」「モジ /P」の中から設定します。
工場出荷時は［モジ /P］に設定されています。

♦ 濃度（自動）（ノウド（ジドウ））
自動濃度の濃度を調整します。
工場出荷時は「0」（3 段階調整の真中）に設定されています。

♦ 濃度（手動）（ノウド（シュドウ））
手動濃度の濃度を調整します。
工場出荷時は「3」（5 段階調整の真中）に設定されています。

♦ ソート（ソート）
ソート機能を常時使用するかしないかを設定します。
工場出荷時は［シナイ］に設定されています。

♦ 2 in 1（2 in 1）
2 in 1（集約コピー）機能を常時使用するかしないかを設定します。
工場出荷時は［シナイ］に設定されています。

♦ 両面原稿（リョウメンゲンコウ）
両面原稿の読み取り機能を常時使用するかしないかを設定します。
工場出荷時は［シナイ］に設定されています。

♦ 両面コピー（リョウメンコピー）
両面コピー機能を常時使用するかしないかを設定します。
工場出荷時は［シナイ］に設定されています。

♦ カラー調整（カラーチョウセイ）
- カラーバランス
  コピー全体が赤みがかっていたり、青みがかっているときに、コピー全体の色合いを調整します。
  RGB それぞれの値を−2〜+2 の間で調整します。
  工場出荷時は「0」（5 段階調整の真中）に設定されています。
- シャープ／ソフト
  画像の輪郭を調整します。
  画像の輪郭を−2〜+2 の間で調整します。
  工場出荷時は「0」（5 段階調整の真中）に設定されています。
- コントラスト
  画像の陰影を調整します。
  画像の陰影を−2〜+2 の間で調整します。
  工場出荷時は「0」（5 段階調整の真中）に設定されています。

♦ 印刷面下向き排紙（インサツメンシタムキハイシ）

印刷面を下にして排紙するかしないかを設定します。

- スル

  印刷面を下にして排紙し、文書をページ順にそろえられます。
- シナイ

工場出荷時は［シナイ］に設定されています。

♦ 排紙順（ハイシジュン）

最後のページから印刷するかしないかを設定します。

- 最初から最後へ（サイショカラサイゴへ）
- 最後から最初へ（サイゴカラサイショへ）

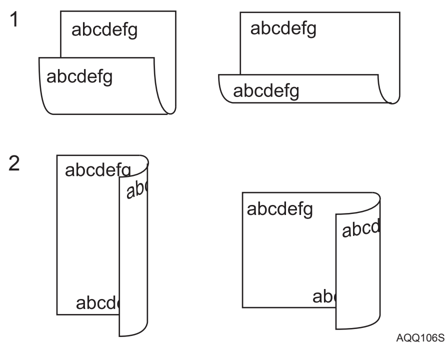
  ページ順を逆にし、最後のページから印刷します。印刷面を上にして排紙し、文書をページ順にそろえられます。

工場出荷時は［サイショカラサイゴへ］に設定されています。

♦ 原稿ひらき方向（ゲンコウヒラキホウコウ）

原稿のひらき方向を設定します。

- 上下開き（ジョウゲヒラキ）
- 左右開き（サユウヒラキ）



1 上下開き

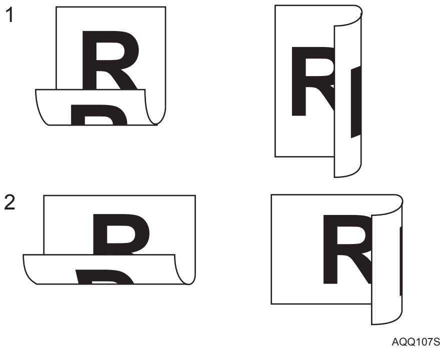
2 左右開き

工場出荷時は［サユウヒラキ］に設定されています。

◆ **原稿方向（ゲンコウホウコウ）**

原稿の向きを設定します。

・タテ
・ヨコ



1 縦

2 横

工場出荷時は［タテ］に設定されています。

参照

・カラー調整について詳しくは、P.270「画質詳細設定」を参照してください。
・両面原稿のコピーに関する詳細は、P.244「自動両面原稿送り装置（ADF）にセットする」を参照してください。

宛先を登録する

宛先を登録します。

アドレス帳について

ファクス宛先やメール宛先などを登録して一括管理することができます。
ネットワーク上のパソコンから機器設定ユーティリティーまたは Web Image Monitor を使用して、アドレス帳の登録、変更、消去をすることができます。機器設定ユーティリティーの操作方法については、機器設定ユーティリティーのヘルプを参照してください。

3

重要

- ネットワーク機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。
- アドレス帳の登録データは、本機に記録されます。万一、本機に不具合が生じた場合、記録されたデータが消失することがあります。お客様のデータ消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- ファクス宛先には「名前」を登録しておくと、宛先キーを押すだけで相手先を指定でき、ファクス宛先を選択するときに便利です。
- メール宛先は、スキャナー機能やファクス機能から送信するときに、送信者のメールアドレスとして使うことができます。
- ファクス宛先やメール宛先は送信者として使うことができます。

♦ F コード（SUB）

F コード（SUB）を付けて送信すれば、その F コード（SUB）を知っている関係者の間だけで安全に文書をやり取りすることができます。

♦ スキャナーで読み取った画像を FTP サーバーに送信する

アドレス帳にパス名、ユーザー名、パスワードなどを登録しておくと、スキャナー機能で読み取った文書を FTP サーバーに送信するとき、短縮キーを押すか宛先検索から相手先を選択するだけで共有フォルダーに接続できます。
この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。
FTP サーバーのフォルダーを登録するときは FTP プロトコルを選択します。

参照

- P.319 「F コードを付けて親展送信する」
- P.472 「Web ブラウザーを使用する」
- P.209 「文字の入力のしかた」

ワンタッチキーについて

「ワンタッチキー」にファクス番号を登録することによって、ファクス機能で読み取った文書をワンタッチでファクス送信することが可能になります。また、メールアドレスを登録することによって、メールアドレスを入力せずに、スキャナー機能やファクス機能で読み取った文書をメールで送信することが可能になります。

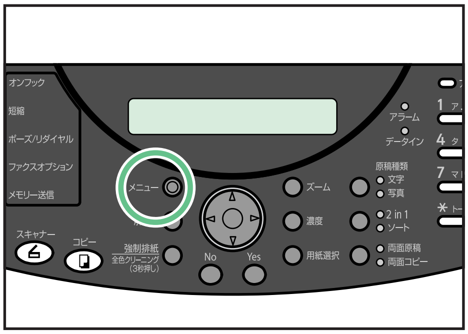
ワンタッチキーにファクス番号を登録する

ワンタッチキーにファクス番号を登録します。

1 つのワンタッチキーに登録できるのは、ファクス番号かメール宛先どちらか 1 つです。同じ相手にファクス番号とメール宛先が両方あるときは、2 つのワンタッチキーにファクス番号とメール宛先をそれぞれ 1 つずつ登録します。

ワンタッチキーは、グループに登録することができます。登録方法については、「グループキー宛先を登録する」を参照してください。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［アテサキトウロク］を表示させ、［Yes］キーを押します。

アテサキ　トウロク？　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１－３　▼

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［ワンタッチキーアテサキ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

１　ワンタッチキー　アテサキ？　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　▼

4 ファクス番号を登録したい番号のワンタッチキーを押します。

－ワンタッチキー　ヲ　センタク－

5 名前を入力し、[Yes] キーを押します。

名前は半角 20 文字まで入力できます。

```
ナマエ=
 OK=Yes                 [A]
```

6 ファクス番号を入力し、[Yes] キーを押します。

```
☎=
 SUB=▼                  [1]
```

7 [◀] または [▶] キーでモデムの速度を選択し、[Yes] キーを押します。


```
*33.6    14.4    9.6
 ◀,▶  &  Yes
```

登録完了のメッセージが表示されます。

8 [No] キーを 2 回押します。

通常の画面が表示されます。
続けて登録するときは手順 4 から 7 を繰り返します。

補足

- 手順 3 でテンキーの [1] を押すことによっても [ワンタッチキーアテサキ] を表示させることができます。
- 手順 6 で [✱] を押すとメール宛先を入力することができます。
- 手順 6 で [▼] を押すと F コードなどのサブアドレスを入力することができます。
- ワンタッチキーの電話番号にトーン切り替え（✱）とポーズ（P）を登録できます。
- ポーズは複数入力可能です。
- ポーズは 1 文字目に入力できません。
- トーン切り替えキーは、✱の長押し（約 2 秒間）で登録します。
- トーンは複数入力可能です。トーンが 2 個以上存在する場合は、2 個目以降がポーズとして登録されます。[カイセン セッテイ] が [プッシュ] の場合は、トーンは全てポーズとなります。

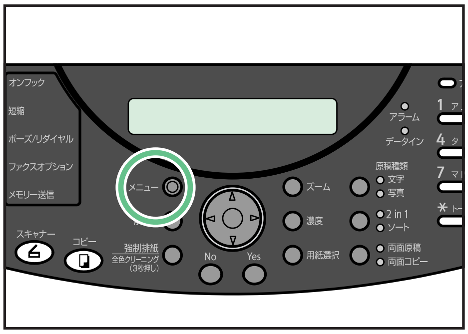
参照

- P.168 「グループ宛先を登録する」
- P.150 「ワンタッチキーにメール宛先を登録する」
- P.151 「ワンタッチキーに F コード（SUB）を登録する」
- P.209 「文字の入力のしかた」

ワンタッチキーにメール宛先を登録する

ワンタッチキーにメール宛先を登録します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［アテサキトウロク］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
アテサキ　トウロク？　　　　　　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１－３　▼
```

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［ワンタッチキーアテサキ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
１　ワンタッチキー　アテサキ？　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　　　　▼
```

4 メール宛先を登録したい番号のワンタッチキーを押します。

```
－ワンタッチキー　ヲ　センタク－
```

5 名前を入力し、［Yes］キーを押します。

名前は半角 20 文字まで入力できます。

```
ナマエ＝
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　［Ａ］
```

6 ［＊］キーを押して入力モードを［A］に切り替えます。

```
☎＝
　　　　　　　　　　　　　　　［Ａ］
```

メール宛先は半角 20 文字まで入力できます。

7 **メール宛先をテンキーで入力し、[Yes] キーを押します。**

```
≡=abc@abc.com
 OK=▶               [A]
```

登録完了のメッセージが表示されます。

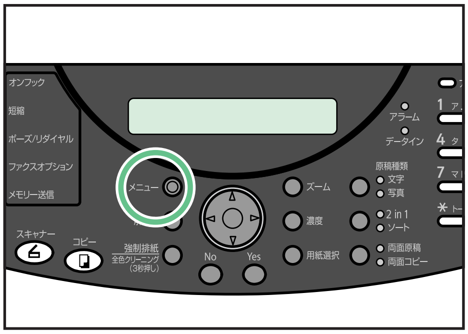
8 **[No] キーを 2 回押します。**

通常の画面が表示されます。

ワンタッチキーに F コード（SUB）を登録する

ワンタッチキーに F コード（SUB）を登録します。

1 **操作部の [メニュー] キーを押します。**



AQQ030S

2 **[▲] または [▼] キーを押して、[アテサキトウロク] を表示させ、[Yes] キーを押します。**

```
アテサキ トウロク?        ▲
 OK=Yes / マタハ 1-3    ▼
```

3 **[▲] または [▼] キーを押して、[ワンタッチキーアテサキ] を表示させ、[Yes] キーを押します。**

```
1 ワンタッチキー アテサキ?  ▲
 OK=Yes                ▼
```

4 **F コードを登録したい番号のワンタッチキーを押します。**

```
-ワンタッチキー ヲ センタク-
```

5 **名前を入力し、[Yes] キーを押します。**

名前は半角 20 文字まで入力できます。

```
ナマエ=
 OK=Yes               [A]
```

3

6 **Fコードを登録したいファクス番号入力画面を表示し、[▼]キーを押します。**

```
☎=0123 45 6789
 SUB=▼              [1]
```

7 **テンキーで送信用Fコード（SUB）を入力し、［▼］キーを押します。**

```
サブアドレス=1234
 OK=Yes          (SID▼)
```

Fコードは半角20文字まで入力できます。

3

8 **テンキーでパスワード（SID）を入力し、［Yes］キーを押します。**

```
SID=123
 OK=Yes
```

パスワードは半角20文字まで入力できます。
登録完了のメッセージが表示されます。

9 **［No］キーを2回押します。**

通常の画面が表示されます。

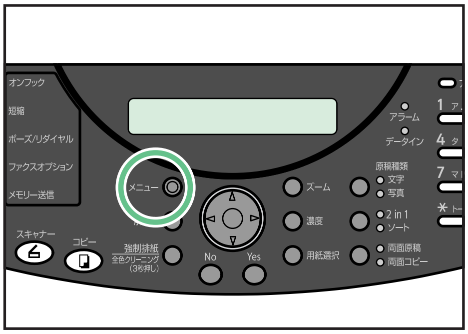
登録したワンタッチキーを変更する

登録したワンタッチキーを変更します。

ファクス宛先を変更する

ワンタッチキーに登録したファクス番号を変更します。

1 **操作部の［メニュー］キーを押します。**



AQQ030S

2 **メニュー画面が表示されます。**

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［アテサキトウロク］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
アテサキ　トウロク？                ▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１－３  ▼
```

4 ［▲］または［▼］キーを押して、［ワンタッチキーアテサキ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
１　ワンタッチキー　アテサキ？      ▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ                      ▼
```

5 ファクス番号を変更したい番号のワンタッチキーを押します。

修正するかどうかの確認画面が表示されます。

```
トウロクサレテイマス　ノコシマスカ？
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　（シュウセイ＝Ｎｏ）
```

6 ［No］キーを押します。

7 ［◀］または［▶］キーを押して、［ヘンシュウ］を選択し、［Yes］キーを押します。

```
＊ヘンシュウ　　サクジョ
　◀,▶　＆　Ｙｅｓ
```

8 名前を変更するときは、新しい名前を入力し、［Yes］キーを押します。

```
ナマエ＝ＡＢＣ
　ＯＫ＝Ｙｅｓ                  ［Ａ］
```

すでに入力されている名前を削除するときは、［クリア / ストップ］キーを押します。

9 ファクス番号を変更するときは、新しい番号をテンキーで入力し、［Yes］キーを押します。

```
☎＝０１２３　４５　６７８９＿
　ＳＵＢ＝▼                    ［１］
```

すでに入力されているファクス番号を削除するときは、［クリア / ストップ］キーを押します。

10 モデムの速度を変更するときは、［◀］または［▶］キーでモデムの速度を選択し、［Yes］キーを押します。

```
＊３３．６　　　１４．４　　　９．６
　◀,▶　＆　Ｙｅｓ
```

編集完了のメッセージが表示されます。

3

11 [No] キーを 2 回押します。

通常の画面が表示されます。

補足

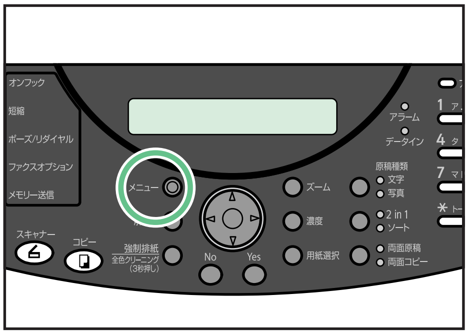
- 手順 3 でテンキーの [1] を押すことによっても [ワンタッチキーアテサキ] を表示させることができます。
- 手順 9 で [✱] を押すとメール宛先を変更することができます。
- 手順 9 で [▼] を押すと F コードなどのサブアドレスを変更することができます。

メール宛先を変更する

3

ワンタッチキーに登録したメール宛先を変更します。

1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AQQ030S

2 [▲] または [▼] キーを押して、[アテサキトウロク] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
アテサキ トウロク?              ▲
  OK=Yes ／ マタハ 1－3         ▼
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、[ワンタッチキーアテサキ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
1 ワンタッチキー アテサキ?       ▲
  OK=Yes                        ▼
```

4 メール宛先を変更したい番号のワンタッチキーを押します。

```
－ワンタッチキー ヲ センタク－
```

5 [No] キーを押します。

```
トウロクサレテイマス ノコシマスカ?
  OK=Yes (シュウセイ=No)
```

6 メール宛先を変更したいメール宛先入力画面を表示し、[✱] キーを押します。

```
☎=abc@xxx
 OK=▶            [A]
```

7 新しいメール宛先をテンキーで入力し、[Yes] キーを押します。

すでに入力されているメール宛先を削除するときは、[クリア / ストップ] キーを押します。

```
☎=abc@abc.com
 OK=▶            [A]
```

編集完了のメッセージが表示されます。

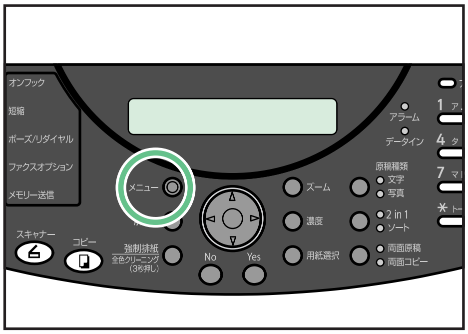
8 [No] キーを 2 回押します。

通常の画面が表示されます。

F コード（SUB）を変更する

ワンタッチキーに登録した F コード（SUB）を変更します。

1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AQQ030S

2 [▲] または [▼] キーを押して、[アテサキトウロク] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
アテサキ トウロク?        ▲
 OK=Yes / マタハ 1-3   ▼
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、[ワンタッチキーアテサキ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
1 ワンタッチキー アテサキ?   ▲
 OK=Yes                ▼
```

4 Fコードを変更したい番号のワンタッチキーを押します。

```
ーワンタッチキー　ヲ　センタクー
```

5 Fコードを変更したいファクス番号の入力画面を表示し、[▼] キーを押します。

```
☎=0123 45 6789
 SUB=▼                 [1]
```

6 テンキーで新しい送信用Fコード (SUB) を入力し、[▼] キーを押します。

```
サブアドレス=123
 OK=Yes           (SID▼)
```

Fコードは半角20文字まで入力できます。

7 テンキーで新しいパスワード（SID）を入力し、［Yes］キーを押します。

```
SID=123
 OK=Yes
```

パスワードは半角20文字まで入力できます。
編集完了のメッセージが表示されます。

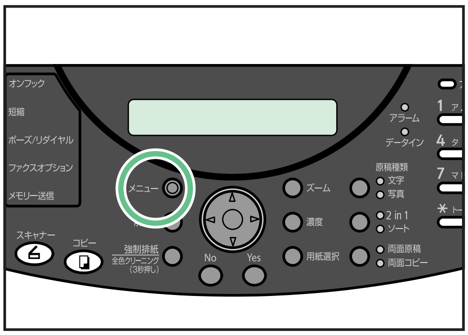
8 ［No］キーを2回押します。

通常の画面が表示されます。

登録したワンタッチキーを削除する

登録したワンタッチキーを削除します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 [▲] または [▼] キーを押して、[アテサキトウロク] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
アテサキ　トウロク？　　　　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１－３　▼
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、[ワンタッチキーアテサキ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
１　ワンタッチキー　アテサキ？　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　　　▼
```

4 削除したい番号のワンタッチキーを押します。

修正するかどうかの確認画面が表示されます。

```
トウロクサレテイマス　ノコシマスカ？
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　（シュウセイ＝Ｎｏ）
```

5 [No] キーを押します。

```
トウロクサレテイマス　ノコシマスカ？
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　（シュウセイ＝Ｎｏ）
```

6 [◀]または[▶]キーを押して、[サクジョ]を選択し、[Yes]キーを押します。

```
　ヘンシュウ　＊サクジョ
　◀,▶　＆　Ｙｅｓ
```

転送先またはグループに指定している宛先を削除しようとすると、転送先またはグループの宛先を保存するか削除するかの確認画面が表示されます。保存する場合は [Yes] キーを押します。削除する場合は [No] キーを押します。

削除完了のメッセージが表示されます。

7 [No] キーを 2 回押します。

通常の画面が表示されます。

短縮ダイヤルについて

「短縮ダイヤル」にファクス番号を登録することによって、ファクス機能で読み取った文書をワンタッチでファクス送信することが可能になります。また、メールアドレスを登録することによって、メールアドレスを入力せずに、スキャナー機能やファクス機能で読み取った文書をメールで送信することが可能になります。

重要

- 短縮番号は 00 から 89 までの番号にファクス番号とメール宛先を登録することができます。FTP のフォルダー宛先は Web Image Monitor を使って 90 から 99 までの番号に登録することができます。
- 1 つの短縮ダイヤルに登録できるのは、ファクス番号かメール宛先どちらか 1 つです。同じ相手にファクス番号とメール宛先が両方あるときは、2 つの短縮キーにファクス番号とメール宛先をそれぞれ 1 つずつ登録します。

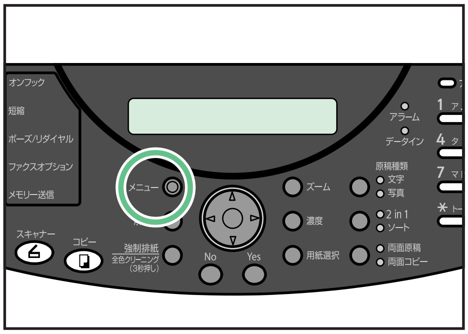
参照

- 短縮ダイヤルは、グループに登録することができます。登録方法については、P.168 「グループ宛先を登録する」を参照してください。

短縮ダイヤルにファクス番号を登録する

短縮ダイヤルにファクス番号を登録します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［アテサキトウロク］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
アテサキ トウロク?          ▲
 OK=Yes / マタハ 1-3       ▼
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、[タンシュクキーアテサキ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
2　タンシュクキー　アテサキ?　　　▲
　OK=Yes　　　　　　　　　　　　▼
```

4 ファクス番号を登録したい 00 から 89 のテンキーを押します。

短縮ダイヤル「01」にファクス番号を登録する場合は［0］と［1］を押します。

```
タンシュクキー　アテサキ=
```

5 名前を入力し、[Yes] キーを押します。

名前は半角 20 文字まで入力できます。

```
ナマエ=
　OK=Yes　　　　　　　　[A]
```

6 ファクス番号を入力し、[Yes] キーを押します。

```
☎=0
　SUB=▼　　　　　　　　[1]
```

7 [◀] または [▶] キーでモデムの速度を選択し、[Yes] キーを押します。

```
*33.6　　　14.4　　　9.6
　◀,▶　&　Yes
```

登録完了のメッセージが表示されます。

8 [No] キーを 2 回押します。

通常の画面が表示されます。
続けて登録するときは手順 4 から 7 を繰り返します。

補足

- 手順 3 でテンキーの［2］を押すことによっても［タンシュクキーアテサキ］を表示させることができます。
- 手順 6 で［✱］を押すとメール宛先を入力することができます。
- 手順 6 で［▼］を押すと F コードなどのサブアドレスを入力することができます。
- 短縮ダイヤルの電話番号にトーン切り替え（✱）とポーズ（P）を登録できます。
- ポーズは複数入力可能です。
- ポーズは 1 文字目に入力できません。
- トーン切り替えキーは、✱の長押し（約 2 秒間）で登録します。
- トーンは複数入力可能です。トーンが 2 個以上存在する場合は、2 個目以降がポーズとして登録されます。[カイセン セッテイ] が [プッシュ] の場合は、トーンは全てポーズとなります。

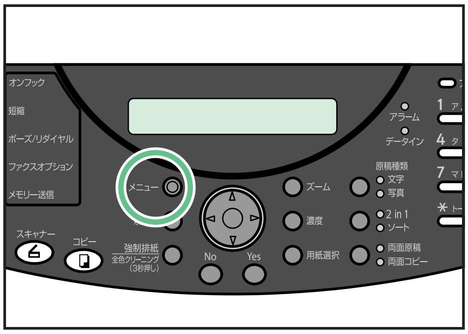
参照

- P.160 「短縮ダイヤルにメール宛先を登録する」
- P.161 「短縮ダイヤルに F コード（SUB）を登録する」

短縮ダイヤルにメール宛先を登録する

短縮ダイヤルにメール宛先を登録します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［アテサキトウロク］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
アテサキ トウロク?              ▲
 OK=Yes / マタハ 1-3          ▼
```

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［タンシュクキーアテサキ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
2 タンシュクキー アテサキ?       ▲
 OK=Yes                       ▼
```

4 メール宛先を登録したい番号のテンキーを押します。

```
タンシュクキー アテサキ=
```

5 名前を入力し、［Yes］キーを押します。

```
ナマエ=
 OK=Yes                  [A]
```

6 ［✱］キーを押して入力モードを［A］に切り替えます。

```
☎=
                         [A]
```

7 メール宛先をテンキーで入力し、[Yes] キーを押します。

```
=abc@abc.com
 OK=▶                [A]
```

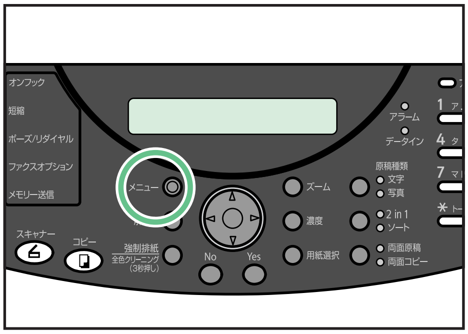
メール宛先は半角 20 文字まで入力できます。
登録完了のメッセージが表示されます。

8 [No] キーを 2 回押します。
通常の画面が表示されます。

短縮ダイヤルに F コード（SUB）を登録する

短縮ダイヤルに F コード（SUB）を登録します。

1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AQQ030S

2 [▲] または [▼] キーを押して、[アテサキトウロク] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
アテサキ トウロク?             ▲
 OK=Yes / マタハ 1-3          ▼
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、[タンシュクキーアテサキ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
2 タンシュクキー アテサキ?     ▲
 OK=Yes                      ▼
```

4 F コードを登録したい番号のテンキーを押します。

```
タンシュクキー アテサキ=
```

5 名前を入力し、[Yes] キーを押します。

```
ナマエ=
 OK=Yes                [A]
```

6 Fコードを登録したいファクス番号の入力画面を表示し、[▼] キーを押します。

```
☎=0123 45 6789
 SUB=▼              [1]
```

7 テンキーで送信用Fコード（SUB）を入力し、[▼] キーを押します。

```
サブアドレス=123
 OK=Yes          (SID▼)
```

Fコードは半角20文字まで入力できます。

8 テンキーでパスワード（SID）を入力し、[Yes] キーを押します。

```
SID=123
 OK=Yes
```

パスワードは半角20文字まで入力できます。
登録完了のメッセージが表示されます。

9 [No] キーを2回押します。

通常の画面が表示されます。

参照

・P.319「Fコードを付けて親展送信する」

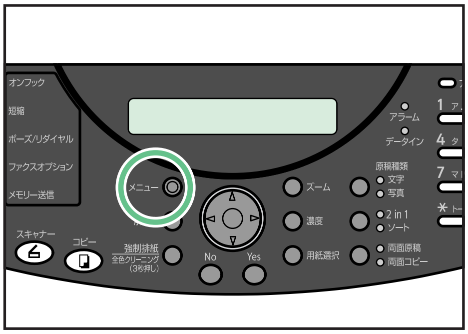
登録した短縮ダイヤルを変更する

登録した短縮ダイヤルを変更します。

ファクス宛先を変更する

短縮ダイヤルに登録したファクス番号を変更します。

1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 [▲] または [▼] キーを押して、[アテサキトウロク] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
アテサキ　トウロク?                ▲
  OK=Yes　／　マタハ　1-3          ▼
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、[タンシュクキーアテサキ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
2　タンシュクキー　アテサキ?        ▲
  OK=Yes                          ▼
```

4 ファクス番号を変更したい番号のテンキーを押します。

```
タンシュクキー　アテサキ=
```

修正するかどうかの確認画面が表示されます。

5 [No] キーを押します。

```
トウロクサレテイマス　ノコシマスカ?
  OK=Yes　(シュウセイ=No)
```

6 [◀] または [▶] キーを押して、[ヘンシュウ] を選択し、[Yes] キーを押します。

```
*ヘンシュウ　　サクジョ
  ◀,▶　＆　Yes
```

7 名前を変更するときは、新しい名前を入力し、[Yes] キーを押します。

```
ナマエ=ABC
  OK=Yes                   [A]
```

すでに入力されている名前を削除するときは、[クリア / ストップ] キーを押します。

8 ファクス番号を変更するときは、新しい番号をテンキーで入力し、[Yes] キーを押します。

```
☎=0123　45　6789_
  SUB=▼                    [1]
```

すでに入力されているファクス番号を削除するときは、[クリア / ストップ] キーを押します。

3

9 **モデムの速度を変更するときは、[◀] または [▶] キーでモデムの速度を選択し、[Yes] キーを押します。**

```
＊33．6　　　14．4　　　9．6
 ◀,▶　＆　Yes
```

編集完了のメッセージが表示されます。

10 **[No] キーを 2 回押します。**

通常の画面が表示されます。

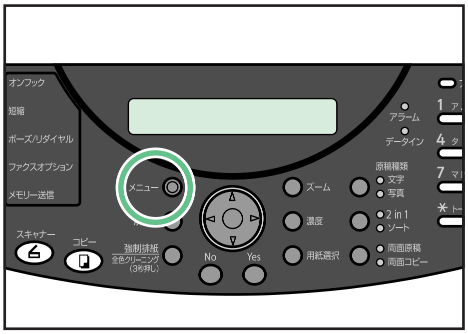
補足

- 手順 **2** でテンキーの [2] を押すことによっても [タンシュクキーアテサキ] を表示させることができます。
- 手順 **8** で [＊] を押すとメール宛先を変更することができます。
- 手順 **8** で [▼] を押すと F コードなどのサブアドレスを変更することができます。

メール宛先を変更する

短縮ダイヤルに登録したメール宛先を変更します。

1 **操作部の [メニュー] キーを押します。**



AQQ030S

2 **[▲] または [▼] キーを押して、[アテサキトウロク] を表示させ、[Yes] キーを押します。**

```
アテサキ　トウロク？　　　　　　▲
 OK=Yes　／　マタハ　1－3　▼
```

3 **[▲] または [▼] キーを押して、[タンシュクキーアテサキ] を表示させ、[Yes] キーを押します。**

```
2　タンシュクキー　アテサキ？　▲
 OK=Yes　　　　　　　　　　▼
```

4 メール宛先を変更したい番号のテンキーを押します。

```
タンシュクキー　アテサキ＝
```

5 ［No］キーを押します。

```
トウロクサレテイマス　ノコシマスカ？
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　（シュウセイ＝Ｎｏ）
```

6 ［◀］または［▶］キーを押して、［ヘンシュウ］を選択し、［Yes］キーを押します。

```
＊ヘンシュウ　　サクジョ
　◀，▶　＆　Ｙｅｓ
```

7 名前を変更するときは、新しい名前を入力し、［Yes］キーを押します。

```
ナマエ＝ＡＢＣ
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　［Ａ］
```

すでに入力されている名前を削除するときは、［クリア / ストップ］キーを押します。

8 ［✱］キーを押して入力モードを［A］に切り替えます。

```
☎＝ａｂｃ＠ｘｘｘ
　　　　　　　　　　　　　　　［Ａ］
```

9 新しいメール宛先をテンキーで入力し、［Yes］キーを押します。

すでに入力されているメール宛先を削除するときは、［クリア / ストップ］キーを押します。

編集完了のメッセージが表示されます。

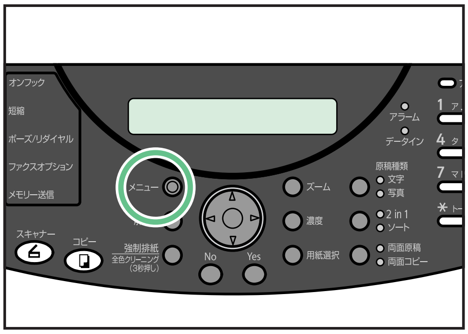
10 ［No］キーを 2 回押します。

通常の画面が表示されます。

F コード（SUB）を変更する

短縮ダイヤルに登録した F コード（SUB）を変更します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［アテサキトウロク］を表示させ、［Yes］キーを押します。

アテサキ　トウロク？ ▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１－３ ▼

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［タンシュクキーアテサキ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

２　タンシュクキー　アテサキ？ ▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ ▼

4 F コードを変更したい番号のテンキーを押します。

タンシュクキー　アテサキ＝

5 F コードを変更したいファクス番号の入力画面を表示し、［▼］キーを押します。

☎＝０１２３　４５　６７８９
　ＳＵＢ＝▼　［１］

6 テンキーで新しい送信用 F コード（SUB）を入力し、［▼］キーを押します。

サブアドレス＝１２３
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　（ＳＩＤ▼）

F コードは半角 20 文字まで入力できます。

7 **テンキーで新しいパスワード（SID）を入力し、[Yes] キーを押します。**

```
SID=123
 OK=Yes
```

パスワードは半角 20 文字まで入力できます。

8 **モデムの速度を変更するときは、[◀] または [▶] キーでモデムの速度を選択し、[Yes] キーを押します。**

```
*33.6      14.4      9.6
 ◀,▶  &  Yes
```

編集完了のメッセージが表示されます。

9 **[No] キーを 2 回押します。**

通常の画面が表示されます。

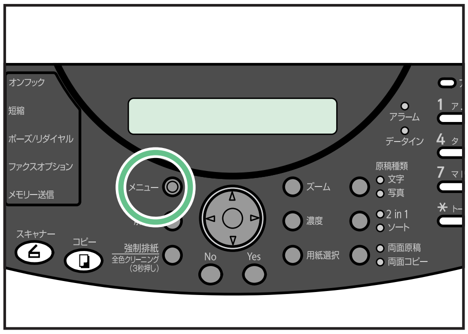
参照

- P.319 「F コードを付けて親展送信する」

登録した短縮ダイヤルを削除する

登録した短縮ダイヤルを削除します。

1 **操作部の [メニュー] キーを押します。**



AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 **[▲] または [▼] キーを押して、[アテサキトウロク] を表示させ、[Yes] キーを押します。**

```
アテサキ トウロク?          ▲
 OK=Yes / マタハ 1-3     ▼
```

3

3 **[▲] または [▼] キーを押して、[タンシュクキーアテサキ] を表示させ、[Yes] キーを押します。**

```
2 タンシュクキー アテサキ?        ▲
  OK=Yes                          ▼
```

4 **登録した内容を削除したい番号のテンキーを押します。**

修正するかどうかの確認画面が表示されます。

```
トウロクサレテイマス ノコシマスカ?
  OK=Yes (シュウセイ=No)
```

5 **[No] キーを押します。**

6 **[◀]または[▶]キーを押して、[サクジョ]を選択し、[Yes]キーを押します。**

```
  ヘンシュウ  *サクジョ
  ◀,▶  &  Yes
```

削除完了のメッセージが表示されます。

転送先またはグループに指定している宛先を削除しようとすると、転送先またはグループの宛先を保存するか削除するかの確認画面が表示されます。保存する場合は [Yes] キーを押します。削除する場合は [No] キーを押します。

7 **[No] キーを 2 回押します。**

通常の画面が表示されます。

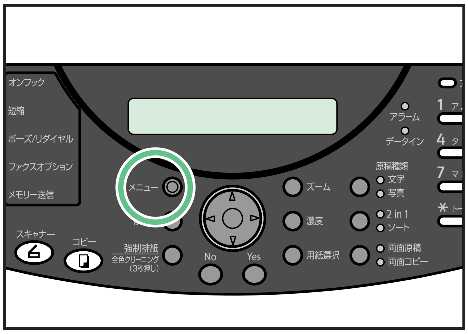
グループ宛先を登録する

宛先をグループに登録することができます。

グループの登録はワンタッチ宛先と合わせて 30 件までできます。

1 つのグループに登録できる宛先は最大 50 件です。

1 **操作部の [メニュー] キーを押します。**



AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 [▲] または [▼] キーを押して、[アテサキトウロク] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
アテサキ トウロク?          ▲
  OK=Yes / マタハ 1-3     ▼
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、[グループアテサキ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
3 グループ アテサキ?        ▲
  OK=Yes                 ▼
```


4 宛先を登録したい番号のワンタッチキーを押します。

```
-ワンタッチキー ヲ センタク-
```

5 グループ名を入力し、[Yes] キーを押します。

名前は半角 20 文字まで入力できます。

```
グループメイ=
  OK=▶                  [A]
```

6 グループに登録したいワンタッチキーを押すか、登録したい短縮キーの番号を入力し、[Yes] キーを押します。

```
No. 001=
```

グループの登録を続けるときは、[Yes] キーを押します。終了するときは、[白黒スタート] キーを押します。
登録完了のメッセージが表示されます。

7 [No] キーを 2 回押します。

通常の画面が表示されます。

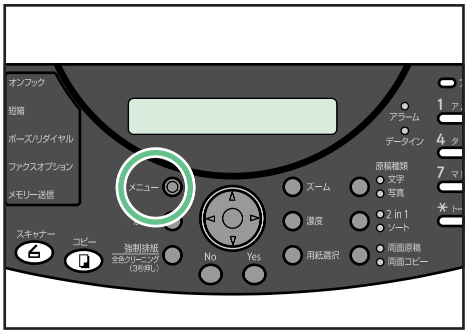
補足

- 手順 3 でテンキーの [3] を押すことによっても [グループアテサキ] を表示させることができます。
- グループ宛先に登録したワンタッチキーや短縮キーの登録内容を変更 / 削除する場合は、グループ宛先に登録されている内容を変更 / 削除するかしないかの選択をすることができます。

登録した宛先をグループから削除する

登録した宛先をグループ削除します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［アテサキトウロク］を表示させ、［Yes］キーを押します。

アテサキ　トウロク？　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１－３　▼

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［グループアテサキ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

２　グループ　アテサキ？　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　▼

4 削除したい宛先が含まれているワンタッチキーを押します。

修正するかどうかの確認画面が表示されます。

トウロクサレテイマス　ノコシマスカ？
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　（シュウセイ＝Ｎｏ）

5 ［No］キーを押します。

6 ［◀］または［▶］キーを押して、［ヘンシュウ］を選択し、［Yes］キーを押します。

＊ヘンシュウ　　サクジョ
　◀,▶　＆　Ｙｅｓ

7 **グループ名を変更するときは、新しいグループ名を入力し、［Yes］キーを押します。**

```
グループメイ=ABC COMPA
 OK=Yes              [A]
```

すでに入力されている名前を削除するときは、[クリア / ストップ] キーを押します。

8 **グループから削除したい宛先の番号が表示し、［No］キーを押します。**

登録した宛先が 001 番から順番に表示されます。削除したい番号が表示されるまで［Yes］キーを押します。

```
No.001=ワンタッチキー 01
OK=Yes      (サクジョ=No)
```

削除完了のメッセージが表示されます。

9 **削除を終了するときは［白黒スタート］キーを押します。**

編集完了のメッセージが表示されます。

10 **［No］キーを 2 回押します。**

通常の画面が表示されます。

補足

- 登録したグループごとワンタッチキーから削除するときは手順 6 で［サクジョ］を選択し、［Yes］キーを押します。

3

送信機能の設定をする

「送信設定（ソウシンセッテイ）」で送信機能の設定をします。

♦ 読み取り濃度（ヨミトリノウド）

原稿を読み取るときの濃度を−1〜+1 の間で調整します。
工場出荷時は「0」（3 段階調整の真中）に設定されています。

♦ 解像度（カイゾウド）

原稿を読み取るときの解像度を選択します。
読み取る解像度をフツウジ、チイサイジ、コマカイジ、シャシンから選択します。
［フツウジ］で送信する場合、細い文字（横細線）は欠ける可能性があるので、その場合は［チイサイジ］で送信することをお勧めします。
工場出荷時は［フツウジ］に設定されています。

♦ メモリー送信（メモリーソウシン）

メモリー送信機能を常時使用するかしないかを設定します。
工場出荷時は［スル］に設定されています。

♦ 発信元情報印字（ハッシンモトジョウホウインジ）

発信元情報印字を「スル」にすると、登録した情報を相手先の用紙に印字します。
工場出荷時は［スル］に設定されています。

♦ 自動再送信（ジドウサイソウシン）

リダイヤルをするかしないか、リダイヤルする場合のリダイヤルの間隔と最大ダイヤル回数の設定は「システム初期設定」の「国 / 地域」で設定した国により異なります。
相手先が話し中でつながらなかったり、送信中のエラーで正しく送信できなかったときは、2〜99 分間隔で最大 10 回ダイヤルを繰り返します。
ただし、［ソウシン エラー］の場合（通信管理レポートに印刷されます）、自動再送信は 1 回になります。
工場出荷時は［スル］に設定されています。

参照

・発信元情報の入力については、P.178 「発信元の情報を登録する」を参照してください。

受信機能の設定をする

「受信設定（ジュシンセッテイ）」で受信機能の設定をします。

♦ 受信印刷タイマー（ジュシンインサツタイマー）

受信した文書が印刷できる時間帯を指定します。
時間内であれば受信文書はすぐに印刷され、時間外はメモリー受信して印刷をしません。開始時間になってから印刷をします。

- スル
  - カイシジコク
    00:00〜23:59
  - シュウリョウジコク
    00:00〜23:59
  - パスワード
    パスワードは数字 4 桁で入力してください。
    パスワードは設定を［シナイ］に変更するときに確認されますので、忘れないでください。
- シナイ

工場出荷時は［シナイ］に設定されています。

♦ リンギング回数（リンギングカイスウ）

鳴らすベルの回数（呼び出し回数）を設定できます。
最大回数と最小回数は［システムショキセッテイ］の［クニ / チイキ］で設定した国により異なります。
工場出荷時は［システムショキセッテイ］の［クニ / チイキ］で設定した国により異なります。
［ニホン］の工場出荷時は［2］に設定されています。

♦ 自動縮小受信（ジドウシュクショウジュシン）

受信した文書を縮小して印刷するかしないか、またははみ出した分を裁断するかを設定します。

- スル
- シナイ
- カット

工場出荷時は［スル］に設定されています。

♦ 受信方法（ジュシンホウホウ）

受信した文書を 1 ページ受信した時点で印刷するか、全ページ受信してから印刷するかを設定します。

- メモリー
  全ページ受信してから印刷します。
- 直接（チョクセツ）
  1 ページ受信した時点で印刷します。

工場出荷時は［メモリー］に設定されています。

♦ 受信モード（ジュシンモード）
受信モードを切り替えます。
受信モードには「ジドウ」、「シュドウ」、「ファクスセンヨウ」、および「デンワユウセン」の 4 つがあります。
工場出荷時は「ファクスセンヨウ」に設定されています。
- 自動（ジドウ）
  本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。
  電話がかかってくるとファクスとして自動的に受信します。相手が電話のときは手動で電話に切り替えます。
  「ジドウ」モードに設定したときは、続けて以下の項目も設定します。
  - 呼び出し開始時間（ヨビダシ カイシジカン）
    0〜30 秒の間で設定します。工場出荷時は「8 秒」に設定されています。
  - 呼び出し時間（ヨビダシジカン）
    10〜45 秒の間で設定します。工場出荷時は「15 秒」に設定されています。
  - ファクス非検出時動作（ファクスヒケンシュツジドウサ）
    「ジュシン」または「セツダン」に設定します。工場出荷時は「ジュシン」に設定されています。
- 手動（シュドウ）
  本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。
  電話がかかってくるとベルを鳴らします。相手がファクスのときは手動でファクスに切り替えます。
- ファクス専用（ファクスセンヨウ）
  相手が電話のときは回線が自動的に切断されます。
- 電話優先（デンワユウセン）
  外付け電話機として留守番電話機を接続できます。電話がかかってくると留守番電話機が応答します。
  相手先が自動送信ファクスの場合は、応答メッセージ中か応答メッセージ後に「ポー」というファクス信号音を検出すると、自動的にファクスに切り替わります。
  相手先が電話の場合は、相手からのメッセージを留守番電話機に録音します（通常の留守番電話機と同じです）。
  留守番電話機によってはうまく動作しない場合があります。
  「デンワユウセン」モードに設定したときは、続けて以下の項目も設定します。
  - 留守番電話検出時間（ルスバンデンワケンシュツジカン）
    10〜30 秒の間で設定します。工場出荷時は「20」秒に設定されています。
  - ファクス検出時間（ファクスケンシュツジカン）
    10〜70 秒の間で設定します。工場出荷時は「40」秒に設定されています。

♦ メモリー転送（メモリーテンソウ）
受信した文書を転送するかしないか、または転送と印刷をするかを設定します。
- スル
- 転送と印刷（テンソウトインサツ）
- シナイ

「スル」と「テンソウトインサツ」に設定したときは、続けて以下の項目も設定します。
- 転送宛先

工場出荷時は［シナイ］に設定されています。

◆ **相手先情報印字（アイテサキジョウホウインジ）**

受信した文書にフッターをつけて印刷するかしないかを設定します。

・スル

・シナイ

工場出荷時は［シナイ］に設定されています。

◆ **ID 受信（ID ジュシン）**

受信する相手先を制限します。アドレス帳に登録した相手先以外からのファクスは受け付けないので、間違いファクスやいたずらファクスなどで、用紙をむだにすることがなくなります。

・スル

・シナイ

工場出荷時は「シナイ」に設定されています。

◆ **ファクス優先トレイ（ファクスユウセントレイ）**

複数のトレイに同じサイズの用紙をセットしているとき、優先的に給紙するトレイを設定します。

たとえば、トレイ 1 に A4 の白い用紙、トレイ 2 に A4 の黄色い用紙をセットし、ファクスはトレイ 2 から優先的に給紙するように、コピーはトレイ 1 から優先的に給紙するように設定します。A4 サイズの文書をファクスで受信したときは黄色の用紙に、A4 サイズのコピーをしたときは、白い用紙に印刷するので、ひと目で区別できます。

・トレイ 1

・トレイ 2

・テサシ

・ジドウ

工場出荷時は［トレイ 1］に設定されています。

参照

・コピー機能の優先給紙トレイ（ユウセンキュウシトレイ）については、P.144 「コピー機能の設定をする」を参照してください。

・プリンター機能の優先給紙トレイ（ユウセンキュウシトレイ）については、P.188 「エンジン設定」を参照してください。

電話回線の設定をする

「回線設定（カイセンセッテイ）」で電話回線の設定をします。

♦ ダイヤル / プッシュ（ダイヤル / プッシュ）

接続した電話回線の種別を設定します。

・プッシュ（プッシュ回線）

・ダイヤル（ダイヤル回線）

ダイヤル回線には 10PPS と 20PPS の 2 種類があり、地域によって異なります。

工場出荷時は「プッシュ」に設定されています。

［システムショキセッテイ］の［クニ / チイキ］で設定した国によりダイヤルが選べなくなります。

［ダイヤル］の［20pps］を選ぶと電話がつながらない国があります。つながらない場合は［10pps］に変更してください。

♦ 外線 / 内線（ガイセン / ナイセン）

加入電話回線（外線）または自営構内回線（内線）を設定します。

・ガイセン

・ナイセン

外線発信番号（ガイセンハッシン No.）をテンキーで入力します。登録できる数字の桁数は 4 桁です。

工場出荷時は「ガイセン」に設定されています。

参照

・P.106 「電話回線の種別を設定する」

各種の通信レポートを印刷する

「レポート自動印刷（レポートジドウインサツ）」で自動的に各種の通信レポートを印刷するかどうかを設定します。

♦ 通信管理レポート（ツウシンカンリレポート）

通信管理レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。
・スル
・シナイ
工場出荷時は「スル」に設定されています。

♦ 送信結果レポート（ソウシンケッカレポート）

送信結果レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。
・スル
・エラー時のみする（エラージノミスル）
・シナイ
工場出荷時は「エラージノミスル」に設定されています。

♦ 受信結果レポート（ジュシンケッカレポート）

受信結果レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。
・スル
・エラー時のみする（エラージノミスル）
・シナイ
工場出荷時は「シナイ」に設定されています。

発信元の情報を登録する

「基本設定（キホンセッテイ）」で発信元の情報を登録します。

♦ 日時（ニチジ）

システム時計の年月日、時刻を設定します。

- ・ジカンセッテイ
- ・フンセッテイ
- ・ネンセッテイ
- ・ツキセッテイ
- ・ヒニチセッテイ
- ・タイムゾーン

タイムゾーンの設定は、日本の場合は「GMT=+0900」に設定してください。（GMT= グリニッジ標準時間）

タイムゾーンを設定後は、［Yes］キーを押してください。［Yes］キー押下後に設定が反映されます。

♦ ファクス番号（ファクスバンゴウ）

発信元ファクス番号を登録します。

登録できる文字は数字、記号（スペース､+､−）です。登録できる文字数は半角で最大 20 文字です。

♦ ユーザー名（ユーザーメイ）

登録できる文字はカタカナ（半角）、アルファベット、記号、数字です。

登録できる文字数は半角で最大 32 文字です。

参照

・P.209 「文字の入力のしかた」

ネットワーク設定

「ネットワーク設定（ネットワークセッテイ）」でネットワーク環境に本機を接続して印刷などをするために設定をします。

重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。
- 本機の IP アドレスを DHCP サーバーから取得している場合に［ホンタイ IP アドレス］の［シテイ］画面にて［Yes］キーを押すと、IP アドレスが固定されます。その場合は、再度［ホンタイ IP アドレス］画面で［ジドウシュトク］を設定してください。

♦ 本体 IP アドレス（ホンタイ IP アドレス）

ネットワーク上における本機の IP アドレスを設定します。

- ジドウシュトク
- シテイ

  IP アドレスをテンキーで入力します。

  - 0.0.0.0（工場出荷時の設定）

工場出荷時は「ジドウシュトク」に設定されています。［シテイ］を選択した場合のみ、［サブネットマスク］と［ゲートウェイアドレス］を「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。（x は数値）

♦ サブネットマスク（サブネットマスク）

ネットワーク上における本機のサブネットマスクを設定します。

- 0.0.0.0（工場出荷時の設定）

♦ ゲートウェイアドレス（ゲートウェイアドレス）

ネットワーク上における本機のゲートウェイアドレスを設定します。

- 0.0.0.0（工場出荷時の設定）

♦ DNS 設定（DNS セッテイ）

DNS サーバーの運用について設定します。

［ユウコウ］を選択した場合、DNS サーバーの IP アドレスを「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で入力します。（x は数値）

工場出荷時は「ムコウ」に設定されています。

♦ イーサネット速度（イーサネットソクド）

通信速度を設定します。

環境に合った通信速度を設定します。通常は［ジドウセンタク］を選択します。

- ジドウセンタク
- 10Mbps ハンニジュウ
- 10Mbps ゼンニジュウ
- 100Mbps ハンニジュウ
- 100Mbps ゼンニジュウ

工場出荷時は「ジドウセンタク」に設定されています。

♦ イーサネットボードリセット（イーサネットボードリセット）

ネットワークボードを工場出荷値の状態に戻します。

LDAP サーバーを使うには

LDAP 検索を行うためには、「LDAP 設定(LDAP セッテイ)」で LDAP サーバーを登録します。LDAP サーバーを登録することによってスキャナー機能やファクス機能から文書をメールで送信するときに、LDAP サーバー上のアドレス帳からメールアドレスを調べることができます。

重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

LDAP 検索を行うためには、「サーバー名(サーバーメイ)」、「サーバーポート番号(サーバーポートバンゴウ)」、「検索開始位置(ケンサクカイシイチ)」、「アカウント名(アカウントメイ)」、「パスワード」の項目を必ず設定してください。

お使いのサーバー環境により、設定が必要な項目が異なります。お使いのサーバー環境をご確認の上、必要に応じて設定してください。なお、それ以外の設定項目につきましては、必要に応じてお使いの環境をご確認の上、任意に設定してお使いください。

3

♦ サーバー名(サーバーメイ)

LDAP サーバー名を登録します。

DNS が有効な場合は、ホスト名を入力します。DNS が無効な場合は、LDAP サーバーの IP アドレスを入力します。

サーバー名は、半角英数 64 文字以内で入力してください。

♦ ユーザー名(ユーザーメイ)

ユーザー名を入力します。

♦ パスワード(パスワード)

パスワードを入力します。

このパスワードは LDAP サーバーに接続する際の認証に必要です。

♦ サーバーポート番号(サーバーポートバンゴウ)

LDAP サーバーと通信を行う際に使用するポート番号を指定します。

お使いの環境にあわせたポートを指定してください。

♦ 検索タイムアウト(ケンサクタイムアウト)

検索の制限時間を設定します。

「5-60」(1 秒単位)の範囲でテンキー入力します。工場出荷時の値は「60 秒」です。

♦ 表示件数(ヒョウジケンスウ)

検索結果の最大件数を設定します。「10-100」件の範囲でテンキー入力します。工場出荷時の値は「100 件」です。

♦ 検索開始位置(ケンサクカイシイチ)

検索を開始するルートフォルダーを選択します。ここで選択したフォルダーの中に登録されているメールアドレスが検索の対象となります。

お使いのサーバー環境によっては、検索開始位置の登録が必要になります。登録が必要な場合、何も指定せずに検索を行うとエラーとなります。お使いのサーバー環境をご確認の上、入力してください。

♦ **検索条件（ケンサクジョウケン）**

検索の一致条件を設定します。

・前方一致（ゼンポウイッチ）
・含む（フクム）
・後方一致（コウホウイッチ）

工場出荷時の値は「フクム」です。

参照

・P.209 「文字の入力のしかた」

インターネットファクス・メール送信機能を使うには（SMTP 設定）

「SMTP 設定（SMTP セッテイ）」でメールの送信やインターネットファクスの送信をするために設定します。

重要

・この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

3

♦ 送信者名（ソウシンシャメイ）
メール送信時の送信者名を登録します。
送信者名は、半角英数 20 文字以内で入力してください。

♦ メールアドレス（メールアドレス）
メール送信時の送信者のメールアドレスを登録します。
送信者のメールアドレスは、半角英数 64 文字以内で入力してください。

♦ SMTP サーバー名（SMTP サーバーメイ）
SMTP サーバー名を設定します。
DNS が有効な場合は、ホスト名を入力します。DNS が無効な場合は、SMTP サーバーの IP アドレスを入力します。
サーバー名は、半角英数 64 文字以内で入力してください。

♦ SMTP ポート番号（SMTP ポートバンゴウ）
ポート番号を設定します。
ポート番号は、「1〜65535」の範囲でテンキー入力します。工場出荷時は「25」です。

♦ SMTP サーバータイムアウト
SMTP サーバーからの応答を待つ際の最大待ち時間を設定します。
「30-300」（1 秒単位）の範囲でテンキー入力します。工場出荷時の値は「60 秒」です。

♦ 定型文挿入（テイケイブンソウニュウ）
メール送信時の本文に、文書添付の旨を連絡する定型文を挿入します。

♦ 件名の初期値（ケンメイノショキチ）
件名を登録します。
件名は、半角英数 20 文字以内で入力してください。

♦ SMTP 認証（SMTP ニンショウ）

SMTP認証を設定します。PLAIN、LOGIN方式のSMTP認証に対応しています。CRAM-MD5、DIGEST-MD5 方式の SMTP 認証はご利用いただけません。

SMTP サーバーへのメール送信時に、ユーザー名とパスワードを入力して SMTP 認証を行うことで、SMTP サーバーのセキュリティーレベルを強化することができます。

SMTP サーバーが SMTP 認証を必要とする場合は、［SMTP ニンショウ］を［スル］に設定し、ユーザー名とパスワードを設定します。

- スル
  - 名前（ナマエ＝）
    名前は、半角英数 64 文字以内で入力してください。
  - パスワード
    パスワードは、半角英数 32 文字以内で入力してください。
- シナイ
- POP before SMTP（POP before SMTP）
  POP 認証（POP before SMTP）を設定します。APOP 方式の POP 認証はご利用いただけません。
  SMTP サーバーにメールを送信する前に、まず POP サーバーに接続して認証を行うことで、SMTP サーバーのセキュリティーレベルを強化することができます。
  ［POP before SMTP］を選択した場合は、［POP3 セッテイ］で POP3 サーバーの設定をしてください。

参照

• P.184 「インターネットファクス・メール受信機能を使うには（POP3 設定）」
• P.209 「文字の入力のしかた」

3

インターネットファクス・メール受信機能を使うには（POP3 設定）

「POP3 設定（POP3 セッテイ）」でメールの受信やインターネットファクスの受信をするための設定をします。

重要

・この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

◆ POP3 サーバー名（POP3 サーバーメイ）

インターネットファクスを受信する場合に、POP3 サーバー名を設定します。
ここで設定した POP3 サーバー名は［POP before SMTP］で使用されます。
DNS が有効な場合は、ホスト名を入力します。DNS が無効な場合は、POP3 サーバーの IP アドレスを入力します。
サーバー名は、半角英数 64 文字以内で入力してください。スペースは使用できません。

◆ POP3 ポート番号（POP3 ポートバンゴウ）

インターネットファクスを受信する場合に、［POP3 ポートバンゴウ］のポート番号を設定します。
ここで設定した POP3 のポート番号は、［POP before SMTP］で使用されます。
「1〜65535」の範囲でテンキー入力します。工場出荷時は「110」に設定されています。

◆ POP3 サーバータイムアウト（POP3 サーバータイムアウト）

POP3 サーバーから応答がない場合の接続時間の制限を設定します。

◆ POP3 ユーザー名（POP3 ユーザーメイ）

インターネットファクス受信用のメールアカウントを設定します。
メールアドレスは、半角英数 64 文字以内で入力してください。

◆ POP3 パスワード（POP3 パスワード）

インターネットファクス受信用のパスワードを設定します。
パスワードは、半角英数 32 文字以内で入力してください。

◆ 自動メール受信（ジドウメールジュシン）

POP3 サーバーに対して、インターネットファクスを受信する間隔（分）を指定します。
［スル］を選択した場合、「1〜60」（1 分単位）の範囲でテンキー入力します。

◆ 管理者メールアドレス（カンリシャメールアドレス）

メール送信時に使用する送信者を設定します。
指定されたメールアドレスが From: に使用されます。
半角英数 64 文字以内で入力してください。

◆ エラー情報保存（エラージョウホウホゾン）

インターネットファクスのエラー受信時、エラー情報を保持するかしないかを設定します。

- ホゾン
- サクジョ

参照

・P.209 「文字の入力のしかた」

スキャナー機能の設定をする

「スキャナー初期設定（スキャナーショキセッテイ）」の各種項目について説明します。

♦ 解像度（カイゾウド）

原稿を読み取るときの解像度を設定します。

- 150×150
- 300×300
- 600×600

工場出荷時は「300×300」に設定されています。

♦ 優先ファイル形式（ユウセンファイルケイシキ）

原稿を読み取るときに、優先的に設定されるファイル形式を設定します。

- TIFF
- PDF
- JPEG

ここで設定した「ユウセンファイルケイシキ」は、原稿読み取り時に設定した原稿種類によって以下のように変わります。

原稿読み取り時の原稿種類が「カラー」または「グレー」のとき：

「ユウセンファイルケイシキ」が「TIFF」でも原稿読み取り時のファイル形式は「PDF」になります。

原稿読み取り時の原稿種類が「シロクロ」のとき：

「ユウセンファイルケイシキ」が「JPEG」でも原稿読み取り時のファイル形式は「TIFF」になります。

工場出荷時は「PDF」に設定されています。

♦ 圧縮方式（アッシュクホウシキ）

読み取ったモノクロ TIFF 原稿を送信するときの、ファイル形式を設定します。

- MH
- MR
- MMR

工場出荷時は「MH」に設定されています。

♦ 送信メール分割（ソウシンメールブンカツ）

送信するメールサイズが設定したサイズを超えた場合に、分割して複数メールで送信する機能です。

- シナイ
- ページゴト
  ページごとに分割します。
- サイズゴト
  メールサイズごとに分割します。
  分割数の設定範囲は 2～500 です。初期値は 5 です。

送信メールサイズの設定範囲は 64KB～4096KB です。初期値は 2048KB です。

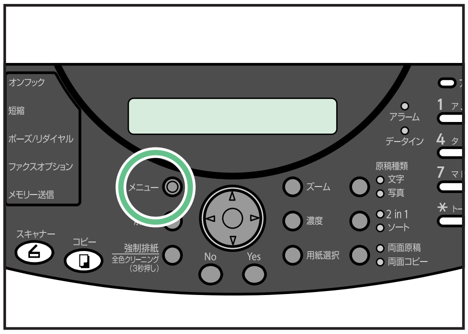
工場出荷時は「シナイ」に設定されています。

3

送信 / 受信結果を確認する

「送信 / 受信結果（ソウシン / ジュシンケッカ）」でファクスの送信、受信、スキャナーの送信の結果を確認します。
送信、受信の結果が表示されます。送信、受信結果のレポートを印刷することもできます。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［ソウシン / ジュシンケッカ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
ソウシン/ジュシン　ケッカ?　▲
　OK=Yes　　　　　　　　　▼
```

3 ［▲］または［▼］キーを押して、送信または受信結果を表示させます。

```
60 (MAY. 12  14:04) TX ▲
0123456          -OK ▼
```

4 ［白黒スタート］キーを押して、送信または受信結果レポートを印刷します。

```
ソウシン　ケッカ　レポート
　　　　　　　　->>スタート
```

参照

- 確認、レポート印刷の手順については、P.488「レポートで本機の設定・状態・通信記録を確認する」を参照してください。
- P.496「通信結果を確認する」

カウンター

各機能で使用した枚数の合計をカウンター表示または印刷をします。

- ヨミトリ
- フルカラー
- ブラック
- レベルカラー
- カウンター印刷（カウンターインサツ）

参照

- カウンターについて詳しくは、P.506「カウンターについて」を参照してください。

エンジン設定

エンジンセッテイの各種項目について説明します。

◆ 優先給紙トレイ（ユウセンキュウシトレイ）

「優先給紙トレイ」とは、本機の電源を入れたときに選択される給紙トレイです。トレイを指定します。

工場出荷時は「トレイ 1」に設定されています。

◆ 設定リスト印刷（セッテイリストインサツ）

設定リスト印刷メニューでは、本機の使用環境や印刷に関する条件の設定状況の一覧表を印刷することができます。

・システム設定リスト（システムセッテイリスト）

本機のシステム構成やシステム設定の設定内容などが印刷されます。

◆ 乾燥待ち時間設定（カンソウマチジカンセッテイ）

両面印刷や OHP などのインク乾燥までの時間を設定します。

・両面ユニット（リョウメンユニット）

・シナイ

・スル

［スル］を選択したときは、［◀］［▶］キーを押して「1、2、5、10、15、20 秒」の間で乾燥時間を設定します。

工場出荷時は「シナイ」に設定されています。

・OHP

・シナイ

・スル

［スル］を選択したときは、［◀］［▶］キーを押して「1、2、5、10 分」の間で乾燥時間を設定します。

工場出荷時は「シナイ」に設定されています。

◆ エラースキップ

プリンタードライバーから指示した用紙サイズ・紙種の条件に合うトレイがなかった場合の本機の動作を設定します。

「シナイ」を設定した場合はアラームが点灯し、指示された紙サイズ・紙種がセットまたは設定されるまで印刷されません。

「ソクジ」を設定した場合はエラーを無視してそのまま印刷を続けます。

・シナイ

・ソクジ

工場出荷時は「ソクジ」に設定されています。

◆ 補助用紙サイズ（ホジョヨウシサイズ）

A4 と Letter（$8^1/_2$ × 11）の切り替えをするかしないかを設定します。

［ジドウ］に設定した場合は A4 もしくは Letter($8^1/_2$×11) に切り替えて印刷します。

［シナイ］に設定した場合は切り替えを行いません。

・シナイ

・ジドウ

工場出荷時は「シナイ」に設定されています。

♦ 片方向印刷（カタホウコウインサツ）

プリントヘッドの印刷方向の設定を行います。
片方向印刷は双方向印刷よりも印刷品質は上がりますが、印刷速度は遅くなります。

- 封筒切り替えレバー：On（フウトウキリカエレバー :On）
  本機の封筒・標準切替レバーの設定にしたがいます。
  封筒・標準切替レバーが側（奥側）であれば、プリントヘッドの動きが片方向の印刷になります。
  封筒・標準切替レバーが側（手前側）であれば、用紙の種類によって、自動的にプリントヘッドの動きを設定します。
- 紙種 / モード自動検知（カミシュ / モードジドウケンチ）
  本機の封筒・標準切替レバーの設定にしたがいません。用紙の種類によって、自動的にプリントヘッドの動きを設定します。
- 常に片方向（ツネニカタホウコウ）
  本機の封筒・標準切替レバーの設定に関わらず、プリントヘッドの動きが片方向の印刷になります。

工場出荷時は「フウトウキリカエレバー :On」に設定されています。

♦ インク回収ユニット交換（インクカイシュウユニットコウカン）

インク回収ユニットの交換は、サービス実施店に連絡してください。

♦ 再生紙モード（サイセイシモード）

再生紙モードで印刷するかしないかを設定します。
高抵抗の用紙（再生紙にはその傾向があります）を通紙するとノズル抜けが発生することがあります。この場合には、再生紙モードを有効にして使用してください。上質紙の中には、再生紙と同様に高抵抗のものがあります。そのような用紙を使用する場合も、再生紙モードを有効にしてください。

- スル
- シナイ

工場出荷時は「シナイ」に設定されています。

参照

- P.505 「お問い合わせ先のご案内」

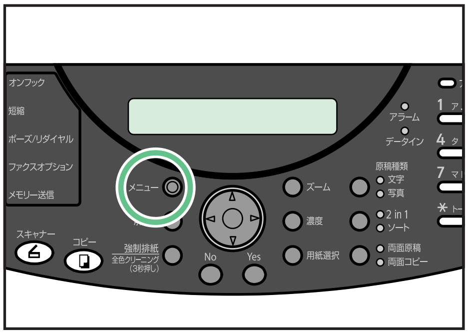
システム設定リストを印刷する

ここでは「システム設定リスト」の印刷手順を説明します。

重要

- システム設定リストは A4 または Letter（8$^{1}/_{2}$" × 11"）で印刷されます。給紙トレイや手差しトレイ（オプション）に A4 または Letter（8$^{1}/_{2}$" × 11"）の用紙をセットしてください。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

2 ［▲］または［▼］キーを押して「エンジンセッテイ」を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
エンジンセッテイ?                ▲
  OK=Yes  /  マタハ  1-7        ▼
```

3 ［▲］または［▼］キーを押して「セッテイリストインサツ」を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
2  セッテイリスト  インサツ       ▲
  OK=Yes                        ▼
```

4 ［Yes］キーを押します。

```
システムセッテイリスト?           ▲
  OK=Yes                        ▼
```

印刷終了後、エンジンセッテイメニューに戻ります。

5 ［No］キーを押します。

通常の画面が表示されます。

インターフェース設定

インターフェース設定メニューでは、ネットワーク接続に関する設定とパソコンと本機をUSBで接続している場合の通信に関する設定を行います。変更したインターフェース設定の内容は電源を切っても保持されます。

◆ I/F切り替え時間（I/Fキリカエジカン）

現在のインターフェースからデータが送信されてこなくなってから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えるとほかのインターフェースからのデータの受信が可能になります。

設定時間が短すぎると1つのデータを受信中にタイムアウトになってしまうことがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、印刷を中止したデータが途中から印刷されたりします。

「10、15、20、25、60秒」の間でI/F切り替え時間を設定します。

工場出荷時は15秒に設定されています。

◆ USBスピード（USBスピード）

パソコンと本機をUSBで接続している場合の通信に関する設定を行います。

通常は変更する必要はありません。

・フルスピード

・ジドウ

工場出荷時は「ジドウ」に設定されています。

◆ USBポート固定（USBポートコテイ）

パソコンと本機をUSBで接続している場合の通信に関する設定を行います。

通常は変更する必要はありません。

設定を変更したときは、いったん電源をOFFにし、あらためて電源をONにしてください。

・スル

・シナイ

工場出荷時は「シナイ」に設定されています。

◆ 自動メール通知（ジドウメールツウチ）

本機でエラーが発生したときに、エラーの詳細情報を指定したメールアドレスに通知するかどうかを指定します。

設定を変更したときは、いったん電源をOFFにし、あらためて電源をONにしてください。

・スル

・シナイ

工場出荷時は「スル」に設定されています。

参照

・自動メール通知はWebブラウザーで設定します。P.478「本機の状態をメールで通知する」

3

メンテナンスメニュー

メンテナンスメニューでは、階調や濃度などの印刷条件の調整など本機の管理についての設定ができます。

♦ ノズルチェック（ノズルチェック）
テストパターンを印刷して、ノズル抜けが発生していないか確認します。

♦ ヘッドクリーニング（ヘッドクリーニング）
プリントヘッドをクリーニングします。
特定の色が印刷されなかったり、かすれて印刷される場合に行ってください。
クリーニングを行うとインクを消耗します。

♦ ヘッドリフレッシング（ヘッドリフレッシング）
より強力にヘッドクリーニングします。
ヘッドクリーニングよりもインクを消耗しますので、ヘッドクリーニングを数回繰り返しても効果が得られなかった場合に行ってください。
カートリッジエンドのときは、ヘッドリフレッシングはできません。

♦ ヘッド位置調整（ヘッドイチチョウセイ）
双方向印刷（往復両方で印刷）で縦方向の線がずれて印刷されたり、色がぼやけて印刷される場合に、テストパターンを印刷して調整します。

♦ 用紙送り量調整（ヨウシオクリリョウチョウセイ）
横方向の線がずれて印刷されたり、イメージにムラが発生する場合に、テストパターンを印刷して用紙の送り量を調整します。

♦ 印刷位置調整（インサツイチチョウセイ）
テストパターンを印刷して、用紙の印刷開始位置を給紙トレイごとに調整します。

♦ 通紙テスト（ツウシテスト）
用紙を印刷せずに 1 枚排紙します。

♦ 結露除去（ケツロジョキョ）
用紙を印刷せずに 3 枚排紙し、本機内部の湿気を取り除きます。

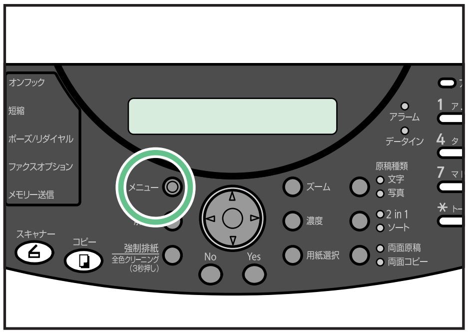
♦ プリントヘッド移動（プリントヘッドイドウ）
用紙がつまった場合に、プリントヘッドを移動させて右端につまった紙片をとりやすくします。

♦ カウンターリセット（カウンターリセット）
ADF のカウンターリセットは、サービス実施店に連絡してください。
カウンターがリセットされてしまいますので、通常は操作しないでください。

ノズルチェック

テストパターンを印刷して、ノズル抜けが発生していないか確認します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［メンテナンス］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
メンテナンス?                ▲
  OK=Yes  /  マタハ  1-9     ▼
```

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［ノズルチェック］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
1  ノズルチェック?           ▲
  OK=Yes                     ▼
```

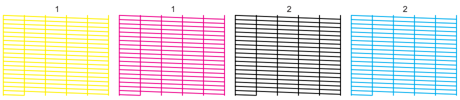
テストパターンが印刷されます。

4 ［No］キーを 2 回押します。

通常の画面が表示されます。

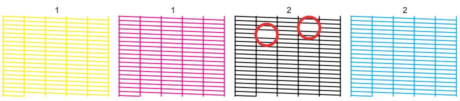
5 テストパターンの印刷結果を確認します。

正常な印刷結果



AQQ133S

プリントヘッドにてノズル抜けが発生している場合



AQQ134S

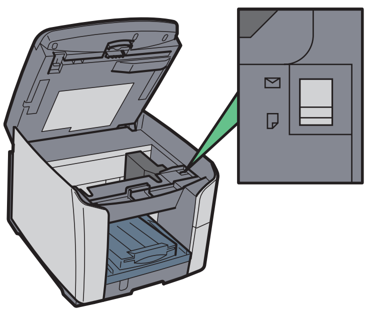
補足

- プリンタードライバーの［メンテナンス］タブからも本機を調整できます。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ヘッドクリーニング

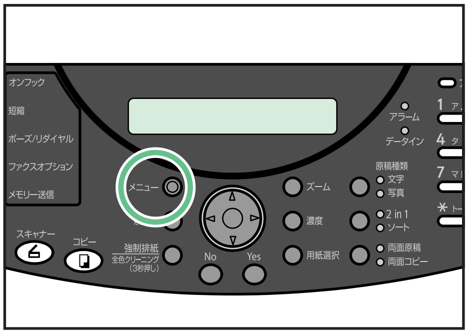
プリントヘッドをクリーニングします。特定の色が印刷されない、もしくはかすれて印刷される場合に行ってください。
クリーニングを行うとインクを消耗します。
インクカートリッジが空の場合、ヘッドクリーニングを実行する前にインクカートリッジを交換してください。インクカートリッジを交換した後、自動的にヘッドクリーニングが実行されます。

1 封筒・標準切替レバーが側（手前側）になっていることを確認します。



AQR396S

2 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［メンテナンス］を表示させ、［Yes］キーを押します。

メンテナンス？ ▲
OK=Yes / マタハ 1-9 ▼

4 **[▲] または [▼] キーを押して、[ヘッドクリーニング] を表示させ、[Yes] キーを押します。**

```
2　ヘッドクリーニング？　　　　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　▼
```

5 **[◀] または [▶] を押して、ヘッドクリーニングを行なう色を [オールヘッド]、[ヘッド 1]、[ヘッド 2] から選択し、[Yes] キーを押します。**

```
＊オールヘッド　　　　　　　　▶
　◀,▶　＆　Ｙｅｓ
```

ヘッドクリーニングが実行されます。

6 **[No] キーを押して、設定中止の確認画面が表示されたら [Yes] キーを押します。**

```
カイジョ？
　Ｙｅｓ　／　ケイゾク＝Ｎｏ
```

メンテナンス画面が表示されます。

7 **[No] キーを押します。**

通常の画面が表示されます。

補足

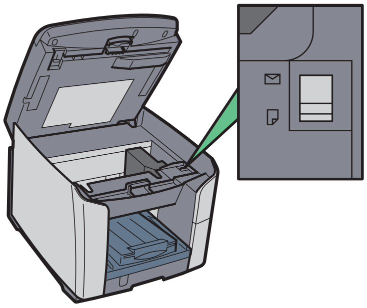
- プリンタードライバーの [メンテナンス] タブからも本機を調整できます。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ヘッドリフレッシング

より強力にヘッドクリーニングします。
ヘッドクリーニングよりもインクを消耗しますので、ヘッドクリーニングを数回繰り返しても効果が得られなかった場合に行ってください。
インクカートリッジが空の場合、ヘッドクリーニングを実行する前にインクカートリッジを交換してください。インクカートリッジを交換した後、自動的にヘッドクリーニングが実行されます。

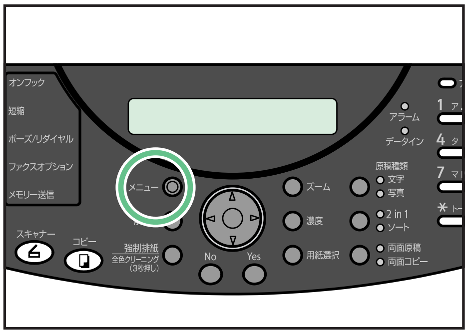
3

1 封筒・標準切替レバーが☐側（手前側）になっていることを確認します。



AQR396S

2 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［メンテナンス］を表示させ、［Yes］キーを押します。

メンテナンス？ ▲ ＯＫ＝Ｙｅｓ ／ マタハ １－９ ▼

4 ［▲］または［▼］キーを押して、［ヘッドリフレッシング］を表示させ、［Yes］キーを押します。

３ ヘッドリフレッシング？ ▲ ＯＫ＝Ｙｅｓ ▼

5 [◀] または [▶] を押して、ヘッドクリーニングを行なう色を [オールヘッド]、[ヘッド 1]、[ヘッド 2] から選択し、[Yes] キーを押します。

```
*オールヘッド        ▶
 ◀,▶  &  Yes
```

ヘッドリフレッシングが実行されます。

6 [No] キーを押して、設定中止の確認画面が表示されたら [Yes] キーを押します。

```
カイジョ?
 Yes / ケイゾク=No
```

メンテナンス画面が表示されます。

7 [No] キーを押します。

通常の画面が表示されます。

補足

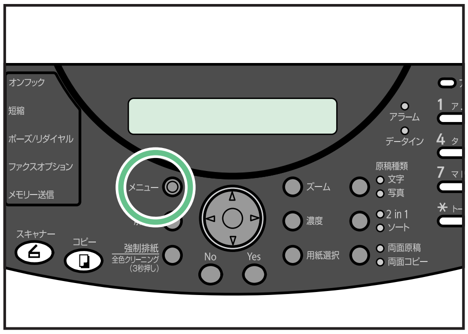
- プリンタードライバーの [メンテナンス] タブからも本機を調整できます。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3

ヘッド位置調整

双方向印刷(往復両方で印刷)で縦方向の線がずれて印刷されたり、色がぼやけて印刷される場合に、テストパターンを印刷して調整します。

1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AQQ030S

2 [▲] または [▼] キーを押して、[メンテナンス] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
メンテナンス?         ▲
 OK=Yes / マタハ 1-9  ▼
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、[ヘッドイチチョウセイ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
4 ヘッドイチチョウセイ?        ▲
  OK=Yes                      ▼
```

4 [◀] または [▶] キーを押して、[テストパターンインサツ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
*テストパターン インサツ       ▶
  ◀,▶  & Yes
```

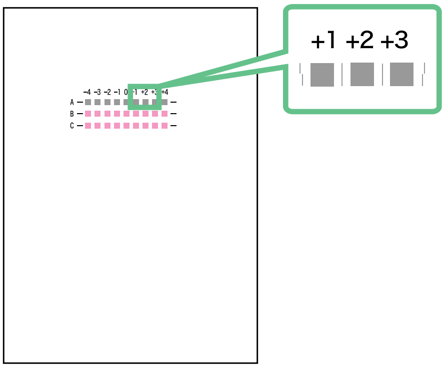
5 [◀] または [▶] キーを押して、テストパターンを選択し、[Yes] キーを押します。

```
◀*キレイ/ハヤイ               ▶
  ◀,▶  & Yes
```

すべての解像度での印刷を正しく補正するためには、[コウガシツ]、[キレイ/ハヤイ]、[コウソク] のすべての調整を行います。
「ヘッド位置調整」テストパターンが印刷されます。

6 テストパターンの印刷結果から、最適な調整値を確認します。

四角の色がもっとも薄くグレーに近い、左右にある縦線にずれがないパターンの上側の数値が最適な調整値です。「A」の列で四角の色がもっとも薄く、左右にある縦線がもっとも直線に近いパターンの上側の数値が「+2」の場合、[A] の調整値は [+2] になります。



BBF010S

7 [◀] または [▶] キーを押して、[チョウセイジッコウ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
◀*チョウセイ ジッコウ
  ◀,▶  & Yes
```

8 [◀] または [▶] キーを押して、手順 5 で選択した解像度を選択し、[Yes] キーを押します。

```
◀＊キレイ／ハヤイ              ▶
  ◀,▶  &  Yes
```

9 [◀] または [▶] キーを押して、調整したい項目を選択し、[Yes] キーを押します。

```
＊A        B        C
  ◀,▶  &  Yes
```

10 [◀] または [▶] キーを押して、手順 6 で確認した調整値を入力し、[Yes] キーを押します。

```
チョウセイチ＝＋4
  ◀,▶  &  Yes
```

11 [No] キーを押して、設定中止の確認画面が表示されたら [Yes] キーを押します。

```
カイジョ？
  Yes  ／  ケイゾク＝No
```

メンテナンス画面が表示されます。

12 [No] キーを押します。

通常の画面が表示されます。

補足

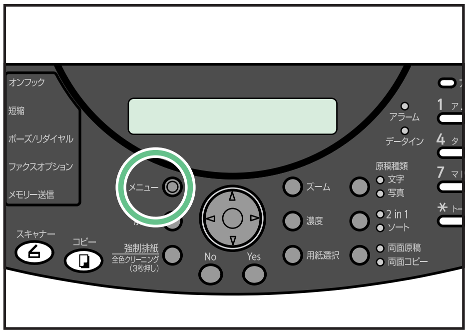
- プリンタードライバーの [メンテナンス] タブからも本機を調整できます。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3

用紙送り量調整

横方向の線がずれて印刷されたり、イメージにムラが発生したり、一定間隔で白いすじや黒いすじが発生する場合に、テストパターンを印刷して用紙の送り量を調整します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［メンテナンス］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
メンテナンス?             ▲
 OK=Yes  /  マタハ  1-9    ▼
```

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［ヨウシオクリチョウセイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
5  ヨウシオクリチョウセイ?  ▲
 OK=Yes                    ▼
```

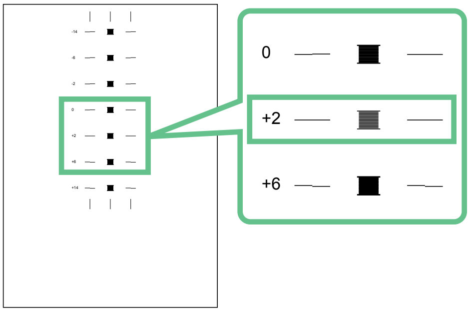
4 ［◀］または［▶］キーを押して、［テストパターンインサツ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
*テストパターン  インサツ    ▶
 ◀,▶  &  Yes
```

テストパターンが印刷されます。

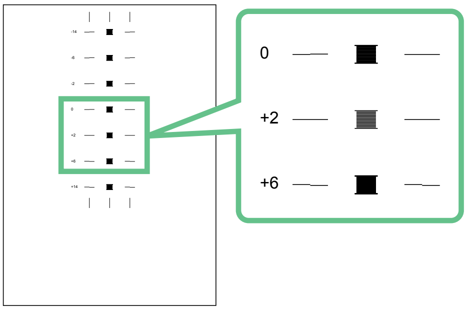
5 **テストパターンの印刷結果から、最適な調整値を確認します。**

四角の色がもっとも薄く、左右にある横線にずれがないパターンの左側の数値が最適な調整値です。四角の色がもっとも薄く、左右にある横線にずれがないパターンの左側の数値が「+2」の場合、調整値は［+2］になります。



ZKKX030J

もっとも色の薄い四角であっても左右にある横線がずれている場合は、その上または下のパターンで横線が逆方向にずれているものを参考にして、調整値を決めてください。たとえば、「+2」の四角の色がもっとも薄く、「+6」の左右にある横線が「+2」とは逆方向にずれている場合、調整値はずれの程度に応じて［+3］～［+5］になります。調整の終了後、もう一度用紙送り量調整を行い、最適な調整値に設定されているか確認してください。



ZKKX040J

6 **［◀］または［▶］キーを押して、［チョウセイジッコウ］を表示させ、［Yes］キーを押します。**

◀＊チョウセイ　ジッコウ
　◀,▶　＆　Ｙｅｓ

7 **［▲］または［▼］キーを押して、手順 5 で選択した調整値（−14～+14）を選択し、［Yes］キーを押します。**

チョウセイチ＝０　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　▼

8 [No] キーを押して、設定中止の確認画面が表示されたら [Yes] キーを押します。

```
カイジョ?
  Yes / ケイゾク=No
```

メンテナンス画面が表示されます。

9 [No] キーを押します。

通常の画面が表示されます。

補足

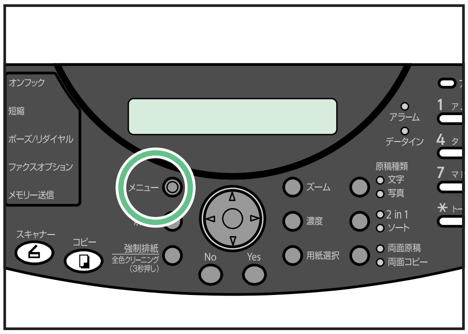
- プリンタードライバーの [メンテナンス] タブからも本機を調整できます。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3

印刷位置調整

テストパターンを印刷して、用紙の印刷開始位置を給紙トレイごとに調整します。

1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AQQ030S

2 [▲] または [▼] キーを押して、[メンテナンス] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
メンテナンス?                ▲
  OK=Yes / マタハ 1-9    ▼
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、[インサツイチチョウセイ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
6 インサツイチチョウセイ?    ▲
  OK=Yes                    ▼
```

4 **[◀］または［▶］キーを押して、［テストパターンインサツ］を表示させ、［Yes］キーを押します。**

```
*テストパターン　インサツ　　　　▶
 ◀,▶　＆　Yes
```

印刷位置調整のテストパターンは A4 サイズです。印刷位置を調整する給紙トレイには A4 をセットしてください。

5 **[◀］または［▶］キーを押して、印刷位置を調整する給紙トレイを選択し、［Yes］キーを押します。**

```
*トレイ1　　　　トレイ2　　　　▶
 ◀,▶　＆　Yes
```

3

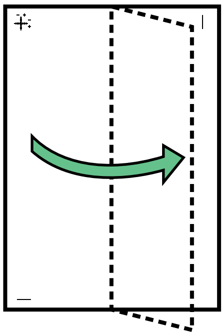
6 **[◀］または［▶］キーを押して、給紙トレイにセットされている用紙を選択し、［Yes］キーを押します。**

```
*フツウシ　　　コウタクシ　　　▶
 ◀,▶　＆　Yes
```

テストパターンが印刷されます。

7 **テストパターンの印刷結果から、最適な調整値を確認します。**

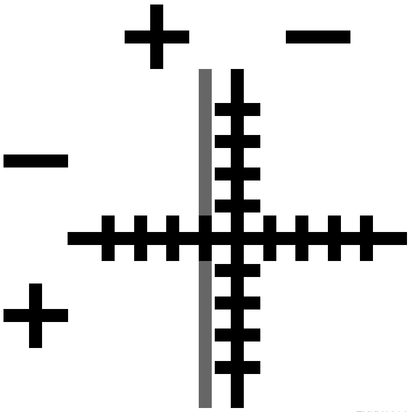
8 **テストパターンを印刷した用紙の角を合わせ、縦に二つ折りにします。**



ZKKX020J

3

9 二つ折りにした用紙を透かしてみて、印刷された十字と縦線のずれが調整値になります。縦線が十字の中心から＋方向に目盛り 1 つ分ずれていた場合、［フツウシ（X）］の調整値は［+1］になります。



ZKKX021J

10 同様にテストパターンを印刷した用紙を横に二つ折りにして、「フツウシ（Y）」の調整値を確認してください。

［フツウシ（X）］と［フツウシ（Y）］の調整値は［1］刻みです。

11 [◀] または [▶] キーを押して、[チョウセイジッコウ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
◀＊チョウセイ　ジッコウ
　◀,▶　＆　Yes
```

12 [◀] または [▶] キーを押して、印刷位置を調整する給紙トレイを選択し、[Yes] キーを押します。

```
＊トレイ1　　　　トレイ2　　　▶
　◀,▶　＆　Yes
```

13 [◀] または [▶] キーを押して、調整したい項目を選択し、[Yes] キーを押します。

```
＊フツウシ（X）　フツウシ（Y）　▶
　◀,▶　＆　Yes
```

14 [▲] または [▼] キーを押して、[フツウシ（X）] に、手順 9 で確認した調整値（−40〜+40）を入力し、[Yes] キーを押します。

```
チョウセイチ＝0　　　　　▲
　OK＝Yes　　　　　　　 ▼
```

15 **［▲］または［▼］キーを押して、［フツウシ（Y）］に、手順 10 で確認した調整値（−40〜+40）を入力し、［Yes］キーを押します。**

```
チョウセイチ=0       ▲
  OK=Yes            ▼
```

16 **［No］キーを押して、設定中止の確認画面が表示されたら［Yes］キーを押します。**

```
カイジョ?
  Yes / ケイゾク=No
```

メンテナンス画面が表示されます。

17 **［No］キーを押します。**

通常の画面が表示されます。

補足

- プリンタードライバーの［メンテナンス］タブからも本機を調整できます。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3

プリントヘッド移動について

用紙がつまった場合に、プリントヘッドを移動させて右端につまった紙片をとりやすくします。作業終了後、電源を再投入し「ノズルチェック」テストパターンを印刷します。

⚠注意



- 機械の動作中にカバーを開け、機械内部に手や指を入れないでください。手や指をはさまれ、けがの原因になります。

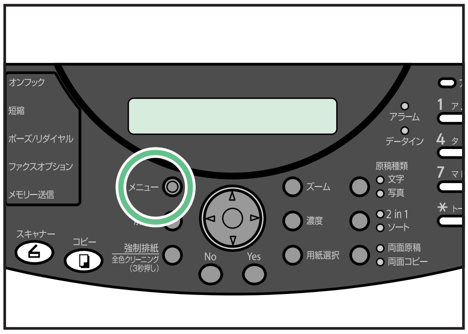
3

重要

- つまった用紙を取り除くとき、先のとがったものは使用しないでください。
- 操作の途中で電源の再投入が必要になりますが、途中の手順で終了せず、最後の手順まで行ってください。

1 スキャナーユニットが閉まっていることを確認します。

2 [メニュー] キーを押します。



AQQ030S

3 [▲] または [▼] キーを押して、「メンテナンス」を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
メンテナンス?                    ▲
  OK=Yes  / マタハ  1-9        ▼
```

4 [▲] または [▼] キーを押して、「プリントヘッドイドウ」を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
9  プリントヘッドイドウ?         ▲
  OK=Yes                        ▼
```

プリントヘッドが正常に移動終了した後、自動的に電源が切れます。

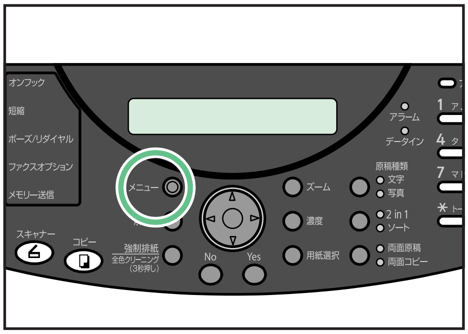
5 スキャナーユニットを開けます。

6 つまった紙片を取り除きます。

7 紙片が内部に無いことを確認し、上カバーを閉めます。

8 電源をオンにします。

9 [メニュー] キーを押します。



AQQ030S

10 [▲] または [▼] キーを押して、「メンテナンス」を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
メンテナンス?                 ▲
 OK=Yes  /  マタハ 1-9        ▼
```

11 [▲] または [▼] キーを押して、「ノズルチェック」を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
1  ノズルチェック?            ▲
 OK=Yes                       ▼
```

12 [Yes] キーを押します。

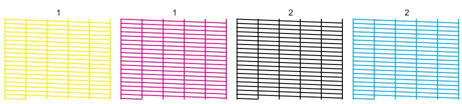
[電源] キーが数分間点滅し、テストパターンが印刷されます。

13 [No] キーを押します。

通常の画面が表示されます。

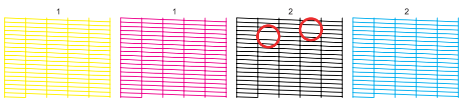
14 テストパターンの印刷結果を確認します。

・正常な印刷結果



AQQ133S

・プリントヘッドにてノズル抜けが発生している場合



AQQ134S

ノズル抜けが発生している場合には、ヘッドクリーニングを行ってください。

参照

- P.194「ヘッドクリーニング」

文字の入力のしかた

文字は、点滅しているカーソルの個所に入力されます。カーソルの上に文字があるときは、その文字の前に挿入されます。入力できる文字は次のとおりです。

入力できる文字

以下の文字を入力できます。
- カタカナ
- アルファベット
- 記号
- 数字
  0123456789

使用するキー

♦ テンキー
文字、数字を入力します。

♦［✳］キー
入力したい文字の種類に応じ、モードを切り替えます。

♦［No］キー
カーソル上の 1 文字を削除します。右端の文字を削除するときは、カーソルが右端の文字の右側にあっても削除できます。

♦［クリア / ストップ］キー
入力中の文字を全て削除します。

♦［◂］/［▸］キー
カーソルを左右に移動します。

入力のしかた

♦ 入力モード

入力したい文字の種類に応じ、[＊] キーを押してモードを切り替えます。

- [ア] モード
  カタカナが入力できます。
- [A] モード
  アルファベットと記号が入力できます。
- [1] モード
  数字が入力できます。

カタカナの入力

[ア] モードのとき、テンキーを押すと、カタカナが入力できます。同じテンキーを押すと、次の文字が表示されます。

テンキー	押すごとに表示される順番
1	ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ
2	カ→キ→ク→ケ→コ
3	サ→シ→ス→セ→ソ
4	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ
5	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ
6	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ
7	マ→ミ→ム→メ→モ
8	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ
9	ラ→リ→ル→レ→ロ
0	ワ→ヲ→ン→スペース
＊	
＃	＃→゛→゜

1 [＊] キーを押して表示を [ア] モードにします。

```
ナマエ＝_
 ＯＫ＝▶                [ア]
```

2 テンキーを押して入力したい文字を表示させます。

文字が入力され、カーソルが移動します。

補足

- 「ト」を入力したいときはテンキーの「4」を押し、続けて同じテンキーを 4 回押します。
- 同じ文字を続けて入力するときや同じテンキーに割り当てられている別の文字を入力するときは、[▶] キーでカーソルを移動してから入力します。

アルファベットの入力

[A] モードのときテンキーを押すとアルファベットが入力できます。同じテンキーを押すと、次の文字が表示されます。

<table>
<tr><th>テンキー</th><th>押すごとに表示される順番</th></tr>
<tr><td>1</td><td>.→@→_→-→1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>A→B→C→2→a→b→c</td></tr>
<tr><td>3</td><td>D→E→F→3→d→e→f</td></tr>
<tr><td>4</td><td>G→H→I→4→g→h→i</td></tr>
<tr><td>5</td><td>J→K→L→5→j→k→l</td></tr>
<tr><td>6</td><td>M→N→O→6→m→n→o</td></tr>
<tr><td>7</td><td>P→Q→R→S→7→p→q→r→s</td></tr>
<tr><td>8</td><td>T→U→V→8→t→u→v</td></tr>
<tr><td>9</td><td>W→X→Y→Z→9→w→x→y→z</td></tr>
<tr><td>0</td><td>スペース→0</td></tr>
<tr><td>⁎</td><td></td></tr>
<tr><td>#</td><td>#→+→&→/→⁎→=→!→?→(→)→%→[→]→^→`→'→{→}→|→~ *1 →$</td></tr>
</table>

*1 画面上では "~"（チルダ）が "→" と表示されます。

1 **[⁎] キーを押して表示を [A] モードにします。**

2 **テンキーを押して入力したい文字を表示させます。**

文字が入力され、カーソルが移動します。

補足

- 「B」を入力したいときはテンキーの「2」を 2 回押します。
- 同じ文字を続けて入力するときや同じテンキーに割り当てられている別の文字を入力するときは、[▶] キーでカーソルを移動してから入力します。

数字の入力

[1] モードのときテンキーを押すと数字が入力できます。同じテンキーを押すと次の数字が表示されます。

テンキー	押すごとに表示される順番
1 *1	-→1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
0 *1	スペース→0
＊ *1	＊ *2
＃ *1	＃(+)→＊

*1 入力している項目によって変わります。
*2 ファクス番号指定時のみ。ただし、オプションのネットワークボードが装着されている場合は [＊] の代わりに [＃] キーを押して「＊」を入力します。

1 テンキーを押します。

数字が入力され、カーソルが移動します。

補足

・同じ数字を続けて入力するときは、[▶] キーでカーソルを移動してから入力します。

文字を削除する

1 [◀]キーまたは[▶]キーを押して削除したい文字にカーソルを移動します。

2 [No] キーを押します。

カーソル上の文字が削除されます。

4. プリンター機能を使う

プリンター機能について説明しています。

プリンタードライバー画面と設定方法

プリンタードライバー画面と設定方法について説明しています。

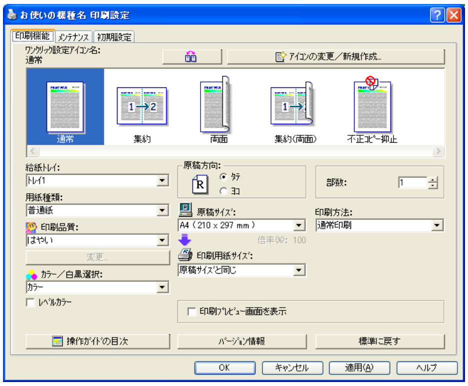
2 種類の操作画面

プリンタードライバーの設定画面は「機能別ウィンドウ」と「ワンクリック設定」の 2 つの表示タイプがあります。本書では「機能別ウィンドウ」の画面例を使用しています。

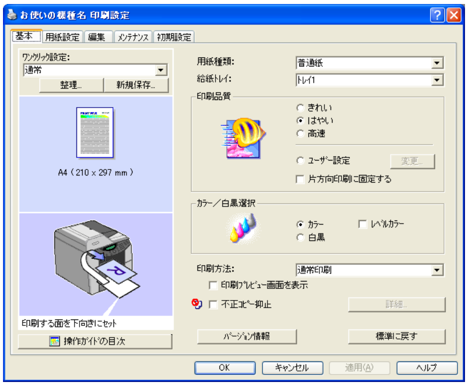
・ワンクリック設定

　あまり印刷条件を変えず、いつも決まった印刷のしかたをする方に向いているウィンドウタイプです。

　ワンクリック設定の表示はオプションの装着状態によって変化することがあります。



・機能別ウィンドウ
印刷のたびに設定を変更することが多く、さまざまな印刷をする方に向いているウィンドウタイプです。



初回インストール時に設定されている機能別ウィンドウをワンクリック設定に切り替えるには、以下の手順にしたがってください。

1. **［初期設定］タブをクリックします。**
2. **［ウィンドウタイプの切り替え］グループから［ワンクリック設定］をクリックします。**
3. **［OK］をクリックします。**

参照

・ワンクリック設定について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

［プリンタと FAX］ウィンドウから表示する（プロパティ）

［プリンタと FAX］ウィンドウからプリンタードライバーのプロパティを開きます。
OS の設定によっては、操作方法が異なる場合があります。

1. **［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選びます。**
2. **本機のアイコンを選び、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選びます。**
プリンタードライバーのプロパティが開きます。

［プリンタと FAX］ウィンドウから表示する（印刷設定）

［プリンタと FAX］ウィンドウからプリンタードライバーの印刷設定を開きます。

OS の設定によっては、操作方法が異なる場合があります。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選びます。



2 本機のアイコンを選び、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選びます。



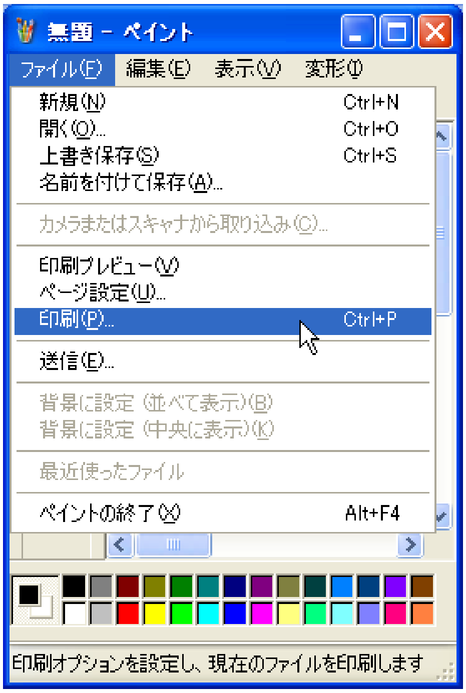
プリンタードライバーの印刷設定が開きます。

アプリケーションから表示する

アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を開くと、初期値として設定された内容が表示されます。ここから必要な設定だけを変更して印刷します。
ここで変更した設定は、このアプリケーションだけで有効な設定です。他のアプリケーションから印刷する場合、ここでの設定は反映されません。
アプリケーションによっては、プリンタードライバーの設定内容を自動的に変更するものがあります。
ここでは例として、Windows 標準のペイントで説明しています。
プリンタードライバーの設定画面を開く方法は、アプリケーションによって異なります。多くのアプリケーションでは［ファイル］メニューの［印刷］や［ページ設定］から［プロパティ］（Windows XP/Vista、Windows Server 2003 の場合は［詳細設定］）を選んで開きます。詳しくはアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

4

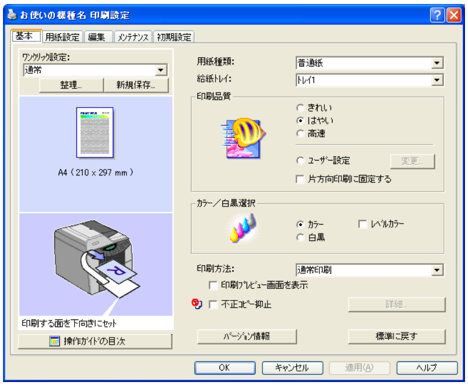
1 アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選びます。



2 ［プリンタの選択］ボックスから本機を選び、［詳細設定］をクリックします。



プリンタードライバーの印刷設定が表示されます。



オプション構成の設定

本機に装着したオプションを、プリンタードライバーに登録する方法の説明です。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働く条件についての説明です。
双方向通信が働いていると、本機にセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からも本機の状態を確認することができます。
Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 で RPCS ラスタープリンタードライバーを使用し、双方向通信が働いている場合、[オプション構成] タブの項目は本機の情報が自動で設定されるため、半輝度表示になります。
双方向通信を利用するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

4

♦ 本機とパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している。
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている。

♦ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている。
- Ridoc IO Navi がインストールされている。
- 上記 2 つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。
  - Ridoc IO Navi ポートを使用し、プロトコルに TCP/IP を使っている。
  - IPP プロトコル使用時に、ポート名に IP アドレスを含んでいる。

双方向通信が働かないとき

本機とパソコンが双方向通信していないときは、本機に取り付けたオプション、セットした用紙のサイズ・方向を設定する必要があります。

Windows 98/Me の場合

1. [スタート] から [プリンタ] ウィンドウを表示します。
2. 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
   インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に、オプション設定を促す画面が表示されます。
3. [OK] をクリックします。
4. [オプション選択] ボックスで、取り付けたオプションにチェックを付けます。
5. [サイズ] と [用紙種類] を正しく設定し、[OK] をクリックします。
6. [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

Windows 2000/Windows NT 4.0 の場合

1 ［スタート］から［プリンタ］ウィンドウを表示します。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に、オプション設定を促す画面が表示されます。

3 ［OK］をクリックします。

4 ［オプション構成］タブをクリックします。
［オプション構成］タブ下のオプションを無効化すれば、双方向通信を利用できます。この場合、オプション設定を変更する必要はありません。

5 ［オプション選択］ボックスで、取り付けたオプションにチェックを付けます。

6 ［サイズ］と［用紙種類］を正しく設定します。

7 ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

Windows XP、Windows Server 2003 の場合

1 ［スタート］から［プリンタと FAX］ウィンドウを表示します。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に、オプション設定を促す画面が表示されます。

3 ［OK］をクリックします。

4 ［オプション構成］タブをクリックします。
［オプション構成］タブ下のオプションを無効化すれば、双方向通信を利用できます。この場合、オプション設定を変更する必要はありません。

5 ［オプション選択］ボックスで、取り付けたオプションにチェックを付けます。

6 ［サイズ］と［用紙種類］を正しく設定します。

7 ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

Windows Vista の場合

1 ［スタート］メニューから、［コントロールパネル］を選び、［ハードウェアとサウンド］から［プリンタ］ウィンドウを開きます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に、オプション設定を促す画面が表示されます。

3 ［OK］をクリックします。

4 ［オプション構成］タブをクリックします。

［オプション構成］タブ下のオプションを無効化すれば、双方向通信を利用できます。この場合、オプション設定を変更する必要はありません。

5 ［オプション選択］ボックスで、取り付けたオプションにチェックを付けます。

6 ［サイズ］と［用紙種類］を正しく設定します。

7 ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

- ［プリンタ］フォルダーでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」または「フルコントロール」のアクセス許可が必要です。Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ［プリンタと FAX］フォルダーでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス許可が必要です。Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。

用紙の種類に応じた印刷方法

印刷する用紙によって印刷方法が異なります。用紙の種類に応じた方法で印刷してください。

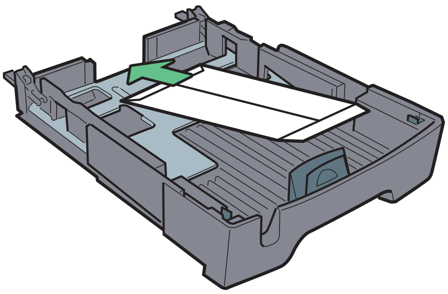
給紙トレイから印刷する

用紙を給紙トレイにセットして印刷します。

重要

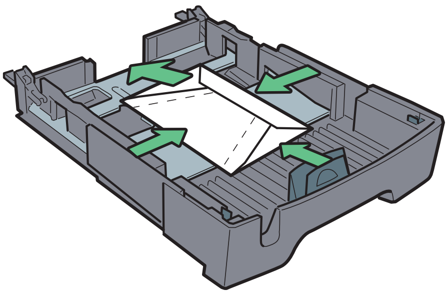
- 手差しトレイはオプションで、給紙量は 100 枚です。
- トレイ 2（オプション）にセットすることができる用紙種類は、［普通紙］と、［ハイグレード普通紙］です。
- 用紙がカールしていると紙づまりの原因になります。カールをなおしてから用紙をセットしてください。
- 給紙トレイに用紙をセットするときは、印刷する面を下にします。手差しトレイ（オプション）に用紙をセットするときは、印刷する面を上にします。
- 専用 OHP シートに印刷する場合
    - 専用 OHP シートに印刷する場合はインクが乾くまでに時間がかかるため、印刷したシートは排紙トレイから 1 枚ずつ取り除くことをおすすめします。
    - 専用 OHP シートのインクが乾く前に次のシートが重ならないように、次の印刷が始まるまでの時間を設定できます。
    - 専用 OHP シートに印刷する場合、［ディザリング設定：］は［文字優先］に設定されます。この設定で印刷して、印刷の荒れが目立つなど、思いどおりの結果が得られないときは、［基本］設定画面の［印刷品質］グループから［ユーザー設定］を選択し、［変更 ...］をクリックして表示される［ユーザー設定］画面の中の［ディザリング設定：］を［写真優先］にして印刷してください。
- ハガキに印刷する場合
    - ハガキの両面に印刷する場合は、あて名面からの印刷をおすすめします。
    - 往復ハガキに印刷する場合は、ハガキの上端（郵便番号欄側）を左にしてセットします。
    - アプリケーションがハガキ自動両面印刷機能に対応している場合、プリンタードライバーの両面印刷機能を使って、ハガキの両面（あて名と通信面）に一度に印刷することもできます。この場合は、必ずあて名面から印刷を開始してください。
    - アプリケーションによって、ハガキのセット方法が異なる場合があります。
    - インクジェット光沢ハガキは使用できません。

- 封筒に印刷する場合
  - 封筒に印刷する場合は、封筒の端を一枚ずつ、ペンなどでしっかりつぶしてからセットしてください。
  - 封筒・標準切替レバーを✉側（奥側）にします。
  - 長形封筒はフラップ（折り返し部分）を折り曲げずに、フラップを手前にしてセットしてください。



AQR142S

  - 洋形封筒はフラップを折りたたみ、イラストのようにセットしてください。



AQR141S

1 給紙トレイに印刷したい用紙をセットします。

印刷する用紙の種類によってセット方法は異なります。

2 プリンタードライバーの［基本］設定画面を開きます。

3 ［用紙種類］のドロップダウンメニューから、用紙の種類を選びます。

［用紙種類］選択後、必要に応じてドライバー画面のイラストにしたがい、封筒・標準切替レバーを✉側（奥側）にします。

［ハイグレード普通紙］を選択すると自動で片面印刷になります。両面印刷をする場合には、［普通紙］を選択してください。

郵便ハガキまたはインクジェット郵便ハガキを片面ずつ印刷する場合、あて名面に印刷するときは「郵便ハガキ」を［用紙種類］ボックスのドロップダウンメニューから選び、［きれい］または［はやい］を［印刷品質］グループから選んでください。インクジェット郵便ハガキの通信面に印刷するときは「インクジェット郵便ハガキ」を［用紙種類］ボックスのドロップダウンメニューから選んでください。

郵便ハガキの通信面を先に印刷した場合は、時間をかけて十分乾燥させてから、あて名面を印刷してください。

4 必要に応じて、その他の印刷条件を指定します。

5 ［OK］をクリックします。

選択した［用紙種類］によっては確認画面が表示されますので、メッセージを確認し［OK］をクリックします。

補足

- ドライバーの［用紙種類］で［光沢紙］を選択した場合、一度に排紙できる光沢紙（リコービジネスコートグロス 100）は、排紙トレイに 1 枚までです。
- 封筒は最大で 30 枚セットできます。（洋形封筒は 20 枚）。

参照

- P.213 「2 種類の操作画面」
- 用紙の取り扱いについては、P.116 「用紙に関する注意」を参照してください。
- 印刷可能範囲については、P.121 「印刷範囲」を参照してください。

印刷を中止する

本機またはパソコンのどちらからでも印刷を中止できます。印刷中のデータと、本機に送られていないデータでは印刷を中止する方法が違いますので、状態を確認してから中止してください。

♦ 中止したいデータが印刷中のとき
ステータスモニターの［印刷中止］または本機の［クリア / ストップ］キーで中止します。

♦ 中止したいデータがまだ印刷されていないとき
パソコンのタスクバーから中止します。

ステータスモニターから中止する

印刷中のデータを削除します。

1 **データが印刷中で、ステータスモニターが開いていることを確認します。**

2 **［印刷中止］をクリックします。**
印刷が中止されるまで、多少時間がかかります。

参照

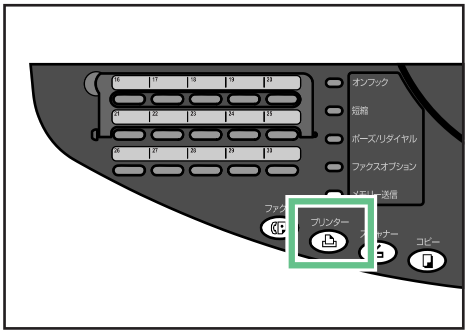
・ステータスモニターについては、P.457「ステータスモニターを使う」を参照してください。

［クリア / ストップ］キーで中止する

印刷中のデータを削除します。

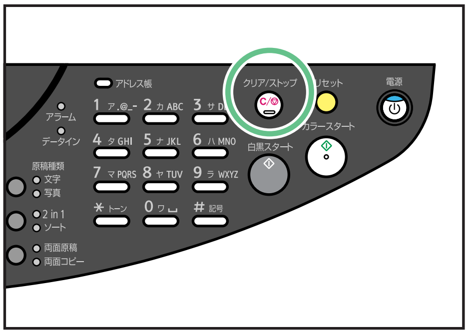
1 **データが印刷中であることを確認します。**
印刷中のデータだけでなく、その他の印刷データも削除されます。

2 **［プリンター］キーを押します。**



BGF018S

3 ［クリア／ストップ］キーを押します。



AQQ033S

4 ［Yes］キーを押します。

```
ＰＣジョブ　チュウシ　シマスカ？
　Ｙｅｓ／ケイゾク＝Ｎｏ
```

印刷が中止されます。

印刷が中止されるまで、多少時間がかかります。

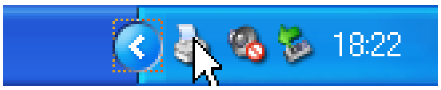
補足

- ［クリア / ストップ］キーで印刷を中止する場合は、［プリンター］キーを押してプリンター機能にしておく必要があります。

タスクバーから中止する

本機に送られる前の、印刷待ちのデータを削除します。

1 タスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。



2 中止したいデータを選び、［ドキュメント］メニューから［キャンセル］（Windows 98/Me では［印刷中止］）を選びます。

印刷品質を調整する

印刷するデータに合わせて、品質や色合いを調整できます。
ここでは代表として、いくつか例を紹介します。
詳しくはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

- 白黒で印刷する
  白黒で印刷します。白黒で印刷する場合、ブラックインクのみ使う場合とカラーインクを使う場合の 2 種類があります。
  [黒を CMYK4 色で印刷する] はブラックインクとカラーインクを使用します。初期値は [黒を CMYK4 色で印刷する] です。
  カラー印刷に比べ高速に印刷できますので、カラー印刷の必要がない文書は白黒で印刷すると効率的です。また、黒 1 色の文書はカラー印刷時に比べはっきりとした黒色を再現できます。アプリケーションで白黒印刷を指定したときは「白黒」を選んでください。
- カラーのインクを節約して印刷する
  カラーで印刷する場合、文字以外のグラフィック、イメージデータのインク量を減らします。文字の読みやすさを維持したまま、インク量を節約したカラー印刷ができます。
- イメージデータの画質と印刷速度を変更して印刷する
  解像度の高いイメージデータを含む文書や画像を印刷する場合、高品質で印刷するほど処理するデータ量が多くなるため、印刷にかかる時間も長くなります。イメージデータの印刷方式を変えることにより、画質と速度のどちらを優先して印刷するかを選べます。
- デジタルカメラで撮影した写真の色合いを補正する
  デジタルカメラで撮影した写真の色合いを補正します。露出オーバー、露出アンダー気味の画像データに効果があります。
  露出とは、撮影時の明るさのことです。背景と被写体との間に極端な明暗差がある場合、被写体の露出がアンダー（暗い）やオーバー（白っぽい）になってしまいます。
- 低解像度の画像をなめらかに印刷する
  インターネットのホームページなどにある解像度の低い画像の輪郭を、なめらかに印刷します。
- ディザパターンを変更する
  ディザパターンとは擬似的な表現を行うためのドットを作り出す元となるデータのことで、このデータを変えることにより、擬似表現の特性を変えることができます。実際に印刷する画像に合ったパターンを選んでください。
  ディザとは物理的に再現できない色や濃淡を、細かいドット（点）の集まりとして擬似的に表現する技術のことです。
- 誤差拡散を使用する
  誤差拡散とはディザの一種で、色の濃い部分で点を密集させ、色の薄い部分は点を拡散させることにより、階調を表現します。実際に印刷する画像に合ったパターンを選んでください。お使いの OS、アプリケーションによっては、正しく印刷されない場合があります。
- カラーマッチングのパターンを変更する
  カラー変換時に使用するパターンを変更することで、画面上の色に対する印刷時の色合いを調整できます。
  画面上の色は RGB の 3 色で表現されますが、本機からは CMYK の 4 色で印刷されます。そのため、印刷時には RGB カラーから CMYK カラーへ変換します。

- グレースケールを黒 1 色で印刷するか、CMYK で印刷するか選ぶ
  文書中の黒またはグレー部分を黒 1 色で印刷するか、CMYK の 4 色で印刷するかを選べます。
- 文字を黒で印刷するかどうか選ぶ
  黒以外の文字が薄くなってしまう場合などに、黒色の文字として印刷できます。
- ICM を使用する
  Windows に搭載された ICM（Image Color Matching）の機能を使ってカラー補正を行い、印刷します。
  ICM は機器の入出力間で色の整合を行うためのカラーマネジメントシステムです。この機能を使うと、画面に表示された色とできるだけ同じ色で印刷されるように、Windows でカラー補正が行われます。
  この機能を使用するときは、プリンタードライバーと一緒に配布されたカラープロファイルを本機に追加してください。カラープロファイルは付属の CD-ROM の ICM フォルダーに収録されています。なお、カラープロファイルを追加する方法については、Windows のヘルプでキーワードを「カラープロファイル」にして検索し、参照してください。
  Windows NT 4.0 では、この機能は使用できません。
- 明るさ、コントラスト、彩度を調整する
  画像の明度、コントラスト、彩度を調整して印刷します。
- カラーバランスを調整する
  赤（R)、緑（G)、青（B）の強さを変え、色のバランスを調整して印刷します。
- ページ全体をイメージデータとして印刷する
  Windows とアプリケーションにより印刷データを一度イメージデータに変換してから、プリンタードライバーによる印刷処理を行います。画面表示に、より近い印刷結果を得ることができますが、より多くのデータを処理するため印刷に時間がかかる場合があります。印刷結果が画面と異なる場合に使用します。
  ［印刷品質－ユーザー設定］ダイアログの［画質調整］タブにある［グレー印刷方式］の設定にかかわらず、黒またはグレー部分は CMYK4 色で印刷されます。
  スタンプ印刷時は設定が無効になります。
- イメージデータの処理方式を変更する
  アプリケーションによっては印刷に時間がかかったり、正しい色で印刷されなかったりすることがあります。そのような場合、イメージデータ処理を変更することにより正しく印刷できることがあります。
  イメージデータ処理を変更することにより正しく印刷できなくなるアプリケーションもありますので、通常はチェックを外して使用してください。
- CMYK の特定の色だけで印刷する
  カラー印刷は CMYK（シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック）の 4 色を使って行いますが、この中の特定の色だけを使って印刷できます。
  白黒印刷の場合は設定が無効になります。
- 文字サイズに応じて太字を太くする
  文字サイズに応じて太字を太くします。
  Windows98/Me では使用できません。
- TrueType フォントの展開処理を変更する
  一部の外字などで文字化け等が起こる場合や、一部の文字が正常に印刷できない場合に有効です。
  同時に変倍を行うと、文字が劣化して印刷される場合があります。

- より鮮明に印刷する
  プリンタードライバーの設定や印刷する用紙を変更すると、より鮮明に印刷されます。
  - プリンタードライバーの設定を変更する
    用紙の種類によっては、印刷品質を優先させてより高い画質で印刷できます。プリンタードライバーの設定画面で、印刷品質を変更してください。
  - 印刷する用紙を変更する
    専用紙に印刷すると普通紙に比べてより鮮やかに印刷できます。リコージェルジェットプリンター用ハイグレード普通紙や光沢紙（リコービジネスコートグロス 100）をお使いください。

補足

- ［初期設定］タブにある［黒を CMYK4 色で印刷する］を設定して印刷する場合もカラーインクは消費されます。

4

こんな印刷がしたい

豊富な印刷機能を使用して、用途に応じた印刷ができます。
ここでは代表として、いくつか例を紹介します。
詳しくはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

- 複数部数を印刷する
  同じ文書を複数部数指定して印刷できます。
  お使いのアプリケーションによっては、使用できない場合があります。
  ソート機能を使用しない場合は 1 →1 →2 →2 のようにページ単位で印刷されます。ソート機能を使用すると、1 →2 →1 →2 のように部単位で印刷されます。
- 部単位で印刷する（ソート）
  会議資料など複数部数を印刷するとき、ページ順に 1 部ずつ並べ替えて印刷します。
  お使いのアプリケーションによっては、使用できない場合があります。
  集約、拡大連写、両面等の機能と組み合わせた場合でも文書の切れ目を正しく判断しますので、最終ページと 1 ページ目が同じ用紙に印刷されるようなことはありません。
  - 次の印刷条件においては、原稿のすべてをソートできない場合があります。
    - 写真等のように複雑な色の原稿の場合
    - A4/Letter/Legal 等のサイズの大きな用紙に印刷する場合
    - 光沢紙などの高品質な用紙に印刷する場合
- インターネットのホームページを印刷する
  インターネットのホームページを印刷するための設定をします。
  インターネットのホームページを印刷すると、印刷したホームページがページの中に収まらない、見た目どおりに印刷されないことがあります。ここでは、ホームページを正しく印刷する方法を説明します。
  - 低解像度画像を補正する
    インターネットで表示される画像はデータの量を少なくするため、解像度の低い画像が使われています。印刷する前に低解像度の画像補正を設定してください。
    ホームページが複数のページにわたって印刷される場合、ページのつなぎ目にある画像や文章が印刷されないことがあります。
  - ホームページの背景色を印刷する
    ホームページの背景の色が印刷されないことがあります。Web ブラウザーで背景色も一緒に印刷するように設定してください。
- 用紙サイズに合わせて拡大・縮小する（用紙指定変倍）
  原稿サイズと用紙サイズを指定すると、サイズに合わせて拡大・縮小して印刷できます。
  A4 の文書を B5 に縮小するような、定形サイズの変倍にはこの方法が便利です。
  ホームページをページ内に印刷するホームページの内容がページの中に入りきらない場合は、[変倍] 機能の用紙指定変倍やズームで縮小して印刷します。また、[初期設定] にある [A4 より大きいサイズを A4 に自動縮小する] を選択しているときに原稿サイズを A3 や B4 に設定すると、自動で A4 サイズに縮小できます。
- 倍率を指定して拡大・縮小する（ズーム・独立変倍）
  倍率を 1% 刻みに 20〜300% の範囲で指定して印刷できます。余白を付けて少し小さめに印刷するなど、自由な設定ができます。
  指定のしかたには縦横を同じ倍率で指定する「ズーム」と、縦横の倍率をそれぞれ指定する「独立変倍」があります。

4

- 自動的に A4 に縮小して印刷する
  A4 より大きい定形サイズの原稿を A4 に縮小して印刷します。たとえば、原稿サイズが A3 の場合は自動的に A4 に縮小して印刷できます。
- 180 度回転して印刷する
  向きが決まっている用紙で、画像と用紙の向きが反対になってしまうときに画像を 180 度回転して印刷します。
  お使いの OS、アプリケーションによっては、正しく印刷されない場合があります。
- あらかじめ登録された不定形サイズの用紙に印刷する
  不定形サイズの文書を作成し、印刷できます。
  セットした用紙サイズをプリンタードライバーの［初期設定］タブで登録しておきます。
  本機の操作部からは、小数点以下の値は登録できません。プリンタードライバー上で不定形サイズを登録する場合も操作部に合わせて使用してください。
- 登録されていない不定形サイズの用紙に印刷する
  不定形サイズの文書を作成し、印刷できます。
- 用紙の両面に印刷する
  用紙の両面に印刷できます。
  両面印刷可能な用紙は、普通紙、郵便ハガキ、およびインクジェット郵便ハガキです。
  1 つの文書内に原稿サイズの異なるページがある場合は、そのページの前で改ページすることがあります。
  全画面をベタに塗りつぶしたような、インクを大量に消費する印刷を行う場合は、片面で印刷してください。
  インクが乾くまでに時間がかかるため、印刷した用紙は排紙トレイから 1 枚ずつ取り除くことをおすすめします。
  インクが乾く前に次の用紙が重ならないように、次の印刷が始まるまでの時間を設定できます。
  両面印刷の場合、文字以外のデータは全体的に濃度を下げて印刷します。
- 複数のページを 1 枚の用紙に印刷する（集約）
  複数ページを 1 ページにまとめて印刷できます。
  集約時は指定した用紙サイズと集約枚数に応じて自動的に拡大・縮小します。
  1 つの文書内に原稿方向の異なるページがある場合は、そのページの前で改ページします。
  アプリケーションに同様の機能がある場合、アプリケーション側では設定しないでください。
- 1 ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）
  1 ページを複数枚の用紙に分けて印刷し、ポスター大の印刷物を作れます。
  拡大率は指定した用紙サイズと分割枚数に応じて決まります。
  用紙の端から 15mm の部分をのりしろとして印刷します。印刷された用紙を張り合わせるときは、端から 15mm を重ねると、継ぎ目が目立たなくなります。
- 最後のページから印刷する
  ページ順を逆にし、最後のページから印刷します。印刷面を上にして排紙し、文書をページ順にそろえられます。
  アプリケーションに同様の機能がある場合、アプリケーション側では設定しないでください。

- とじしろを付けて印刷する
  とじしろを付けて印刷します。とじしろを付けるとアプリケーションで設定した余白の位置から、とじしろ分だけずらして印刷されます。
  とじしろの反対側の余白が狭くなりますので、十分に余白をとって文書を作成してください。
  アプリケーションでとじしろの設定をしたときは、プリンタードライバーでとじしろを設定しないでください。二重にとじしろが設定されることになります。
- ヘッダーやフッターを付けて印刷する
  文書の各ページの上下余白に文字列を入力して印刷できます。
  ヘッダー、フッターには、日時、ページ、ファイル名など文字列のほか、全角 16 文字／半角 32 文字までの文字列を入力できます。
  変倍して印刷した場合は、ヘッダー・フッターも変倍されます。
  ヘッダー・フッターは、ページごとに印刷されます。たとえば、複数ページをまとめて印刷（集約）しても、ヘッダー・フッターは各ページに印刷されます。
  アプリケーションでヘッダー・フッターの設定をしたときは、プリンタードライバーでは設定しないでください。
- 製本できるレイアウトで印刷する
  製本できるレイアウトで用紙の両面に印刷できます。
  印刷された用紙を 1 枚ずつ二つ折りにしたあと重ねてとじる「ミニ本」形態と、用紙を重ねたまま二つ折りにする「週刊誌」形態があります。
- イメージや文字をスタンプのように重ねて印刷する
  作成した文書にイメージデータや文字をスタンプのように重ねて印刷します。
  ビットマップファイル（拡張子 .BMP）を使ったスタンプを「イメージスタンプ」、文字データを使ったスタンプを「文字スタンプ」と呼びます。両方を併用することはできません。
  いくつかのスタンプがあらかじめ用意されていますが、それ以外にも固有のスタンプを作成できます。
- データを重ね合わせて印刷する（合成）
  アプリケーションで作成した文書を、別に作成した合成用データと重ね合わせて印刷します。
  合成機能を使って印刷する場合は、あらかじめ「合成用データ」と「合成セット」を作成しておきます。
  重ね合わせは用紙の左上を基準に行われます。印刷する文書と合成用データの原稿サイズや方向が異なる場合、合成する画像が欠けるまたは、はみ出すことがあります。
  アプリケーションによっては、期待する結果を得られない場合があります。
- 印刷前にプレビュー画面を表示させる
  印刷を行う前にプレビュー画面を表示させ、内容を確認できます。
  [印刷プレビュー画面を表示] を使うには、お使いの PC に Ridoc IO Navi 7.0 以上か、Ridoc Desk 2000 ver 4.1.0.0 以上、または Ridoc Desk Navigator がインストールされている必要があります。
  チェックを付けると、印刷実行時にプレビュー画面が開きます。
  [印刷方法] で「通常印刷」が選択されているときのみ、チェックを付けることができます。

参照

- 用紙をセットする手順については、P.123 「用紙をセットする」を参照してください。
- 詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

4

文書の複製（不正コピー）を抑止する

本機では、不正コピー抑止用の地紋と文字列を埋め込んで印刷することができます。専用紙は必要ありません。地紋と文字列を埋め込んで出力した印刷用紙を複写機／複合機でコピーすると、設定した文字列が浮き上がったり、全体がグレー地で印刷され、紙文書の情報漏洩を抑止するセキュリティー対策になります。不正コピー抑止印刷は、「不正コピーガード機能」と「マスクパターン」により構成されています。

重要

- 不正コピー抑止印刷は、必ずしも情報漏洩を防止するものではありません。
- 不正コピーガードを設定した文書を印刷する場合は、オプションの不正コピーガードモジュールは必要ありません。コピーやドキュメントボックスへの蓄積を行ったときに、文字や画像をグレー地に変換するためには、オプションの不正コピーガードモジュールが必要です。
- 本機では、不正コピーガードを設定した文書を印刷することはできますが、不正コピーガードモジュールに対応していないため、文字や画像をグレー地に変換する機能はご利用いただけません。本機で不正コピーガードを設定して印刷した文書を不正コピーガードモジュールに対応した機種で印刷するとグレー地に変換します。

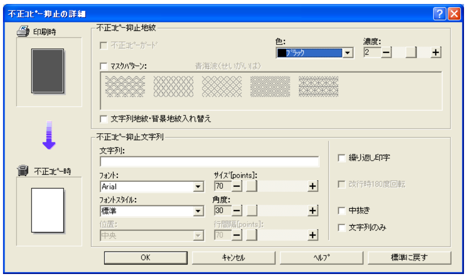
奇数ページの文書を両面・製本印刷するとき、最後の白紙ページにもスタンプが印刷されることがあります。例えば、15 ページの文書を両面・製本印刷するとき、16 ページ目にもスタンプが印刷されることがあります。
最終ページに印刷しないためには、［初期設定］タブの［スプール形式］で［RAW スプール］を選択してください。

補足

- ［高速］を選択した場合、［不正コピー抑止］は解除されます。
- ［レベルカラー］を選択した場合、［不正コピー抑止］は解除されます。
- ［誤差拡散を使用する］をチェックして、［ページ全体］を選択した場合、［不正コピー抑止］は解除されます。

不正コピーガード機能

この機能を使用して出力した印刷用紙を、不正コピーガードモジュール搭載の複写機／複合機でコピーしたり、ドキュメントボックスに蓄積すると、全体をグレー地にします。出力文書に対してプリンタードライバーで不正コピーガード機能の印刷を設定します。

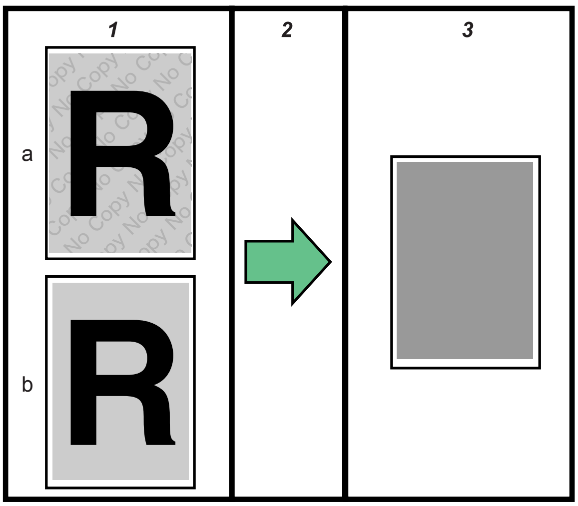


♦ 必要な設定項目

- ［不正コピーガード］のチェックボックスにチェックを入れます。［文字列］に、不正コピー抑止文字列を入力することもできます。
- ［マスクパターン］を選択することはできません。

♦ 不正コピーガードを設定した文書を印刷すると

本機でできるのは、手順 1 の文書の印刷のみです。



AQR147S

1 **不正コピーガードを設定した文書を印刷すると、不正コピーガード用の地紋および不正コピー抑止文字列が表示されます。**

a: 文字列入り不正コピーガード文書

b: 不正コピーガード文書

2 **不正コピーガードモジュールが搭載された複写機／複合機を使って、コピーを行います。**

3 **原稿全体がグレー地で印刷されます。**

補足

- 印刷するデータに対して、部分的に地紋を埋め込むことはできません。
- 不正コピー抑止印刷のための文字列地紋を効果的に浮き上がらせるために、文字列サイズは 70〜80pt（最低 50pt）、文字列角度は 30〜40 度の範囲内で設定してください。
- 用紙サイズは B5 以上をご使用ください。
- 用紙種類は普通紙、または白色度 70% 以上の再生紙をご使用ください。
- 両面印刷は可能ですが、裏面の文字や模様が透けることにより、機能が正常に動作しないことがあります。
- 地紋と文字列を埋め込んで印刷すると、通常の印刷時よりも出力に時間がかかります。
- 印刷品質を「きれい」に設定してから、詳細な設定を行ってください。

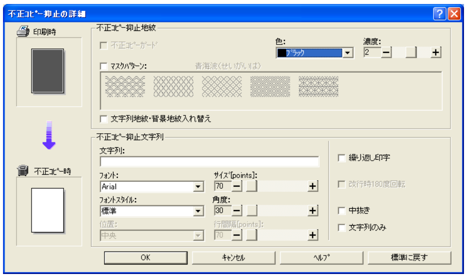
不正コピーガードを設定する

この機能を使用して出力した印刷用紙を、不正コピーガードモジュール搭載の複写機／複合機でコピーしたり、ドキュメントボックスに蓄積すると、全体をグレー地にします。
出力文書に対してプリンタードライバーで不正コピーガード印刷を設定します。

1. **プリンタードライバーの設定画面を開きます。**
2. **［基本］タブをクリックします。**
   「ワンクリック設定」を選択しているときは、［アイコンの変更／新規作成］をクリックし、［基本］タブをクリックします。
3. **［不正コピー抑止］のチェックボックスをチェックします。**
4. **［詳細］をクリックします。**
5. **［不正コピーガード］にチェックします。**
   その他、［不正コピー抑止文字列］グループの各項目を設定します。
6. **［OK］をクリックします。**

不正コピー抑止印刷

プリンタードライバーで不正コピー抑止地紋と不正コピー抑止文字列を設定し、文書に埋め込んで印刷することができます。

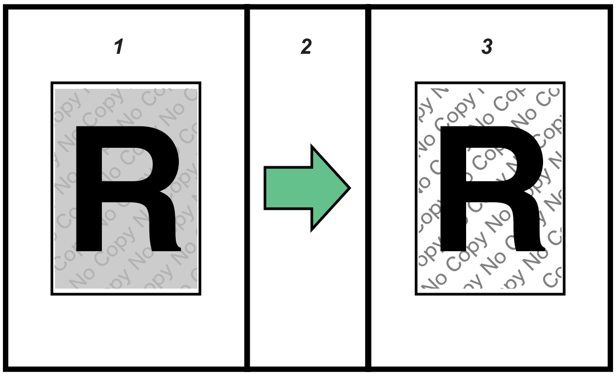


◆ 必要な設定項目

- ［マスクパターン］で不正コピー抑止地紋を選択し、［文字列］で不正コピー抑止文字列を設定します。
- ［文字列］だけを設定することはできますが、［マスクパターン］だけを設定することはできません。

［文字列地紋・背景地紋入れ替え］のチェックボックスにチェックを入れると、文字列地紋と背景地紋を入れ替えることができます。

◆「不正コピー抑止印刷」を設定した文書を印刷すると



AQR146S

1 不正コピー抑止印刷を設定した文書を印刷すると、設定した不正コピー抑止地紋および不正コピー抑止文字列が表示されます。

2 複写機／複合機を使って、コピーを行います。

3 不正コピー抑止文字列が浮き上がります。

補足

- 印刷するデータに対して、部分的に地紋と文字列を埋め込むことはできません。
- 地紋効果は、コピー結果をすべて保証しているものではありません。またコピー結果は、使用する機種とその設定条件により異なります。
- 地紋と文字列を埋め込んで印刷すると、通常の印刷時よりも出力に時間がかかります。
- 不正コピー抑止印刷を設定した文書を印刷するときは、[印刷品質] グループで [きれい] に設定してください。

不正コピー抑止を設定する

出力文書に対してプリンタードライバーで不正コピー抑止印刷を設定します。

1. **プリンタードライバーの設定画面を開きます。**
2. **[基本] タブをクリックします。**
   「ワンクリック設定」を選択しているときは、[アイコンの変更／新規作成] をクリックし、[基本] タブをクリックします。
3. **[不正コピー抑止] のチェックボックスをチェックします。**
4. **[詳細] をクリックします。**
5. **[不正コピー抑止地紋] を設定します。**
   その他、[不正コピー抑止文字列] グループの各項目を設定します。
6. **[OK] をクリックします。**

おことわり

- 当社は、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が、常時有効に機能することを保証するものではありません。使用する用紙ならびにコピー機の機種および設定条件等によっては、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が有効に機能しない場合もあります。この点をご理解の上、ご使用ください。
- 不正コピー抑止地紋および不正コピーガード機能を使用または使用できなかったことにより生じた損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

いろいろな言語に対応する

プリントサーバーとクライアントの OS の言語が異なる場合でも、Windows の Point & Print 機能を利用して言語を自動で判別し、その言語でプリンタードライバーの印刷設定を表示することができます。
対応言語は日本語、英語です。
本機を多言語環境の OS で使用される場合は、使用する言語によって印刷設定の言語を変更することができます。
言語を変更する場合は、プリンタードライバーの設定画面の［初期設定］タブで［環境設定］を選択し、設定してください。

♦ ご使用にあたっての注意事項

- 接続環境について
  推奨ケーブルによる USB 接続、OS 標準ポート、または共有ポートでの出力をサポートしています。なお、ネットワークダイレクト印刷をサポートする Ridoc IO Navi 経由での出力は動作保証外となりますので、ご了承ください。
- プリンタードライバーのインストール方法について
  英語版 Windows 環境へのインストール方法は、USB 接続の場合は Plug & Play でのインストール、その他の場合は［Add a printer］から行ってください。詳細は、弊社ホームページの FAQ をご覧ください。
- その他の制約事項
  日本国内機種のユーティリティー・ソフトウェア（Ridoc IO Navi など）及び海外機種用のドライバー / ユーティリティー・ソフトウェアを使用した印刷には対応しておりません。
  ホームページからダウンロードしたプリンタードライバーを日本語環境以外で解凍した場合、画面に表示されるボタン名などが文字化けして表示される場合があります。そのため、日本語環境で、ダウンロードし解凍してからご使用ください。本機に同梱されている CD-ROM を英語 OS 環境にて自動起動した場合、画面が文字化けして表示されます。そのため、自動起動した画面からはインストールを実行せずに、閉じるボタンを押してウィンドウを閉じ、各接続方法の手順に沿ってインストールを行ってください。本機に同梱されている CD-ROM のフォルダー内の［RDISETUP.exe］からはインストールを実行することができません。
- お客様サポートについて
  お問合せは、日本語のみでの対応となります。

0120 FreeDial **0120-000-475**
FAX 0120-479-417

◆ Points of Attention

- About Your Operating System
  Output via standard and shared ports and USB (through the recommended cable) is supported. However, output via Ridoc IO Navi network direct print is not guaranteed.
- About Installing the Printer Driver
  When installing the driver on English language operating systems, Plug & Play will handle connection via USB. For other connection methods, use the “Add Printer” procedure.
- About Functions of the Printer Driver
  Utility software for Japan domestic machines is not usable on export/foreign models.
- About Customer Support
  Customer support is provided in Japanese only.

FreeDial **0120-000-475**
FAX 0120-479-417

4

補足

- この機能を使用する場合の制約事項は、プリンタードライバーに添付されているReadmeファイルでご確認ください。

5. コピー機能を使う

コピー機能について説明しています。

原稿をセットする

セットできる原稿の種類とセット方法を説明します。

原稿について

セットできる原稿の種類、自動的に読み取れる原稿サイズと画像の欠け範囲を説明します。

補足

- 蛍光ペンの色は再現しにくいため、違う色でコピーされたり、色によってはコピーされなかったりすることがあります。

セットできる原稿のサイズと紙厚

セットできる原稿とできない原稿について説明します。

原稿セット先	原稿サイズ	原稿紙厚
原稿ガラス	A4（210 × 297 mm） A5（148 × 210 mm） A5（210 × 148 mm） A6（105 × 148 mm） B5（182 × 257 mm） Letter （8 1/2"×11"） Legal （8 1/2" ×14"） Half Letter （8 1/2"×5 1/2"） Executive （7 1/4"×10 1/2"）	-

原稿セット先	原稿サイズ	原稿紙厚
自動両面原稿送り装置（ADF）	片面原稿時： A4（210 × 297 mm） A5（210 × 148 mm） B5（182 × 257 mm） Letter （8 $^{1}/_{2}$"×11"） Legal （8 $^{1}/_{2}$" ×14"） Half Letter （8 $^{1}/_{2}$"×5 $^{1}/_{2}$"） Executive （7 $^{1}/_{4}$"×10 $^{1}/_{2}$"） F（8"×13"） Foolscap（8 $^{1}/_{4}$"×13"） Folio（8 $^{1}/_{2}$"×13"） 16 開（195×267 mm） 不定形サイズ 原稿サイズ（幅）: 139.7 mm～216 mm 原稿サイズ（長さ）（片面）: 139.7 mm～356 mm 原稿サイズ（長さ）ファクス使用時（片面）: 139.7 mm～1000 mm 両面原稿時： A4（210 × 297 mm） A5（148 × 210 mm）（スキャナー、もしくはファクス使用時のみ使用できます） B5（182 × 257 mm） Letter （8 $^{1}/_{2}$"×11"） Legal （8 $^{1}/_{2}$" ×14"） Half Letter （5 $^{1}/_{2}$"×8 $^{1}/_{2}$"）（スキャナー、もしくはファクス使用時のみ使用できます） Executive （7 $^{1}/_{4}$"×10 $^{1}/_{2}$"） 16 開（195×267 mm） 不定形サイズ 原稿サイズ（幅）: 139.7 mm～216 mm 原稿サイズ（長さ）: 139.7 mm～356 mm	50-110 g/m^2

補足

- 自動両面原稿送り装置（ADF）にセットできる枚数は用紙サイズ、紙厚に関係なく最大 30 枚です。

自動両面原稿送り装置（ADF）にセットできない原稿

次のような原稿を自動両面原稿送り装置（ADF）にセットすると、紙づまり、原稿破損、白スジ、黒スジの原因になることがあります。原稿ガラスにセットしてください。

- 「セットできる原稿のサイズと紙厚」以外の原稿
- ステープラーの針やクリップのついた原稿
- 穴、破れのある原稿
- そり、折れ、しわのある原稿
- はり合わせた原稿
- 感熱紙、アート紙、銀紙、カーボン紙、導電性の用紙などのように表面が加工された原稿
- ミシンがけ原稿
- インデックスや付せんなど、はみ出た部分のある原稿
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）などのようにすべりにくい原稿
- 登記簿などに使われるような薄くてやわらかい原稿
- 郵便はがきのような厚い原稿
- 本などのようにとじてある原稿
- OHP フィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）などのように透明度の高い原稿
- 修正液やインクが完全に乾いていない原稿

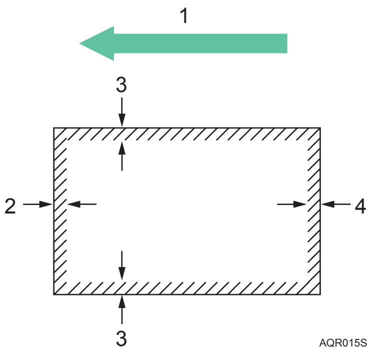
補足

- こするとかすれやすい原稿（鉛筆などで書かれた原稿）をセットすると原稿が汚れることがあります。

画像欠け範囲

原稿ガラスに正しくセットしても、原稿の周囲から内側数 mm はコピーできないことがあります。

原稿欠け範囲



1) 通紙方向
2) 3 mm ± 2 mm
3) 3 mm ± 2 mm
4) 3 mm ± 2 mm

参照

- 印刷範囲について詳しくは、P.121 「印刷範囲」を参照してください。

原稿のセット

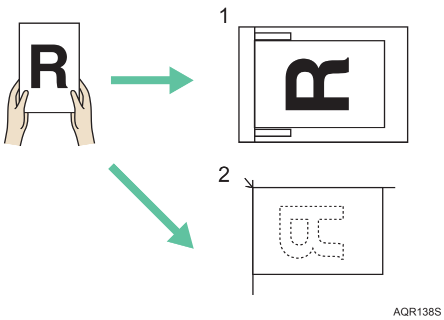
原稿ガラスと自動両面原稿送り装置（ADF）それぞれの原稿セット方法を説明します。
修正液やインクなどが完全に乾いていない原稿はセットしないでください。原稿ガラスや読み取りガラスが汚れ、その汚れがコピーされます。

参照

・セットできる原稿サイズについては、P.239 「原稿について」を参照してください。

原稿のセット方向について

原稿を持ったとき、文字が読める状態（方向）のまま、自動両面原稿送り装置（ADF）にセットします。原稿ガラスにセットするときは、裏返してセットします。



1 ADF

2 原稿ガラス

原稿ガラスにセットする

原稿を原稿ガラスにセットします。

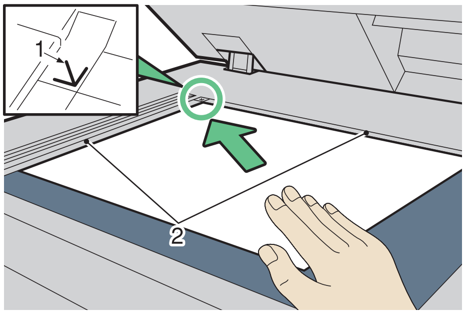
重要

- 原稿カバー、自動両面原稿送り装置（ADF）は、強く跳ね上げないようにしてください。自動両面原稿送り装置（ADF）のカバーが開いたり破損することがあります。
- 原稿ガラスにセットする際、薄い原稿は原稿の先端がスケールの下に潜り込む場合がありますので、注意してください。

1 **自動両面原稿送り装置（ADF）を上げます。**

2 **コピーしたい面を下にし、左奥のセット基準に原稿を合わせてセットします。**

原稿は先頭ページから順にセットします。



1) セット基準
2) スケール

3 **自動両面原稿送り装置（ADF）を閉めます。**

補足

- カールしている原稿は、矯正してからセットしてください。
- カールの大きい原稿はセットしないでください。
- 原稿はまっすぐセットしてください。

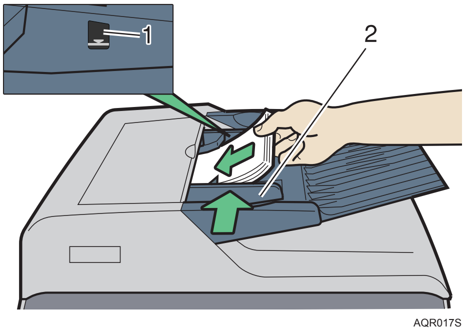
自動両面原稿送り装置（ADF）にセットする

原稿を自動両面原稿送り装置（ADF）にセットします。
不定形サイズの原稿をセットするときは、設定が必要になります。

1 **原稿ガイドを原稿サイズに合わせます。**

2 **コピーしたい面を上にし、原稿をそろえて自動両面原稿送り装置（ADF）にセットします。**

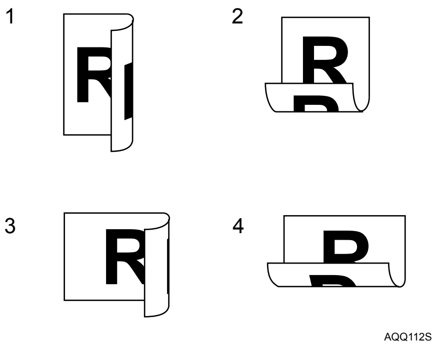
原稿は上限表示を超えないようにセットしてください。
原稿は先頭ページが一番上になるようにセットします。



1) 上限表示
2) 原稿ガイド

◆ **原稿のひらき方向とセット方向の設定**

セットした原稿のセット方向とひらき方向は、コピー初期設定で設定することができます。この設定をセットした原稿のひらき方向とセット方向と合せることで、原稿から 2 in 1 コピーをしたときなど、コピー結果の向きを揃えることができます。



1 縦長の原稿で左右ひらきの場合
［ゲンコウヒラキホウコウ］は［サユウヒラキ］に設定します。
［ゲンコウホウコウ］は［タテ］に設定します。

2 縦長の原稿で上下ひらきの場合
［ゲンコウヒラキホウコウ］は［ジョウゲヒラキ］に設定します。
［ゲンコウホウコウ］は［タテ］に設定します。

3 横長の原稿で左右ひらきの場合
［ゲンコウヒラキホウコウ］は［サユウヒラキ］に設定します。
［ゲンコウホウコウ］は［ヨコ］に設定します。

4 横長の原稿で上下ひらきの場合
［ゲンコウヒラキホウコウ］は［ジョウゲヒラキ］に設定します。
［ゲンコウホウコウ］は［ヨコ］に設定します。

補足

- カールの大きい原稿は、矯正してからセットしてください。
- 複数枚の原稿が重なったまま一度に送られないように原稿をパラパラとほぐしてからセットしてください。
- 原稿はまっすぐセットしてください。

参照

- P.144 「コピー機能の設定をする」

基本的なコピーのとりかた

色々なコピーのとりかたについて説明します。

重要

- ユーザー制限設定されているときは、テンキーでパスワード（最大 8 桁）を入力して、コピーできる状態にしてください。

1 必要に応じてコピーの種類を選択します。

コピー以外の機能が表示されているときは、［コピー］キーを押します。

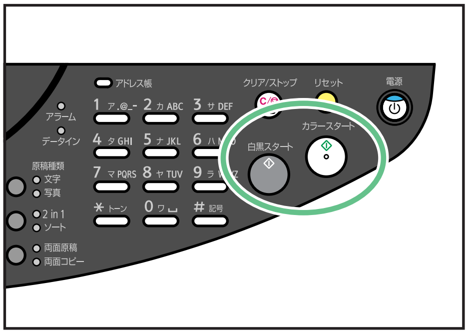
フツウ　　　　100%　　　　　1
◐▮◗ 1 A4

2 必要に応じて機能の設定をします。

3 テンキーでコピーする枚数を入力します。

入力できるコピー枚数は 99 枚までです。
入力した数値を間違えたときは、［No］キーを押します。

4 原稿をセットし、［白黒スタート］または［カラースタート］キーを押します。



AQQ041S

［白黒スタート］キーを押すとモノクロコピーが始まります。
［カラースタート］キーを押すとカラーコピーが始まります。
コピー面は上向に排紙されます。

補足

- コピーをとめたいときは、［クリア / ストップ］キーを押します。
- 設定したコピー機能をすべて取り消して、電源を入れた状態に戻すときは、［リセット］キーを押します。
- コピー終了後、一定時間何も操作しないと電源を入れたときの状態（初期設定）に戻ります。これを「オートリセット設定」といいます。オートリセット設定されるまでの時間を設定することができます。
- ［リセット］キーを押す、またはオートリセット設定されると、手順 1 で選択したコピーの種類も［ツウジョウコピー］に戻ります。

参照

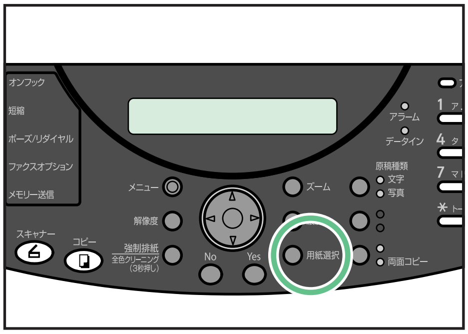
- P.141 「ユーザー制限を設定する」
- 手順 1 のコピーの種類については、P.255「指定した用紙のサイズに合わせてコピーをとる」、P.263 「リピート」、P.264 「ポスター」、P.265 「ミラー」を参照してください。
- 排紙方向については、P.145 「印刷面下向き排紙（インサツメンシタムキハイシ）」、P.145 「排紙順（ハイシジュン）」を参照してください。

給紙トレイを選択する

給紙トレイを選択して、用紙の種類やサイズを指定することができます。

1 **［用紙選択］キーを押して手差しトレイまたは給紙トレイを選択します。**

コピー以外の機能が表示されているときは、［コピー］キーを押します。



AQQ045S

トレイ 1 選択時

フツウ	100%	1
1 A4		

トレイ 2 選択時

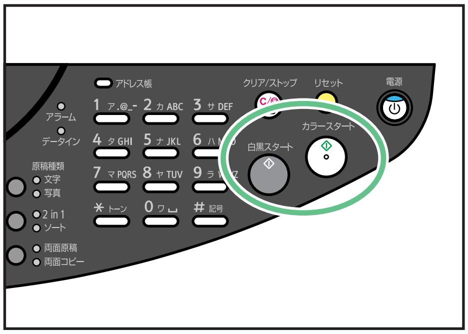
フツウ	100%	1
2 A4		

手差しトレイ選択時

フツウ	100%	1
A4		

5

2 原稿をセットし、[白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。

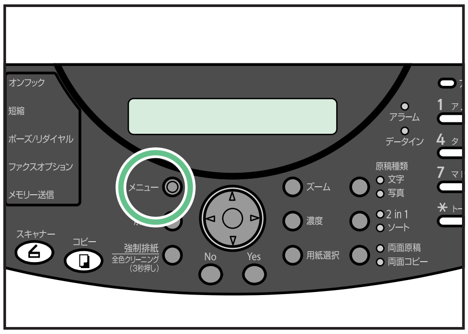


AQQ041S

不定形サイズにコピーする

不定形サイズの用紙にコピーします。

1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 [▲] または [▼] キーを押して、[ヨウシ セッテイ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

ヨウシセッテイ?	▲
OK=Yes / マタハ 1-3	▼

3 [▲] または [▼] キーを押して用紙トレイを選択し、[Yes] キーを押します。

3 テサシトレイ?	▲
OK=Yes	▼

4 ［▲］または［▼］キーを押して［ヨウシサイズ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
ヨウシサイズ？           ▲
  OK=Yes                 ▼
```

5 ［▶］キーを押して［カスタム］を選択します。

```
LTタテ？                 ▲
  OK=Yes       （カスタム▶）▼
```

6 ［x］（横）の寸法をテンキーで入力し、［Yes］キーを押します。

```
x=210    （ 55-216）   x
  OK=Yes               y
```

7 ［y］（縦）の寸法をテンキーで入力し、［Yes］キーを押します。

```
y=297   （127-1296）   x
  OK=Yes               y
```

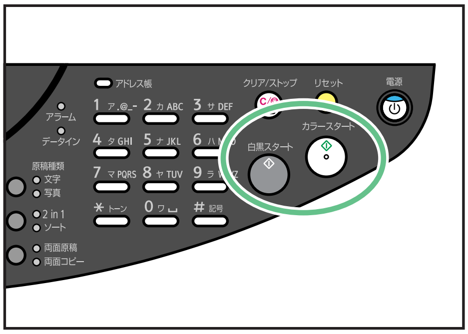
用紙設定画面が表示されます。
［No］キーを押すと通常の画面が表示されます。
コピー以外の機能が表示されているときは、［コピー］キーを押します。

8 ［用紙選択］キーを押して手差しトレイを選択します。

用紙サイズの表示が不定形になります。

```
フツウ        100%        1
```

9 原稿をセットし、［白黒スタート］または［カラースタート］キーを押します。



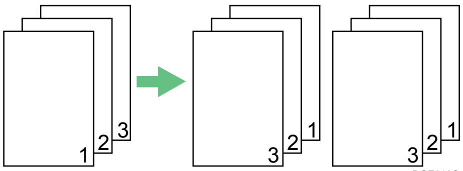
AQQ041S

コピー書類をソートする

1 セットずつそろえてコピーします。
原稿をページ順にそろえる場合、[コピーショキセッテイ] の [インサツメン シタムキハイシ] を [スル] に設定してください。

重要

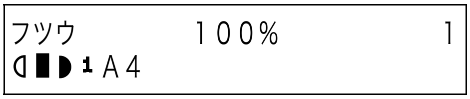
- 次の印刷条件においては、原稿のすべてをソートできない場合があります。
  - 写真等のように複雑な色の原稿の場合
  - A4/Letter/Legal 等のサイズの大きな用紙に印刷する場合
    A4 普通紙で印字モードが [ハヤイ] の場合、約 20 枚ソートできます。
  - 光沢紙などの高品質な用紙に印刷する場合
- この機能は原稿ガラスでは使用できません。

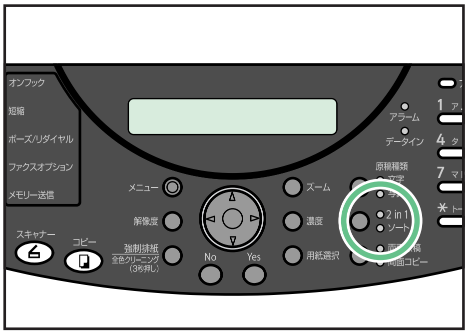


BGF013S

1 [2 in 1 / ソート] キーを押して " ソート " のランプを点灯させます。

コピー以外の機能が表示されているときは、[コピー] キーを押します。

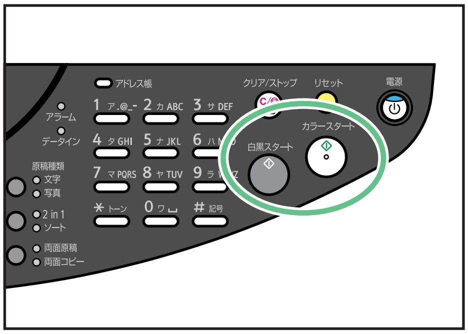




AQQ034S

2 テンキーでコピーする部数を入力します。

3 原稿をセットし、[白黒スタート]または[カラースタート]キーを押します。



AQQ041S

参照

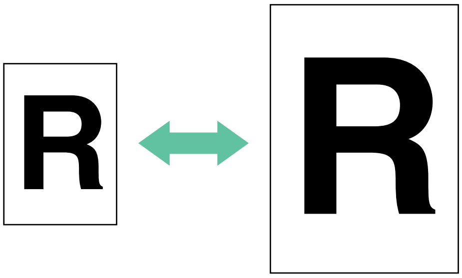
- P.144 「コピー機能の設定をする」

拡大・縮小コピーをとる

拡大・縮小コピーのとりかたを説明します。

ズーム、固定変倍（拡大／縮小）

ズームコピーは 1%刻みで拡大または縮小コピーします。固定変倍はあらかじめ設定されている倍率から選択します。



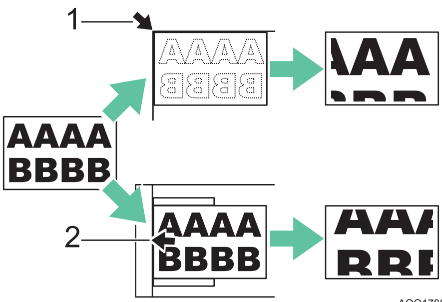
AQR091S



AQR092S

◆ **基点について**

拡大／縮小の基点は、原稿の読み取らせかたによって異なります。原稿ガラスにセットしたときは、原稿の左奥になります。自動両面原稿送り装置（ADF）にセットしたときは、原稿の左中央になります。



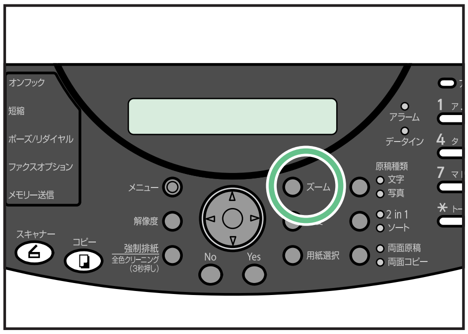
AQQ178S

1) 原稿ガラスにセットしたときの基点
2) ADF にセットしたときの基点

1 [ズーム] キーを押します。

コピー以外の機能が表示されているときは、[コピー] キーを押します。

```
フツウ          100%          1
◖▮◗ⅰA4
```



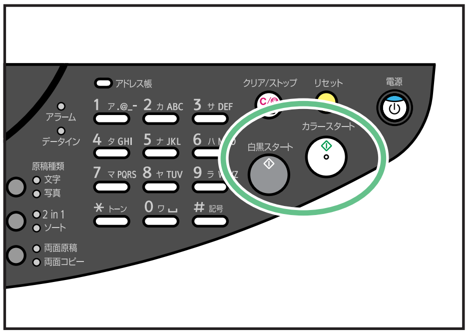
AQQ044S

2 固定倍率を選択するときは [◀] または [▶] キーを押して倍率を選択します。ズームするときは [▲] または [▼] キーを押して倍率を選択します。

```
ズーム    25-400%
 ◀   100%  ▶
```

3 [Yes] キーを押します。

4 原稿をセットし、[白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。



AQQ041S

5

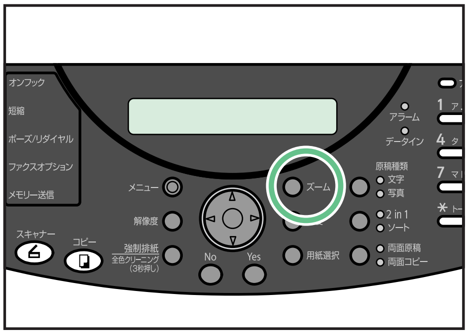
ズームをテンキーで指定するとき

ズーム倍率をテンキーで指定します。

1 **［ズーム］キーを押します。**

コピー以外の機能が表示されているときは、［コピー］キーを押します。

```
フツウ　　　　　１００％　　　　　　　１
◖▮◗ⅰＡ４
```

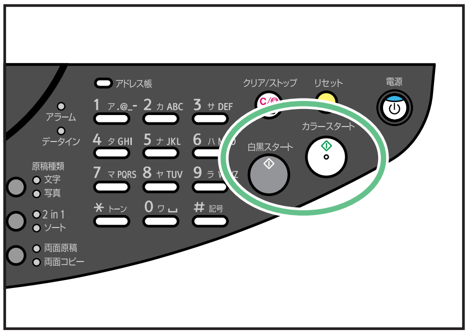


AQQ044S

2 **テンキーを押して倍率を指定し、［Yes］キーを押します。**

```
ズーム　　２５－４００％
　◀　　１００％　▶
```

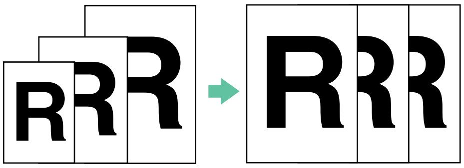
3 **原稿をセットし、［白黒スタート］または［カラースタート］キーを押します。**



AQQ041S

指定した用紙のサイズに合わせてコピーをとる

指定した用紙サイズに合わせ、自動的に拡大または縮小コピーします。



AQR094S

重要

- この機能は ADF を使用できません。

1 [Yes] キーを押します。

コピー以外の機能が表示されているときは、[コピー] キーを押します。

```
フツウ        100%        1
      A4
```

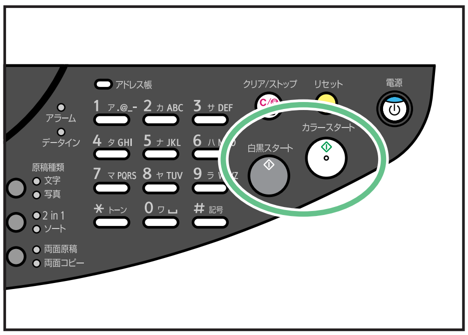
前の設定が残っているときは [リセット] キーを押します。

2 [◀] または [▶] キーを押して [a. ヨウシシテイ　ヘンバイ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
◀ a. ヨウシシテイ  ヘンバイ    ▶
  ◀,▶   &  Yes
```

3 [用紙選択] キーを押して手差しトレイまたは給紙トレイを選択します。

4 原稿をセットし、[白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。



AQQ041S

集約コピーのとりかた

2 枚の原稿を 1 枚の用紙にまとめてコピーします。

片面に集約する

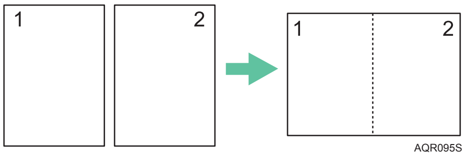
片面集約には次の 2 種類があります。

重要

- 原稿ガラスからこの機能は使用できません。

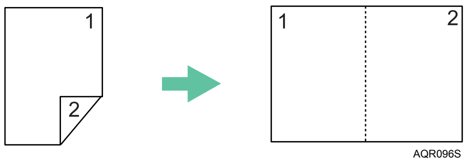
◆ 片面 2 枚→片面 1 枚

2 枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。



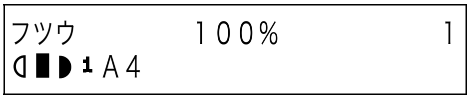
◆ 両面 1 枚→片面 1 枚

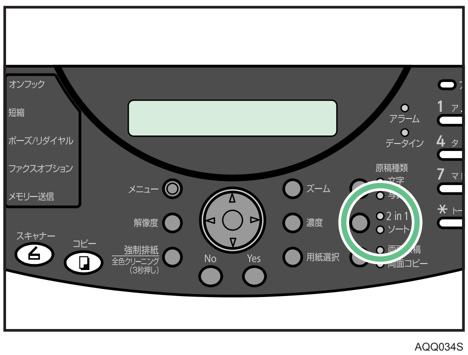
1 枚の両面原稿（表裏）を用紙の片面にまとめてコピーします。



1 ［2 in 1 / ソート］キーを押して “2 in 1” のランプを点灯させます。

コピー以外の機能が表示されているときは、［コピー］キーを押します。

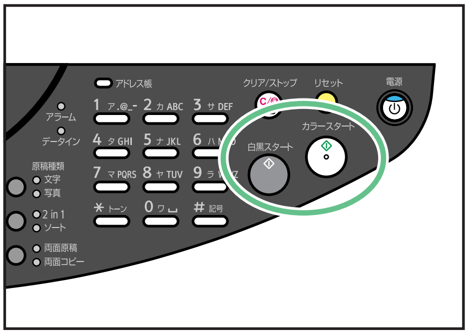




両面原稿を片面に集約するときは、［両面原稿 / 両面コピー］キーを押して “ 両面原稿 ” のランプを点灯させます。

5

2 原稿をセットし、[白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。



AQQ041S

両面に集約する

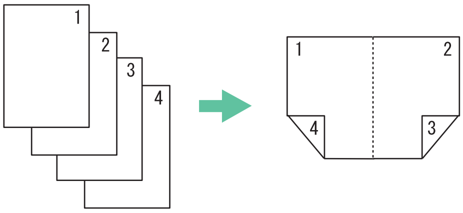
両面集約には、次の 2 種類があります。

重要

・原稿ガラスからこの機能は使用できません。

♦ 片面 4 枚→両面 1 枚

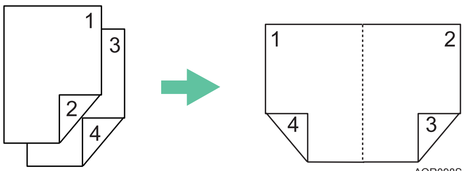
4 枚の片面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。



AQR097S

♦ 両面 2 枚→両面 1 枚

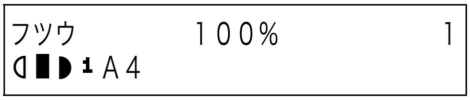
2 枚の両面原稿（4 ページ分）を用紙の両面にまとめてコピーします。

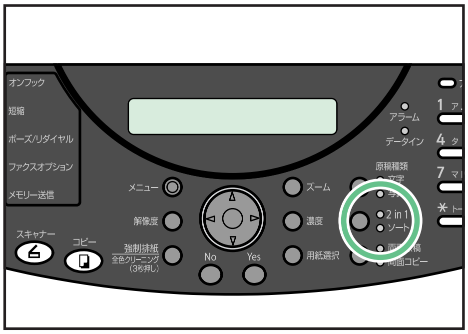


AQR098S

1 [2 in 1 / ソート] キーを押して “2 in 1” のランプを点灯させます。

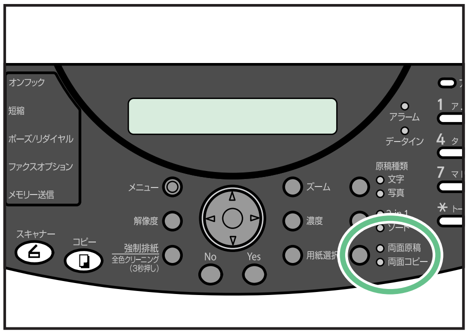
コピー以外の機能が表示されているときは、[コピー] キーを押します。





AQQ034S

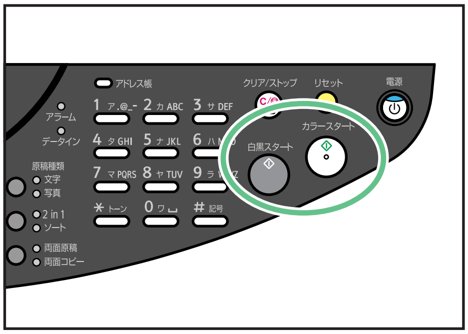
2 [両面原稿 / 両面コピー] キーを押して “ 両面コピー” のランプを点灯させます。



AQQ035S

両面原稿を両面に集約するときは、[両面原稿 / 両面コピー] を押して “ 両面原稿 ” と “ 両面コピー ” のランプを点灯させます。

3 原稿をセットし、[白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。



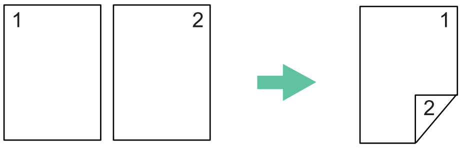
AQQ041S

両面コピーのとりかた

両面には次の種類があります。

♦ 片面原稿→両面コピー

2 枚の片面原稿を用紙の両面にコピーします。



AQR099S

♦ 両面原稿→両面コピー

1 枚の両面原稿を用紙の両面にコピーします。

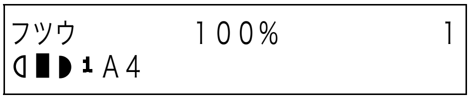
補足

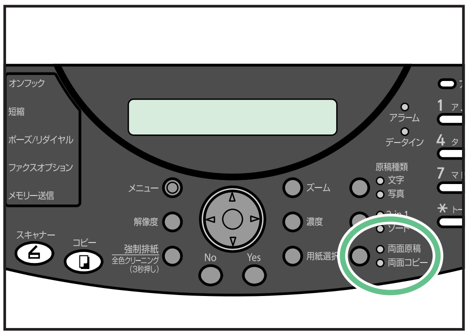
・両面印刷の場合、文字以外のデータは全体的に濃度を下げて印刷します。

片面原稿を両面にコピーする

1 ［両面原稿 / 両面コピー］キーを押して " 両面コピー " を点灯させます。

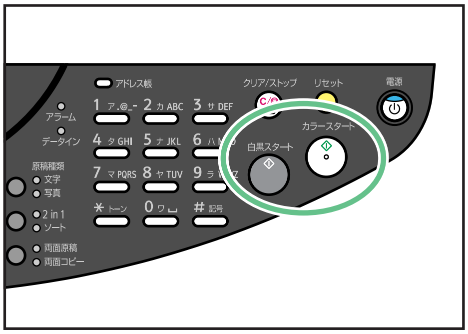
コピー以外の機能が表示されているときは、［コピー］キーを押します。





AQQ035S

2 原稿をセットし、［白黒スタート］または［カラースタート］キーを押します。



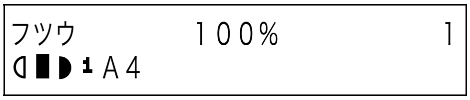
AQQ041S

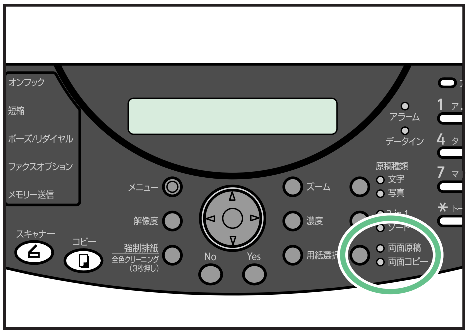
原稿ガラスにセットするときは、「ツギノページ」と表示されたら次の原稿を原稿ガラスにセットして［Yes］キーを押します。

両面原稿を両面にコピーする

1 [両面原稿 / 両面コピー]キーを押して“両面原稿”と“両面コピー”のランプを点灯させます。

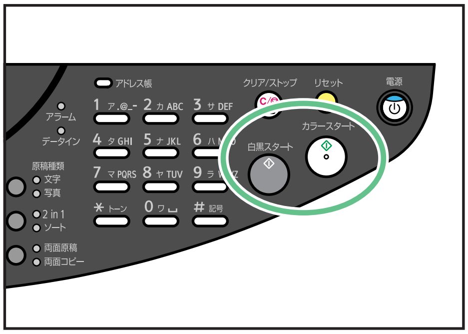
コピー以外の機能が表示されているときは、[コピー] キーを押します。





AQQ035S

2 原稿をセットし、[白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。



AQQ041S

参照

- 両面原稿のセットの設定については、P.145 「原稿ひらき方向（ゲンコウヒラキホウコウ)」、P.146 「原稿方向（ゲンコウホウコウ)」を参照してください。

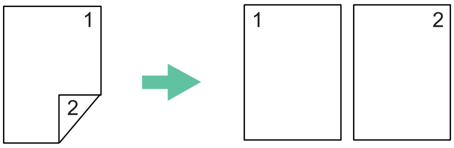
5

分割

両面原稿の表裏を 1 枚ずつコピーします。

重要

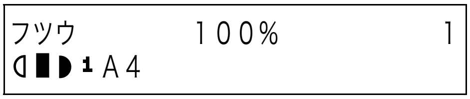
・原稿ガラスからこの機能は使用できません。

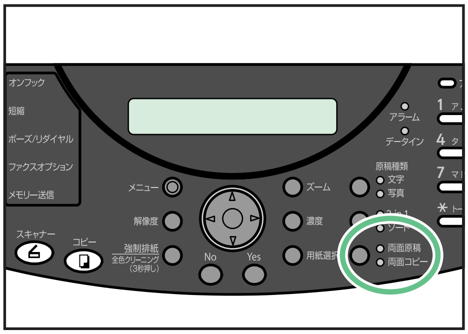


AQR145S

1 ［両面原稿 / 両面コピー］を押して“両面原稿”のランプを点灯させます。

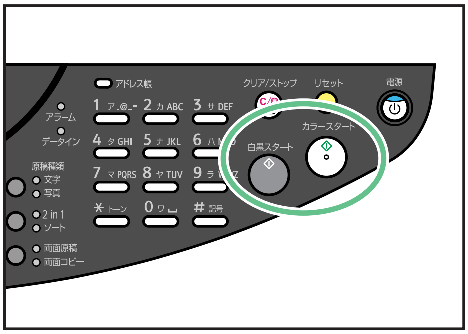
コピー以外の機能が表示されているときは、［コピー］キーを押します。





AQQ035S

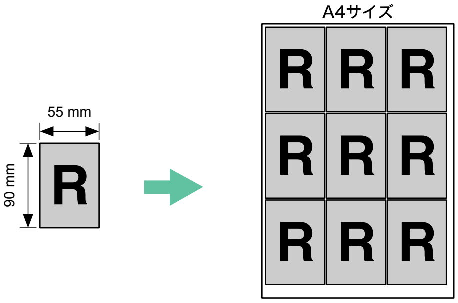
2 原稿をセットし、［白黒スタート］または［カラースタート］キーを押します。



AQQ041S

リピート

画像を 1 枚の用紙に繰り返してコピーします。
小さいサイズの原稿を大きいサイズの用紙に敷き詰めてコピーします。



BBF016S

重要

- ADF からこの機能は使用できません。
- 原稿サイズによってはリピートできません。

1 [Yes] キーを押します。

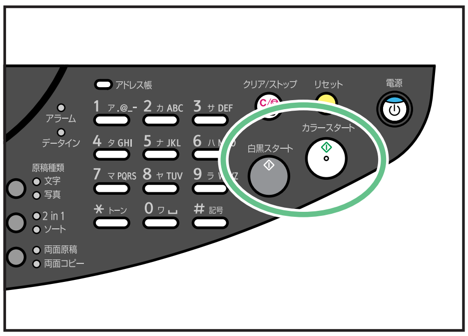
コピー以外の機能が表示されているときは、[コピー] キーを押します。

```
フツウ          100%        1
◖▮◗ ı A4
```

2 [◀] または [▶] キーを押して、[b. リピート] を表示させ [Yes] キーを押します。

```
◀ b. リピート              ▶
 ◀,▶   &  Yes
```

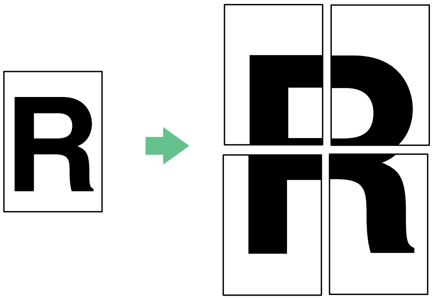
3 原稿をセットし、[白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。



AQQ041S

ポスター

画像を 4 倍に拡大し、4 枚の用紙に分割してコピーします。



AQR016S

重要

- ADF からこの機能は使用できません。

1 [Yes] キーを押します。

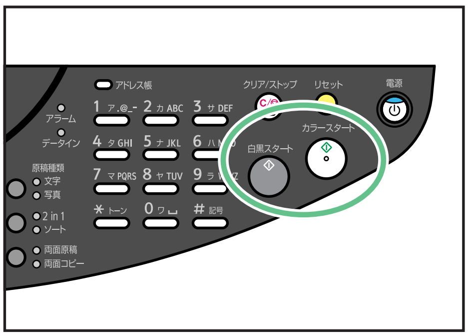
コピー以外の機能が表示されているときは、[コピー] キーを押します。

```
フツウ          100%         1
◖▮◗ 1 A4
```

2 [◀] または [▶] キーを押して、[c. ポスター] を表示し、[Yes] キーを押します。

```
◀ c. ポスター                ▶
  ◀,▶  & Yes
```

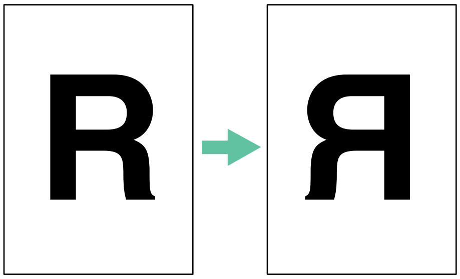
3 原稿をセットし、[白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。



AQQ041S

ミラー

画像を鏡に映したように左右に反転させてコピーします。



AQR101S

1 **[Yes] キーを押します。**

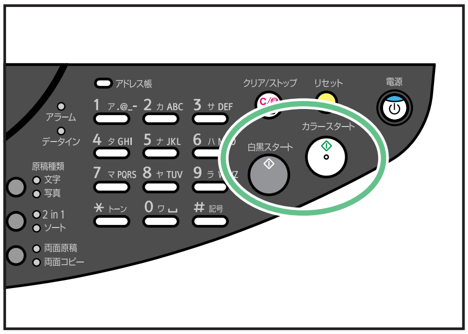
コピー以外の機能が表示されているときは、[コピー] キーを押します。

```
フツウ          100%          1
◖▮◗ i A4
```

2 **[◀] または [▶] キーを押して、[d. ミラー] を表示させ、[Yes] キーを押します。**

```
◀ d. ミラー                      ▶
  ◀,▶   &  Yes
```

3 **原稿をセットし、[白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。**



AQQ041S

5

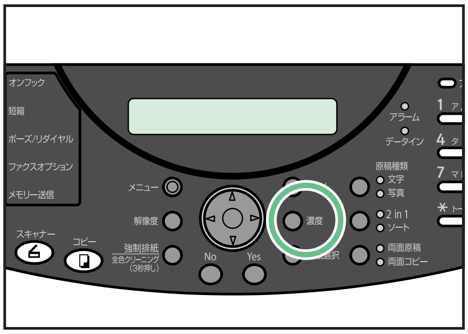
コピー濃度調整

コピーの濃度を 5 段階で調整します。

1 [濃度] キーを押します。

コピー以外の機能が表示されているときは、[コピー] キーを押します。

```
フツウ          100%         1
◖▮◗ 1 A4
```



AQQ036S

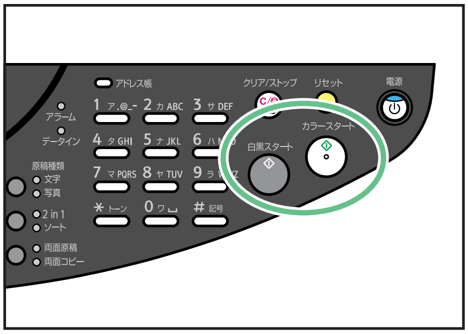
2 [◀] または [▶] キーを押して濃度を調整します。

```
ノウド
 －      ◖▯▯▯▮▯◗      ＋
```

濃度表示「▯」が移動します。

3 [Yes] キーを押します。

4 原稿をセットし、[白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。



AQQ041S

原稿種類を選択する

原稿種類選択には次の 2 種類があります。

♦ 文字（モジ）

文字が主体の原稿に適した設定で読み取ります。[文字 / 写真] キーを押して " 文字 " のランプを点灯させます。

♦ 写真（シャシン）

写真や絵画原稿に適した設定で読み取ります。[文字 / 写真] キーを押して " 写真 " のランプを点灯させます。

- プリント（現像）された写真を原稿にするとき
- 雑誌などに印刷された写真を原稿にするとき
- カラーコピーを原稿にするとき

♦ 文字・写真（モジ /P）

写真や絵画と文字が混じった原稿に適した設定で読み取ります。[文字 / 写真] キーを押して " 文字 " と " 写真 " のランプを点灯させます。

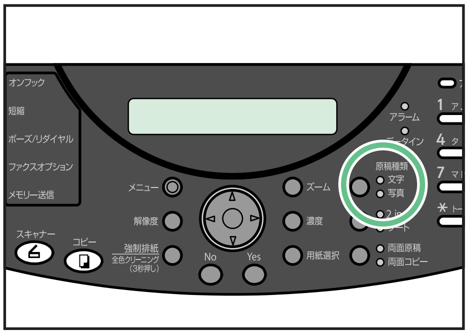
5

1 [文字 / 写真] キーを押し、原稿の種類を選択します。

コピー以外の機能が表示されているときは、[コピー] キーを押します。

```
フツウ          100%          1
A4
```

選択している原稿種類のランプが点灯します。



AQQ037S

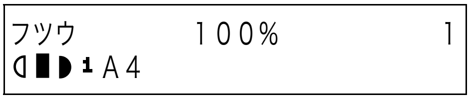
解像度を調整する

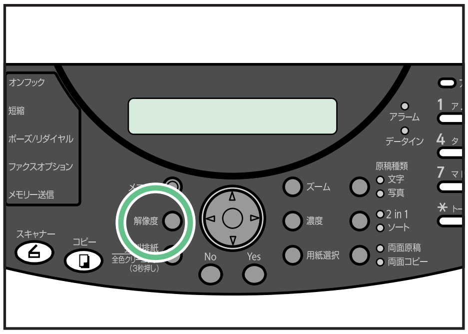
コピーするときの解像度を調整します。
コピー機能では、用紙によって対応している解像度が異なります。
対応していない解像度を選択した場合は、[フツウ] でコピーされます。

紙種	コウソク	フツウ	セイミツ
普通紙	○	○	○
ハイグレード普通紙	–	○	○
厚紙	○	○	○
封筒	○	○	○
ハガキ	○	○	○
インクジェットハガキ	–	○	○
光沢紙	–	○	–
OHP	–	○	–

1 [解像度] キーを押して、「フツウ」「セイミツ」「コウソク」を選択します。

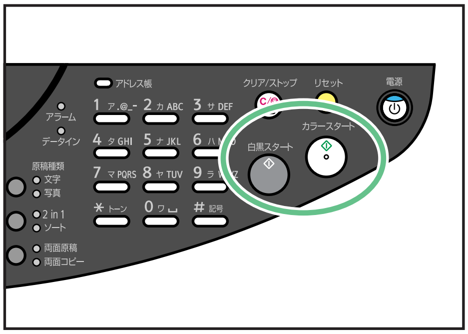
コピー以外の機能が表示されているときは、[コピー] キーを押します。





AQQ038S

2 原稿をセットし、［白黒スタート］または［カラースタート］キーを押します。



AQQ041S

5

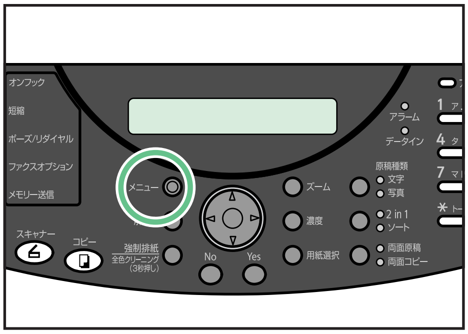
画質詳細設定

コピーするときの画質の詳細を設定する方法を説明します。

カラーバランス

コピー全体が赤みがかっていたり、青みがかっているときに、コピー全体の色合い調整します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［コピーショキセッテイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
コピーショキセッテイ?
  OK=Yes  /  マタハ  1-13
```

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［カラーチョウセイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
9  カラーチョウセイ?
  OK=Yes
```

4 ［◀］または［▶］キーを押して［カラーバランス］を選択し、［Yes］キーを押します。

```
*カラーバランス                ▶
  ◀,▶  &  Yes
```

5 ［◀］または［▶］キーを押して調整したい色を選択し、［Yes］キーを押します。

```
*R          G          B
  ◀,▶  &  Yes
```

6 **［◀］または［▶］キーを押してカラーバランスを調整し、［Yes］キーを押します。**

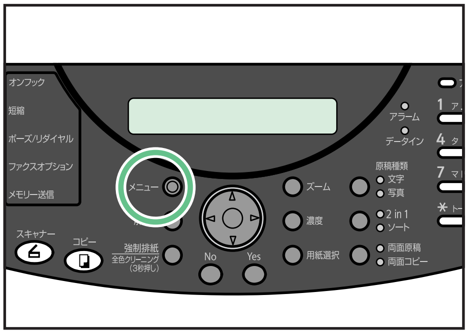
```
−    ◖▯▯▮▯▯◗    ＋
◀,▶  &  Yes
```

コピー初期設定画面が表示されます。
［No］キーを押すと通常の画面が表示されます。

シャープ／ソフト

画像の輪郭を調整します。

1 **操作部の［メニュー］キーを押します。**



AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 **［▲］または［▼］キーを押して、［コピーショキセッテイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。**

```
コピーショキセッテイ?
 OK=Yes ／ マタハ 1−13
```

3 **［▲］または［▼］キーを押して、［カラーチョウセイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。**

```
9 カラーチョウセイ?
 OK=Yes
```

4 **［◀］または［▶］キーを押して［シャープ / ソフト］を選択し、［Yes］キーを押します。**

```
*シャープ／ソフト            ▶
 ◀,▶  &  Yes
```

5

5 [◀] または [▶] キーを押して画像の輪郭を調整し、[Yes] キーを押します。

```
 −      ◖▯▯▮▯▯◗      ＋
 ◀,▶  ＆ Ｙｅｓ
```

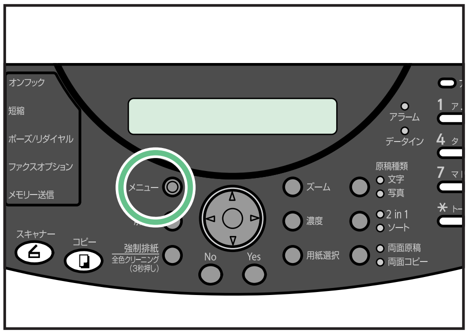
コピー初期設定画面が表示されます。

［No］キーを押すと通常の画面が表示されます。

コントラスト

画像の陰影を調整します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［コピーショキセッテイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
コピーショキセッテイ？
 ＯＫ＝Ｙｅｓ ／ マタハ １−１３
```

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［カラーチョウセイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
９ カラーチョウセイ？
 ＯＫ＝Ｙｅｓ
```

4 ［◀］または［▶］キーを押して［コントラスト］を選択し、［Yes］キーを押します。

```
＊コントラスト          ▶
 ◀,▶  ＆ Ｙｅｓ
```

5 [◀] または [▶] キーを押して画像の陰影を調整し、[Yes] キーを押します。

```
-     ◐▯▯▮▯▯◗     +
◀,▶  & Yes
```

コピー初期設定画面が表示されます。

[No] キーを押すと通常の画面が表示されます。

6. スキャナー機能を使う

スキャナー機能について説明しています。

TWAIN スキャナーで文書を読み取る

クライアントコンピューターから本機の原稿を読み取ります。

TWAIN スキャナーを使用する前に

TWAIN スキャナーを使用するために必要な準備や操作などについて説明します。

重要

- TWAIN スキャナーを利用するには、クライアントコンピューターに TWAIN ドライバーをインストールしておく必要があります。
- TWAIN スキャナーを利用するには、Ridoc Desk Navigator や PageManager などの TWAIN 対応アプリケーションがクライアントコンピューターにインストールされている必要があります。

参照

- P.89 「TWAIN ドライバーをインストールする」

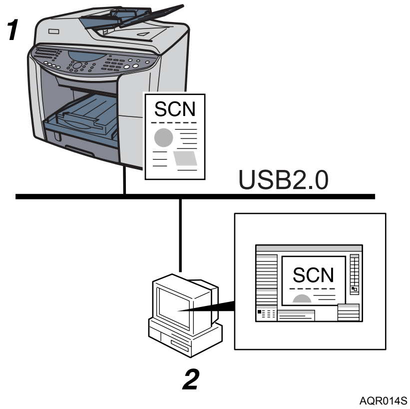
6

TWAIN スキャナーの概要

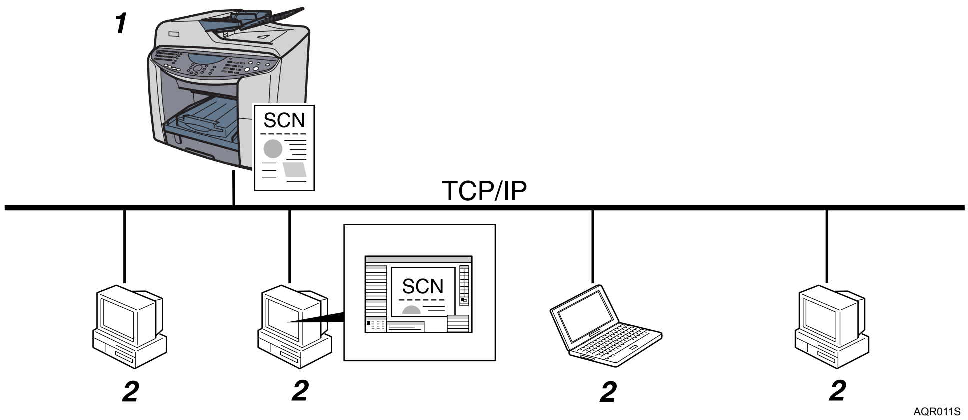
TWAIN スキャナーを使った読み取りの概念について説明します。
接続方法は、USB2.0 かイーサネットでつなぐ 2 種類の方法があります。

重要

- イーサネットで接続するためには、オプションのネットワークボードが必要です。



6



1 本機
クライアントコンピューターからの指示を受信し、原稿を読み取ります。読み取った文書をクライアントコンピューターに送信します。

2 クライアントコンピューター
Ridoc Desk Navigator などの TWAIN 対応アプリケーションから、スキャナーの設定、操作をします。本機で読み取られた文書を受信し、TWAIN 対応アプリケーションで表示します。

補足

- TWAIN スキャナーとして使用するときは、操作部の［スキャナー］キーを押す必要はありません。TWAIN スキャナー以外の機能を使うときは［スキャナー］キーを押して操作します。

基本的な TWAIN スキャナーの操作手順

TWAIN スキャナーを使った読み取りの基本的な操作手順について説明します。

重要

- TWAIN スキャナーを利用するには、Ridoc Desk Navigator や PageManager などの TWAIN 対応アプリケーションと、TWAIN ドライバーをクライアントコンピューターにインストールする必要があります。

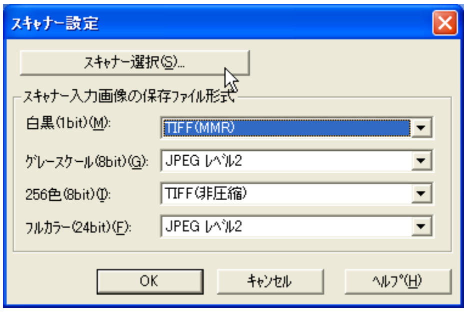
Windows XP で Ridoc Desk Navigator Lt を使用した操作を例にして説明します。本機には Ridoc Desk Navigator Lt は同梱されていません。PageManager を使用する場合は、PageManager に同梱のマニュアルを参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］をポイントし、［RICOH Ridoc Desk Navigator］から［Ridoc Desk Navigator］をクリックします。

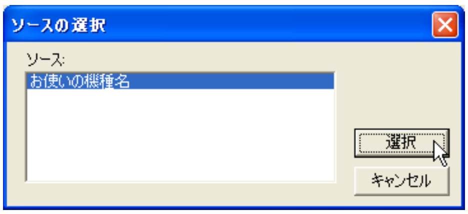
2 ［ツール］メニューの［スキャナー設定］をクリックします。



3 ［スキャナー選択］をクリックします。



4 ソースの選択ボックス内に表示されている、お使いの機器名をクリックし、［選択］をクリックします。

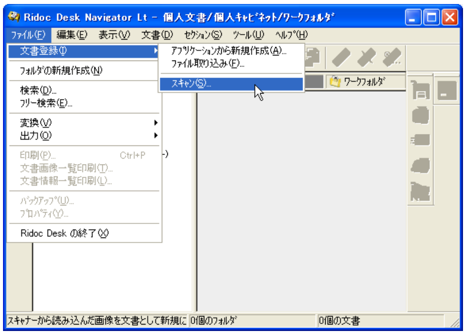


5 ［OK］をクリックします。

6 スキャナーに原稿をセットします。

7 ［ファイル］メニューの［文書登録］から［スキャン］をクリックし、スキャナーコントロールダイアログを表示します。

または画面のをクリックします。



TWAIN ドライバーでスキャナーを操作するダイアログを、「スキャナーコントロールダイアログ」と呼びます。

8 原稿の種類や読み取る目的、セット方向などに応じて、各種設定をします。

詳しくは、TWAIN ドライバーのヘルプを確認してください。

9 スキャナーコントロールダイアログの［読み取り］をクリックします。

次の原稿があるときは同じ場所に原稿をセットし、［読み取り］をクリックします。次の原稿がないときは［閉じる］をクリックします。

10 ［ファイル］メニューの［終了］をクリックします。

11 文書名を入力し、［OK］をクリックします。

Ridoc Desk ビューアが閉じ、Ridoc Desk Navigator Lt にイメージが保存されます。

補足

- すでにスキャナーが選択されている場合、次に変えるまでスキャナー選択は必要ありません。
- Ridoc Desk Navigator では、読み取った原稿を編集したり印刷したりすることもできます。Ridoc Desk Navigator について詳しくは、Ridoc Desk Navigator 関連の説明書を参照してください。
- スキャナーコントロールダイアログのタイトルバーには、現在接続されているスキャナー名が表示されます。ネットワーク上に複数の同機種スキャナーがあるときは、スキャナー名が目的のスキャナーかどうか確認します。目的のスキャナーと異なる場合は［スキャナー選択］をクリックし、選択しなおしてください。

TWAIN スキャナー使用時の原稿セット方向について

読み取った文書の天地（上下）をパソコン上で正しく表示させるには、原稿をセットする向きと、スキャナーコントロールダイアログでの設定を正しく組み合わせる必要があります。原稿は必ず方向にセットしてください。

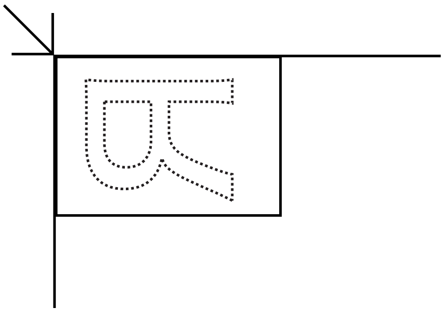
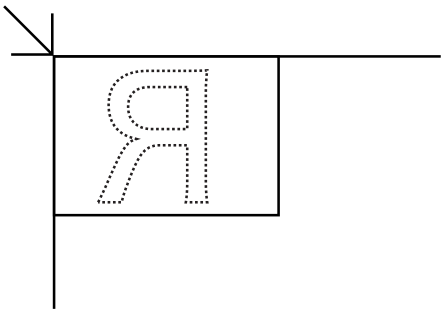
1 **スキャナーコントロールダイアログを開きます。**

2 **［原稿セット場所］グループから原稿をセットした場所を選択します。**

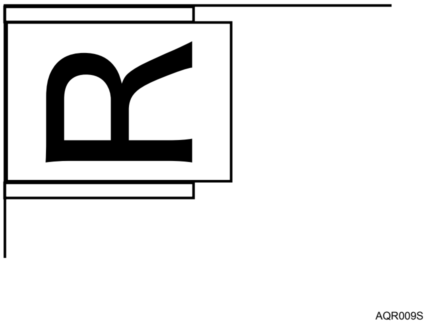
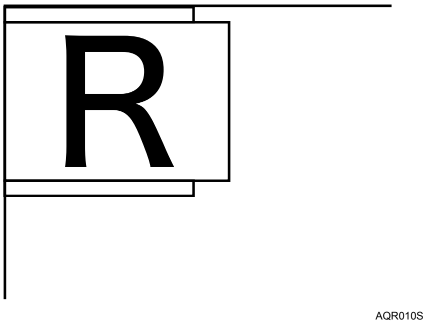
3 **［画質調整方法］で［手動］を選択し、［回転］ボックスから［しない］または［右 90 度］または［左 90 度］を選択します。**

原稿セット方向と設定の関係については次の表を参考にしてください。

原稿ガラスに原稿をセットするとき

原稿	TWAIN スキャナーコントロールダイアログで指定するキー
縦長の原稿 このセット方向が TWAIN ドライバーの標準の設定となっています。通常はこの方向にセットしてください。  AQR008S	［しない］
横長の原稿  AQR007S	［右 90 度］

自動両面原稿送り装置（ADF）に原稿をセットするとき

原稿	TWAIN スキャナーコントロールダイアログで指定するキー（原稿セット方向）
縦長の原稿 	［タテ］
横長の原稿 	［ヨコ］

読み取った文書をメールで送信する

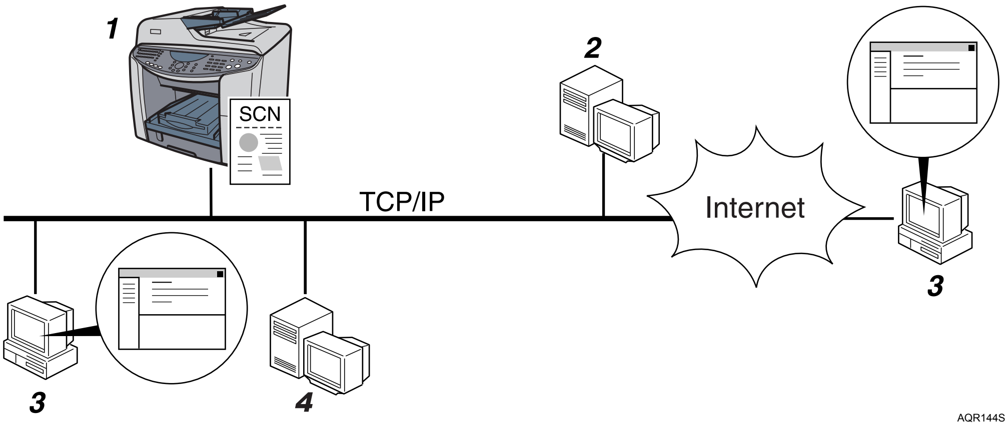
スキャナーから読み取った文書をメールに添付し、電子メールシステムを使って LAN やインターネット経由で送信できます。

重要

・この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

メール送信をする前に

スキャナー機能を使ったメール送信の概念について説明します。



1 本機
読み取った文書を電子メールに添付し、メールサーバーに送信します。

2 SMTP サーバー
SMTP プロトコルの電子メール送信サーバーです。SMTP サーバーは必ずしも同一 LAN 上に存在する必要はありません。SMTP の電子メールが使える環境であれば利用できます。送信された電子メールを指定された宛先に LAN やインターネット経由で転送します。

3 クライアントコンピューター
電子メールソフトで、文書の添付されたメールを受信します。

4 LDAP サーバー
メールアカウントなどを管理し、ネットワーク上のコンピューターからの照会や検索に対応するサーバーです。LDAP サーバーを設置すると、本機から宛先を検索できます。

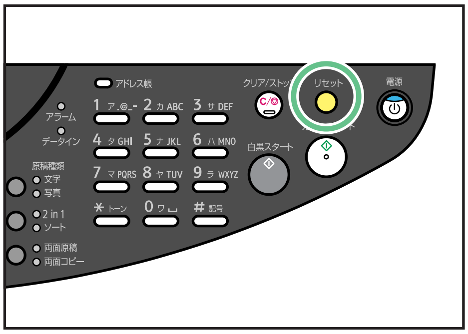
6

基本的なメール送信の操作手順

メール送信の基本的な操作手順について、原稿を原稿ガラスにセットした場合を例に説明します。

1 前の設定が残っていないことを確認します。

前の設定が残っているときは［リセット］キーを押します。
スキャナー以外の機能が表示されているときは、［スキャナー］キーを押します。



AQQ042S

2 原稿をセットします。

```
メール/ファイル　ソウシン
　－ゲンコウセット－
```

3 送信先を指定し、［▼］キーを押します。

複数の送信先を「CC」として指定することもできます。

```
アテサキ=abc.company@[A]
ツギ=▼　　　　(ソウシン=Yes)
```

4 必要に応じて送信者を指定し、［▼］キーを押します。

```
ソウシンシャ=abc@abc.co[A]
ツギ=▼　　　　(ソウシン=Yes)
```

5 必要に応じて件名の入力をし、［▼］キーを押します。

```
ケンメイ=　　　　　　　[A]
ツギ=▼　　　　(ソウシン=Yes)
```

6 必要に応じて「CC」指定をし、［▼］キーを押します。

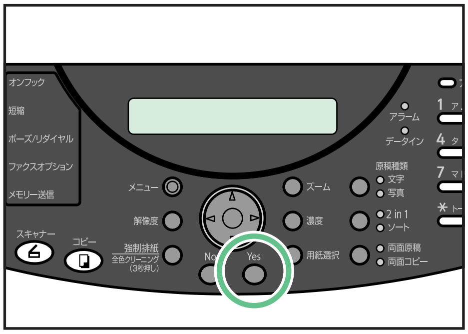
```
CC 001=Document　[A]
ツギ=▼　　　　(ソウシン=Yes)
```

7 **必要に応じて原稿種類や解像度、ファイル形式、圧縮方式を設定し、[Yes]キーを押します。**

```
＊カラー　　グレー　　シロクロ
 ◀,▶　 ＆　Ｙｅｓ
```

8 **必要に応じて原稿についての項目を指定し、[Yes] キーを押します。**

```
ＡＤＦ（Ａ４）　＊ガラス（Ａ４）
ヨミトリ＝Ｙｅｓ　（サイズ＝▼）
```



AQQ032S

読み取りが開始されます。
自動両面原稿送り装置（ADF）に原稿をセットした場合は、[白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。読み取り後すぐに、送信が開始されます。

9 **追加原稿がある場合は、原稿をセットして [Yes] キーを押します。**

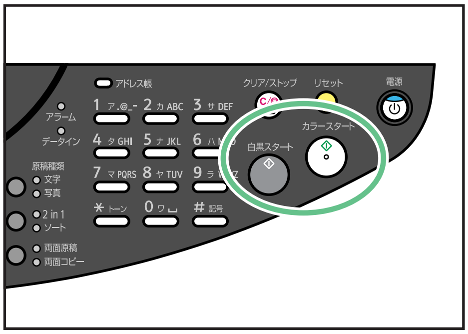
原稿がなくなるまで、この手順を繰り返します。
追加原稿をセットするまでに何も操作しないまま1分間放置すると時間切れとなり、ジョブがキャンセルされます。

```
ジページ？（Ａ４）　１
 ヨミトリ＝Ｙｅｓ　（カンリョウ＝Ｎｏ）
```

```
＊ジョブガトリケサレマシタ＊
ａｂｃ＠ａｂｃ．ｃｏｍｐａｎｙ．ｃｏｍ
```

6

10 **すべての原稿を読み取り終えたら［No］キーを押し、［白黒スタート］または［カラースタート］キーを押します。**



AQQ041S

送信が開始されます。

♦ ファイル名について

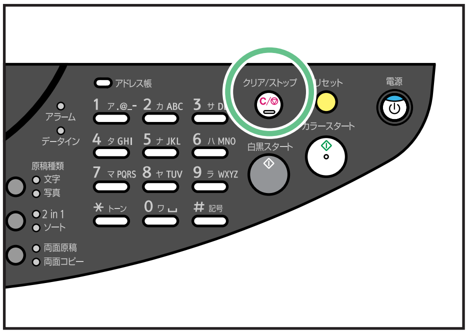
ファイル名は本機によって自動的に付けられ、相手先に送信されます。
次のように付けられます。

- xxxx_YYMMDDhhmmss_xx. 拡張子
- xxxx: 送信者名
- YY: 年
- MM: 月
- DD: 日
- hh: 時間
- mm: 分
- ss: 秒
- xx: ファイルナンバー

送信者名に使用している文字（¥、/、:、*、?、“、<、>、|、スペース）によっては、「YYMMDDhhmmss_xx. 拡張子」になり、送信者名が省略されます。

補足

- 自動両面原稿送り装置（ADF）に原稿をセットした場合は、[両面原稿 / 両面コピー] キーを押して両面原稿を読み取ることができます。
- 送信先を「CC」として複数指定したときは、[▲] [▼] キーを押すと選択した送信先が順に表示されます。
- 送信先の選択を解除するには、解除する送信先を送信先表示欄に表示させ、[クリア / ストップ] キーを押します。
- 読み取りを中止するには [クリア / ストップ] キーを押します。



AQQ033S

参照

- 手順 *3* の送信先を指定する詳細については、P.286 「メール送信先を指定する」を参照してください。
- 手順 *4* の送信者を指定する詳細については、P.291 「メール送信者を指定する」を参照してください。
- 手順 *7* の原稿種類や解像度などを設定する詳細については、P.301 「原稿種類を設定する」、P.301 「解像度を設定する」、P.301 「ファイル形式を設定する」、P.302 「圧縮方式を設定する」 を参照してください。
- 手順 *8* の原稿についての項目を指定するなど詳細については、P.302「読み取りサイズを設定する」、P.303 「読み取り濃度を調整する」 を参照してください。

原稿をセットする（スキャナー）

原稿のセット方法については、「コピー機能を使う」を参照してください。

参照

- P.239 「原稿をセットする」を参照してください。

メール送信先を指定する

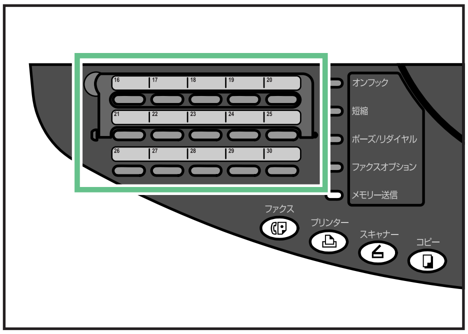
メールの送信先の指定方法について説明します。
メール送信先を指定するには、次の方法があります。

- ワンタッチキーを使う
- [短縮] キーを使う
- [アドレス帳] キーを使う
  [アドレス帳]キーを使う場合は、LDAP サーバーに登録されたアドレスの検索も可能です。
- メールアドレスを直接入力する

ワンタッチキーを使う（メール送信先を指定する）

ワンタッチキーに登録されているメール送信先を選択します。

1 送信先が登録されているワンタッチキーを押します。



AQQ046S

メール／ファイル　ソウシン 　－ゲンコウセット－

2 [▼] または [Yes] キーを押します。

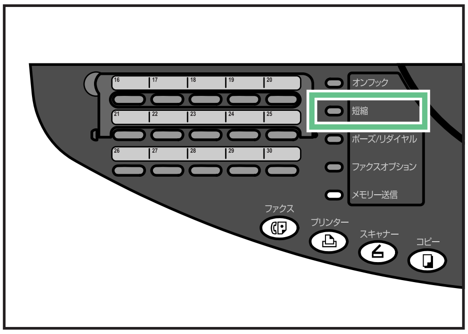
参照

- ワンタッチキーへの登録方法について詳しくは、P.147 「宛先を登録する」を参照してください。

[短縮]キーを使う(メール送信先を指定する)

[短縮]キーに登録されているメール送信先を選択します。

1 [タンシュク]キーを押します。



AQQ048S

```
メール/ファイル　ソウシン
　ーゲンコウセットー
```

2 登録番号をテンキーで入力します。

```
タンシュクキー　アテサキ=
```

3 [▼]または[Yes]キーを押します。

```
アテサキ=シンヨコハマ
ツギ=▼　　　　　　　(ソウシン=Yes)
```

参照

- 短縮ダイヤルへの登録方法について詳しくは、P.147「宛先を登録する」を参照してください。

[アドレス帳]キーを使う(メール送信先を指定する)

[アドレス帳]キーを使ってメール送信先を選択します。
アドレス帳では 2 種類の方法からメール送信先を選択できます。

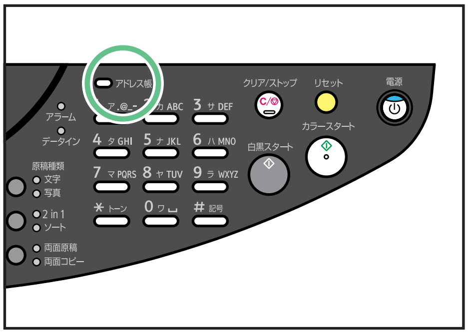
- [ヒョウジ]からメール送信先を選択する
  本機のアドレス帳からリストを表示してメール送信先を選択します。
- [ケンサク]から検索してメール送信先を選択する
  本機のアドレス帳、もしくは LDAP サーバーから送信先を検索します。

6

[ヒョウジ] からメール送信先を選択する

[ヒョウジ] からメール送信先を選択します。

1 [アドレス帳] キーを押します。



AQQ082S

```
メール/ファイル　ソウシン
　ーゲンコウセットー
```

2 [◀]または[▶]キーを押して、[ヒョウジ]を選択し、[Yes]キーを押します。

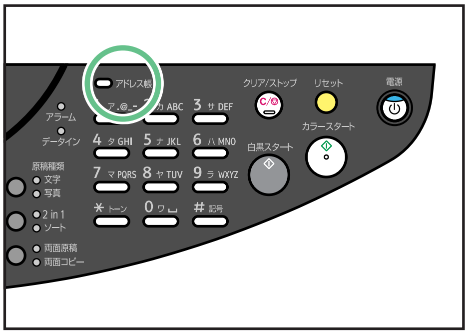
```
＊ヒョウジ　　ケンサク
　◀,▶　＆　Yes
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、送信先を表示させ、[▼] または [Yes] キーを押します。

[ケンサク] から検索してメール送信先を選択する

[ホンタイ]、もしくは [LDAP ケンサク] から検索してメール送信先を選択します。

1 [アドレス帳] キーを押します。



AQQ082S

```
メール/ファイル　ソウシン
　ーゲンコウセットー
```

2 [◀]または[▶]キーを押して、[ケンサク]を選択し、[Yes]キーを押します。

```
 ヒョウジ *ケンサク
 ◀,▶ & Yes
```

3 [◀] または [▶] キーを押して、検索先を選択し、[Yes] キーを押します。

```
*ホンタイ  LDAPケンサク
 ◀,▶ & Yes
```

4 検索する送信先の名前の一部を入力します。

```
ケンサク−>>ヨ_
 OK=>              [ア]
```

5 [Yes] キーを押します。

```
ケンサク−>>ヨコ
 OK=>              [ア]
```

検索が始まります。

```
*ケンサクチュウ*
```

6 [▲] または [▼] キーを押して、検索結果から送信先を選択します。

```
ヨコ(3)
ケンサク=Yes (カクニン=▼▲)
```

7 [Yes] キーを押します。

```
*ヨコハマオフィス        ▲
 OK=Yes                 ▼
```

8 [▼] または [Yes] キーを押します。

```
アテサキ=ヨコハマオフィス
ツギ=▼        (ソウシン=Yes)
```

参照

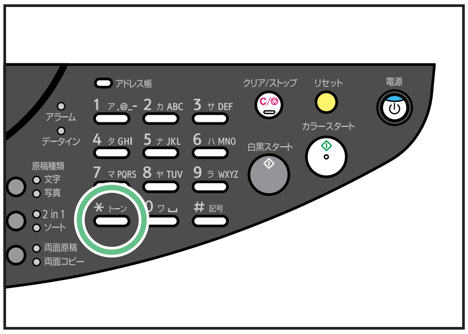
- P.209 「文字の入力のしかた」

6

メールアドレスを直接入力するとき

メールアドレスを直接入力します。

1 [✱]キーを押して入力モードを切り替え、[A]または[1]を表示させます。



AQQ055S

メールアドレス　マタハ ホストアドレスニュウリョク　　　　[A]

2 送信先のメールアドレスを入力します。

アテサキ＝a　　　　　　　　　　　[A] OK＝▶

3 [▾] または [Yes] キーを押します。

アテサキ＝abc．company@abc ツギ＝▾　　　　　　（ソウシン＝Yes）

補足

- 入力したメールアドレスを修正または変更する場合は、[クリア / ストップ] キーを押して入力しなおします。

参照

- P.209 「文字の入力のしかた」

メール送信者を指定する

メールの送信者を指定する設定手順について説明します。
本機からメール送信をする場合、送信するメールの送信者を指定する必要があります。
メール送信者を指定するには、次の方法があります。

- ワンタッチキーを使う
- [短縮] キーを使う
- [アドレス帳] キーを使う
  [アドレス帳] キーを使う場合は、LDAP サーバーに登録されたアドレスの検索も可能です。

補足

- 送信者はあらかじめ登録しておくことができます。その場合はあらかじめ登録した以外の送信者を指定することはできません。

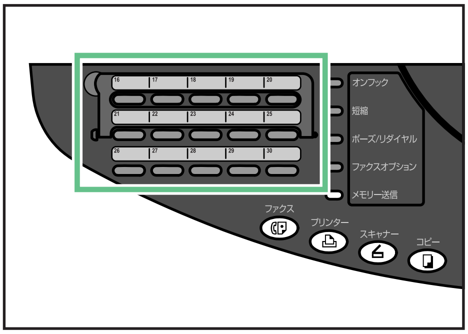
参照

- 送信者の登録について詳しくは、P.182「インターネットファクス・メール送信機能を使うには（SMTP 設定）」を参照してください。

ワンタッチキーを使う（メール送信者を指定する）

ワンタッチキーに登録されているメール送信者を選択します。

1 送信者が登録されているワンタッチキーを押します。



AQQ046S

ソウシンシャ＝　　　　　　　　[A]
ツギ＝▼　　　　　（ソウシン＝Ｙｅｓ）

2 [▼] または [Yes] キーを押します。

ソウシンシャ＝ａｂｃ＠ａｂｃ．ｃｏｍｐａ
ツギ＝▼　　　　　（ソウシン＝Ｙｅｓ）

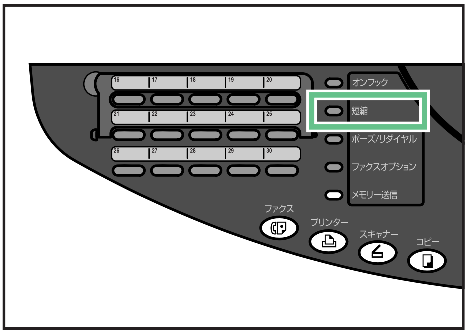
参照

- ワンタッチキーへの登録方法について詳しくは、P.147「宛先を登録する」を参照してください。

［短縮］キーを使う（メール送信者を指定する）

［短縮］キーに登録されている送信者を選択します。

1 ［短縮］キーを押します。



AQQ048S

```
ソウシンシャ＝　　　　　　　　　［A］
ツギ＝▼　　　　　　　（ソウシン＝Ｙｅｓ）
```


2 登録番号をテンキーで入力します。

```
タンシュクキー　アテサキ＝
```

3 ［▼］または［Yes］キーを押します。

```
ソウシンシャ＝ａｂｃ＠ａｂｃ．ｃｏ［A］
ツギ＝▼　　　　　　　（ソウシン＝Ｙｅｓ）
```

［アドレス帳］キーを使う（メール送信者を指定する）

［アドレス帳］キーを使ってメール送信者を選択します。

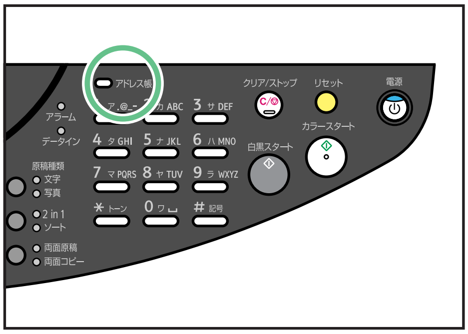
アドレス帳では 2 種類の方法からメール送信者を選択できます。

- ［ヒョウジ］からメール送信者を選択する
  本機のアドレス帳からリストを表示してメール送信者を選択します。
- ［ケンサク］から検索してメール送信者を選択する
  本機のアドレス帳、もしくは LDAP サーバーから送信者を検索します。

[ヒョウジ］からメール送信者を選択する

[ヒョウジ］からメール送信者を選択します。

1 [アドレス帳］キーを押します。



AQQ082S

ソウシンシャ＝　　　　　　[A]
ツギ＝▼　　　　（ソウシン＝Yes）

2 [◀]または[▶]キーを押して、[ヒョウジ]を選択し、[Yes]キーを押します。

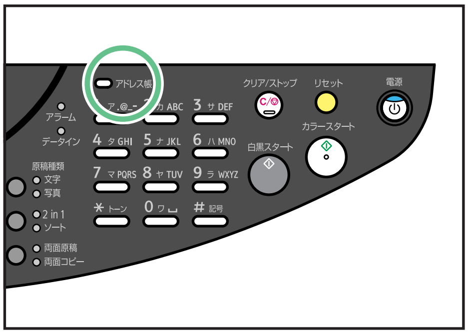
＊ヒョウジ　　ケンサク
◀,▶　＆　Yes

3 [▲］または［▼］キーを押して、送信者を表示させ、[▼］または［Yes］キーを押します。

[ケンサク］から検索してメール送信者を選択する

[ホンタイ]、もしくは［LDAP ケンサク］から検索してメール送信者を選択します。

1 [アドレス帳］キーを押します。



AQQ082S

ソウシンシャ＝　　　　　　[A]
ツギ＝▼　　　　（ソウシン＝Yes）

6

2 [◀]または[▶]キーを押して、[ケンサク]を選択し、[Yes]キーを押します。

```
 ヒョウジ　*ケンサク
 ◀,▶　＆　Yes
```

3 [◀] または [▶] キーを押して、検索先を選択し、[Yes] キーを押します。

```
*ホンタイ　　LDAPケンサク
 ◀,▶　＆　Yes
```

4 検索する送信者の名前の一部を入力します。

```
ケンサクー>>ヨ_
 OK=>　　　　　　　　[A]
```

5 [Yes] キーを押します。

```
ケンサクー>>ヨコ
 OK=>　　　　　　　　[A]
```

検索が始まります。

```
*ケンサクチュウ*
```

6 [▲] または [▼] キーを押して、検索結果から送信者を選択します。

```
ヨコ（3）
ケンサク=Yes　　（カクニン=▼▲）
```

7 [Yes] キーを押します。

```
*ヨコハマオフィス　　　　▲
 OK=Yes　　　　　　　　▼
```

8 [▼] または [Yes] キーを押します。

```
ソウシンシャ=ヨコハマオフィス
ツギ=▼　　　　（ソウシン=Yes）
```

参照

• P.209 「文字の入力のしかた」

6

読み取った文書をフォルダーに送信する

スキャナーから読み取った文書をネットワーク経由で、FTP サーバーのフォルダーへ送信できます。

重要

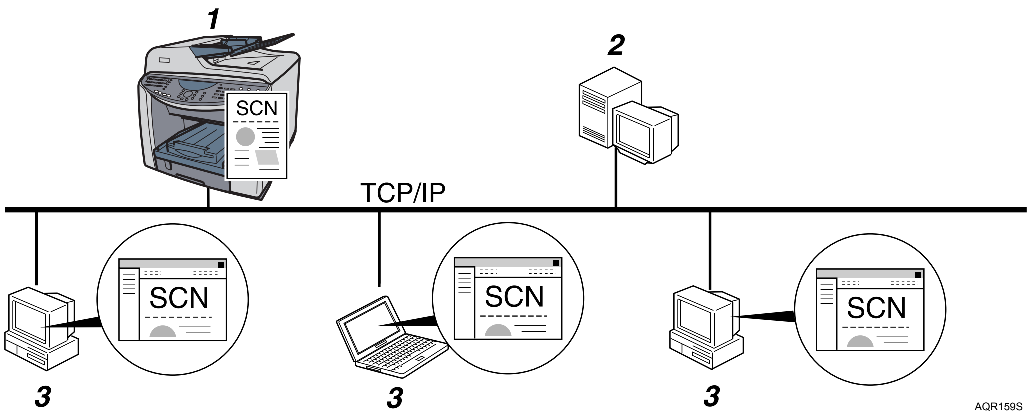
- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

参照

- FTP サーバーはあらかじめ本機に登録しておきます。詳しくは、P.483 「FTP サーバーの接続方法」を参照してください。

フォルダー送信をする前に

フォルダー送信するために必要な準備や操作などについて説明します。



1 本機

スキャナーから読み取った文書を FTP サーバーへ送信します。FTP サーバーのフォルダーへ送信するときは FTP プロトコルを使用します。

2 FTP サーバー

ネットワーク上のコンピューターとの間でファイル転送サービスを行うサーバーです。送信された文書が保存されます。

3 クライアントコンピューター

FTP サーバーに保存された画像ファイルを閲覧します。FTP サーバーに接続するためには、FTP クライアントツールが必要です。

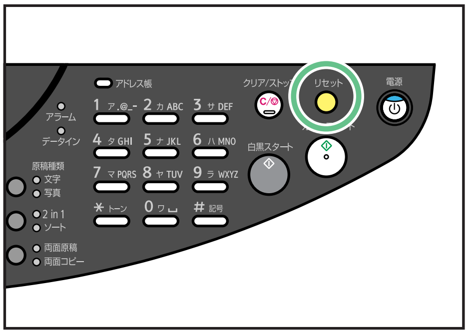
6

基本的なフォルダー送信の操作手順

フォルダー送信の基本的な操作手順ついて、原稿を原稿ガラスにセットした場合を例に説明します。

1 前の設定が残っていないことを確認します。

前の設定が残っているときは［リセット］キーを押します。
スキャナー以外の機能が表示されているときは、［スキャナー］キーを押します。



AQQ042S

6

2 原稿をセットします。

```
メール/ファイル　ソウシン
　－ゲンコウセット－
```

3 送信先を指定し、［▼］または［Yes］キーを押します。

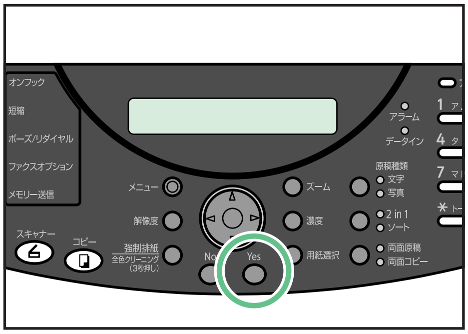
```
アテサキ＝　　　　　　　　［A］
ツギ＝▼　　　　（ソウシン＝Ｙｅｓ）
```

4 必要に応じて原稿種類や解像度、ファイル形式、圧縮方式を設定し、［Yes］キーを押します。

```
＊カラー　　グレー　　シロクロ
　◀,▶　＆　Ｙｅｓ
```

5 必要に応じて原稿についての項目を指定し、[Yes] キーを押します。

```
ADF(A4▭) *ガラス(A4▭)
ヨミトリ=Yes (サイズ=▼)
```



AQQ032S

読み取りが開始されます。

自動両面原稿送り装置（ADF）に原稿をセットした場合は、[白黒スタート] または [カラースタート] キーを押します。読み取り後すぐに、送信が開始されます。

6 追加原稿がある場合は、原稿をセットして [Yes] キーを押します。

原稿がなくなるまで、この手順を繰り返します。

追加原稿をセットするまでに何も操作しないまま1分間放置すると時間切れとなり、ジョブがキャンセルされます。

```
ジページ?(A4▭) ▯1
 ヨミトリ=Yes (カンリョウ=No)
```

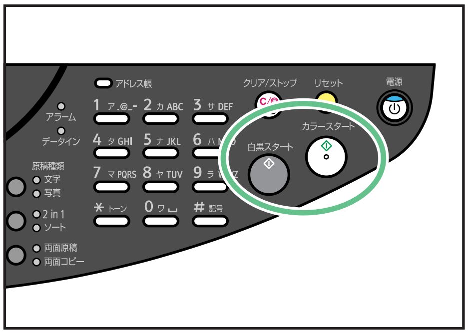
```
*ジョブガトリケサレマシタ*
abc@abc.company.com
```

7 すべての原稿を読み取り終えたら、[No] キーを押します。

```
ジページ?(A4▭) ▯1
 ヨミトリ=Yes (カンリョウ=No)
```

6

8 ［白黒スタート］または［カラースタート］キーを押します。



AQQ041S

送信が開始されます。

♦ ファイル名について

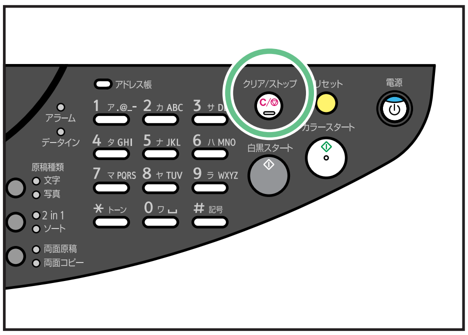
ファイル名は本機によって自動的に付けられ、相手先に送信されます。
次のように付けられます。

- ファイル名：xxxx_YYMMDDhhmmss_xx. 拡張子
- xxxx: 送信者名
- YY: 年
- MM: 月
- DD: 日
- hh: 時間
- mm: 分
- ss: 秒
- xx: ファイルナンバー

送信者名に使用している文字（¥、/、:、*、?、“、<、>、|、スペース）によっては、「YYMMDDhhmmss_xx. 拡張子」になり、送信者名が省略されます。

補足

- 自動両面原稿送り装置（ADF）に原稿をセットした場合は、[両面原稿 / 両面コピー] キーを押して両面原稿を読み取ることができます。
- 原稿ガラスに原稿をセットした場合は、手順 5 で原稿セット方法を［ガラス］に設定します。
- 送信先の選択を解除するには、解除する送信先を送信先表示欄に表示させ、［クリア / ストップ］キーを押します。
- 読み取りを中止するには［クリア / ストップ］キーを押します。



AQQ033S

参照

- 手順 3 の送信先を指定する詳細については、P.300「フォルダー送信先を指定する」を参照してください。
- 手順 4 の原稿種類や解像度などを設定する詳細については、P.301 「原稿種類を設定する」、P.301 「解像度を設定する」、P.301 「ファイル形式を設定する」、P.302 「圧縮方式を設定する」を参照してください。
- 手順 5 の原稿についての項目を指定するなど詳細については、P.302「読み取りサイズを設定する」、P.303 「読み取り濃度を調整する」を参照してください。

原稿をセットする（スキャナー）

原稿のセット方法については、「コピー機能を使う」を参照してください。

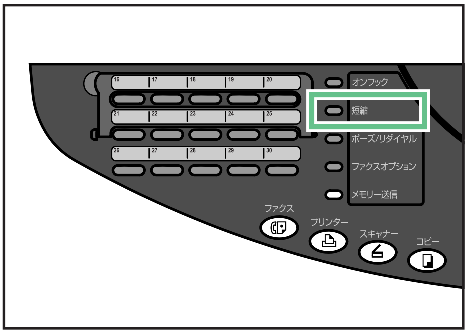
参照

- P.239 「原稿をセットする」を参照してください。

フォルダー送信先を指定する

FTP サーバーのフォルダー送信先を指定します。
[短縮] ダイヤルを使ってフォルダー送信先を選択します。

1 [短縮] キーを押します。



AQQ048S

2 登録番号をテンキーで入力します。

FTP のフォルダー送信先は、90〜99 に登録してある番号を選択します。

タンシュクキー　アテサキ=

3 [▼] または [Yes] キーを押します。

アテサキ=シンヨコハマ
ツギ=▼　　　　　　(ソウシン=Ｙｅｓ)

参照

- FTP サーバーはあらかじめ本機に登録しておきます。詳しくは、P.483「FTP サーバーの接続方法」を参照してください。

6

いろいろな読み取りの設定

いろいろな読み取りの設定について説明します。

原稿種類を設定する

原稿を読み取るときの原稿種類を選択します。

1 **原稿種類を［カラー］、［グレー］、または［シロクロ］から選択します。**

2 **［◀］または［▶］キーを押して原稿種類を選択し、［▼］または［Yes］キーを押します。**

```
カラー　　グレー　　＊シロクロ
◀,▶　＆　Yes
```

解像度を設定する

原稿を読み取るときの解像度を選択します。
読み取る解像度を［150×150］、［300×300］、または［600×600］から選択します。
［600×600］は、［シロクロ］を選択した場合のみ設定できます。

1 **［◀］または［▶］キーを押して解像度を選択し、［Yes］キーを押します。**
ファイル形式を指定する場合は解像度を選択し、［▼］キーを押します。

```
150x150　＊300x300　▶
OK=Yes　(セッテイ=▼)
```

ファイル形式を設定する

送信する文書のファイル形式を設定します。
ファイル形式は、メール送信するとき、フォルダー送信するときに設定できます。
ファイル形式は次の種類を選択できます。
・TIFF、PDF、JPEG
原稿種類で［カラー］、もしくは［グレー］を設定した場合、PDF か JPEG を選択できます。
原稿種類で［シロクロ］を設定した場合、PDF か TIFF を選択できます。

1 **［◀］または［▶］キーを押してファイル形式を選択し、［Yes］キーを押します。**
圧縮方式を設定する場合はファイル形式を選択し、［▼］キーを押します。

```
＊TIFF　PDF　　　　▲
 ◀,▶　(ソウシン=Yes)　▼
```

6

圧縮方式を設定する

スキャナー送信のイメージに対する圧縮方式を設定します。
圧縮方式は次の種類を選択できます。
・MH、MR、MMR
圧縮方式は、原稿種類を［シロクロ］に設定したときに選択できます。原稿種類が［カラー］、もしくは［グレー］の場合、圧縮方式は JPEG 固定となります。

1 ［◀］または［▶］キーを押して圧縮方式を選択し、［Yes］キーを押します。

```
＊MH　　MR　　MMR　　　▲
◀,▶　（ソウシン=Ｙｅｓ）
```

読み取りサイズを設定する

原稿を読み取る範囲を選択します。
選択できる項目、サイズは次のとおりです。

♦ **［ADF］:ADF を使って原稿サイズを読み取ります。**
A4□、A5□、B5□、LT□、HL□、LG□、EXE

♦ **［ガラス］: 原稿ガラスを使って原稿サイズを読み取ります。**
A4□、A5□、B5□、A6□、LT□、HL□、EXE

1 ［◀］または［▶］キーを押して原稿セット方法を選択し、［▼］キーを押します。

```
ADF（A4□）　＊ガラス（A4□）
スキャン=Yes　（サイズ=▼）
```

2 ［◀］または［▶］キーを押して原稿サイズを選択し、［Yes］キーを押します。

```
◀＊A5□　A4□　B5□　▶
 ◀,▶　＆　Yes
```

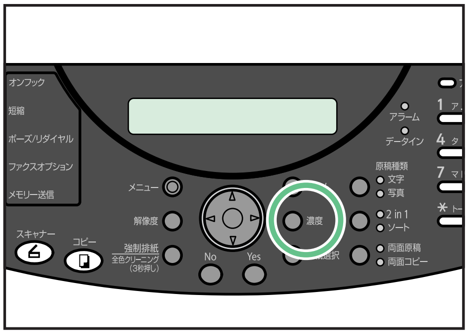
補足

- 原稿種類の［シロクロ］を選択して読み取った文書を送信すると、指定したサイズよりも小さいサイズになることがあります。指定サイズどおりの文書が必要となる場合は、［カラー］か［グレー］を選択してください。
- 原稿種類の［シロクロ］を選択して送信した文書をパソコンから印刷すると、原稿読み取り時に指定したサイズとは異なるサイズで文書が印刷されることがあります。プリンタードライバーで出力サイズを指定してから印刷してください。

読み取り濃度を調整する

読み取り濃度の調整方法について説明します。

1 [濃度] キーを押します。



AQQ036S

2 [◀] または [▶] キーを押して濃度を調整し、[Yes] キーを押します。

```
ノウド
 ウスク    ◖▯▯▯▮▯◗    コク
```

補足

- [文字 / 写真] キーを押して原稿種類を選択することもできます。

参照

- 原稿種類について詳しくは、P.267 「原稿種類を選択する」を参照してください。

6

7. ファクス機能を使う

ファクス機能について説明しています。

ファクスを送信する前に

ファクスの送信方法について説明します。

重要

・受信側の機種・設定によっては、受信側で原稿が複数枚出力される場合があります。

ファクスを送信する前に、「システム初期設定（システムショキセッテイ）」と「送信設定（ソウシンセッテイ）」で、送信のしかたを設定してください。

「システム初期設定（システムショキセッテイ）」では、以下の設定ができます。

・オートリセット設定
・省エネモード移行時間
・オートオフ時間設定
・音量調節
・国 / 地域
・優先機能設定
・ユーザーパラメーター設定

「送信設定（ソウシンセッテイ）」では、以下の設定ができます。

・読み取り濃度
・解像度
・メモリー送信
・発信元情報印字
・自動再送信

参照

・P.132 「システム初期設定を変更・調節する」
・P.172 「送信機能の設定をする」

7

原稿をセットする

セットできる原稿については「コピー機能を使う」を参照してください。
原稿は原稿ガラスまたは、自動両面原稿送り装置（ADF）にセットします。
本章は ADF を使用した送信手順で説明しています。

補足

- 原稿ガラスで読み取った原稿を送信するときは、メモリー送信を選択してください。直接送信を選択しているときにファクスの操作をすると、自動的にメモリー送信に切り替わります。

参照

- P.239 「原稿をセットする」
- P.311 「メモリー送信で送る」
- P.313 「直接送信で送る」

7

送信の種類

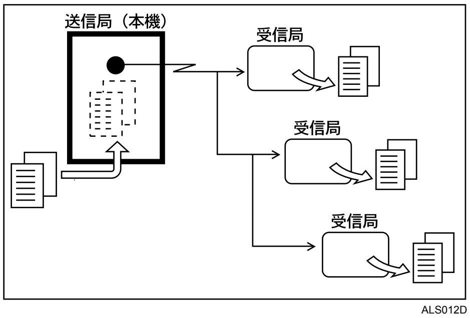
ファクスを送信する方法は、メモリー送信と直接送信の２つのモードがあります。
どちらのモードでも、相手が話し中などで送信されなかったときは自動的にリダイヤルされます。

重要

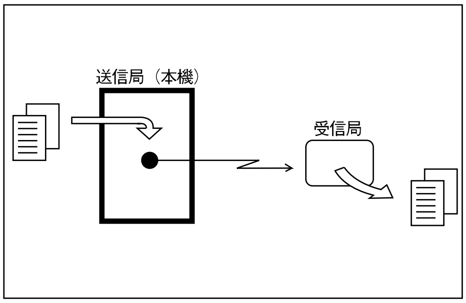
・大切な原稿を送信するときは、相手先に連絡して内容を確認することをおすすめします。

♦ メモリー送信：

原稿を一度メモリーに蓄積してから自動的に送信を開始します。急いで原稿を持ち帰りたいときに便利です。
メモリー送信では、インターネットファクスが利用できます。

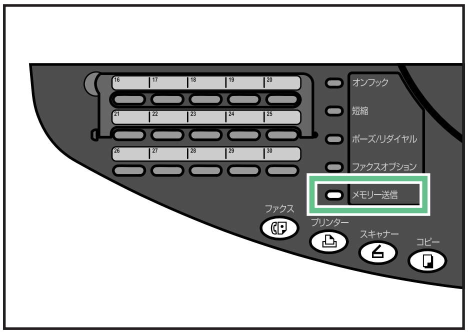


♦ **直接送信：**
すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送信します。急いで送信したいときや、送信中の相手先を確認したいときに便利です。原稿はメモリーに蓄積されません。指定できる相手先は 1 件です。



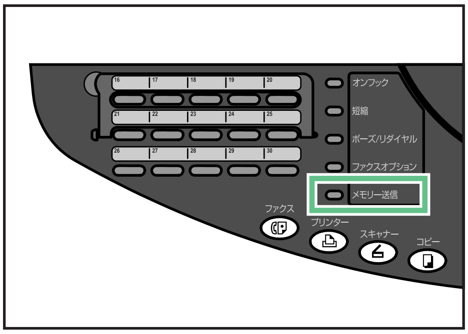
ALS013D

通常はメモリー送信が選択されています。［メモリー送信］キーを押して、送信の種類を切り替えます。



AQQ051S

［メモリー送信］キーのランプが点灯しているときは、メモリー送信が設定されています。



AQQ052S

［メモリー送信］キーのランプが点灯していないときは、直接送信が設定されています。

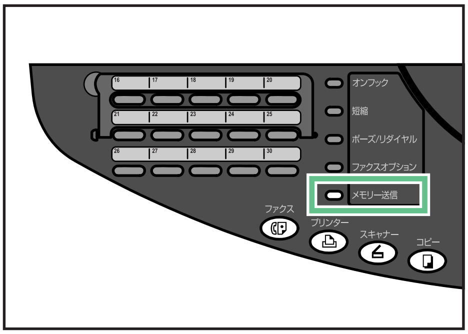
補足

- 「送信設定（ソウシンセッテイ）」で、メモリー送信で常時送るかどうかを設定することができます。

基本的なファクス送信の操作手順

ここでは基本的なファクスの送信方法について説明します。
詳しい手順や設定については、参照に記載されているそれぞれの参照先を参照してください。

1 ［ファクス］キーを押し、［メモリー送信］キーのランプの状態を確認します。



AQQ051S

ランプが点灯しているときは、メモリー送信が選択されています。
通常はメモリー送信が選択されています。
直接送信で送るときは、［メモリー送信］キーを押してランプが消灯している状態にしてください。

2 ADF に原稿をセットします。

```
16：00　　　フツウジ　　　100%
 －ゲンコウセットー　　　　　ジドウ
```

読み取り条件を変更するときは、［解像度］キーを押して指定します。

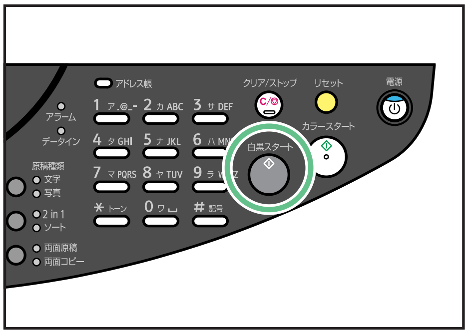
3 相手先を指定します。

```
☎=
 SUB=▼                  [1]
```

相手先が 1 箇所の場合にワンタッチキーで相手先を指定したときは、登録されている相手先がディスプレイに表示されたあと、ファクスが送信されます。
相手先を間違えたときは、［クリア / ストップ］キーを押して入力しなおします。

7

4 ［白黒スタート］キーを押します。



AQQ039S

原稿ガラスに用紙をセットしている場合は手順 5 に進んでください。
送信が開始されます。
送信が終わると、初期画面に戻ります。
送信を途中で中止するときは、[クリア / ストップ]キーを押し、原稿を取り除きます。

5 ［Yes］キーを押します。

ゲンコウガラス　ヨミトリ（A4▭） ヨミトリ=Yes　（サイズ=▼）

6 ［白黒スタート］キーを押します。

ジページ？　（A4▭）▯1 ヨミトリ=Yes　（TX=スタート）

送信が開始されます。
送信が終わると、初期画面に戻ります。
送信を途中で中止するときは、[クリア / ストップ]キーを押し、原稿を取り除きます。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、P.311 「メモリー送信で送る」、P.313 「直接送信で送る」 を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.239「原稿をセットする」を参照してください。
- 読み取り条件については、P.348 「原稿の読み取り条件を指定する」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.340「相手先を指定する」を参照してください。
- 送信を途中で中止する場合の詳しい手順については、P.317「送信をキャンセルするには」を参照してください。

メモリー送信で送る

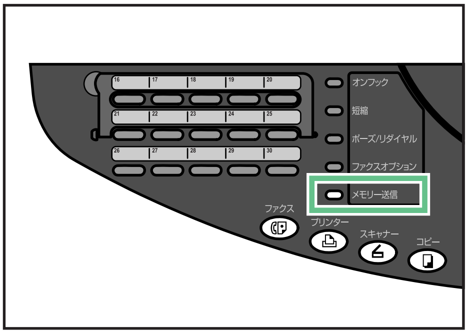
メモリー送信モードで通常のファクス送信とインターネットファクス送信ができます。複数の相手先や時刻を指定して送信するときは、この方法で送信します。自動両面原稿送り装置（ADF）で読み取った原稿のほか、原稿ガラスで読み取った原稿を送信します。
詳しい手順や設定については、参照に記載されているそれぞれの参照先を参照してください。

重要

- 画面に「メモリーフル」と表示されているときは、メモリー送信では送れません。直接送信で送信してください。

画面には原稿を蓄積しておくメモリーの残量が表示されます。

1 ［ファクス］キーを押し、［メモリー送信］キーのランプが点灯していることを確認します。



AQQ051S

通常はメモリー送信が選択されています。
［メモリー送信］キーのランプが消灯しているときは、直接送信が選択されています。
［メモリー送信］キーを押してください。

2 ADF に原稿をセットします。

```
16：00　　フツウジ　　100%
 ーゲンコウセットー　　 ジドウ
```

読み取り条件を変更するときは、［解像度］キーを押して指定します。

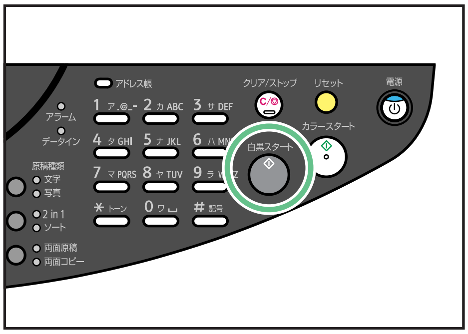
3 相手先を指定します。

```
=
 SUB=▼                [1]
```

相手先が 1 箇所の場合にワンタッチキーで相手先を指定したときは、登録されている相手先がディスプレイに表示されたあと、ファクスが送信されます。この場合、次の手順で［白黒スタート］キーを押す必要はありません。
相手先を間違えたときは、［クリア / ストップ］キーを押して入力しなおします。

7

4 ［白黒スタート］キーを押します。



AQQ039S

送信が開始されます。

送信が終わると、初期画面に戻ります。

送信を途中で中止するときは、[クリア / ストップ]キーを押し、原稿を取り除きます。

補足

- 「送信設定（ソウシンセッテイ）」で、メモリー送信で常時送るかどうかを設定することができます。

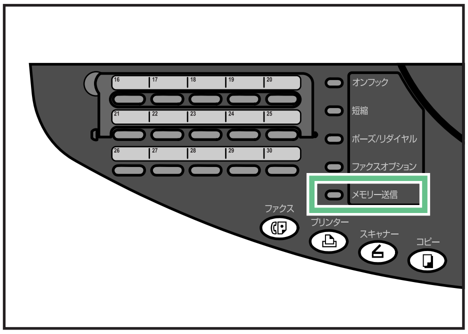
参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、P.313 「直接送信で送る」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.239「原稿をセットする」を参照してください。
- 読み取り条件については、P.348 「原稿の読み取り条件を指定する」参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.340「相手先を指定する」を参照してください。
- 送信を途中で中止する場合の詳しい手順については、P.317「送信をキャンセルするには」を参照してください。
- 「送信設定（ソウシンセッテイ）」については、P.172 「送信機能の設定をする」を参照してください。

直接送信で送る

直接送信で通常のファクス送信ができます。
インターネットファクスは送れません。
詳しい手順や設定については、参照に記載されているそれぞれの参照先を参照してください。
指定できる相手先は 1 件です。2 件以上の相手先を指定すると、自動的にメモリー送信モードに切り替わります。

1 ［メモリー送信］キーを押します。



AQQ052S

［メモリー送信］キーのランプが消灯していることを確認してください。

2 ADF に原稿をセットします。

```
16：00　　フツウジ　　　100%
 ーゲンコウセットー　　　 ジドウ
```

読み取り条件を変更するときは、［解像度］キーを押して指定します。

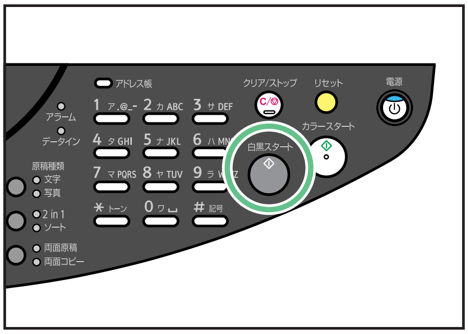
3 相手先を指定します。

```
☎=
 SUB=▼　　　　　　　　[1]
```

相手先をワンタッチキーで指定したときは、登録されている相手先がディスプレイに表示されたあと、ファクスが送信されます。
相手先を間違えたときは［クリア / ストップ］キーを押して、入力しなおします。

7

4 ［白黒スタート］キーを押します。



AQQ039S

原稿を読み取りながら送信します。
送信が終わると、初期画面に戻ります。

参照

- 手順 *1* の詳しい手順や設定については、P.311「メモリー送信で送る」を参照してください。
- 手順 *2* の詳しい手順や設定については、P.239「原稿をセットする」を参照してください。
- 読み取り条件については、P.348「原稿の読み取り条件を指定する」を参照してください。
- 手順 *3* の詳しい手順や設定については、P.340「相手先を指定する」を参照してください。
- 送信を途中で中止する場合の詳しい手順については、P.317「送信をキャンセルするには」を参照してください。
- 「送信設定（ソウシンセッテイ）」については、P.172「送信機能の設定をする」を参照してください。

送信するときの機能

送信時の機能について説明します。

自動リダイヤル

相手先が話し中でつながらなかったり、送信中のエラーで正しく送信できなかったときは、自動的にファクスが再送信されます。
インターネットファクスは再送信されません。
自動リダイヤルで送信できなかったときはエラーレポートが出力されます。

補足

- 自動リダイヤルは、「送信設定（ソウシンセッテイ）」で設定します。2〜99 分間隔で、最大 10 回までリダイヤルするように設定できます。

参照

- P.172 「送信機能の設定をする」

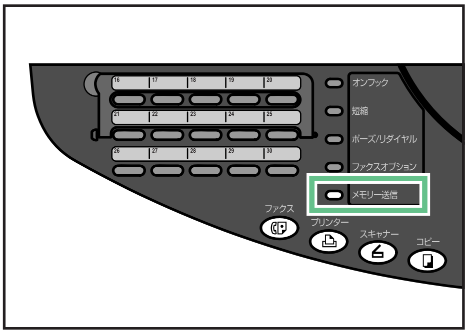
送信予約

ファクス送信中に次の送信操作をすると、送信は予約されます。前のファクス送信が完了すると、予約したファクスが送信されます。

1 別のファクスを送信中に ADF に原稿をセットします。

```
(                    )   80%
 －ゲンコウセット－        ジドウ
```

2 ［ファクス］キーを押し、［メモリー送信］キーのランプが点灯していることを確認します。



AQQ051S

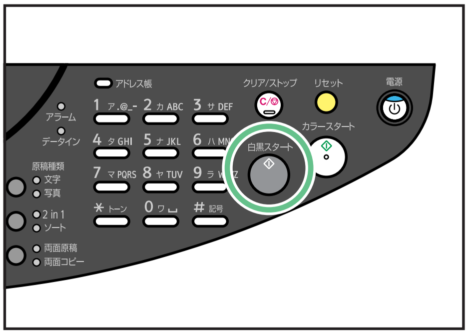
直接送信で送るときは、［メモリー送信］キーを押して、ランプが消えた状態にしてください。

7

3 相手先を指定します。

```
☎=
 SUB=▼                [1]
```

4 ［白黒スタート］キーを押します。



AQQ039S

最初のファクスの送信が終わると、予約されたファクス番号へダイヤルされます。

デュアルアクセス

ファクス受信中は、［オンフックダイヤル］キー以外すべてのキーが操作できます。
受信したファクスを出力している間、原稿の読み取りはできません。
読み取り中に操作できるのは、［クリア / ストップ］キーのみです。
出力中に［クリア / ストップ］キーは使用できません。

自動誤り再送（ECM）

ECM （Error Correction Mode）とは国際的に決められた規格による機能で、電話回線の影響で正しく送信できなかったときに、その部分を自動的に送信しなおします。
この機能は、インターネットファクスでは使用できません。

補足

- 相手先のファクスにも同じ機能がないと働きません。
- ECM 機能を OFF にすると JBIG 送受信の機能は使えなくなります。

JBIG 送信

圧縮率の高い JBIG（Joint Bi-level image experts Group）で送信します。[写真］を選択して読み取った原稿でも速く送信します。この機能は、標準で設定されている機能です。
この機能はインターネットファクスでは使用できません。

補足

- 相手先のファクスに JBIG 受信機能および ECM 機能が付いていないと、JBIG 送信はできません。
- ECM 機能が「OFF」のときは JBIG 送信できません。

参照

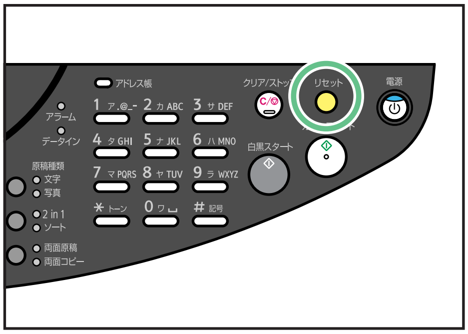
- P.351 「JBIG 受信」

送信をキャンセルするには

送信をキャンセルする操作は、操作のタイミングによって変わります。

♦ [白黒スタート］キーを押す前に送信をキャンセルする

1) [リセット］キーを押します。

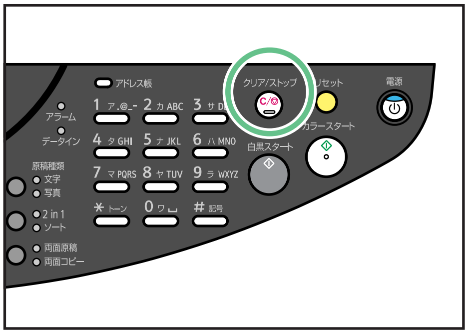


AQQ042S

初期画面に戻ります。

♦ [白黒スタート］キーを押した後に送信をキャンセルする

1) [クリア / ストップ］キーを押します。



AQQ033S

確認画面が表示されます。

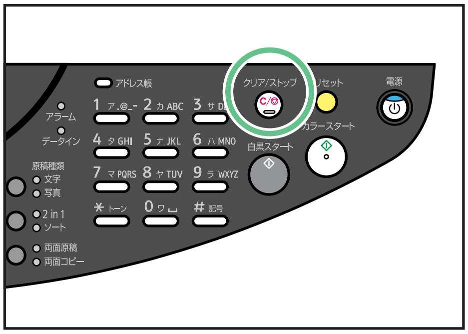
2) ［Yes］キーを押します。

```
ソウシンヲ　キャンセルシマスカ？
　Ｙｅｓ　／　ケイゾク＝Ｎｏ
```

送信がキャンセルされます。

♦ 送信開始後にキャンセルする

1) ［クリア / ストップ］キーを押します。



AQQ033S

確認画面が表示されます。

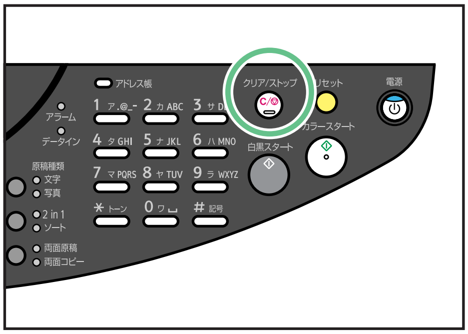
2) ［Yes］キーを押します。

```
ソウシンヲ　キャンセルシマスカ？
　Ｙｅｓ　／　ケイゾク＝Ｎｏ
```

送信がキャンセルされます。

♦ 自動リダイヤル待機中に送信をキャンセルする

1) ［クリア / ストップ］キーを押します。



AQQ033S

確認画面が表示されます。

2) ［Yes］キーを押します。

```
ソウシンヲ　キャンセルシマスカ？
　Ｙｅｓ　／　ケイゾク＝Ｎｏ
```

送信がキャンセルされます。

便利な送信方法

ファクスの便利な送信方法について説明します。

F コードを付けて親展送信する

F コードを付けて親展送信します。
送信モードはメモリー送信、直接送信ともに送信できます。
同様の機能を持つ他社のファクスへも F コードを付けて親展送信することができます。
F コードはインターネットファクスでは使用できません。

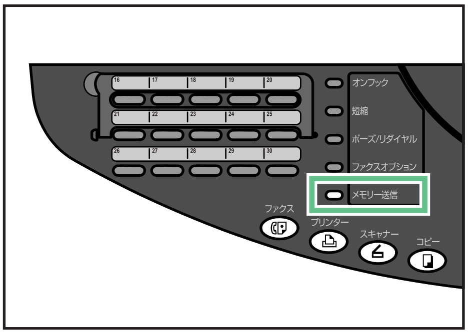
重要

- F コード親展ボックス機能を持つファクスへ送信できます。
- あらかじめ相手先の F コード（SUB、SID）を確認しておきます。
- F コードをつけて送信するときは、あらかじめ相手先に F コード（SUB、SID）を連絡しておきます。

F コードとは、数字、スペース、「#」、「✱」を使って設定する暗証番号のようなものです。
Fコードを付けて送信した原稿は相手先のメモリーに蓄積され、自動的には印刷されません。相手先は F コードを入力して受信した文書を印刷します。特定の人以外に見せたくない機密文書などを送信すると、F コードを知っている人しか印刷できないのでお互いにプライバシーが守れます。
また、F コードの中継局機能が付いているファクスを経由させて、相手先に送信できます。

7

1 **［ファクス］キーを押し、［メモリー送信］キーが点灯していることを確認します。**



AQQ051S

通常はメモリー送信が選択されています。

2 **ADF に原稿をセットします。**

```
16：00　　　フツウジ　　　100%
 ーゲンコウセットー　　　　ジドウ
```

読み取り条件を変更するときは、［解像度］キーを押して指定します。

3 **相手先を指定します。**

```
☎=
 SUB=▼                [1]
```

相手先を間違えたときは、[クリア / ストップ] キーを押して入力しなおします。

4 **[▼] を押して、テンキーで F コード（SUB）を入力します。**

```
SUB=
 SID=▼        (TX=スタート)
```

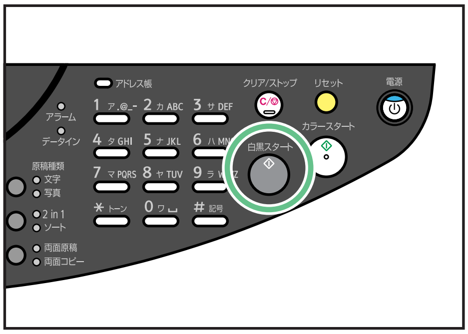
SUB は 20 桁まで入力できます。

5 **[▼] を押して、テンキーで F コード（SID）を入力します。**

```
SID=
              (TX=スタート)
```

SID は 20 桁まで入力できます。

6 **[白黒スタート] キーを押します。**



AQQ039S

送信が開始されます。

補足

- SID を設定しないで、SUB だけを設定して送信することもできます。その場合は手順 **4** のあとに [白黒スタート] キーを押してください。
- SUB と SID に入力できるのは、数字、スペース、「#」、「✱」です。
- アドレス帳には相手先の名称やファクス番号だけでなく、F コードも登録できます。

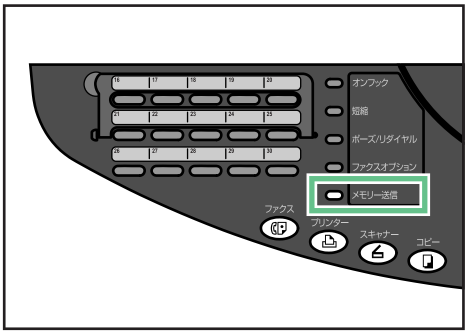
参照

- P.147 「アドレス帳について」

中継依頼送信

F コードを中継する機能が付いているファクスを経由させて、相手先に送信します。
遠くの複数の相手先に送信するとき、遠距離通信は中継局までの 1 回ですむので通信料金が節約できます。また、1 回の操作で複数の相手先に送信できるので同じ操作を何回も繰り返す必要がありません。
この機能は時刻指定送信と組み合わせて利用できます。
この機能はインターネットファクスでは利用できません。

1 ［ファクス］キーを押し、［メモリー送信］キーが点灯していることを確認します。



AQQ051S

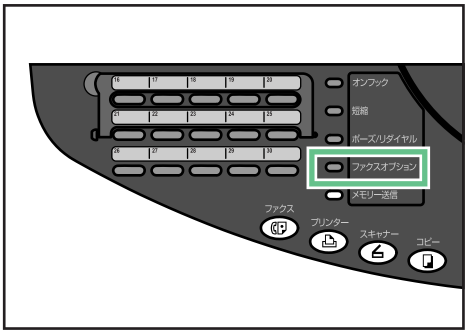
通常はメモリー送信が選択されています。

2 ADF に原稿をセットします。

```
16:00      フツウジ       100%
 ーゲンコウセットー         ジドウ
```

読み取り条件を変更するときは、［解像度］キーを押して指定します。

3 ［ファクスオプション］キーを押します。



AQQ050S

4 ［▲］または［▼］キーを押して「5 チュウケイ イライ ソウシン」を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
5 チュウケイ イライ ソウシン   ▲
  OK=Yes                      ▼
```

5 相手先を指定し、［Yes］を押します。

```
☎=
  OK=Yes
```

相手先を間違えたときは、［クリア / ストップ］キーを押して入力しなおします。

6 ［▼］を押して、テンキーで F コード（SUB）を入力します。

```
サブアドレス=
  OK=Yes
```

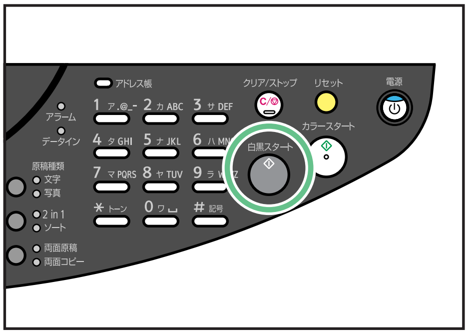
SUB は 20 桁まで入力できます。

7 ［▼］を押して、F コード（SID）を入力します。

```
SID=
              (TX=スタート)
```

SID は 20 桁まで入力できます。

8 ［白黒スタート］キーを押します。



AQQ039S

送信が開始されます。

補足

- SID を設定しないで、SUB だけを設定することもできます。その場合は手順 *6* のあとに［白黒スタート］キーを押してください。
- SUB と SID に入力できるのは、数字、スペース、「#」、「✱」です。
- アドレス帳には相手先の名称やファクス番号だけでなく、F コードも登録できます。

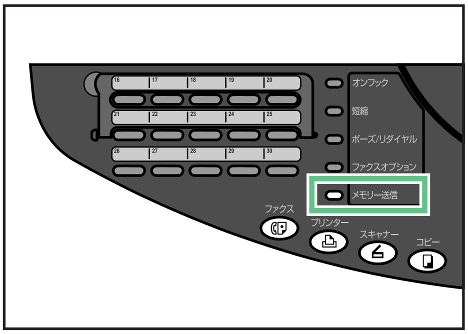
参照

- P.147 「アドレス帳について」

最後にダイヤルした相手に送信する

［ポーズ / リダイヤル］キーを押すと、最後にダイヤルした相手にファクスを再送信することができます。
続けて同じファクス番号へ送信するときに使うと、相手先を入力しなおす必要がなく、便利です。
この機能はインターネットファクスでは利用できません。
最後にダイヤルした相手が［ジコクシテイソウシン］で送信した場合は、この機能は利用できません。

1 ［ファクス］キーを押し、［メモリー送信］キーのランプの状態を確認します。



AQQ051S

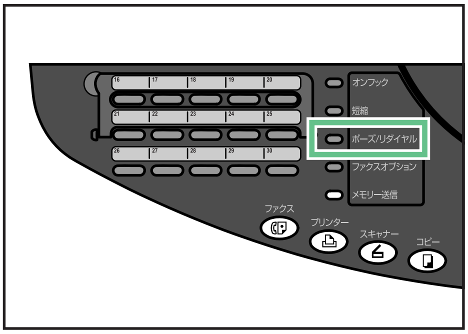
通常はメモリー送信が選択されています。
直接送信で送るときは、［メモリー送信］キーを押してランプが消灯している状態にしてください。

2 ADF に原稿をセットします。

```
16：00　　フツウジ　　　100%
 ーゲンコウセットー　　　ジドウ
```

読み取り条件を変更するときは、［解像度］キーを押して指定します。

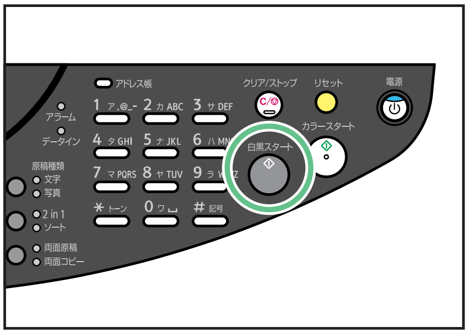
3 ［ポーズ / リダイヤル］キーを押します。



AQQ049S

7

4 ［白黒スタート］キーを押します。



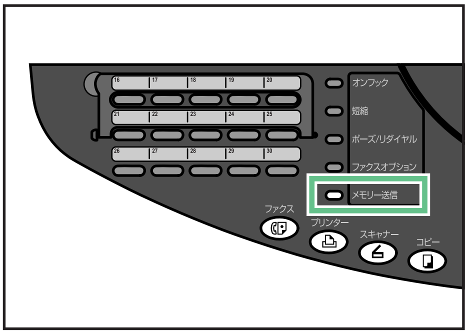
AQQ039S

送信が終わると、初期画面に戻ります。

同報送信

複数の相手先に原稿を一斉に送信する方法です。最大 130 件まで設定できます。
この機能はメモリー送信で利用できます。
この機能はインターネットファクスでも利用できます。同報送信の相手先に e-mail アドレスを設定することができます。「インターネットファクスを送信する」を参照してください。
ワンタッチキーは30件、短縮ダイヤルは90件、テンキーでの入力は10件まで指定できます。
先に設定された送信先から順に送信されます。
時刻指定送信と組み合わせてこの機能を利用することができます。
例：ワンタッチキー 01 と、ファクス番号：0987654 とに同報送信する場合

1 ［ファクス］キーを押し、［メモリー送信］キーが点灯していることを確認します。



AQQ051S

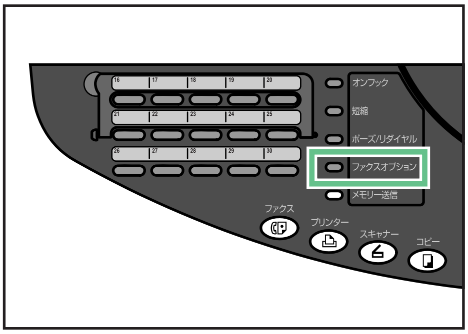
通常はメモリー送信が選択されています。

2 ADF に原稿をセットします。

16：00　　フツウジ	100%
－ゲンコウセットー	ジドウ

読み取り条件を変更するときは、［解像度］キーを押して指定します。

3 [ファクスオプション] キーを押します。



AQQ050S

4 [Yes] キーを押します。

```
1 ドウホウ ソウシン              ▲
 OK=Yes                          ▼
```

5 [ワンタッチ 01] キーを押し、[Yes] キーを押します。

```
No. 001=ABC コーポレーション
 OK=Yes (カンリョウ=スタート)
```

6 テンキーで 0987654 を押し、[Yes] キーを押します。

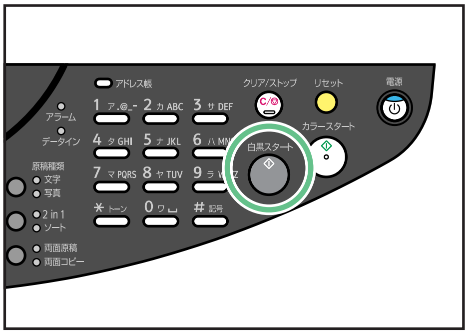
```
No. 002=0987654
 SUB=▼                      [1]
```

7 [白黒スタート] キーを押します。

```
アテサキ ヲ カクニン シマスカ?
 OK=Yes          (TX=スタート)
```

相手先を確認するかどうかの画面が表示されます。

8 [白黒スタート] キーを押します。



AQQ039S

設定した順番で宛先に送信されます。

7

補足

- 相手先を指定したあとに、続けて SUB または SID を指定することができます。
- SUB、SID は 20 桁まで入力できます。入力できるのは、数字、スペース、「#」、「✱」です。
- アドレス帳には相手先の名称やファクス番号だけでなく、F コードも登録できます。

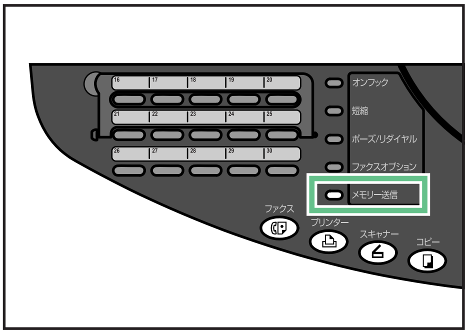
参照

- P.147 「アドレス帳について」

ポーリング送信

ポーリング送信の操作をすると、読み取った文書は送信者側ファクスのメモリーに蓄積されます。相手先から送信の依頼があると、蓄積しておいた文書を自動的に送信します。最大 30 件まで設定できます。
この機能はメモリー送信で利用できます。
相手先が 1 箇所（シングル）の場合は、ポーリング送信が完了すると文書はメモリーから削除されます。
相手先が複数（マルチ）の場合は、ポーリング送信が完了しても文書はメモリーから削除されません。メモリーから文書を削除するときは、キャンセルの操作をしてください。

1 ［ファクス］キーを押し、［メモリー送信］キーが点灯していることを確認します。



AQQ051S

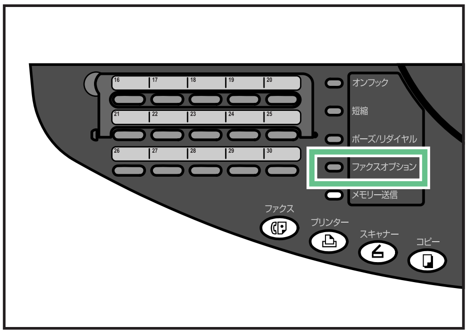
通常はメモリー送信が選択されています。

2 ADF に原稿をセットします。

```
16：00　　フツウジ　　　100%
　ーゲンコウセットー　　　 ジドウ
```

読み取り条件を変更するときは、［解像度］キーを押して指定します。

3 [ファクスオプション] キーを押します。



AQQ050S

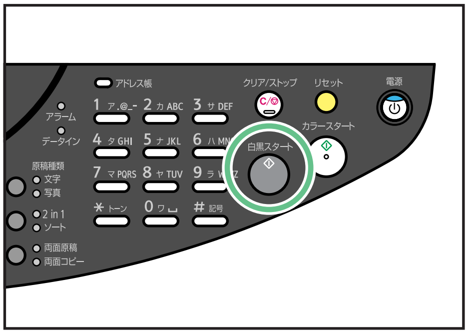
4 [▲] または [▼] キーを押して「3　ポーリング送信」を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
3　ポーリング　ソウシン      ▲
　OK=Yes                     ▼
```

5 [◀] または [▶] キーを押して「シングル」または「マルチ」を選択し、[Yes] キーを押します。

```
*シングル　　　　マルチ
　◀,▶　&　Yes
```

6 [白黒スタート] キーを押します。



AQQ039S

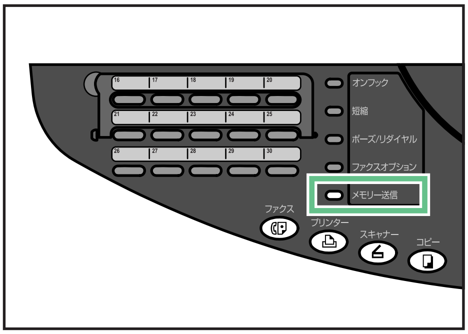
読み取りが開始され、文書がメモリーに蓄積されます。

7

文書を機密扱いでポーリング送信する

F コード（SEP）を入力して、文書を機密扱いでポーリング送信します。
この機能はメモリー送信で利用できます。
相手先が 1 箇所（シングル）の場合は、ポーリング送信が完了すると文書はメモリーから削除されます。
相手先が複数（マルチ）の場合は、ポーリング送信が完了しても文書はメモリーから削除されません。メモリーから文書を削除するときは、キャンセルの操作をしてください。

1 ［ファクス］キーを押し、［メモリー送信］キーが点灯していることを確認します。



AQQ051S

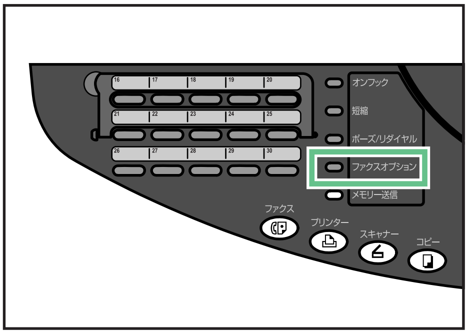
通常はメモリー送信が選択されています。

2 ADF に原稿をセットします。

```
16：00　　　フツウジ　　　100%
 ーゲンコウセットー　　　　ジドウ
```

読み取り条件を変更するときは、［解像度］キーを押して指定します。

3 ［ファクスオプション］キーを押します。



AQQ050S

4 [▲] または [▼] キーを押して「3　ポーリング　ソウシン」を表示させ、[Yes] キーを押します。

3　ポーリング　ソウシン ▲ OK=Yes ▼

5 [◀] または [▶] キーを押して「シングル」または「マルチ」を選択し、[Yes] キーを押します。

＊シングル　　　マルチ ◀,▶　&　Yes

6 F コード（SEP）のサブアドレスを入力し、[Yes] キーを押します。

サブアドレス= OK=Yes

サブアドレスは 0000～9999 までの数字 4 桁をテンキーで入力してください。

7 F コード (SEP) のパスワードを入力し、[白黒スタート] キーを押します。

パスワード= (TX=スタート)

パスワードは 0000～9999 までの数字 4 桁をテンキーで入力してください。
読み取りが開始され、文書がメモリーに蓄積されます。

補足

- パスワードを設定しないで、サブアドレスだけを設定してポーリング送信することもできます。その場合は手順 6 のあとに［白黒スタート］キーを押してください。
- アドレス帳には相手先の名称やファクス番号だけでなく、F コードも登録できます。
- 通信エラーによってポーリング送信が完了しない場合、送信されるまで文書はメモリーに蓄積されます。相手先がシングルの場合は、送信後に文書は削除されます。

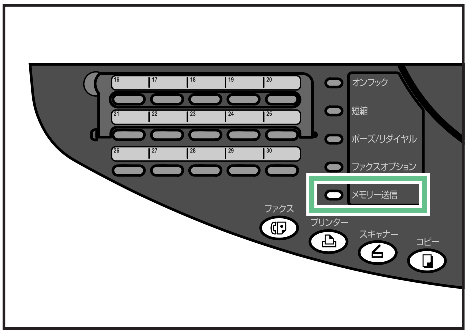
参照

- P.147 「アドレス帳について」
- P.355 「ポーリング受信」
- P.337 「予約した送信をキャンセルする」

時刻指定送信

指定した相手先へ送信する時刻を設定できます。時差のある地域へファクスを送るときなどに便利です。
この機能はメモリー送信で利用できます。
時刻指定送信で指定できる時刻は、設定後 24 時間以内です。
この機能はインターネットファクスでも利用できます。
同報送信、ポーリング受信、中継依頼送信と組み合わせてこの機能を利用できます。

1 ［ファクス］キーを押し、［メモリー送信］キーが点灯していることを確認します。



AQQ051S

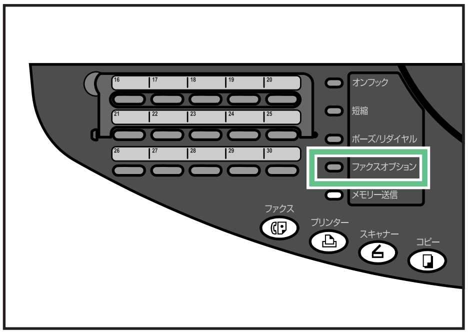
通常はメモリー送信が選択されています。

2 ADF に原稿をセットします。

```
16：00　　フツウジ　　　100%
 ーゲンコウセットー　　　ジドウ
```

読み取り条件を変更するときは、［解像度］キーを押して指定します。

3 ［ファクスオプション］キーを押します。



AQQ050S

4 ［▲］または［▼］キーを押して「2　ジコクシテイ ソウシン」を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
2　ジコクシテイ　ソウシン　　　▲
　OK=Yes　　　　　　　　　　▼
```

5 テンキーで時刻を入力し、［Yes］キーを押します。

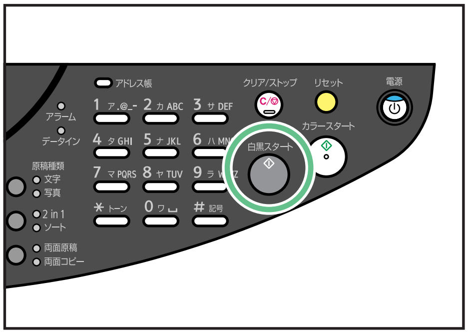
```
ジコクシテイ　ソウシン=20：00
　OK=Yes
```

修正するときは、［クリア / ストップ］キーを押してから、入力しなおします。

6 相手先を指定し、［Yes］キーを押します。

```
☎=
　SUB=▼
```

7 ［白黒スタート］キーを押します。



AQQ039S

指定した時刻にファクスが送信されます。

補足

- すでに設定されている時刻指定送信と同じ時刻に、別の時刻指定送信を設定することができます。この場合、先に設定した順に送信されます。
- 手順 **5** のあとに［ファクスオプション］キーを押すと、同報送信、中継依頼送信、ポーリング受信に時刻指定送信を設定することができます。
- 相手先を指定したあとに、続けて SUB または SID を指定することができます。SUB、SID は 20 桁まで入力できます。入力できるのは、数字、スペース、「#」、「✱」です。
- アドレス帳には相手先の名称やファクス番号だけでなく、F コードも登録できます。

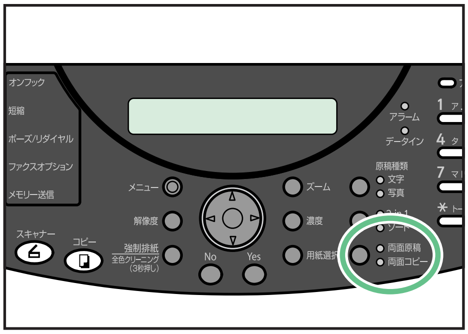
参照

- P.147 「アドレス帳について」
- P.324 「同報送信」
- P.321 「中継依頼送信」
- P.355 「ポーリング受信」
- P.362 「インターネットファクス」
- P.337 「予約した送信をキャンセルする」

両面原稿を送信する

両面原稿を読み取って送信することができます。原稿を ADF で読み取った場合に利用できます。

1 [両面原稿 / 両面コピー] キーを押します。



AQQ083S

[両面原稿 / 両面コピー] キーにランプが付いていることを確認します。

2 ADF に原稿をセットします。

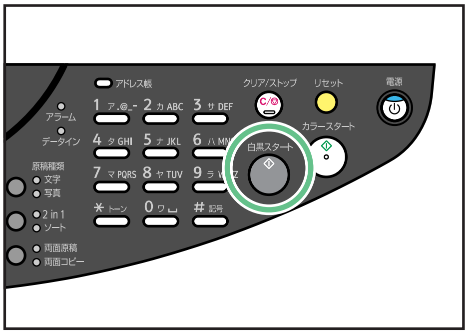
16：00　　フツウジ　　100%
ーゲンコウセットー　　ジドウ

読み取り条件を変更するときは、[解像度] キーを押して指定します。

3 相手先を指定します。

=
SUB=▼　　[1]

4 [白黒スタート] キーを押します。



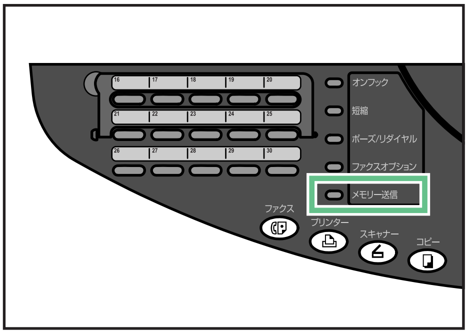
AQQ039S

送信が開始されます。

オンフックダイヤルで送信する

オンフックダイヤルは、スピーカーの呼出音を聞きながら手動で送信を開始させる方法です。相手とつながったことを確認してから送信することができます。
オンフックダイヤルを利用できるのは、直接送信のみです。
インターネットファクスは送れません。

1 [メモリー送信] キーを押します。



AQQ052S

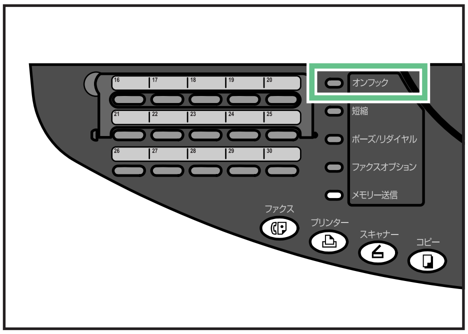
[メモリー送信] キーのランプが消灯していることを確認してください。

2 ADF に原稿をセットします。

16：00　　フツウジ　　100%
　ーゲンコウセットー　　　ジドウ

読み取り条件を変更するときは、[解像度] キーを押して指定します。

3 [オンフック] キーを押します。



AQQ047S

オンフック

「ツー」という音が本体内部のスピーカーから聞こえます。
操作をキャンセルする場合は、もう一度 [オンフック] キーを押すか、または [クリア / ストップ] キーを押してください。

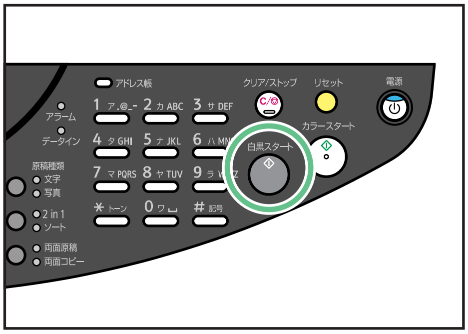
7

4 相手先を指定します。



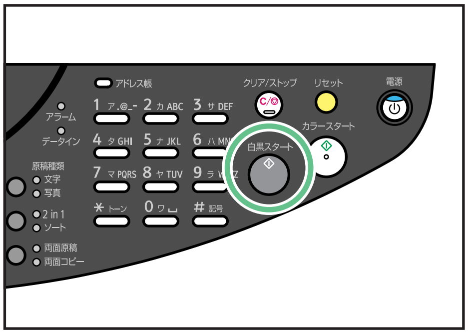
相手先を［ワンタッチ］キーで指定したときは、手順 6 に進みます。
相手先を間違えたときは［クリア / ストップ］キーを押して、入力しなおします。

5 ［白黒スタート］キーを押します。



AQQ039S

6 相手とつながり、「ピー」という音が聞こえたら、［白黒スタート］キーを押します。



AQQ039S

送信が開始されます。
送信が終わると、初期画面に戻ります。
送信を途中で中止するときは、［クリア / ストップ］キーを押し、原稿を取り除きます。

参照

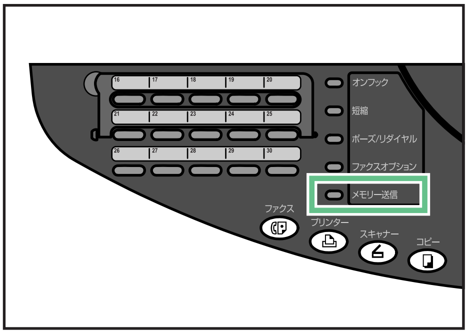
- P.239 「原稿をセットする」
- P.313 「直接送信で送る」
- P.317 「送信をキャンセルするには」
- P.340 「相手先を指定する」
- P.348 「原稿の読み取り条件を指定する」

7

外付け電話機を使って送信する（マニュアルダイヤル）

外付け電話機を接続している場合は、受話器を取り上げてダイヤルします。相手が電話の場合は、そのまま電話として会話できます。
マニュアルダイヤルを利用できるのは、直接送信のみです。
インターネットファクスは送れません。

1 ［メモリー送信］キーを押します。



AQQ052S

［メモリー送信］キーのランプが消灯していることを確認してください。

2 ADF に原稿をセットします。

16：00　　フツウジ	100%
ーゲンコウセットー	ジドウ

読み取り条件を変更するときは、［解像度］キーを押して指定します。

3 外付け電話機の受話器を上げます。

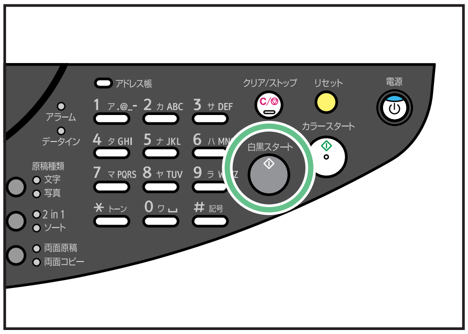
＊ジュワキ　シヨウチュウ　デス＊

「ツー」という音が受話器から聞こえます。

4 相手先を指定します。

7

5 相手とつながり、「ピー」という音が聞こえたら、[白黒スタート] キーを押します。



AQQ039S

相手が電話に出たときは、ファクスを送信することを伝え、受信操作をしてもらいます。
送信が開始されます。

6 受話器を置きます。

送信が終わると、初期画面に戻ります。
送信を途中で中止するときは、[クリア / ストップ] キーを押し、原稿を取り除きます。

補足

- [オンフック] キーを使用中に外付け電話機の受話器を取り上げると、本機のスピーカーは OFF となり、外付け電話機が使用できるようになります。

参照

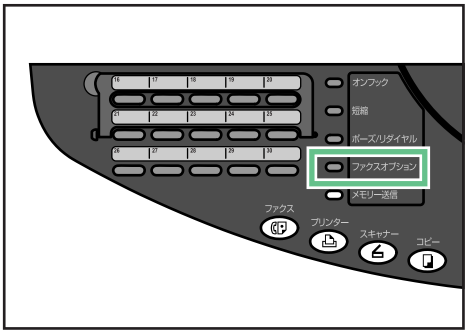
- P.239 「原稿をセットする」
- P.313 「直接送信で送る」
- P.317 「送信をキャンセルするには」
- P.340 「相手先を指定する」
- P.348 「原稿の読み取り条件を指定する」

予約した送信をキャンセルする

予約した送信をキャンセルすることができます。
キャンセルすることができるのは、次のとおりです。

- 同報送信
- 時刻指定送信
- ポーリング送信
- 中継依頼送信

1 ［ファクスオプション］キーを押します。



AQQ050S

2 ［▲］または［▼］キーを押して「6 ヨヤク キャンセル」を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
6  ヨヤク  キャンセル          ▲
 OK＝Yes                      ▼
```

予約した内容が表示されます。［▶］を押すと、予約の詳細が表示されます。
複数の予約があるときは、［▼］または［▲］キーを押してキャンセルしたい予約を表示させます。

3 ［Yes］キーを押します。

```
002 ［13：00］ ドウホウ
 サクジョ＝Yes   (カクニン＝▶)
```

予約がキャンセルされます。

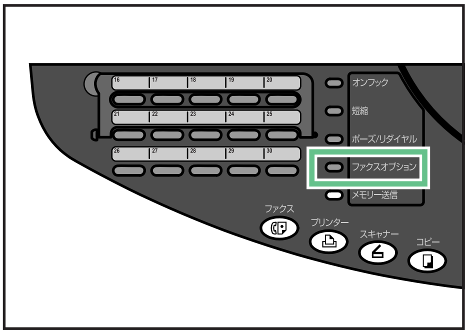
全文書転送

メモリーに蓄積されているすべての文書を他のファクスに転送できます。
インクがない、用紙がない、など本機が印刷できない状態のときに有効です。
緊急のときのみお使いください。
転送する相手先のファクス番号を入力します。
全ての文書を 1 通信で転送します。

重要

- 送信エラーが発生しても、ページの再送は行いません。
- 1 通信で送信できなかった残りの画像データは送信しません。
- 全文書転送機能の通信結果は、通信管理レポートに記載されません。
- 全ての画像データが転送できない場合があります。

1 ［ファクスオプション］キーを押します。



AQQ050S

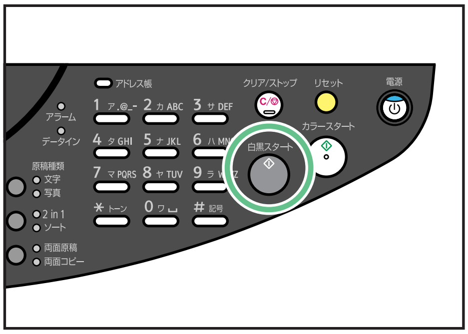
2 ［▲］または［▼］キーを押して「ゼンブンショテンソウ」を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
9  ゼンブンショテンソウ?      ▲
  OK=Yes                  ▼
```

3 転送先のファクス番号をテンキーで指定します。

```
☎=
  SUB=
```

4 ［白黒スタート］キーを押します。



AQQ039S

転送先への送信が始まります。

補足

- 本機の設定に関わらず、ヘッダー / フッターは付加せずに画像データを送信します。
- 送信結果 (正常 / エラー) に関わらず、メモリー中の画像データは消去されず、蓄積されたままとなります。
- 転送の宛先は、テンキーからのみ入力可能です。［ワンタッチ］キー、［短縮］キー、［ポーズ / リダイヤル］キーからは転送宛先は入力できません。
- 全文書転送機能の転送宛先に、メールアドレスは指定できません。
- 全文書転送機能で指定した転送宛先は、リダイヤルには登録されません。
- ［ジドウ サイソウシン］はできません。
- 送信のキャンセルは、［クリア / ストップ］キーから行えます。

相手先を指定する

ファクスの相手先を指定する方法について説明します。
相手先にはファクス番号のほか、インターネットファクスの場合はメールアドレスが指定できます。
ファクスの相手先を指定するには、次の方法があります。

- テンキーで指定する
- ワンタッチキーで指定する
- [短縮] キーで指定する
- [アドレス帳] キーで指定する

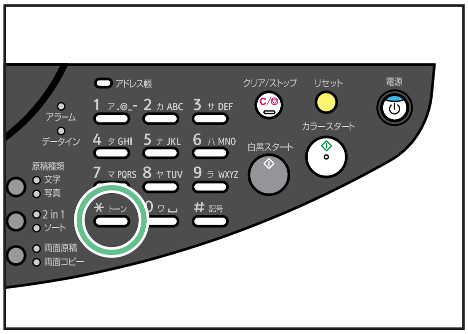
[アドレス帳] キーで指定する場合は、LDAP サーバーに登録されたメールアドレスの検索も可能です。

テンキーで指定する

ファクス番号やメールアドレスをテンキーで入力します。

1 ファクス番号またはメールアドレスをテンキーで入力します。

メールアドレスを指定するときは、テンキーの [✱] を押してください。文字を入力する画面に切り替わります。



AQQ055S

☎ =
SUB=▼ [1]

ファクス番号を指定する場合は、途中にポーズ（「P」）を入力できます。

参照

- P.209 「文字の入力のしかた」
- P.365 「インターネットファクスを送信する」
- P.341 「ポーズを入力する」

ポーズを入力する

相手先にファクス番号を指定する場合は、ポーズを入力することができます。
構内交換機を経由して外線にダイヤルするときは、0 発信したあと外線につながるまで多少時間がかかることがあります。このようなときは 0 のあとに［ポーズ / リダイヤル］キーを押して、ポーズを入力します。

重要

- 外線発信番号を登録しておくと便利です。ファクス番号入力で「♯033123456」と入力できます。電話番号を発信するときには「0P033123456」と解釈して発信します。（この場合、先頭の 0 が外線発信番号、P はポーズを意味します）

補足

- ファクス番号の 1 桁目で［ポーズ / リダイヤル］キーを押すと、リダイヤルになります。
- ポーズを入力した個所は「P」と表示されます。
- ポーズを入力した状態をアドレス帳に登録できます。

外線発信番号を使う

自営構内回線（内線）で登録した外線発信番号を使う場合は、［♯］キーを使います。
相手先を指定する前に、テンキーの［♯］キーを押してください。
登録した外線発信番号が入力されます。

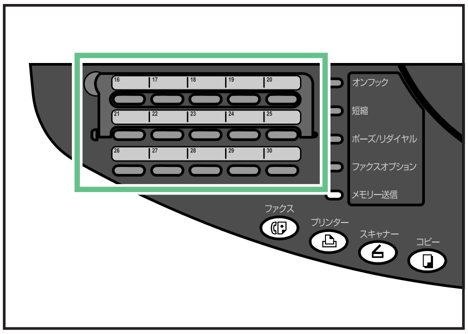
トーン信号に切り替える

手動送信（オンフックダイヤル送信またはマニュアルダイヤル送信）の場合で、ダイヤル回線を利用しているときにプッシュ回線のサービスを受けるときなどは、送信中にトーン信号を送ります。相手先を指定したあと、テンキーの［＊］キーを押してください。トーン信号が送信されます。トーンを入れた箇所には「＊」と表示され、それ以降の番号がプッシュ信号となります。
この機能は直接送信で利用できます。

ワンタッチキーで指定する

ワンタッチキーに登録されている相手先を指定します。
複数の相手先を指定する場合で、あらかじめワンタッチキーにグループが登録されているときは、グループを指定できます。

1 相手先が登録してあるワンタッチキーを押します。



AQQ046S

```
☎=
 SUB=▼                [1]
```

［ワンタッチ 01］キーから［ワンタッチ 15］キーを選択するときはワンタッチキー切替プレートを下側に、［ワンタッチ 16］キーから［ワンタッチ 30］キーを選択するときはワンタッチキー切替プレートを上側に倒します。

```
ワンタッチキー　アテサキ　01
```

```
☎=トウキョウ　オフィス
```

登録された名前がディスプレイに表示されます。
名前が登録されていないときは、ファクス番号が表示されます。
間違えたときは［クリア / ストップ］キーを押して指定しなおします。

補足

- アドレス帳に登録してある内容は、リストで確認できます。

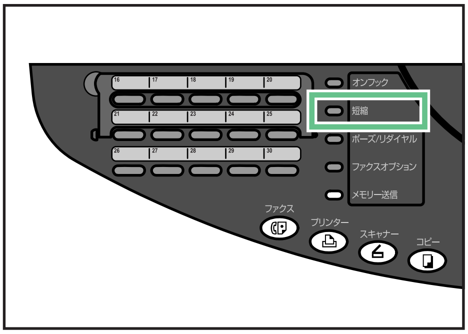
参照

- P.148 「ワンタッチキーについて」
- P.168 「グループ宛先を登録する」

[短縮] キーで指定する

短縮ダイヤルに登録されている相手先を指定します。

1 [短縮] キーを押します。



AQQ048S

☎＝ ＳＵＢ＝▼　　　　　　　　[１]

2 テンキーで、相手先が登録してある短縮番号（00〜89）を押します。

タンシュクキー　アテサキ＝０２

☎＝ヨコハマテン

登録されている名前が表示されます。

間違えたときは [クリア / ストップ] キーを押して指定しなおします。

補足

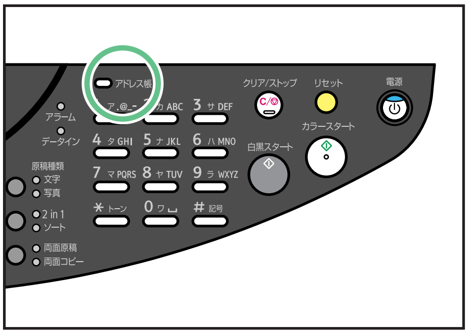
- アドレス帳に登録してある内容は、リストで確認できます。

参照

- P.158 「短縮ダイヤルについて」

[アドレス帳] キーで指定する

アドレス帳を使って、相手先を指定します。



AQQ082S

ワンタッチキーや短縮番号、LDAP サーバーに登録されている情報を検索することができます。

本機のアドレス帳を使って次の方法で検索することができます。

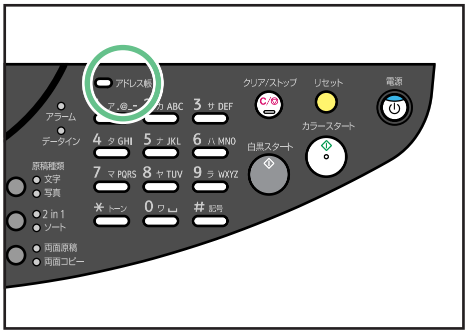
- [ヒョウジ] から相手先を指定する
- 名前で検索して相手先を指定する

[ヒョウジ] から相手先を指定する

7

ディスプレイに表示される中から選択してファクスの相手先を指定します。

1 [アドレス帳] キーを押します。



AQQ082S

2 [◀]または[▶]キーを押して、[ヒョウジ]を選択し、[Yes]キーを押します。

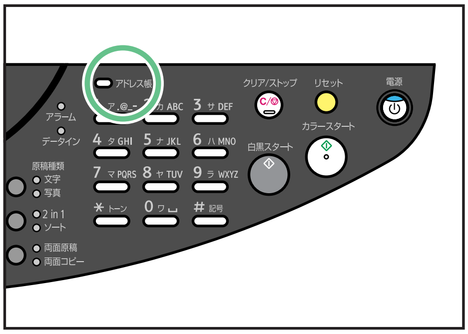
```
*ヒョウジ　　ケンサク
 ◀,▶　 &　Yes
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、送信先を表示させます。

名前で検索して相手先を指定する

名前を入力して検索します。

1 ［アドレス帳］キーを押します。



AQQ082S

2 [◀]または[▶]キーを押して、[ケンサク]を選択し、[Yes]キーを押します。

```
 ヒョウジ　＊ケンサク
 ◀,▶　＆　Yes
```

3 ［◀］または［▶］キーを押して、検索先を選択し、［Yes］キーを押します。

```
＊ホンタイ　　LDAPケンサク
 ◀,▶　＆　Yes
```

4 検索する相手先の名前の一部を入力します。

```
ケンサク－>>ヨ_
 OK=>　　　　　　　　[A]
```

5 ［Yes］キーを押します。

```
ケンサク－>>ヨコ
 OK=Yes　　　　　　　[A]
```

検索が始まります。

```
＊ケンサクチュウ＊
```

6 ［▲］または［▼］キーを押して、検索結果から相手先を指定します。

```
ヨコ（3）
ケンサク=Yes　　（カクニン=▼▲）
```

```
＊ヨコハマオフィス　　　　▲
 OK=Start　　　　　　　▼
```

参照

・P.209 「文字の入力のしかた」

相手先繰り返し入力

相手先をテンキーで指定して送信するとき、入力を二度繰り返して確認を行います。
一度目と二度目の入力が異なる場合は送信されないため、誤った相手先への送信を防ぐのに役立ちます。

重要

・［ワンタッチ］キー、［短縮］キーからの相手先指定には対応していません。
・メールアドレスの相手先指定には対応していません。
・1 回目と 2 回目で入力した相手先が異なる場合は、入力した相手先は消去されます。

1 ADF に原稿をセットします。

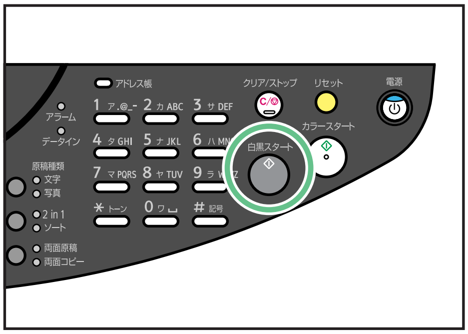
```
16:00  フツウジ          100%
 ーゲンコウセットー  ジドウ
```

読み取り条件を変更するときは、［解像度］キーを押して指定します。

2 相手先を指定します。

```
☎=0123456
 SUB=▼                 [1]
```

3 ［白黒スタート］キーを押します。



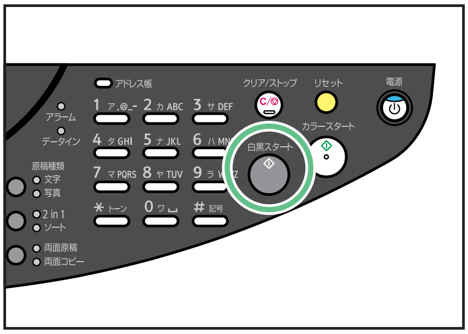
AQQ039S

```
☎=アイテサキ  サイニュウリョク
                       [1]
```

4 再度、相手先を指定します。

```
☎=0123456
 SUB=▼                 [1]
```

5［白黒スタート］キーを押します。



AQQ039S

送信が開始されます。

参照

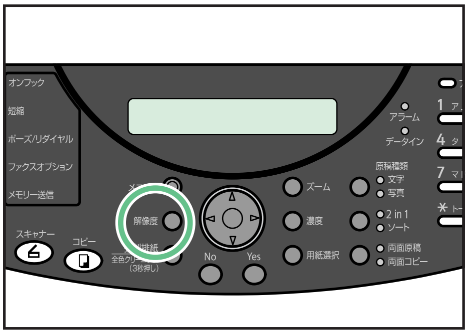
- P.134「ユーザーパラメーター設定」

原稿の読み取り条件を指定する

原稿を読み取るときの読み取り条件を指定します。

解像度を指定する

解像度は［解像度］キーを押して指定します。



AQQ038S

［フツウジ］、［チイサナジ］、［コマカイジ］、［シャシン］の中から選択します。
通常は［フツウジ］が選択されています。


```
＊フツウジ          チイサナジ    ▶
 ◀,▶  ＆  Ｙｅｓ
```

補足

- 「送信設定（ソウシンセッテイ）」で、送信時の解像度を設定することができます。

参照

- P.172 「送信機能の設定をする」

ファクスを受信する前に

ファクスの受信方法について説明します。

重要

- 大切な原稿を受信したときは、相手先に連絡して内容を確認することをおすすめします。
- メモリー残量が少ないときは受信できないことがあります。
- メモリー受信中にメモリー残量が 0% になると、それ以上は受信できず、その時点で通信が終了します。
- 以下のような場合は、うまく受信できない場合があります。このような場合は、本機と相手先の状況を確認して、再送信を依頼してください。
  - 受信データが壊れているか、フォーマットエラーのとき
  - FAX 受信中に電源を OFF または、電源プラグや電話線を抜いたとき
  - FAX データを受信しきれなかったとき（メモリーフル発生時）

本機はファクスを自動的に受信します。受信したファクスはすべて A4 で印刷します。手動受信をするときと、ポーリング受信をするときは受信の操作が必要です。

ファクスを受信する前に、「受信設定（ジュシンセッテイ）」で受信のしかたを設定してください。

「受信設定（ジュシンセッテイ）」では、以下の設定ができます。

- 受信印刷タイマー
- リンギング回数
- 自動縮小受信
- 受信方法
- 受信モード
- メモリー転送
- 相手先情報印字
- ID 受信
- ファクス優先トレイ

参照

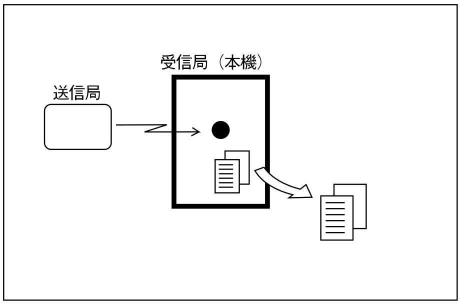
- P.132 「システム初期設定を変更・調節する」
- P.173 「受信機能の設定をする」
- P.352 「手動（シュドウ）」
- P.355 「ポーリング受信」

7

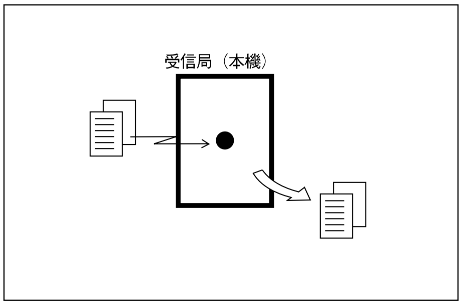
受信方法

ファクスを受信する方法は、「メモリー」と「チョクセツ」の 2 種類があります。
受信方法は「受信設定（ジュシンセッテイ）」で設定できます。

◆ **メモリー：**
受信した文書を一度メモリーに蓄積し、全ページを受信してから印刷します。



◆ **チョクセツ：**
受信した文書をメモリーに蓄積せずに、1 ページ受信するごとに印刷します。



代行受信する条件が発生しているときは、印刷せずにメモリーに蓄積します。

参照

- P.173 「受信機能の設定をする」
- P.351 「代行受信」

受信するときの機能

受信の機能について説明します。

代行受信

本機が印刷できない状態のときに着信があった場合は、代行受信でファクスを受信します。

重要

- 代行受信中にメモリーフルになると、それ以上は受信できず、その時点で通信が終了します。この場合は受信した分だけ蓄積し、相手先にエラーメッセージを送ります。

本機が次の状態になったときは、代行受信します。

- コピー中
- 用紙がないとき
- カートリッジエンド
- 用紙サイズが違う
- カートリッジカバーが開いているとき
- 紙づまり
- 待機中
- 印刷中
- インクエンド
- インク回収ユニットが満杯のとき
- インク回収ユニットがセットされていないとき

代行受信すると、文書はメモリー受信で受信されたまま、印刷されずに待機状態となります。代行受信した文書は、代行受信の原因が取り除かれると自動的に印刷されます。

代行受信すると、画面にメッセージと「RX」と表示されます。

```
16:00   フツウジ   RX   85%
      ヨウシサイズエラー
```

JBIG 受信

圧縮率の高い JBIG（Joint Bi-level image experts Group）を使うと、[写真] を選択して読み取った原稿でも速く送信できます。JBIG 受信機能を使うと、JBIG 送信で送信された文書を受信できます。この機能は、標準で設定されている機能です。

重要

- ECM 機能が「OFF」のときは JBIG 受信できません。

参照

- P.317 「JBIG 送信」

7

受信モードの種類

受信モードには「ジドウ」、「シュドウ」、「ファクスセンヨウ」、「デンワユウセン」の 4 つがあります。

重要

- 本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。
- 「シュドウ」および「デンワユウセン」は、外付け電話機が付いているときに使用できます。

補足

- 受信モードは、「受信設定（ジュシンセッテイ）」で設定することができます。

参照

- P.173 「受信機能の設定をする」

自動（ジドウ）

電話がかかってくると、相手が電話かファクスかを判断し、自動的に電話とファクスを切り替えます。
ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼出音を鳴らすように設定できます。

重要

- 本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。

補足

- 「ジドウ」で受信する場合は、「受信設定（ジュシンセッテイ）」で次の設定ができます。
  - 着信してから呼出音を鳴らし始めるまでの時間（ヨビダシ カイシジカン）
  - 呼出音を鳴らしている時間（ヨビダシ ジカン）
  - ファクス信号を検出できない場合は、ファクスを受信するか、通信を切断するか（ファクス ヒケンシュツジドウサ）

手動（シュドウ）

外付け電話機を使用し、手動でファクスを受信する方法です。電話がかかってくると呼出音が鳴ります。相手がファクスのときは、手動でファクスに切り替えて受信します。

重要

- 本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。

外付け電話機で切り替える（リモート切替）

外付け電話機を使って電話からファクスに切り替えます。

重要

- リモート切替は、使用している回線がプッシュ回線の場合のみ対応しています。

1 呼出音が鳴ったら、外付け電話機の受話器を上げます。

「ポー」という音が聞こえてきたらファクスを受信できます。

＊ジュワキ　シヨウチュウ　デス＊

2 外付け電話機の「2」を 2 回押して受話器を置きます。

受信が開始されます。

補足

- リモート切替は電話機によっては使えないことがあります。
- リモート切替できるようにするかどうか「ユーザーパラメーター設定」で設定できます。

参照

- P.134 「ユーザーパラメーター設定」

本機の操作部で切り替える

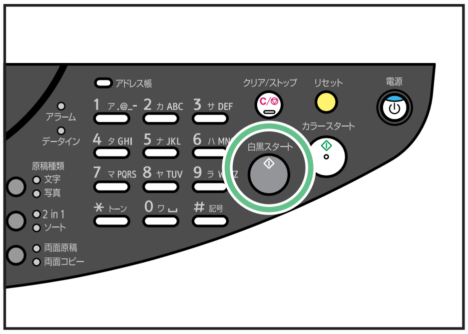
本機の操作部で電話からファクスに切り替えます。

1 呼出音が鳴ったら、外付け電話機の受話器を上げます。

「ポー」という音が聞こえてきたらファクスを受信できます。

＊ジュワキ　シヨウチュウ　デス＊

2 ［白黒スタート］キーを押します。



AQQ039S

受信が開始されます。
受信が完了すると、初期画面に戻ります。
受信を途中で中止するときは、［クリア / ストップ］キーを押します。

補足

- 手順 2 で［白黒スタート］キーを押すときに、ADF に原稿がセットされていると送信が開始されます。ADF に原稿がセットされていないことを確認してから、［白黒スタート］キーを押してください。

ファクス専用（ファクスセンヨウ）

すべての呼び出しに対してファクスで受信します。相手が電話のときは切断します。通常はこのモードに設定されています。

電話優先（デンワユウセン）

本機に留守番電話機を接続しておくと、相手がファクスのときは自動的にファクスを受信し、相手が電話の場合は留守番電話機が応答します。

重要

- 本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。

補足

- 「デンワユウセン」で受信する場合は、「受信設定（ジュシンセッテイ）」で次の設定ができます。
  - 着信してから留守番電話機が応答メッセージを流し始めるまでの時間（留守番電話検出時間）
  - 留守番電話機から応答メッセージが流れている時間（ファクス検出時間）
    応答メッセージが流れている間にファクスの信号音が検出されると、本機がファクスを受信します。電話のときは、留守番電話機が応答します。

7

便利な受信方法

知っておくと便利な受信のしかた、いろいろな受信のしかたについて説明します。

参照

・P.173 「受信機能の設定をする」

ポーリング受信

相手先ファクスのメモリに蓄積されている文書を受信する操作です。通常の文書のほか、サブアドレスやパスワードが設定された機密扱いの文書を受信することができます。また、複数の相手先から原稿を集めたいときなどに便利です。

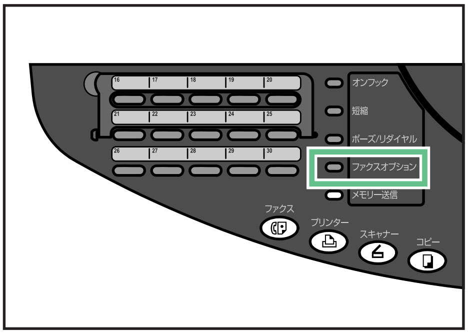
ポーリング受信の相手先に指定できるのはファクス番号だけです。メールアドレスは設定できません。

この機能はインターネットファクスでは利用できません。

この機能は時刻指定送信と組み合わせて利用できます。

例：ポーリング受信の相手先が 0987654 の場合

1 ［ファクスオプション］キーを押します。



AQQ050S

2 ［▲］または［▼］キーを押して「4 ポーリング ジュシン」を表示させ、［Yes］キーを押します。

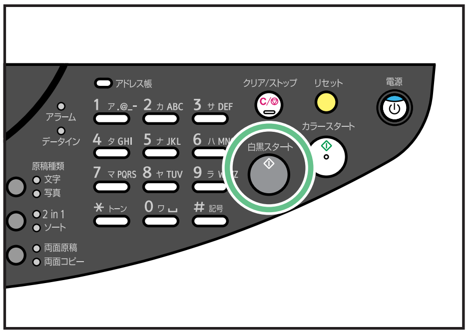
```
4 ポーリング ジュシン        ▲
  OK=Yes                    ▼
```

3 相手先を指定し、［Yes］キーを押します。

```
No. 001=0987654
  OK=Yes     (サブアドレス=▼)
```

相手先が複数の場合は、続けて２件目以降の相手先を指定します。

4 ［白黒スタート］キーを押します。



AQQ039S

アテサキ　ヲ　カクニンシマスカ？ 　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　（ＲＸ＝スタート）

相手先を確認する画面が表示されます。

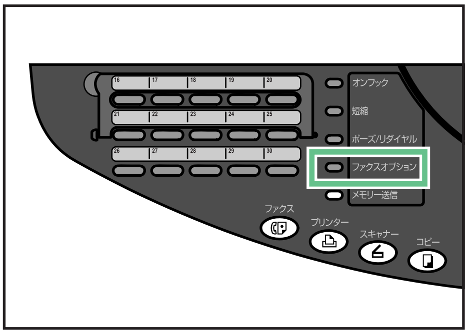
5 ［白黒スタート］キーを押します。

ポーリング受信が開始されます。

機密文書をポーリング受信する

F コード（SEP）を入力して機密文書をポーリング受信する操作手順です。
相手が「ポーリング送信」機能と「SEP」機能を持ったファクスであれば、他社のファクスからも ID の付いた文書をポーリング受信することができます。
この機能はインターネットファクスでは利用できません。
この機能は時刻指定送信と組み合わせて利用できます。
例：ポーリング受信の相手先が 0987654 の場合

1 ［ファクスオプション］キーを押します。



AQQ050S

2 ［▲］または［▼］キーを押して「4　ポーリング　ジュシン」を表示させ、［Yes］キーを押します。

４　ポーリング　ジュシン　▲ 　ＯＫ＝Ｙｅｓ　▼

3 相手先を指定し、[▼] を押します。

```
No. 001=0987654
  OK=Yes      (サブアドレス=▼)
```

4 送信側で設定した F コード（SEP）のサブアドレスを入力し、[Yes] キーを押します。

```
サブアドレス=
  OK=Yes
```

サブアドレスは 20 桁まで入力できます。

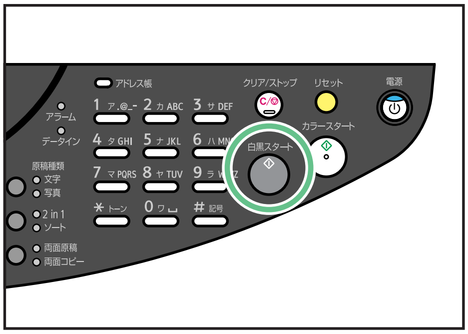
5 送信側で設定した F コード（SEP）のパスワードを入力し、[Yes] キーを押します。

```
パスワード=
  OK=Yes
```

パスワードは 20 桁まで入力できます。

相手先が複数の場合は、続けて 2 件目以降の相手先を指定します。2 件目以降の相手先にも手順 4、5 と同様にサブアドレスとパスワードを入力します。

6 [白黒スタート] キーを押します。



AQQ039S

```
アテサキ ヲ カクニンシマスカ?
  OK=Yes      (RX=スタート)
```

相手先を確認する画面が表示されます。

7 [白黒スタート] キーを押します。

ポーリング受信が開始されます。

補足

- 通話料はポーリング受信する側の負担になります。
- 入力する桁数は相手先のファクスの仕様に合わせてください。

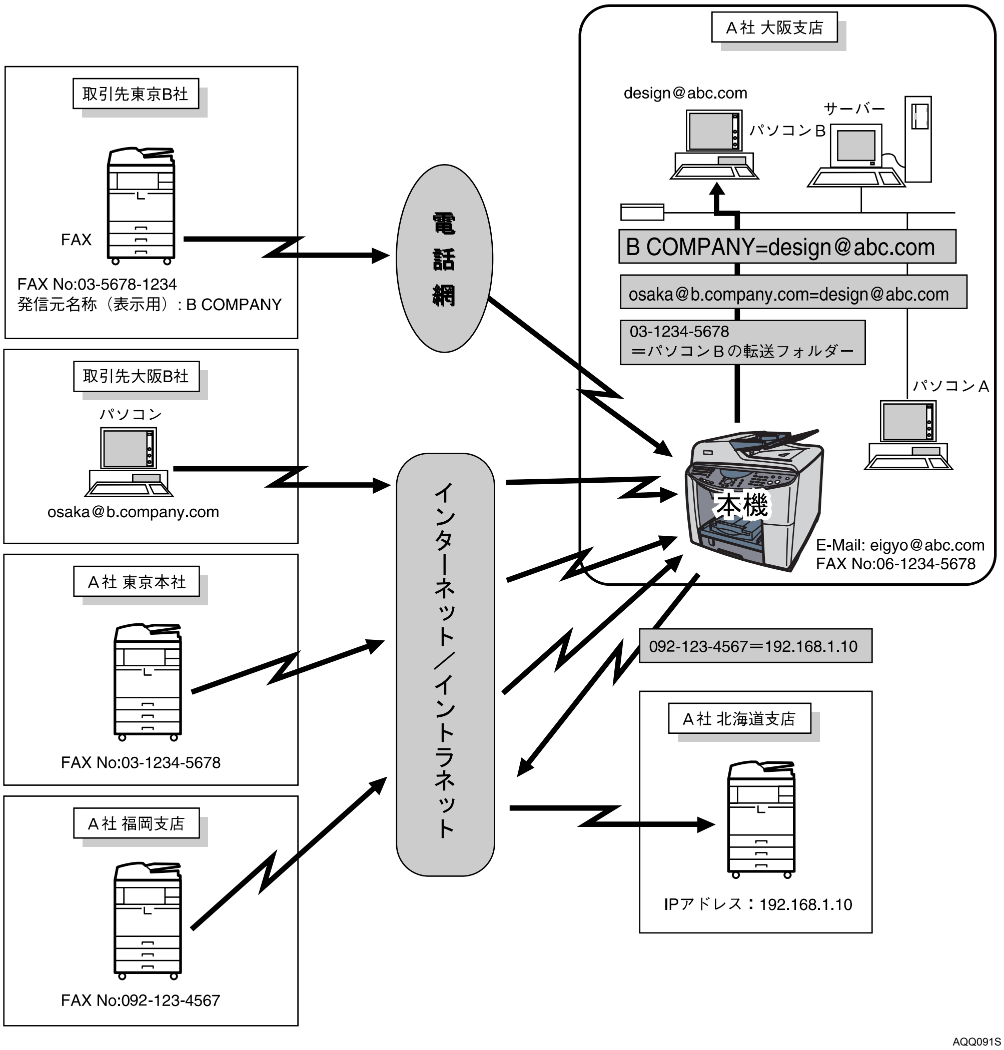
参照

- P.326 「ポーリング送信」

7

受信した文書を転送する

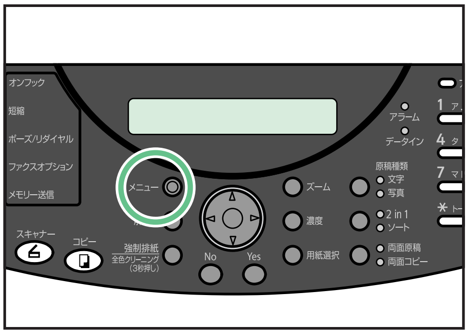
受信した文書を指定された相手先に転送します。転送先で印刷するように設定もできます。
「受信設定（ジュシンセッテイ）」で設定することができます。
指定できる相手先は一件です。



相手先にはファクス番号およびメールアドレスが指定できます。テンキー、ワンタッチキー、［短縮］キーを使用して相手先を指定できます。ただし、ワンタッチキーのグループダイヤルは使用できません。

7

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［ジュシン セッテイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

ジュシン　セッテイ？
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１－９

3 ［▲］または［▼］キーを押して「6　メモリーテンソウ」を表示させ、［Yes］キーを押します。

６　メモリーテンソウ　▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　▼

4 ［◀］または［▶］キーを押して［スル］または［テンソウトインサツ］を選択し、［Yes］キーを押します。

＊スル　テンソウトインサツ　シナイ
　◀,▶　＆　Ｙｅｓ

5 相手先を指定し、［Yes］を押します。

☎＝
［１］

受信設定画面が表示されます。

［No］キーを押すと通常の画面が表示されます。

転送を中止するときは、［クリア / ストップ］キーを押します。中止された場合は、印刷後にデータが消去されます。

補足

- 転送後、受信したデータは消去されます。「テンソウトインサツ」に設定しているときは、転送と印刷が終了すると受信したデータが消去されます。
- 次の追加機能がついたジョブは転送できません。
  - 中継依頼送信、ポーリング受信
- 転送機能を［シナイ］に変更したとき、すでに転送待ちのジョブがある場合は、ジョブは転送されます。

7

参照

- P.173 「受信機能の設定をする」
- P.369 「メールアドレスに転送する」

ID 受信

受信する相手先を制限します。アドレス帳に登録した相手先（特定相手先）以外からのファクスは受け付けないので、間違いファクスやいたずらファクスなどで、用紙をむだにすることがなくなります。「受信設定（ジュシンセッテイ）」で、ID 受信をするかどうか設定することができます。
この機能はインターネットファクスでは利用できません。

補足

- 登録されているワンタッチキーまたは短縮ダイヤルのファクス番号の下 4 桁に、スペースやポーズ（P）が入っている場合は、通信エラーとなる場合があります。
- ポーリング受信をするときに、「受信設定（ジュシンセッテイ）」で「ID 受信」の設定は「シナイ」にしてください。「スル」に設定しているとポーリング受信はできません。

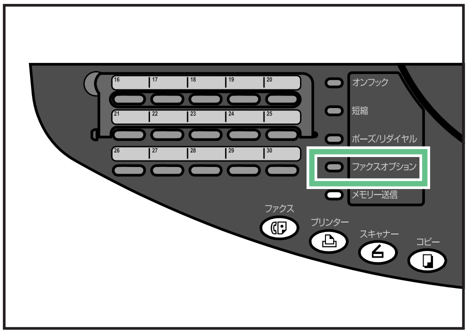
参照

- P.173 「受信機能の設定をする」
- P.147 「アドレス帳について」

受信をキャンセルする

予約した受信をキャンセルすることができます。
キャンセルすることができるのは、次のとおりです。
- ポーリング受信
- 転送

1 ［ファクスオプション］キーを押します。



AQQ050S

2 **[▲] または [▼] キーを押して「6 ヨヤク キャンセル」を表示させ、[Yes] キーを押します。**

```
6 ヨヤク キャンセル      ▲
 OK=Yes                ▼
```

予約した内容が表示されます。
複数の予約があるときは、[▼] または [▲] キーを押してキャンセルしたい予約を表示させます。

3 **[Yes] キーを押します。**

```
002 [20:00] PLジュシン  ▲
サクジョ=Yes     (カクニン=▶)▼
```

[▶] を押すと、予約の詳細が表示されます。
予約がキャンセルされます。

参照

- P.355 「ポーリング受信」
- P.358 「受信した文書を転送する」
- P.369 「メールアドレスに転送する」

F ネットから受信する

F ネットにおける 1300Hz の呼出し信号に対して、呼び出し音を鳴らさずに自動的に受信します。
すべての受信モード (自動、手動、ファクス専用、電話優先) に対応しています。

補足

- F ネット（ファクシミリ通信網サービス）とはファクスを効率よく利用するためのファクス専用ネットワークです。F ネットを利用するときは、NTT との契約が必要です。詳しくは NTT にお問い合わせください。
- 本機能は「ユーザーパラメーター設定」で設定できます。
- ユーザーパラメーター設定で本機能を「着呼しない」に設定している場合は、ファクスに接続している外付け電話機の呼び出し音が鳴ります。
- 「着呼しない」に設定している場合は、全ての受信モード (ファクス専用、自動、手動、電話優先) において F ネットからのファクスを自動受信しません。

参照

- P.134 「ユーザーパラメーター設定」

インターネットファクス

インターネットファクスの利用方法について説明します。

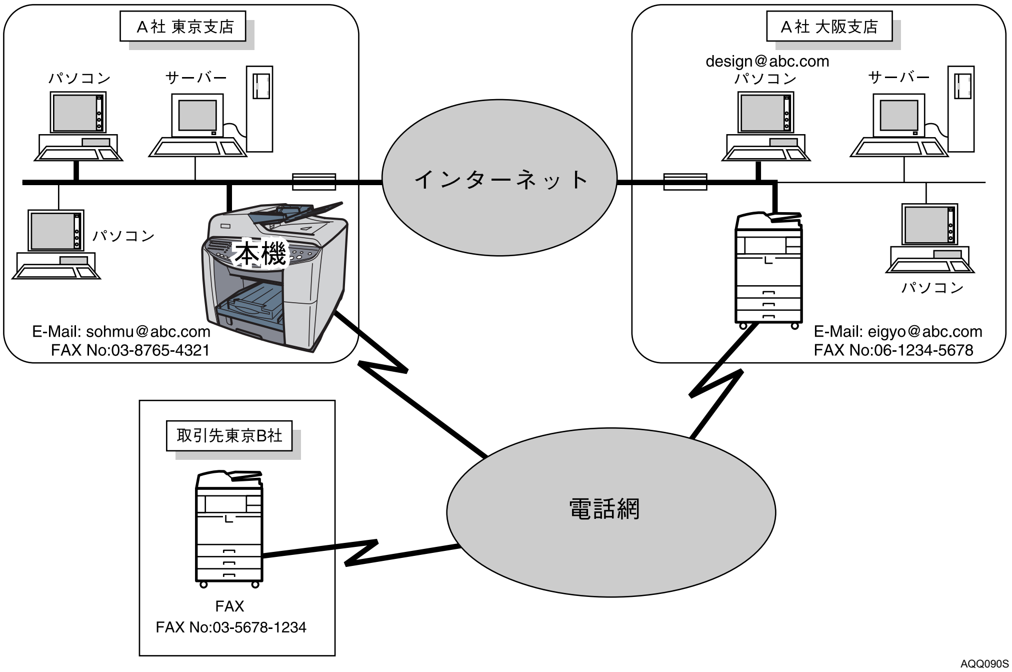
重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

メモリーに読み込んだ文書を電子メール（e-mail）形式に変換し、インターネットを使って、インターネットファクス対応機やメールアドレスを持っているパソコンに送信します。操作は、ファクス番号の代わりにメールアドレスを指定して送信します。送信された電子メールは、インターネット対応ファクスまたは電子メールが使えるパソコンで受信できます。

文書は、TIFF 形式の画像データとして電子メールに添付されて送信されます。パソコンに送信されたメールを閲覧するには、MIME 対応のメールソフトが必要です。また、添付の画像データを閲覧するには画像ビューアーなどのソフトが必要です。Ridoc Desk Navigator などでは、画像データの閲覧・編集ができます。

また、パソコンから送信された電子メールや、インターネット対応ファクスから送信されたインターネットファクスを受信して、印刷したり転送することもできます。



インターネットファクス使用上のご注意

インターネットファクスを使う際の注意点について説明します。

- インターネットを使った通信は秘匿性が低いので、重要な書類は電話回線を使用した通常のファクス送信をおすすめします。
- インターネットファクスはサーバーの混み具合によっては、送信まで時間がかかることがあります。
- パソコンやネットワークなどの環境によっては、メールサイズが大きいと送信できないことがあります。
- メモリー残量が少ないときはインターネットファクスで送信できないことがあります。
- インターネットファクスは TIFF 形式の画像ファイルで送信されます。そのため、相手先がパソコンで受信したときはビューアーアプリケーションがないと文書の内容を見ることができません。
- メール送信は原稿をメモリーへ蓄積しファイル変換してから送信しますので、原稿の量によっては送信まで時間がかかることがあります。

送信時に使用できない機能

インターネットファクスで送信するときに使用できない機能について説明します。

次の機能は、通常のファクス送信では使用できますが、インターネットファクスによる送信では使用できません。

- 直接送信
- F コードを使った送信
- オンフックダイヤル
- マニュアルダイヤル
- JBIG 送信
- ECM （Error Correction Mode）

受信時に使用できない機能

インターネットファクスで受信するときに使用できない機能について説明します。

次の機能は、通常のファクス受信では使用できますが、インターネットファクスによる受信では使用できません。

- F コードを使った受信
- ID 受信

設定について

インターネットファクスを利用するときは、「ネットワーク設定（ネットワークセッテイ)」と「SMTP 設定（SMTP セッテイ)」、「POP3 設定（POP3 セッテイ)」を設定してください。

参照

- P.179 「ネットワーク設定」
- P.182 「インターネットファクス・メール送信機能を使うには（SMTP 設定)」
- P.184 「インターネットファクス・メール受信機能を使うには（POP3 設定)」

7

インターネットファクスを送信する

インターネットファクスを送信する方法です。

★重要

- インターネットファクスは、必ずメモリー送信で送ってください。直接送信を選択している場合は、メモリー送信に切り替えてください。

本機で読み取った原稿は画像としてメールに添付され、指定したメールアドレスに送信されます。送信モードはメモリー送信のみです。

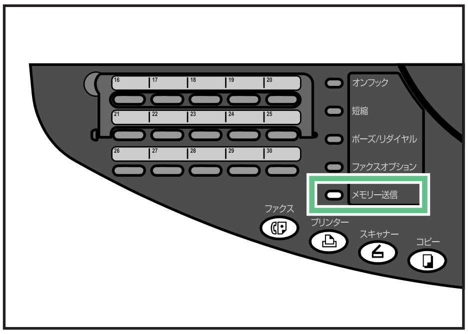
インターネットファクスは次の送信方法でも送れます。

- 原稿ガラスで読み取った原稿
- 時刻指定送信
- 同報送信

相手先のメールアドレスを指定するときは、テンキーの［✱］を押すと、文字を入力する画面に切り替わります。

メールアドレスはあらかじめアドレス帳に登録しておくと便利です。

1 ［ファクス］キーを押し、［メモリー送信］キーのランプが点灯していることを確認します。

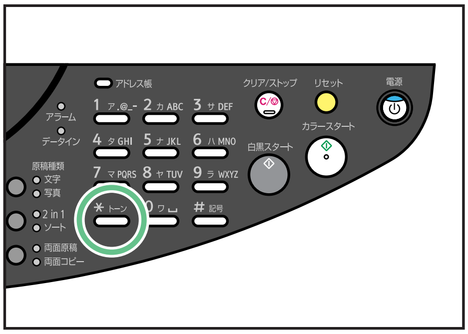


通常はメモリー送信が選択されています。

2 ADF に原稿をセットします。

16：00	フツウジ	100%
ーゲンコウセットー		ジドウ

3 テンキーの［✱］を押します。



AQQ055S

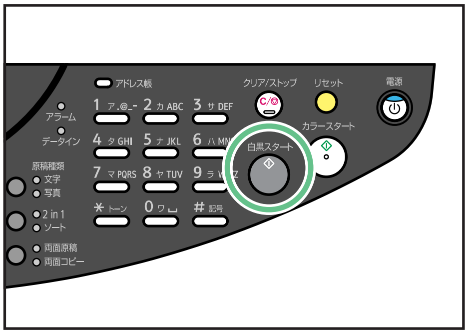
4 相手先のアドレスを指定します。



相手先は、テンキーのほか、ワンタッチキー（グループダイヤルを含む）、［短縮］キー、［アドレス帳］キーを使って入力することができます。

詳しくは「相手先を指定する」を参照してください。

5 ［白黒スタート］キーを押します。



AQQ039S

インターネットファクスが送信されます。

補足

- 同報送信ではファクス番号とメールアドレスが混在している複数の相手先に送ることができます。この場合、メールアドレスから先に送信されます。

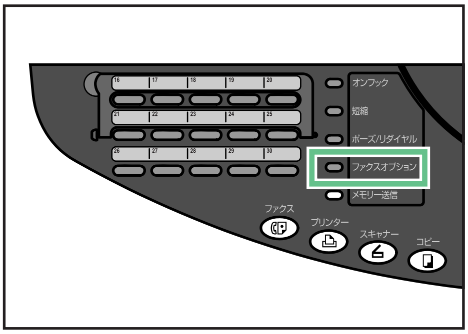
参照

- P.182 「インターネットファクス・メール送信機能を使うには（SMTP 設定）」
- P.209 「文字の入力のしかた」
- P.239 「原稿をセットする」
- P.311 「メモリー送信で送る」
- P.317 「送信をキャンセルするには」
- P.324 「同報送信」
- P.330 「時刻指定送信」
- P.340 「相手先を指定する」
- P.348 「原稿の読み取り条件を指定する」

インターネットファクスを受信する

インターネットファクスを受信する方法です。
インターネットファクスでは電子メール形式の文書を受信できます。
次の受信モードで受信できます。受信モードは「受信設定（ジュシンセッテイ）」で設定することができます。
・自動（ジドウ）
・手動（シュドウ）
インターネットファクスを受信するには、自動で受信する方法と手動で受信する方法があります。
自動受信の場合は、POP3 サーバーからメールを受けとるごとに印刷されます。
手動の場合は、次の操作でインターネットファクスを受信できます。

1 ［ファクスオプション］キーを押します。



AQQ050S

2 ［▲］または［▼］キーを押して「インターネットファクスジュシン」を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
8 インターネットファクスジュシン ▲
 OK=Yes                    ▼
```

3 ［Yes］キーを押します。

```
メール ジュシン
 OK=Yes
```

受信が完了すると、読み取った原稿が出力されます。
メールを受信していないときは、「* メール ハ アリマセン *」と表示され、初期画面に戻ります。

参照

・P.184 「インターネットファクス・メール受信機能を使うには（POP3 設定）」
・P.173 「受信機能の設定をする」

7

メールアドレスに転送する

インターネットファクスで受信した文書をメールアドレスあてに転送することができます。指定できる転送先は 1 件です。
詳しくは「受信した文書を転送する」を参照してください。

補足

- 転送する相手先は「受信設定（ジュシンセッテイ）」で設定します。
- インターネットファクスで受信したデータが A4 サイズで 200×200 dpi 以下の画像データの場合は、本機からパソコンなどの e-mail アドレスあてに転送することができます。

参照

- P.173 「受信機能の設定をする」
- P.209 「文字の入力のしかた」
- P.358 「受信した文書を転送する」

7

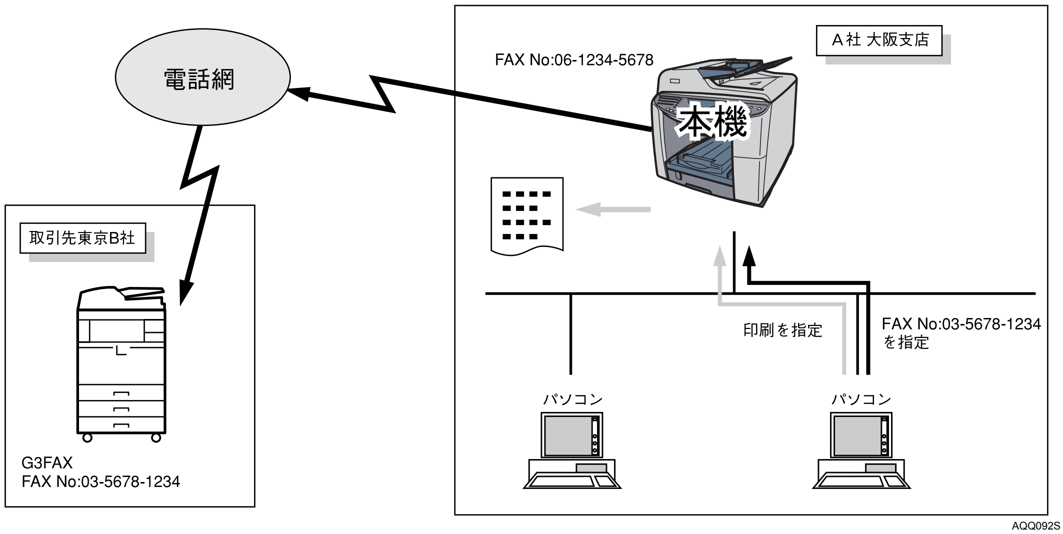
パソコンからファクス機能を活用する

Windows のアプリケーションで作成した文書を、パソコンに接続された本機から他のファクスへ送信します。送信時に送付状を付けることができます。
接続方法は、USB2.0 かネットワークでつなぐ 2 種類の方法があります。

重要

- ネットワークで接続するためには、オプションのネットワークボードが必要です。
- Windows NT4.0 では、本機の PC FAX 機能をご利用いただけません。
- 本機にエラーが発生しても、PC FAX ドライバー側ではエラーが表示されません。機器設定ユーティリティーもしくは Web Image Monitor で確認してください。
- 本機のファクス機能は、IPv6 には対応していません。

Windows のアプリケーションから文書を印刷する操作を行い、印刷先のプリンターとして PC FAX ドライバーを選択します。そして、ファクスの相手先を指定して送信します。パソコンと本機は、ネットワーク、または USB 2.0 を使って接続します。自分のパソコンから相手機まで、紙に出力することなくファクスを送信できます。
また、ファクス送信する原稿を印刷して、相手先が受信するイメージを確認できます。



補足

- Web Image Monitor は、同一ネットワーク環境での使用を推奨します。URL をクリックしても Web ブラウザーが開かずエラーとなることがあります。

参照

- P.92 「PC FAX ドライバーをインストールする」
- P.465 「機器設定ユーティリティーを使用する」
- P.474 「Web Image Monitor で設定できる項目」

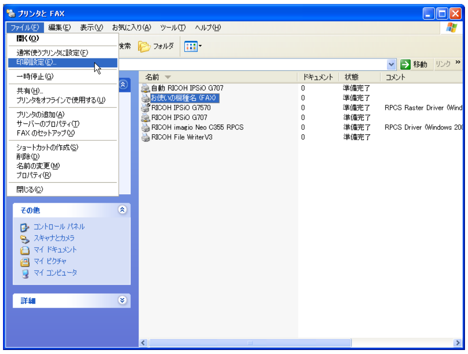
基本的な PC ファクスの操作手順

PC FAX ドライバーの基本的な操作手順について説明します。
Windows XP を使用した操作を例にして説明します。

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選びます。

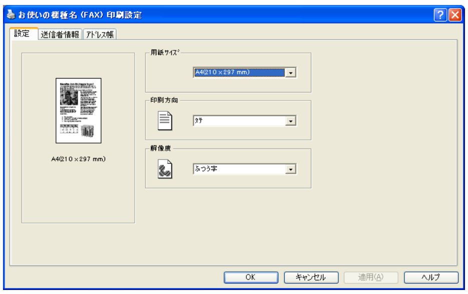


2 本機のアイコンを選び、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選びます。

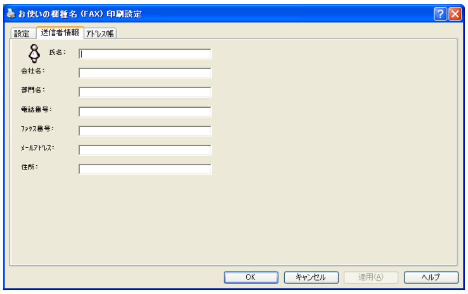


PC FAX ドライバーのプロパティが開きます。

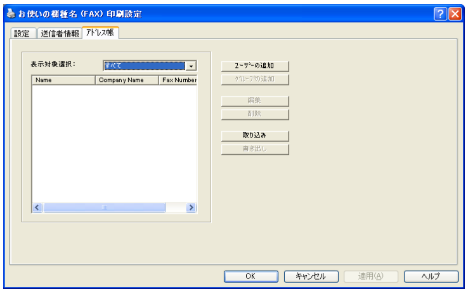
3 ［設定］タブで［用紙サイズ］、［印刷方向］、［解像度］の設定を行います。



4 ［送信者情報］タブで送信者の設定を行います。



5 ［アドレス帳］タブで送信先の情報を登録します。



ファクスを利用したサービスについて

ファクスを使って利用できる各種サービスの利用方法について説明します。

ファクス情報サービスを利用する

ファクス情報サービスを受信する方法を説明します。
次の 2 つの方法があります。
- 相手の音声ガイダンスにしたがって操作する方法
- F コード取り出し機能を使う方法（ポーリング受信）

補足

- 通話料金は受信側にかかります。また、通話料金のほかに情報料がかかることがあります。

音声ガイダンスにしたがって操作するとき

相手の音声ガイダンスにしたがって操作し、ファクス情報サービスを受信します。

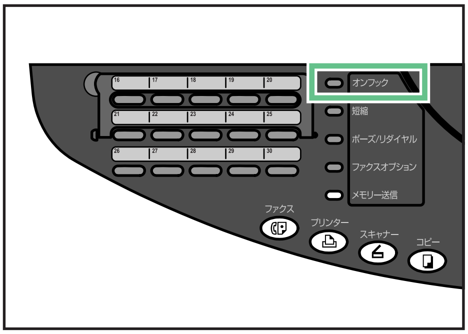
重要

- 原稿をセットしないで操作します。
- あらかじめ使用している回線がダイヤル回線かプッシュ回線かを確認してください。

7

1 ファクス初期画面が表示されていることを確認します。
表示されていないときは［ファクス］キーを押します。

2 ［オンフック］キーを押します。

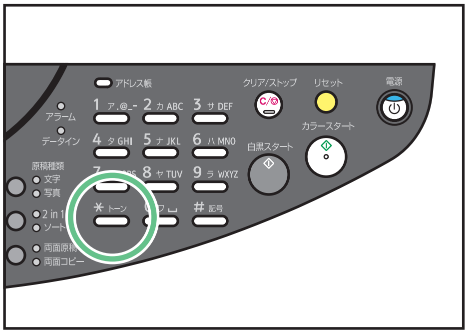


AQQ047S

3 情報提供元のファクス番号を指定します。

4 **ダイヤル回線をお使いのときは［トーン］キーを押します。**

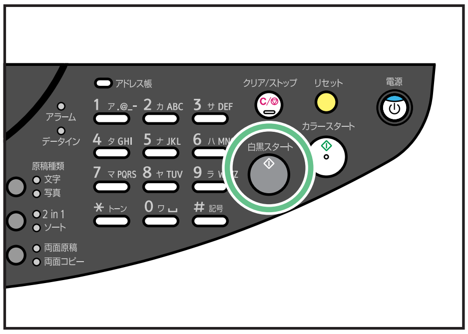
プッシュ回線をお使いのときは、手順 **5** に進みます。



BGF022S

5 **相手のガイダンスにしたがって操作します。**

6 **「スタートボタンを押してください」と流れたら、［白黒スタート］キーを押します。**



AQQ039S

しばらくすると、受信が始まります。

補足

- ［白黒スタート］キーを押して手動受信するときは、ファクス機能が選択されていて、さらに原稿がセットされていないことを確認してください。
- 外付け電話機を接続しているときは、［オンフック］キーを押す代わりに、受話器を上げても同様の操作ができます。
- 外付け電話機を使っているときは、［白黒スタート］キーを押して、受話器を置きます。

参照

- P.106 「電話回線の種別を設定する」
- P.352 「受信モードの種類」

7

F コード取り出し機能を使うとき

情報提供元からポーリング受信を指定されることがあります。そのときはポーリング受信の操作をしてください。

参照

- P.356 「機密文書をポーリング受信する」

マークシートを送信してサービスを受けるとき

重要

- ADF は使用しないでください。
- マークシートの向きは、必ず□の向きにセットしてください。向きを間違えたり、斜めにセットすると正しく送信されません。

銀行のアンサーシステムやレインズシステム（財団法人首都圏不動産流通機構の不動産情報検索システム）をご利用の際に、マークシートを送信するときは、次のように操作します。

1. **マークシートにマークを濃くはっきりと記入します。**
2. **マークシートを原稿ガラスにまっすぐにセットします。**
3. **「文字」が選択されていることを確認します。**
4. **相手先を指定して、［白黒スタート］キーを押します。**

補足

- 以上のように操作しても正しく送信できないときは、［解像度］と「濃度」をもっとも濃い設定にしてください。それでも送信できないときは、サービス実施店に連絡してください。

参照

- P.172 「送信機能の設定をする」
- P.348 「原稿の読み取り条件を指定する」

7

通信網について

通信網には国内でサービスを受けられるものと、国際電話でサービスを受けられるものがあります。なお、サービス内容、利用方法については各会社にお問い合わせください。

国際ダイヤル通話

国際電話のダイヤル手順は、「マイライン」または「マイラインプラス」に登録しているときと登録していないときで手順が異なります。「マイライン」または「マイラインプラス」に登録しているときは、010 のあとに国番号、0 を除いた市外局番、相手先のファクス番号の順でダイヤルします。「マイライン」または「マイラインプラス」に登録していないときは、国際電話でサービスを行っている各会社専用の番号のあとに、010、国番号、0 を除いた市外局番、相手先のファクス番号の順でダイヤルします。
会社によっては、あらかじめ登録や申し込みをしていないと利用できないことがあります。この方法を利用できない地域もあります。詳しくは利用する会社に直接お問い合わせください。

（例）KDDI でニューヨークの 1234567 にファクスを送信するとき

1 原稿をセットし、読み取り条件を指定します。

2 相手先を指定します。

「マイライン」または「マイラインプラス」に登録しているとき

010	+	1	+	212	+	1234567
		国番号		市外局番		相手先のファクス番号

「マイライン」または「マイラインプラス」に登録していないとき

001（KDDI）	+	010	+	1	+	212	+	1234567
各会社専用番号				国番号		市外局番		相手先のファクス番号

3 ［白黒スタート］キーを押します。

補足

- 国番号の前に 3 回くらい［ポーズ / リダイヤル］キーを押さなければならないことがあります。

国際オペレータ通話

KDDI を利用するときは、オペレータを呼び出して国際電話を申し込むことができます。

重要

- この方法は KDDI だけが取り扱っています。
- オペレータには、ファクスを送信することを伝えてください。

1 原稿をセットし、読み取り条件を指定します。

2 受話器を上げて、[0] [0] [5] [1] をダイヤルします。

KDDI のオペレータが応答します。

3 相手先のファクス番号とこちらのファクス番号を伝え、オペレータの指示に従います。

補足

- 一度受話器を置き、KDDI からの呼び出しを受けてから送信することがあります。そのときは、あらかじめ受信モードを「シュドウ」または「デンワユウセン」に切り替えておきます。

参照

- P.350 「受信方法」
- P.352 「受信モードの種類」

8. こんなときには

困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。

GX カートリッジを交換する

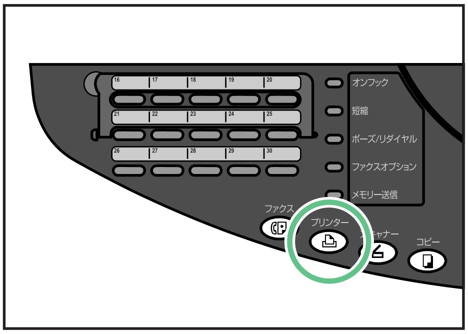
GX カートリッジを交換します。

インク交換時期の表示

GX カートリッジの交換時期はステータスモニターやカートリッジ交換表示で確認できます。

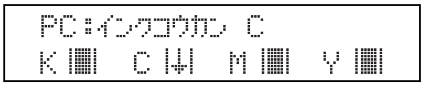
本機のディスプレイで確認する

1 ［プリンター］キーを押します。



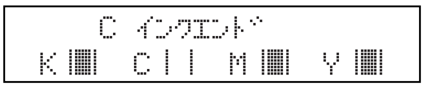
AQQ079S

次の画面が表示されます。



BBF019S

ここではシアンの GX カートリッジのインクがなくなっています。



BBF020S

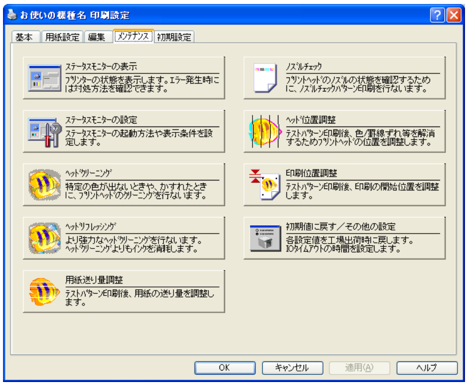
ここではシアンのインクが完全になくなっています。
カートリッジ交換表示は、左からブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の GX カートリッジの状態を表示します。

■ステータスモニターで確認する

1 プリンタードライバーの設定画面を開きます。

2 [メンテナンス]タブをクリックします。

3 [ステータスモニターの表示]をクリックします。



ステータスモニターが表示されます。

8

4 インク交換時期の目安を確認します。



ここではシアンの GX カートリッジのインクがなくなっています。
画面左上の背景色が黄の場合は、カートリッジのインクがなくなっています。カートリッジを交換してください。



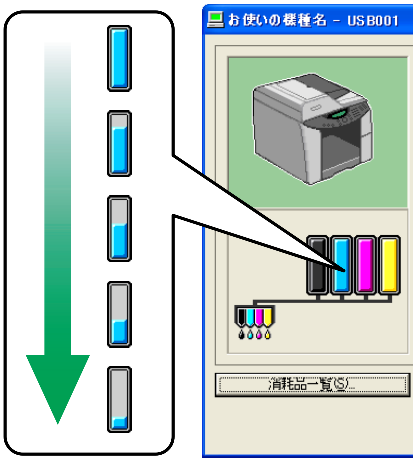
ここではシアンのインクが完全になくなっています。
画面左上の背景色が赤の場合は、インクがなくなっています。カートリッジを交換してください。

カートリッジ交換表示は、左からブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の GX カートリッジの状態を表示します。

8

補足

- ステータスモニターのカートリッジ交換表示は、グラフィックの変化によってインクの残量を確認できます。GX カートリッジ内のデータが正しく読めない場合は、残量が不明になるときがあります。



AQQ095S

GX カートリッジの交換

インクがなくなった GX カートリッジを交換します。

複数の GX カートリッジのインクがなくなった場合は、インクがなくなったカートリッジをすべて交換してください。1 つずつ交換するより、交換処理の時間が短縮できます。

⚠注意

- インクが眼に入った場合、速やかに流水で洗い、異状のあるときは医師にご相談ください。
- インクを飲み込んだ場合、濃い食塩水を飲ませるなどして吐き出させ、医師にご相談ください。
- インクが皮膚に付いた場合は、すぐに水または石鹸水で洗い流してください。

- インクは子供の手の届かないところに保管してください。

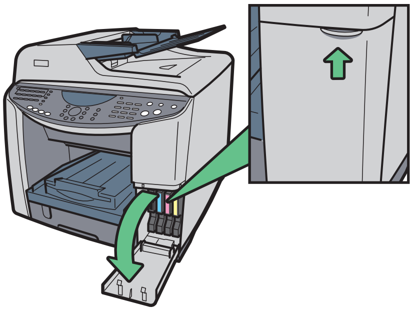
重要

- 用紙がつまっているときや、用紙なし／セット不良のエラーが発生しているときは、エラーを解除してから GX カートリッジを交換してください。
- セットするインク色を間違えないようにご注意ください。

1 新しい GX カートリッジを用意します。

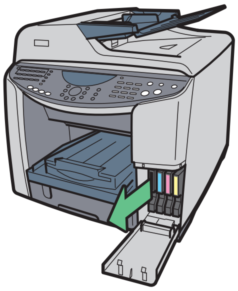
GX カートリッジのチップ部分には触らないようにしてください。

2 右前カバーを開けます。



AQR280S

3 インクがなくなった GX カートリッジを手前に引いて取り出します。

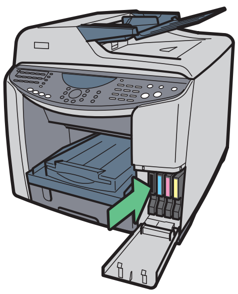


AQR050S

4 GX カートリッジの向きを確認し、軽く差し込みます。

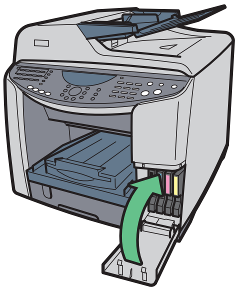
左から順にブラック、シアン、マゼンタ、イエローをセットします。

5 GX カートリッジのラベルにある「PUSH」部分を押し、確実に差し込みます。



AQR051S

6 右前カバーを閉じます。



AQR052S

参照

- 交換する GX カートリッジの商品名については、P.508「消耗品一覧」を参照してください。

交換時の注意事項

GX カートリッジを取り扱うときの注意事項を説明します。

⚠注意

	・インクが眼に入った場合、速やかに流水で洗い、異状のあるときは医師にご相談ください。 ・インクを飲み込んだ場合、濃い食塩水を飲ませるなどして吐き出させ、医師にご相談ください。 ・インクが皮膚に付いた場合は、すぐに水または石鹸水で洗い流してください。

	・インクは子供の手の届かないところに保管してください。

◆ GX カートリッジについて

- GX カートリッジは、リコー指定の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定の GX カートリッジをご使用ください。
- 本機を初めて使用するときは、付属の GX カートリッジをセットしてください。

◆ 使用上の注意事項

- GX カートリッジは箱に記された期限内に開封し、開封後は 6ヶ月以内に使い切ってください。
- 交換するまでは、GX カートリッジの袋を開封しないでください。
- GX カートリッジのインクの供給部分には触れないでください。
- GX カートリッジを強く振らないでください。中のインクが漏れ出す可能性があります。
- GX カートリッジは分解しないでください。
- 右前カバーは、GX カートリッジを交換するとき以外は開けないでください。交換中は電源をオフにしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- GX カートリッジをセットする前に、必ず色を確認してください。
- 一度セットした GX カートリッジは、むやみに取り外さないでください。
- 印刷中は、GX カートリッジを抜き差ししないでください。印刷が停止します。
- GX カートリッジを交換した後は、必ず右前カバーを閉じてください。
- 白黒印刷のみを実行している場合でも、メンテナンスで使用するため、カラーインクは消費されます。また［初期設定］タブにある［黒を CMYK4 色で印刷する］を設定して印刷する場合もカラーインクは消費されます。初期値は［黒を CMYK4 色で印刷する］です。
- 1 色でも GX カートリッジのインクがなくなると、本機の動作が停止します。たとえば、シアン、イエロー、マゼンタなどカラーの GX カートリッジのインクがなくなった場合でも、白黒印刷することはできません。

◆ 保管上の注意事項

- GX カートリッジの高温下または凍結状態での保存はさけてください。

◆ インクの消費について

- 各色のインクは印刷以外でも、電源オン時、ヘッドクリーニング時、ヘッドリフレッシング時、GX カートリッジセット時に消費されます。

◆ GX カートリッジの回収

- 弊社では、環境保全を経営の優先課題の一つとし、使用済み製品の回収・リサイクルを積極的に行っております。
  本 GX カートリッジは、弊社の使用済みカートリッジ回収の仕組みに基づく回収を行っておりますので、回収にご協力ください。

本機の操作ができないとき

本機の操作が思いどおりにできないときの対処方法について説明します。

電源が入らない

電源キーを押してもランプが点灯または点滅しない場合は、電源コードやコンセントに異常がないか確認します。

以下の項目を確認してください。

- 電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれているか確認してください。
- コンセントに異常がないか確認してください。正常に動作することがわかっている他の電気製品をコンセントに接続して確認できます。

上記にて解決しない場合は、本機をご使用にならず電源コードを抜いて、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。

画面に「* シバラクオマチクダサイ *」と表示されている

- [電源] キーを「On」にしたときに表示されます。しばらくしても本機が立ち上がらなかった場合は、サービス実施店に連絡してください。
- 長時間使用されなかった場合、印刷動作や、電源「On」の起動時に時間がかかることがあります。そのまましばらくお待ちください。

画面に「* パスワードガイッチシマセン *」と表示されている

[ユーザーセイゲン] のパスワードが間違っています。パスワードは控えを取るなどして忘れないようにしてください。万一、パスワードを忘れてしまった場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。

画面に「* シバラクオマチクダサイ * PC セツゾクチュウ オマチクダサイ」と表示されている

8

機器設定ユーティリティー、または Web Image Monitor から接続中です。

Web Image Monitor に管理者モードでログインすると、本機の操作部に表示されます。このメッセージが表示されている間は、本機の操作ができません。管理者モードでログインした場合は、設定を変更した後、忘れずにログアウトしてください。

電源は入るのに給紙しない

電源が入っていても印刷が始まらない場合は、本機のディスプレイ、またはステータスモニターでエラーが発生していないか確認してください。

- メッセージが表示されている
  エラーが発生しています。P.418 「操作部にメッセージが表示されたとき」
- ステータスモニターにエラーが表示されている
  ステータスモニター上の操作ガイドをクリックすると、そのエラーに該当するページが表示され、より詳しく対処方法を確認できます。P.435 「ステータスモニターのエラー表示」
- アラームランプが点灯している
  操作部にメッセージがされているときは、メッセージにしたがって対処してください。P.418 「操作部にメッセージが表示されたとき」

手差しトレイ（オプション）が選択できない

プリンタードライバー上で手差しトレイ（オプション）が認識されていません。プリンターのプロパティを開き、[オプション構成] タブをクリックします。[手差しトレイユニット] が装着されている状態になっているか確認してください。手差しトレイを再装着した場合、電源の入れ直しが必要になります。

給紙・排紙が正常に行われない

本機が作動しているのに用紙が給紙されない場合、用紙が何度もつまる場合は、本機や用紙の状態を確認します。

用紙がうまく給紙されない

- 用紙ガイドが合っていない
  給紙トレイの用紙ガイドが用紙に合っていません。用紙をセットしなおしてください。P.123 「用紙をセットする」
- 用紙が正しくセットされていない
  用紙が正しくセットされていません。始めから用紙をセットしなおしてください。P.123 「用紙をセットする」
- 用紙がカールしている
  セットしている用紙を取り出し、カールしていないか確認してください。カールしていた場合は、カールをなおしてください。
- 使用できない用紙をセットしている
  セットしている用紙を取り出し、使用できる用紙か確認してください。P.120 「使用できない用紙」

用紙が何度もつまる

- ガイド板が閉まっていない
  ガイド板がしっかりと閉まっているか確認してください。両面ユニットを取り外し、ガイド板の左右両端をカチッと音がするまで押さえてください。P.397 「ガイド板で用紙がつまったとき」
- 色の濃いデータを両面印刷している
  全画面をベタに塗りつぶしたような、インクを大量に消費するデータを印刷する場合は、片面印刷することをおすすめします。
- 一度印刷した用紙を使用している、または用紙が厚すぎるか、薄すぎます
  当社推奨の用紙を使用してください。一度コピーまたは印字された用紙は再使用しないでください。P.111 「使用できる用紙の種類」
- 用紙に湿気が含まれている
  適度な湿度、適度な温度で保管した用紙を使用してください。P.118 「用紙の種類ごとの注意」
- セットされている用紙が多すぎる
  給紙トレイ内または手差しトレイ（オプション）の用紙ガイドに示されている上限表示の線を越えないように用紙を入れてください。P.123 「用紙をセットする」

ADF で用紙が何度もつまる

ADF で用紙を送るときに、紙の送りが悪くなったり、紙づまりがひんぱんに起こる場合は、フリクションパッドが消耗している可能性があります。その場合はフリクションパッドを交換してください。
フリクションパッドについては、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。P.505 「お問い合わせ先のご案内」

用紙が一度に何枚も給紙される

用紙をセットしなおします。用紙を給紙トレイから取り出し、よくさばいてから机の上などの平らな面で用紙の端を整えてください。もう一度給紙トレイの用紙ガイドの位置を確認し、用紙をセットしなおしてください。

つまった用紙を取り除いたが、用紙が給紙されない

用紙がつまったときには、つまった用紙を取り除き、[Yes] キーを押してください。P.389 「用紙や原稿がつまったとき」

補足

- ステータスモニターにエラーが表示された場合は、対処方法にしたがってエラーを解除してください。P.435 「ステータスモニターのエラー表示」

用紙や原稿がつまったとき

用紙がつまった場合につまった用紙を取り除く方法について説明します。ステータスモニターに用紙ミスフィードが表示された場合は、そこで示された部位名称にしたがって用紙を取り除いてください。
用紙が見当たらない、また取り除きにくい場合は、スキャナーユニットを開けて用紙の状況を確認してください。

参照

- マルチ手差しフィーダー（オプション）の取り外し方については、P.34 「マルチ手差しフィーダー（オプション）の脱着」を参照してください。

給紙トレイで用紙がつまったとき（トレイ 1）

トレイ 1 でつまった用紙を取り除きます。

1 排紙トレイを持ち上げます。



AQR154S

2 トレイ 1 を引き出します。

トレイ 1 は本体から取り外せます。引き抜いたトレイを落とさないように注意してください。

3 つまった用紙を取り除きます。

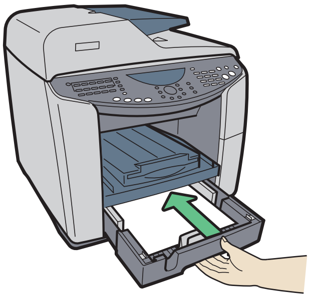


AQR053S

つまった用紙が取り除けない、取り除きにくい場合は、奥でつまっていることがあるので、のぞき込んで取り除いてください。
つまった用紙が見当たらない場合は、奥でつまっていることがあります。

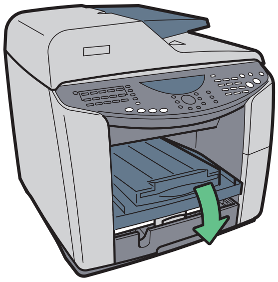
8

4 トレイ 1 を突き当たるまで静かに押し込みます。



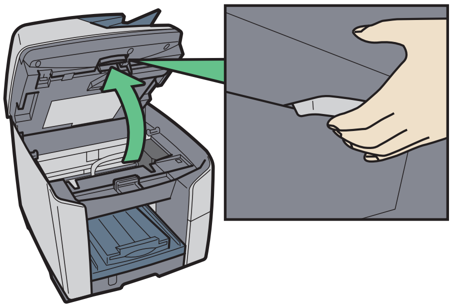
AQR042S

5 排紙トレイを下ろします。



AQR043S

6 スキャナーユニットを開け、再度閉じます。



AQR277S

印刷が始まります。
印刷を再開すると、何も印刷されていない白紙が排紙されることがあります。

補足

- 印刷を始める前に、必ず排紙トレイを下ろしてください。

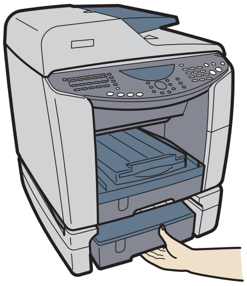
参照

- トレイ 1 でつまった用紙が見当らない場合は、P.397 「ガイド板で用紙がつまったとき」を参照してください。
- 繰り返し用紙がつまる場合は、P.387 「給紙・排紙が正常に行われない」を参照してください。

500 枚増設トレイで用紙がつまったとき（トレイ 2（オプション））

トレイ 2 でつまった用紙を取り除きます。

1. トレイ 2 の取っ手をつかんで引き出し、少し持ち上げてから手前に抜き出します。



AQR044S

トレイ 2 は本体から取り外せるようになっています。引き抜いたトレイ 2 を落とさないようにご注意ください。

2. つまった用紙を取り除きます。



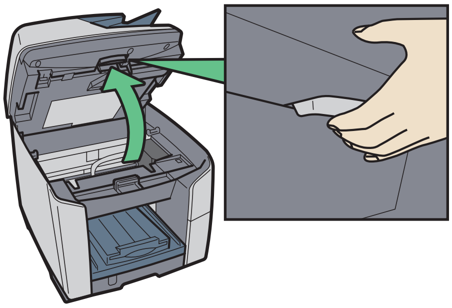
AQR366S

3. トレイ 2 を、突き当たるまで静かに押し込みます。



AQR047S

4 スキャナーユニットを開け、再度閉じます。



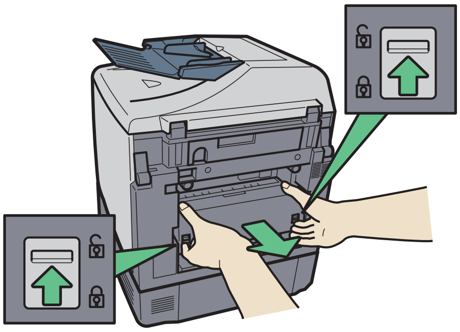
AQR277S

印刷が始まります。

印刷を再開すると、何も印刷されていない白紙が排紙されることがあります。

トレイ 2 につまった用紙が見当らない、取り除きにくい場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 両面ユニットをはずします。



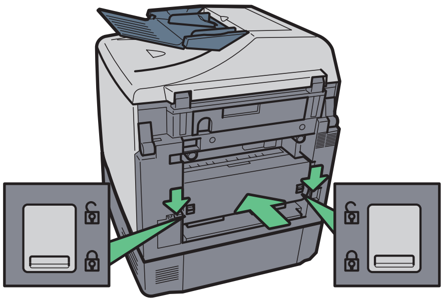
BGF007S

2 つまった用紙を取り除きます。



AQR055S

3 両面ユニットを取り付けます。



AQR405S

印刷が始まります。
印刷を再開すると、何も印刷されていない白紙が排紙されることがあります。

参照

- 繰り返し用紙がつまる場合は、P.387 「給紙・排紙が正常に行われない」を参照してください。

マルチ手差しフィーダー（オプション）で用紙がつまったとき

マルチ手差しフィーダーでつまった用紙を取り除きます。

1 用紙を取り除きます。



AQR056S

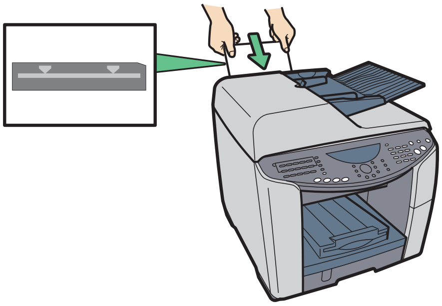
2 手差しトレイからつまった用紙を取り除きます。



AQR057S

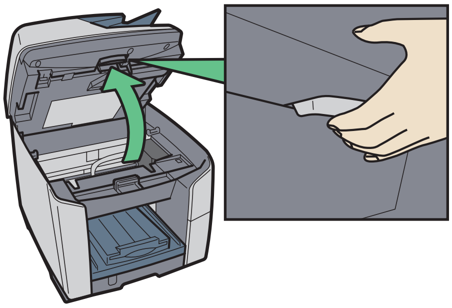
8

3 印刷する面を上にして、上限表示を超えないように手差しトレイに用紙をセットします。



AQR160S

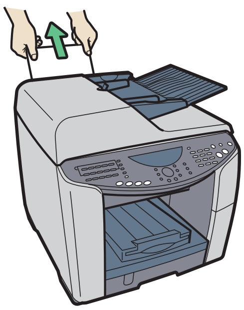
4 スキャナーユニットを開け、再度閉じます。



AQR277S

つまった用紙を手差しトレイから取り除きにくい場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

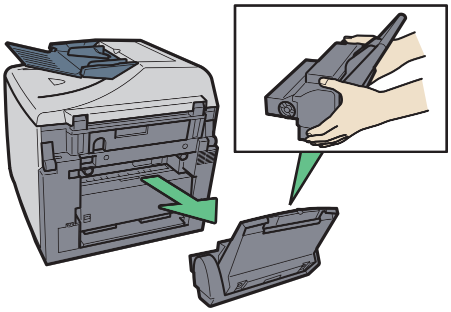
1 用紙を取り除きます。



AQR056S

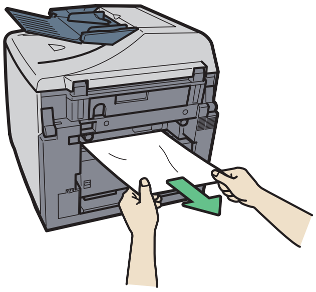
2 延長部をしまいます。

3 マルチ手差しフィーダーを取り外します。



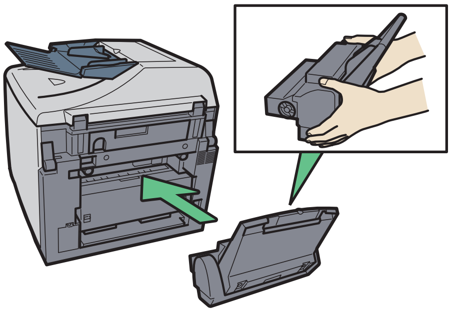
AQR278S

4 背面からつまった用紙を取り除きます。



AQR058S

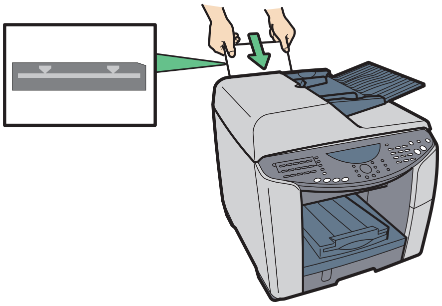
5 マルチ手差しフィーダーを取り付けます。



AQR362S

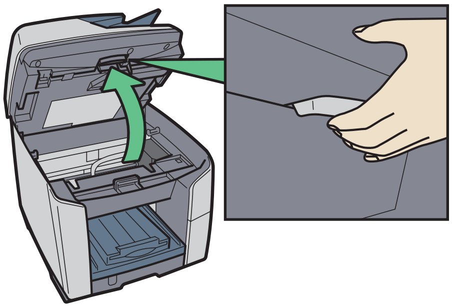
6 延長部を引き出します。

7 印刷する面を上にして、上限表示を超えないように手差しトレイに用紙をセットします。



AQR160S

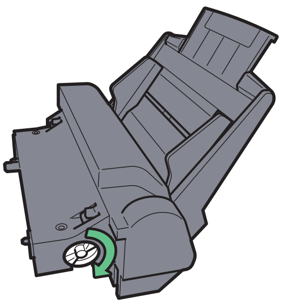
8 スキャナーユニットを開け、再度閉じます。



AQR277S

補足

- 上記の手順でも用紙を取り除きにくい場合は、マルチ手差しフィーダー側を確認してください。



AKR168S

- ダイヤルを時計回りに用紙が排紙されるまで回転させます。
- それでも用紙が排紙されない場合は、反時計方向に 1 回転させてから、再び時計回りに回転させて排紙させます。

参照

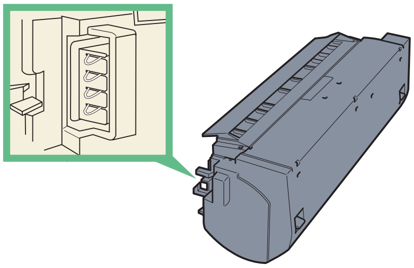
- 繰り返し用紙がつまる場合は、P.387 「給紙・排紙が正常に行われない」を参照してください。

ガイド板で用紙がつまったとき

ガイド板でつまった用紙を取り除きます。

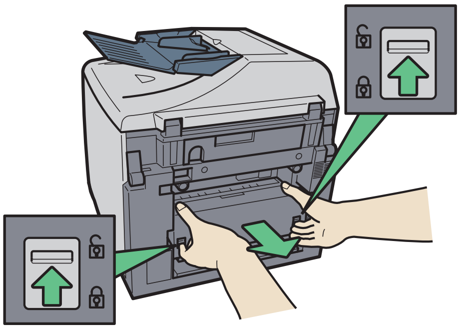
重要

- マルチ手差しフィーダー（オプション）を取り付けているときは、マルチ手差しフィーダー（オプション）を取り外してください。
- 両面ユニットを取り外す際には、両面ユニットの金属端子の部分に触れたり、物をぶつけたりしないように注意してください。



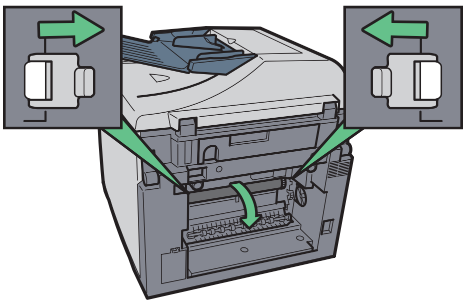
BBF007S

1 背面の両面ユニットの左右 2 カ所にある両面ユニット脱着用レバーを押し上げ、両面ユニットを取り外します。



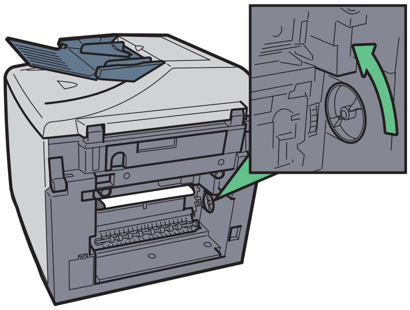
BGF007S

2 ガイド板の左右のツメを内側にスライドさせて、ガイド板を開けます。



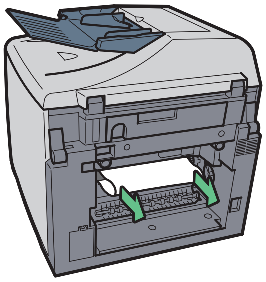
AQR063S

3 用紙送りダイヤルを回して用紙を搬送ベルトから浮かせます。



AQR064S

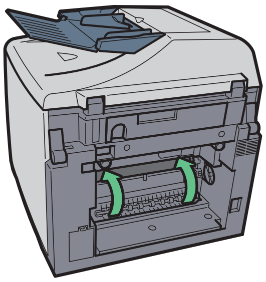
4 用紙と搬送ベルトの間に指を入れ、ゆっくりとつまった用紙を取り除きます。



AQR065S

搬送ベルトには手を触れないでください。

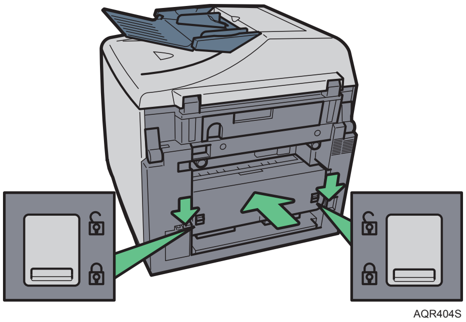
5 ガイド板を閉じます。



AQR066S

ガイド板左右の「PUSH」を押して、確実に閉じます。

6 両面ユニットを元の位置に取り付け、左右の両面ユニット脱着用レバーを下げます。



7 両面ユニットの脱着用レバーをロックします。

マルチ手差しフィーダー（オプション）を取り付けているときは、本体にマルチ手差しフィーダー（オプション）を取り付けます。
印刷が始まります。

補足

- 用紙のつまりかたによっては、つまったページからではなく、その次のページから印刷を再開することがあります。

参照

- 繰り返し用紙がつまる場合は、P.387「給紙・排紙が正常に行われない」を参照してください。
- マルチ手差しフィーダーの取り付け/取り外し方法については、P.34「マルチ手差しフィーダー（オプション）の脱着」を参照してください。

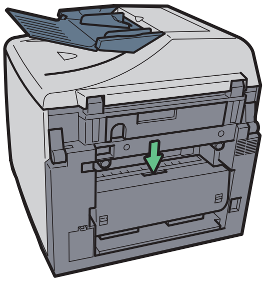
両面ユニットで用紙がつまったとき

両面ユニットでつまった用紙を取り除きます。

重要

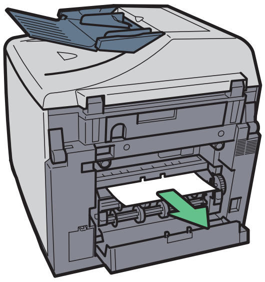
- マルチ手差しフィーダー（オプション）を取り付けているときは、マルチ手差しフィーダー（オプション）を取り外してください。

1 両面ユニットカバーの中央にある両面ユニットカバー開閉ボタンを押し、両面ユニットカバーを開けます。



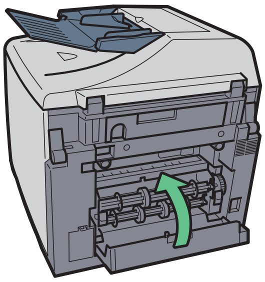
AQR068S

2 つまった用紙を取り除きます。



AQR069S

3 両面ユニットカバーを閉じます。



AQR070S

マルチ手差しフィーダー（オプション）を取り付けているときは、本体にマルチ手差しフィーダー（オプション）を取り付けます。

印刷が始まります。

8

補足

- 用紙のつまりかたによっては、つまったページからではなく、その次のページから印刷を再開することがあります。

参照

- マルチ手差しフィーダーの取り付け/取り外し方法については、P.34「マルチ手差しフィーダー（オプション）の脱着」を参照してください。

排紙トレイやスキャナーユニットで用紙がつまったとき

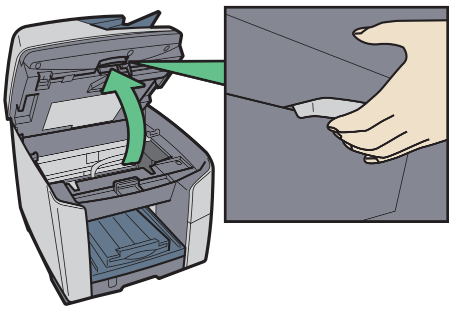
排紙トレイ、またはスキャナーユニットでつまった用紙を取り除きます。

1 排紙トレイからつまった用紙を取り除きます。



AQR071S

2 スキャナーユニットを開け、再度閉じます。



AQR277S

印刷が始まります。

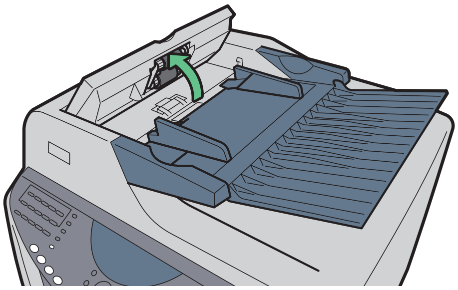
補足

- 用紙のつまりかたによっては、つまったページからではなく、その次のページから印刷を再開することがあります。

ADF で原稿がつまったとき

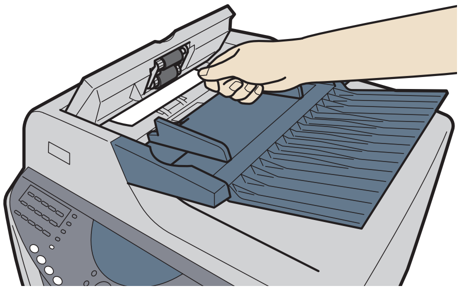
ADF につまった原稿を取り除きます。

1 ADF カバーを開けます。



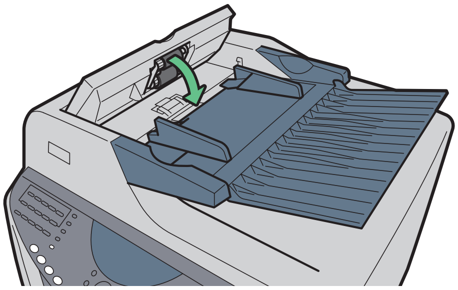
AQR072S

2 原稿を取り除きます。



AQR073S

3 ADF カバーを閉めます。



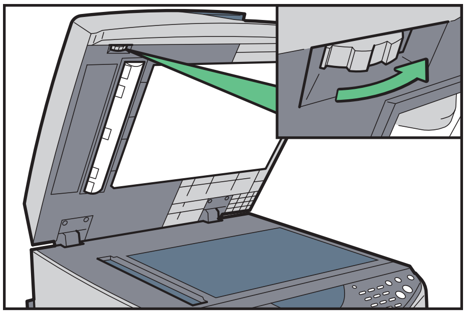
AQR074S

印刷が始まります。

8

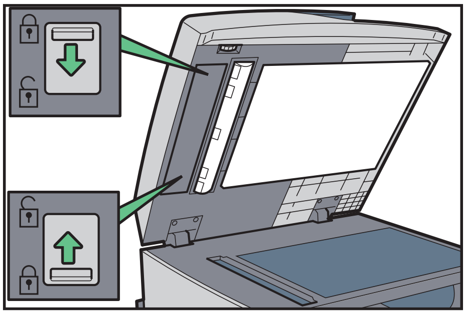
補足

- 用紙を取り除いた後、操作部の画面に「ADF ニゲンコウヲ XX マイモドシ Yes キーヲオシテクダサイ」と表示されます。表示された枚数の原稿をもどして［Yes］キーを押して読み取りを再開してください。
- 上記の手順でも用紙を取り除きにくい場合は、ADF を開けて、ダイヤルを矢印の方向に用紙が排紙されるまで回転させます。



AQR221S

- ADF 内部につまった小さな紙片を取り除く場合は、ADF 後ろ側にあるロックを解除してから、カバーを開けて取り除いてください。



AQQ108S

8

プリンター機能がうまく使えないとき

プリンター機能がうまく使えないときの対処方法について説明します。

思いどおりにプリンター機能が使えないとき

パソコンから印刷を実行しても印刷が始まらない場合は、次の説明にしたがって対処してください。

印刷が始まらない

- 電源が入っていません。
  本機の電源が入っているか、または入るかどうか確認してください。
- 本機の電源を入れてからインターフェースケーブルを接続しました。
  インターフェースケーブルを接続してから本機の電源を入れてください。
- 適切なインターフェースケーブルを使用していません。
  使用するインターフェースケーブルはパソコンの種類によって異なります。適切なインターフェースケーブルを使用してください。また、断線が考えられる場合は、ほかのケーブルと交換してみてください。

エラーが発生する

印刷するとエラーが発生する場合は、パソコンの設定やプリンタードライバーの設定を変更することで、エラーを回避できる場合があります。
以下の項目を確認してください。

- プリンターアイコン名が全角 16 文字、半角で 32 文字以内か確認してください。プリンターアイコン名が全角 16 文字、半角で 32 文字以上の場合は、超えないように設定してください。
- プリンタードライバーのインストール時に、その他のアプリケーションソフトが起動していないか確認してください。
  その他のアプリケーションソフトをすべて終了してください。その他のアプリケーションソフトを開いていると、インストールの動作が妨げられることがあります。また常駐しているアプリケーションソフトも終了させてください。
- プリンタードライバーの設定を確認してください。
  [印刷品質-ユーザー設定] タブにある [その他] タブの [特定アプリケーションのイメージデータ処理を変更する] にチェックをつけてください。P.227「イメージデータの処理方式を変更する」
- 最新のプリンタードライバーを使用しているか確認してください。
  最新のプリンタードライバーを使用していない場合は、プリンタードライバーをバージョンアップしてください。P.530「プリンタードライバーのバージョンアップ」

印刷の指示をしてから 1 枚目の印刷が始まるまで時間がかかる

- 写真やグラフを多用したデータなど、データの量や種類によってはパソコンの処理に時間がかかる場合があります。
  データインランプが点滅していれば、本機にデータは届いています。そのまましばらくお待ちください。プリンタードライバーで次の設定をするとパソコンの負担が軽減することがあります。
  プリンタードライバーの［基本］タブの［印刷品質］を「はやい」にしてください。
- 省エネモードになっている可能性があります。
  省エネモードになっていると、ウォームアップをするため、印刷を開始するまで時間がかかります。省エネモードは、[システムショキセッテイ] の [ショウエネモードイコウジカン] で設定できます。P.132 「省エネモード移行時間(ショウエネモードイコウジカン)」

Windows 98/Me プリンター共有時の注意事項

Windows 98/Me に本機を接続して、プリントサーバーとして共有を行った場合、クライアント側のプリンタードライバーのインストールに失敗する事があります。
その場合は、プリントサーバー、クライアントの双方に、下記の設定を行ってください。

発生現象の詳細

クライアント PC で、プリンターの共有名が正しく表示されず、印刷を行うとエラーメッ セージが表示されて印刷されません。

プリントサーバーの設定

プリントサーバーのプリンタアイコンからプリンタプロパティを開き、[全般] タブの「コメント」を削除してください。
プリントサーバーの設定で回避できない場合は、下記の設定をお試しください。

1) ［共有］タブの「共有名」を、7 文字以下にしてください。
2) ［共有］タブの「コメント」を、削除してください。
3) サーバー側のマシン名（PC 名）を、7 文字以下にしてください。

クライアント PC の復帰手順

1) クライアント PC のプリンタードライバーを削除して、Windows を再起動してくださ い。
2) プリントサーバーで「プリントサーバーの設定」の設定をしてください。
3) クライアント PC にプリンタードライバーを再インストールしてください。

印刷結果がおかしいとき

印刷が汚れる、かすれるなど印刷の品質に問題がある場合は、まず本機の状態を確認し、その後、プリンタードライバーの設定の確認をしてください。

本機の状態を確認する

「ノズルチェック」テストパターンは印刷できましたか？

以下の手順で「ノズルチェック」テストパターンを印刷し、印刷結果によりヘッドクリーニングやヘッドリフレッシングを行ってください。

1) ノズルチェックテストパターン印刷を実行します。
2) 印刷結果が正常でない場合はヘッドクリーニングを実行後、ノズルチェックテストパターン印刷を実行し、印刷結果を確認します。
3) 本機を約 5〜10 分間放置後、再度、ノズルチェックテストパターン印刷を実行し、印刷結果を確認します。
4) ヘッドクリーニングを実行後、ノズルチェックテストパターン印刷を実行する手順を 2 回繰り返し、印刷結果を確認します。
5) それでも印刷結果が正常でない場合は、ヘッドリフレッシングを実行後、ノズルチェックテストパターン印刷を実行し、印刷結果を確認します。
6) 本機を約 5〜10 分間放置後、ノズルチェックテストパターン印刷を実行し、印刷結果を確認します。
7) 以上の手順を実施しても正しい印刷結果が得られない場合は、本機の電源をオフにして約 8 時間放置後、ノズルチェックテストパターン印刷を実行、印刷結果を確認します。

これらの手順を行っても解決しない場合はサービス実施店へ連絡してください。

P.193 「ノズルチェック」、P.194 「ヘッドクリーニング」、P.196 「ヘッドリフレッシング」

封筒・標準切替レバーの設定は合っていますか？

用紙の種類によって、封筒・標準切替レバーを設定してください。封筒へ印刷するときは✉側（奥側）に、それ以外の用紙へ印刷するときは🗋側（手前側）にします。P.221 「用紙の種類に応じた印刷方法」

長期間本機を使わないでいましたか？

プリントヘッドでノズル抜けが発生することがあります。「ノズルチェック」テストパターンを印刷し、必要に応じてヘッドクリーニングを行ってください。
P.193 「ノズルチェック」、P.194 「ヘッドクリーニング」、P.504 「長期間使用しないとき」

封筒・標準切替レバーの位置を変更しましたか？

用紙の厚さによっては、封筒・標準切替レバーを変更すると、画像がぼやけたり、二重線が出る場合があります。このような場合には、ヘッド位置調整を行ってください。または、プリンタードライバーにて［片方向印刷に固定する］をチェックしてください。（［片方向印刷に固定する］をチェックすると印刷速度が遅くなる場合があります。）

8

ヘッド位置調整を行いましたか？

画像がぼやけたり二重線が出る場合は、ヘッド位置調整を行ってください。それでもなおらない場合は、「ノズルチェック」テストパターンを印刷し、必要に応じてヘッドクリーニングを行ってください。P.197 「ヘッド位置調整」、P.193 「ノズルチェック」、P.194 「ヘッドクリーニング」

本機の設置環境に問題はありませんか？

本機が水平に置かれているか確認してください。ぐらつきやすかったり、無理な力が加わったりしない場所に設置してください。

古くなった GX カートリッジを使っていませんか？

GX カートリッジは使用期限内に開封して、開封後は 6ヶ月以内に使い切るようにしてください。P.384 「交換時の注意事項」

用紙種類の設定は合っていますか？

セットした用紙の種類とプリンタードライバーで設定した用紙種類が合っているか確認してください。P.221 「用紙の種類に応じた印刷方法」

用紙の裏表は合っていますか？

専用紙に印刷する場合は印刷面を確認してください。印刷面でない面に印刷した場合は、印刷の品質が低下し、本体の内部が汚れる可能性があります。P.116 「用紙に関する注意」

厚すぎるまたは薄すぎる用紙を使っていませんか？

使用できる用紙を確認してください。極端に厚い用紙や薄い用紙を使うと、プリントヘッドがこすれたり、インクがあふれたりします。P.111 「使用できる用紙の種類」

用紙の印刷面に触れていませんか？

用紙の印刷面には手を触れないようにしてください。特に印刷直後の専用 OHP シート、光沢紙はインクが乾燥するまで時間がかかります。印刷面に触れないように排紙トレイから一枚ずつ取り出し、十分乾かしてください。P.116 「用紙に関する注意」

用紙は正しい向きでセットされていますか？

サイズにより、縦方向にはセットできない用紙があります。用紙のセット方向を確認してください。P.112 「セットできる用紙サイズと枚数」

純正の GX カートリッジを使っていますか？

当社純正以外の GX カートリッジを使用したり、カートリッジにインクを補充して使用すると、印刷品質が低下したり、故障の原因になります。リコー指定の純正 GX カートリッジをお使いください。P.508 「消耗品一覧」

色の濃いデータを両面印刷していませんか？

全画面をベタに塗りつぶしたような、インクを大量に消費するデータを印刷する場合は、片面印刷することをおすすめします。

印刷した面のインクは乾燥していますか？

印刷した直後には印刷面には手を触れないようにしてください。特に専用光沢紙、専用の OHP フィルムはインクが乾燥するまで時間がかかります。印刷面に触れないように本体トレイから 1 枚ずつ取り出し、十分乾かしてください。P.116 「用紙に関する注意」

プリンタードライバーの設定を変える

プリンタードライバーの設定を変えることで、トラブルを解決できる場合があります。

特定のデータ、特定のアプリケーションで正常に印刷できない・イメージグラフィックデータが正常に印刷できない

[印刷品質] グループで [きれい] に設定して印刷してください。

[印刷品質-ユーザー設定] ダイアログにある [画質調整] タブの [ディザリング設定] の [誤差拡散を使用する] をオフにしてください。P.226 「誤差拡散を使用する」

[初期設定] タブにある [スプール形式 :] を [RAW スプール]、または [EMF スプール] に変更してください。

[印刷品質-ユーザー設定] ダイアログにある [画質調整] タブの [イメージ印刷方式] の [写真・イメージ画像を補正する]、[低解像度画像を補正する] をオフにしてください。P.226 「デジタルカメラで撮影した写真の色合いを補正する」、P.226 「低解像度の画像をなめらかに印刷する」

[印刷品質-ユーザー設定] ダイアログにある [その他] タブの [イメージデータに変換して印刷する] をオンにしてください。P.227 「ページ全体をイメージデータとして印刷する」

[初期設定] タブの [普通紙印刷濃度] を [濃い]、または [淡い] に設定して印刷してください。

[印刷品質-ユーザー設定] ダイアログにある [画質調整] タブの [グレー印刷方式] を任意の設定に変更してください。

一部の文字が化けてしまう・一部の文字が抜けてしまう

[印刷品質-ユーザー設定] ダイアログにある [その他] タブの [TrueType フォントの展開処理を変更する] をオンにしてください。P.227 「TrueType フォントの展開処理を変更する」

[初期設定]タブにある[スプール形式 :]を[EMF スプール]に変更してください。

[印刷品質-ユーザー設定] ダイアログにある [その他] タブの [イメージデータに変換して印刷する] をオンにしてください。P.227 「ページ全体をイメージデータとして印刷する」

一部の文字が薄い・一部の文字が印刷されない

[印刷品質] グループで [きれい] に設定して印刷してください。

[印刷品質-ユーザー設定] ダイアログにある [画質調整] タブの [ディザリング設定] の [誤差拡散を使用する] をオフにしてください。P.226 「誤差拡散を使用する」

[初期設定] タブにある [スプール形式 :] を [RAW スプール]、または [EMF スプール] に変更してください。

[初期設定] タブにある [文字サイズに応じて文字を太くする] をオンにしてください。

[印刷品質-ユーザー設定] ダイアログにある [画質調整] タブの [グレー印刷方式] を任意の設定に変更してください。

黒の文字を印刷している場合は、[印刷品質-ユーザー設定] ダイアログにある [画質調整] タブの [文字を黒で印刷する] をオンにしてください。

印刷スピードやアプリケーションソフトの開放が遅い

[印刷品質] グループで [はやい]、または [高速] に設定して印刷してください。
[初期設定]タブにある[スプール形式 :]を[EMF スプール]に変更してください。
[印刷品質-ユーザー設定] ダイアログにある [画質調整] タブの [イメージ印刷方式] の [写真・イメージ画像を補正する]、[低解像度画像を補正する] をオフにしてください。P.226 「デジタルカメラで撮影した写真の色合いを補正する」
常駐しているアプリケーションソフトを終了させてください。

印刷が途中で終了してしまう

エラーが発生していないか、ステータスモニターを確認してください。
印刷面に印刷されている用紙や、パンチがされている用紙を印刷する場合は、[初期設定] タブにある [印刷済み紙 / パンチ済み紙を使用する] をオンにしてください。P.435 「ステータスモニターのエラー表示」

ハガキソフトで往復ハガキの両面印刷を行うと片面が 90 度回転して印刷されてしまう

プリンターの [プロパティ] の [応用設定] タブの [往復ハガキ印刷右 90 度回転] をオンにしてください。

封筒・標準切り替えレバーの状態に応じて印刷モードを自動的に切り替えたい

[初期設定] タブの [レバーが封筒位置のとき片方向印刷に固定する] をオンにすることにより、レバーが封筒位置に設定されている場合は片方向印刷になります。

両面印刷時のインクの汚れを防ぎたい

[初期設定] タブにある [両面乾燥待ち時間設定] ダイアログの乾燥待ち時間を変更してください。

色が画面と異なる

印刷された結果と画面の表示で、色に差がある場合の確認事項を説明します。

色合いの差を調整しましたか？

画面と印刷では発色の方法が異なるため、色合いに差が出ます。カラーマッチング機能を使用して、画面の表示と印刷の色合いを近づけてください。P.226 「カラーマッチングのパターンを変更する」

ノズルチェックを行いましたか？

プリントヘッドにてノズル抜けが発生し、インクの量が調節できていない可能性があります。「ノズルチェック」テストパターンを印刷し、必要に応じてヘッドクリーニングを行ってください。P.193 「ノズルチェック」、P.194 「ヘッドクリーニング」

白黒で印刷していませんか？

アプリケーションのカラーの設定、プリンタードライバーの印刷カラーの設定を確認してください。P.226 「白黒で印刷する」

印刷品質の設定を行いましたか？

[印刷品質] グループで [きれい] または [はやい] に設定して印刷してください。

用紙種類の設定は合っていますか？

セットした用紙の種類とプリンタードライバーで設定した用紙種類が合っているか確認してください。P.221 「用紙の種類に応じた印刷方法」

専用紙に印刷してみましたか？

専用紙に印刷してみてください。印刷結果がより鮮明になります。P.221 「用紙の種類に応じた印刷方法」

双方向通信は働いていますか？

双方向通信が働いていない場合、画面と印刷で色合いに差が出ることがあります。双方向通信を確立してください。P.218 「双方向通信が働かないとき」

参照

- ［双方向通信］の各項目については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

位置が画面と異なる

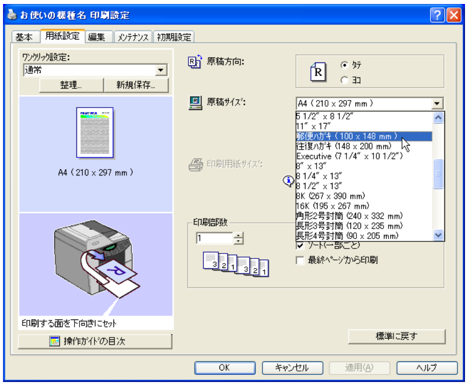
印刷された結果と画面の表示で、印刷の位置に差がある場合の確認事項を説明します。

ページレイアウト設定を行いましたか？

アプリケーションでページレイアウト設定をしているか確認してください。

用紙サイズの設定は合っていますか？

セットした用紙のサイズとプリンタードライバーで設定した［印刷用紙サイズ］ボックスの設定が合っているか確認してください。



封筒・標準切替レバーの設定は合っていますか？

用紙の種類によって、封筒・標準切替レバーを設定してください。封筒へ印刷するときは✉側（奥側）に、それ以外の用紙へ印刷するときは□側（手前側）にします。P.221 「用紙の種類に応じた印刷方法」

線や文字がぶれる場合は、ヘッド位置調整を行ってください。

ヘッド位置調整を行いましたか？

線や文字がぶれる場合は、ヘッド位置調整を行ってください。それでもなおらない場合は、「ノズルチェック」テストパターンを印刷し、必要に応じてヘッドクリーニングを行ってください。P.197「ヘッド位置調整」、P.193「ノズルチェック」、P.194 「ヘッドクリーニング」

印刷領域の設定を変更してみましたか？

プリンタードライバーの［印刷領域］の設定を変更することで、改善される場合があります。［初期設定］タブにある［印刷領域］を［最大］、または［RPDL互換］に変更してください。

印刷品質の設定を変更してみましたか？

[印刷品質］グループで［片方向印刷に固定する］をオンにしてください。ただし、この設定を行った場合は印刷時間がかかるようになります。

とじしろの設定は合っていますか？

[編集］タブの［ヘッダー / 印刷位置調整 / とじしろ］ダイアログにある［印刷位置の調整］を任意の設定に変更してください。

郵便ハガキに印刷する際の注意事項

郵便ハガキに印刷した場合、一定間隔で白スジが発生することがあります。このような場合、ノズルチェックテストパターンを印刷して、ノズル抜けが発生していないか確認してください。ノズル抜けが発生していないときは用紙送り量調整を設定します。

重要

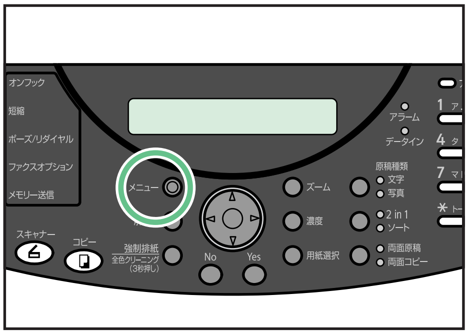
- 郵便ハガキの印刷が終了したら、手順 8 に従い、用紙送り量調整を元に戻してください。

ノズル抜けの出力イメージ



AZG019S

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

2 [▲］または［▼］キーを押して、「メンテナンス」を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
メンテナンス?                    ▲
 OK=Yes / マタハ 1-9             ▼
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、「ヨウシオクリチョウセイ」を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
5 ヨウシオクリチョウセイ?
 OK=Yes
```

4 [◀] または [▶] キーを押して、「チョウセイ ジッコウ」を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
 *チョウセイ ジッコウ
 ◀,▶ & Yes
```

5 [▲] または [▼] キーを押して、−2 を選択し、[Yes] キーを押します。

```
チョウセイチ=−2        ▲
 OK=Yes              ▼
```

6 [No] キーを押して、設定中止の確認画面が表示されたら [Yes] キーを押します。

```
カイジョ?
 Yes / ケイゾク=No
```

メンテナンス画面が表示されます。

7 [No] キーを押します。

通常の画面が表示されます。

8 郵便ハガキに印刷を行ないます。

9 郵便ハガキへの印刷が終了したら、用紙送り量調整を元の値に戻します。

手順 *1* に戻り，手順 *5* にて−2 の代わりに+2 を設定します。

```
チョウセイチ=+2        ▲
 OK=Yes              ▼
```

10 [No] キーを押して、設定中止の確認画面が表示されたら [Yes] キーを押します。

```
カイジョ?
 Yes / ケイゾク=No
```

メンテナンス画面が表示されます。

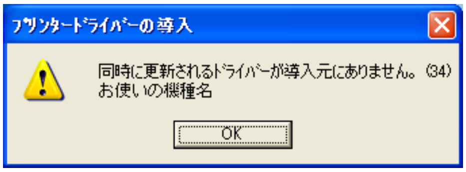
11 [No] キーを押します。

通常の画面が表示されます。

8

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたときの操作方法に関する説明です。



- 上記のような（34）のメッセージ、または（14）のメッセージが表示されたときは、オートランプログラムによるインストールはできません。一度プリンタードライバーをアンインストールしてから、インストールしなおしてください。

また "おすすめインストール (USB 接続用)" からプリンタードライバーのインストールに失敗する場合は、パソコンに接続している本機以外の USB 機器をはずしてください。

コピー機能がうまく使えないとき

コピー機能に関するトラブルの原因と対処方法を説明します。

思いどおりにコピーできないとき

思いどおりのコピー結果が得られないときの原因と対処方法を説明します。

画像がグレーにつぶれてコピーされる / 地に文字が浮き出てコピーされる

不正コピー抑止印刷された文書をコピーしています。

原稿を確認してください。P.232 「文書の複製（不正コピー）を抑止する」

順番どおりにコピーされない

原稿をセットする順番が間違っています。

ADF に原稿をセットするとき、原稿の先頭ページが一番上になるようにセットして、［コピーショキセッテイ］の［インサツメンシタムキハイシ］を［スル］に、または［ハイシジュン］を［サイゴカラサイショヘ］に設定してください。

白紙でコピーされる

原稿のセット面が間違っています。

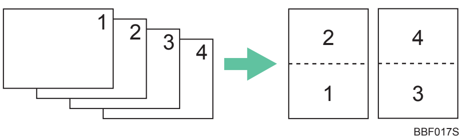
原稿ガラスにセットするときはコピーする面を下に、ADF にセットするときはコピーする面を上にします。P.239 「原稿をセットする」

集約時、順番どおりにコピーされない

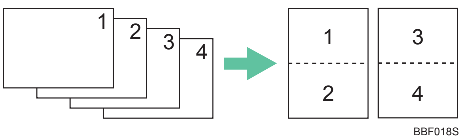
集約時に原稿が順番どおりにコピーされない場合、［コピー初期設定］の［ゲンコウヒラキホウコウ］と［ゲンコウホウコウ］の設定を変更ください。

P.144 「コピー機能の設定をする」
P.244 「自動両面原稿送り装置（ADF）にセットする」

［ゲンコウヒラキホウコウ］を［サユウヒラキ］で［ゲンコウホウコウ］を［タテ］に設定して集約した場合



［ゲンコウヒラキホウコウ］を［サユウヒラキ］で［ゲンコウホウコウ］を［ヨコ］に設定しなおして集約した場合



印刷結果がおかしいとき

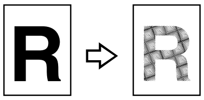
コピーがきれいにとれないときの原因と対処方法を説明します。

原稿が印画紙写真（プリント／現像された写真）のとき、黒い斑点がコピーされる

湿度が高く、印画紙写真が原稿ガラスに貼りついています。以下のどちらかの方法で、印画紙写真をセットしなおしてください。

- OHP フィルムを原稿ガラスに置き、その上に印画紙写真をセットする。
- 原稿ガラスにセットした印画紙写真の上に白紙を 2、3 枚重ねる。このときは、ADF は閉じないでください。

モアレが発生している



モアレは画像を処理するときに規則正しく配列された網点、または線が重なりあって発生します。

原稿モードが、写真モードの場合は、文字 / 写真モードに、文字 / 写真モードの場合は、写真モードに変更するとモアレを防げることがあります。

原稿にないものがコピーされる

原稿ガラス、読み取りガラス、または ADF が汚れています。

原稿ガラス、読み取りガラス、または ADF を清掃してください。P.497 「清掃するとき」

地肌が汚れている

- コピー濃度が濃く設定されています。
  コピー濃度を調整してください。P.266 「コピー濃度調整」
- コピーした面のインクが乾燥していません。
  コピーした直後には印刷面には手を触れないようにしてください。特に専用光沢紙、専用の OHP フィルムはインクが乾燥するまで時間がかかります。印刷面に触れないように本体トレイから 1 枚ずつ取り出し、十分乾かしてください。P.116 「用紙に関する注意」

集約時、画像が欠ける、または余白ができる

原稿サイズと拡大／縮小率と用紙の組み合わせが間違っています。

用紙指定変倍すると原稿とコピーする用紙に合った倍率でコピーします。（変倍率を選択してから集約を設定し、コピーすることもできます。）

拡大コピーした画像の上辺と右辺のふちに黒い線が入る

小さい用紙サイズの原稿を拡大コピーして上辺と右辺のふちに黒い線が入る場合は、原稿ガラスへの用紙セット時に、A4 または Letter 等の白紙を原稿に被せてコピーを行ってください。

8

スキャナー機能がうまく使えないとき

スキャナー機能がうまく使えないときの原因と対処方法について説明します。

思いどおりにスキャナー機能が使えないとき

思いどおりに読み取れないときの原因と対処方法について説明します。

読み取りが始まらない

ADF、または ADF カバーが開いています。

ADF、またはADFカバーが開いているときは、ADFからの読み取りができません。ADF、または ADF カバーを閉じてください。

読み取ったイメージが汚れる

原稿ガラス、読み取りガラス、または ADF が汚れています。

原稿ガラス、読み取りガラス、または ADF を清掃してください。P.497 「清掃するとき」

イメージがゆがむ、ずれる

- 読み取り中に原稿が動きました。
  読み取り中は原稿を動かさないでください。
- 原稿が原稿ガラスから浮き上がりました。
  原稿を原稿ガラスに十分押し当ててください。

イメージの上下が逆に読み取られる

原稿が上下逆にセットされました。

原稿の向きを正しくセットしてください。P.239 「原稿をセットする」

イメージが読み取られない

原稿の表と裏が逆にセットされました。

原稿ガラスにセットするときは、読み取りたい面を下に向け、ADF にセットするときは、読み取りたい面を上に向けてください。P.239 「原稿をセットする」

印刷すると画像が切れてしまう

ネットワークスキャナー（Scan to E-mail、Scan to FTP）で取得した画像をプリンタードライバーの［原稿サイズと同じ］で指定して印刷すると不定形サイズとして認識される場合があります。

その場合は、［印刷用紙サイズ］で用紙サイズを指定するか、［A4 より大きいサイズを A4 に自動縮小する］にチェックを入れて印刷してください。

ファクス機能がうまく使えないとき

ファクス機能がうまく使えないときの原因と対処方法について説明します。

思いどおりにファクス機能が使えないとき

思いどおりに送信・受信できないときの原因と対処方法を説明します。

送信できるが受信できない

- 操作部に表示されている GX カートリッジ内のインクがなくなっています。
  GX カートリッジを交換してください。P.379 「GX カートリッジを交換する」
- 接続した電話回線の種別が間違っています。
  設定を確認してください。P.106 「電話回線の種別を設定する」

受信した文書が用紙に印刷されない

- 用紙切れなどの理由で印刷できない状態になっています。
  用紙を補給してください。P.123 「用紙をセットする」
- 用紙サイズが適切ではありません。
  トレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。
- 用紙種類が適切ではありません。
  種類は「普通紙」または「ハイグレード普通紙」を設定してください。

原稿にないものが送信または印刷される

原稿ガラス、読み取りガラス、または ADF が汚れています。

- 汚れている部分を清掃してください。P.497 「清掃するとき」
- 修正液やインクなどが完全に乾いた原稿をセットしてください。P.116 「用紙に関する注意」

白紙で送信される

原稿をセットする方向が間違っています。
正しくセットしなおしてください。P.239 「原稿をセットする」

送信・受信ともにできない

電話線が外れている可能性があります。
電話線の接続を確認してください。P.98 「電話線を接続する」

印刷結果がおかしいとき

受信したファクス文書がうまく印刷されないときの原因と対処方法を説明しています。

受信紙の白い地肌部分が黒っぽく汚れる / 原稿の裏面の画像が透ける

印刷の濃度が濃く設定されています。
濃度を薄く設定してください。P.348 「原稿の読み取り条件を指定する」

操作部にメッセージが表示されたとき

各機能別に操作部の画面に表示されるおもなエラーメッセージの原因と対処方法について説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

参照

- P.418 「プリンター機能使用中に表示されるメッセージ」
- P.421 「コピー機能使用中に表示されるメッセージ」
- P.424 「スキャナー機能使用中に表示されるメッセージ」
- P.429 「ファクス機能使用中に表示されるメッセージ」

プリンター機能使用中に表示されるメッセージ

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

PC: インクコウカン (KCMY)/*PC: インサツデキマス *

インクが残り少なくなりました。
カートリッジを交換してください。P.379 「GX カートリッジを交換する」

インサツチュウ

印刷実行中です。

インクカイシュウユニットガミセット / カイシュウユニットヲ　サイセット

インク回収ユニットが正しくセットされていません。
インク回収ユニットを正しくセットしてください。P.452 「セット不良（インク回収ユニット）」

インクカイシュウユニットマンパイ / インクカイシュウユニットコウカン

インク回収ユニットが満杯です。
インク回収ユニットを交換してください。インク回収ユニットの交換はサービス実施店に連絡してください。P.505 「お問い合わせ先のご案内」

（KCMY）インクエンド / （KCMY）インクコウカン

操作部に表示されている色の GX カートリッジがなくなりました。
操作部に表示されている色のカートリッジを交換してください。P.379「GX カートリッジを交換する」

オンドイジョウ：オマチクダサイ

起動時の温度が異常です。
P.453 「使用可能温度範囲外」

カイシュウユニットマモナクマンパイ

インク回収ユニットがもうすぐ満杯です。
インク回収ユニットを交換してください。P.505 「お問い合わせ先のご案内」

ガイドバンガアイテイマス / ガイドバンヲシメテクダサイ

ガイド板が開いています。
ガイド板を閉めてください。

ケイコク　ヨウシナシ / ヨウシホキュウ

指定されたトレイ（1、2）の用紙がなくなりました。
指定されたトレイ（1、2）に用紙をセットしてください。P.436 「用紙なし／セット不良（トレイ 1）」、P.437「用紙なし／セット不良（トレイ 2）（オプション）」

（KCMY）カートリッジナシ

GX カートリッジが未セットです。
カートリッジを正しくセットしてください。P.448 「カバーオープン／セット不良（GX カートリッジ）」

（KCMY）シヨウズミカートリッジ

使用済みの GX カートリッジがセットされました。
印刷できませんので、新しい GX カートリッジに交換してください。

コウオン

本体内部の温度が高すぎるため、印刷ができません。
P.453 「使用可能温度範囲外」

システムエラー

何らかの原因で本機にエラーが発生しています。一度、電源をオフにしてから再度、オンにしてください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。P.505 「お問い合わせ先のご案内」

スキャナーマタハ リョウメン / ユニットヲセットシナオシテクダサイ

スキャナーユニットが正しくセットされていません。
スキャナーユニットをセットしなおしてください。P.447 「カバーオープン」
両面ユニットがセットされていません。
両面ユニットをセットしなおしてください。P.449「セット不良（両面ユニット）」

テイオン

本体内部の温度が低すぎるため、印刷ができません。
P.453 「使用可能温度範囲外」

テサシトレイガ セットサレテイマセン

手差しトレイが正しくセットされていません。
手差しトレイをセットしなおしてください。
P.34 「マルチ手差しフィーダー（オプション）の脱着」

ヒジュンセイヒン カートリッジ

純正でないカートリッジがセットされました。
当社純正以外の GX カートリッジを使用したり、カートリッジにインクを補充して使用すると、印刷品質が低下したり、故障の原因になります。
リコー指定の純正 GX カートリッジをお使いください。
P.508 「消耗品一覧」

マモナク コウカン /ADF ブヒン

ADF 内にある部品の交換が必要です。そのまま使い続けると、原稿が一度に何枚も送られたり、紙づまりの原因となります。このメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。

ミギマエカバーガアイテイマス / ミギマエカバーヲシメテクダサイ

右前カバーが開いています。右前カバーを閉めてください。P.448 「カバーオープン／セット不良（GX カートリッジ）」

メモリー ガ イッパイデス

メモリーが一杯になりました。
印刷が中止されます。部数を減らしてから印刷をしなおしてください。

メンテナンスチュウ

ヘッドクリーニングやヘッドリフレッシングをしています。

ヨウシサイズエラー / ヨウシヲセットシナオシテクダサイ

セットした用紙サイズが本機の［ヨウシセッテイ］で設定した用紙サイズと異なります。
適切な用紙をセットしなおしてください。
P.138 「トレイや用紙の設定をする」を参照してください。

ヨウシサイズヲ カクニン

正しい用紙サイズがトレイにセットされているか確認してください。

ヨウシタイプ エラー

用紙種類が合っていません。
正しい種類の用紙をトレイにセットしてください。

ヨウシミスフィード：トレイ 1 / ヨウシヲトリノゾイテクダサイ

トレイ 1 で紙づまり、または用紙の不送りが発生しました。
トレイ 1 の用紙を取り除いてから、[Yes］キーを押してください。P.389 「給紙トレイで用紙がつまったとき（トレイ 1)」

8

ヨウシミスフィード : トレイ 2/ ヨウシヲトリノゾイテクダサイ

トレイ 2（オプション）で紙づまり、または用紙の不送りが発生しました。
トレイ 2（オプション）の用紙を取り除いてから、[Yes］キーを押してください。P.391 「500 枚増設トレイで用紙がつまったとき（トレイ 2（オプション))」

ヨウシミスフィード : テサシトレイ /Yes キーヲオシテクダサイ

手差しトレイ（オプション）で紙づまり、または用紙の不送りが発生しました。
手差しトレイ（オプション）の用紙を取り除いてから、[Yes］キーを押してください。P.393「マルチ手差しフィーダー（オプション）で用紙がつまったとき」

ヨウシミスフィード : ガイドバン / ヨウシヲトリノゾイテクダサイ

ガイド板内で紙づまり、または用紙の不送りが発生しました。
ガイド板内の用紙を取り除いてください。P.397 「ガイド板で用紙がつまったとき」

ヨウシミスフィード : リョウメンユニット / ヨウシヲトリノゾイテクダサイ

両面ユニット内で紙づまり、または用紙の不送りが発生しました。
両面ユニット内の用紙を取り除いてください。P.400 「両面ユニットで用紙がつまったとき」

ヨウシミスフィード : スキャナーユニット / ヨウシヲトリノゾイテクダサイ

スキャナーユニット内で紙づまり、または用紙の不送りが発生しました。
スキャナーユニット内の用紙を取り除いてください。

ヨウシホキュウ　ケイゾク=キョウセイハイシキー / テキセツナヨウシガアリマセン

用紙種類、または用紙サイズが異なります。適切な用紙をセットし、[強制排紙 / 全色クリーニング]キーを押してください。データを取り消すときは[クリア / ストップ]キーを押してください。
P.439 「用紙サイズ・用紙種類エラー(トレイ 1)」
P.441 「用紙サイズ・用紙種類エラー(トレイ 2)」
P.443「用紙サイズ・用紙種類エラー(マルチ手差しフィーダー)(オプション)」
P.445 「用紙サイズ・用紙種類エラー(自動トレイ選択時)」

リョウメンユニットガミセットデス / ユニットヲセットシナオシテクダサイ

両面ユニットがセットされていません。
両面ユニットをセットしなおしてください。P.449「セット不良(両面ユニット)」

リョウメンカバーガアイテイマス / リョウメンカバーヲシメテクダサイ

両面ユニットのカバーが開いています。
両面ユニットのカバーを閉めてください。P.447 「カバーオープン」

コピー機能使用中に表示されるメッセージ

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

ADF ガアイテイマス /ADF カバーヲシメテクダサイ

ADF カバーが開いています。
ADF に原稿をセットしてコピーするときに、ADF カバーが開いているとコピーできません。閉じていることを確認してください。

ADF ガアイテイマス /ADF ヲシメテクダサイ

ADF が完全に閉じていません。
ADFに原稿をセットしてコピーするときに、ADFが少しでも開いているとコピーできません。
閉じていることを確認してください。

ADF カラ ゲンコウヲ ジョキョ

原稿ガラスに原稿がセットされていません。
固定変倍、ポスターコピー、リピートコピー機能を使用するときは、原稿ガラスに原稿をセットしてください。
P.252 「拡大・縮小コピーをとる」、P.264 「ポスター」、P.263 「リピート」

ADF ニ ゲンコウヲ セット X マイ モドシ Yes キーヲ オシテクダサイ

原稿の読み取りができませんでした。
画面に表示されている枚数分だけ ADF に再セットしてください。

ADF ニ ゲンコウヲ セット

ADF に原稿がセットされていません。
集約コピー、ソートコピー、両面原稿をコピーするときは、ADF に原稿をセットしてください。
P.256 「集約コピーのとりかた」、P.250 「コピー書類をソートする」、P.259 「両面コピーのとりかた」

インク（KCMY）/ ナシ

インクが残り少なくなりました。

GX カートリッジを交換してください。GX カートリッジを交換しても表示が消えない場合は、右前カバーの開閉を行ってください。P.379 「GX カートリッジを交換する」.

（KCMY）インクエンド /（KCMY）インクコウカン

操作部に表示されている GX カートリッジ内のインクが完全になくなりました。GX カートリッジを交換してください。印刷中にインクが完全になくなったときは、インクカートリッジを交換することで、中断した印刷を途中から再開することができます。P.379 「GX カートリッジを交換する」.

（KCMY）シヨウズミカートリッジ

使用済みの GX カートリッジがセットされました。

印刷できませんので、新しい GX カートリッジに交換してください。

インクカイシュウユニットガミセット / インクカイシュウユニットヲセット

インク回収ユニットが正しくセットされていません。

インク回収ユニットを正しくセットしてください。P.452 「セット不良（インク回収ユニット）」

インクカイシュウユニットマンパイ / インクカイシュウユニットコウカン

インク回収ユニットが満杯です。

インク回収ユニットを交換してください。P.505 「お問い合わせ先のご案内」

カイシュウユニットマモナクマンパイ

インク回収ユニットがもうすぐ満杯です。

インク回収ユニットを交換してください。P.505 「お問い合わせ先のご案内」

ガイドバンガアイテイマス / ガイドバンヲシメテクダサイ

ガイド板が開いています。

ガイド板を閉めてください。

ゲンコウミスフィード /ADF カバーヲアケテクダサイ

ADF で紙づまりが発生しています。

- 紙づまりを起こした原稿を取り除いてください。ミスフィードした場合は、原稿を元にもどしてください。
- 使用している原稿が本機で読み取り可能なものか確認してください。
- ADF カバーの開閉をおこなってください。
  P.402 「ADF で原稿がつまったとき」、P.111 「使用できる用紙の種類」

システム エラー

何らかの原因で本機にエラーが発生しています。一度、電源をオフにしてから再度、オンにしてください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。P.505 「お問い合わせ先のご案内」

スキャナーマタハ リョウメン / ユニットヲセットシナオシテクダサイ

スキャナーユニットが正しくセットされていません。
スキャナーユニットをセットしなおしてください。P.447 「カバーオープン」
両面ユニットがセットされていません。
両面ユニットをセットしなおしてください。P.449「セット不良(両面ユニット)」

ナイブユニット マモナク マンパイ

内部ユニットがもうすぐ満杯になります。
サービス実施店に連絡してください。P.505 「お問い合わせ先のご案内」

ファクスエラー

ファクス用の用紙トレイに受信できる用紙サイズ・用紙種類がセットされていないため、ファクス文書が出力できません。
ファクス用の用紙トレイに正しい用紙サイズ・用紙種類をセットしてください。対応している用紙サイズは A4、Letter、Legal です。対応している用紙種類はハイグレード普通紙、普通紙です。
ファクス用に用紙トレイを設定する場合は、[メニュー] にある [ジュシンセッテイ] の [ファクスユウセントレイ] で設定してください。詳しくは P.173 「受信機能の設定をする」を参照してください。
用紙サイズ・用紙種類の設定については、P.138 「トレイや用紙の設定をする」を参照してください。

メモリー ガ イッパイデス

ソートコピー中に、メモリーが一杯になりました。
いままで読み取った原稿は消去されます。原稿枚数を減らしてからソートコピーをしなおしてください。

ヨウシミスフィード:トレイ 1 / ヨウシヲトリノゾイテクダサイ

トレイ 1 で紙づまり、または用紙の不送りが発生しました。
トレイ 1 の用紙を取り除いてから、[Yes] キーを押してください。P.389 「給紙トレイで用紙がつまったとき(トレイ 1)」

ヨウシミスフィード : トレイ 2/ ヨウシヲトリノゾイテクダサイ

トレイ 2(オプション)で紙づまり、または用紙の不送りが発生しました。
トレイ 2(オプション)の用紙を取り除いてから、[Yes] キーを押してください。P.391 「500 枚増設トレイで用紙がつまったとき(トレイ 2(オプション))」

ヨウシミスフィード : テサシトレイ /Yes キーヲオシテクダサイ

手差しトレイ(オプション)で紙づまり、または用紙の不送りが発生しました。
手差しトレイ(オプション)の用紙を取り除いてから、[Yes] キーを押してください。P.393「マルチ手差しフィーダー(オプション)で用紙がつまったとき」

ヨウシミスフィード : ガイドバン / ヨウシヲトリノゾイテクダサイ

ガイド板内で紙づまり、または用紙の不送りが発生しました。
ガイド板内の用紙を取り除いてください。P.397 「ガイド板で用紙がつまったとき」

ヨウシミスフィード : リョウメンユニット / ヨウシヲトリノゾイテクダサイ

両面ユニット内で紙づまり、または用紙の不送りが発生しました。
両面ユニット内の用紙を取り除いてください。P.400 「両面ユニットで用紙がつまったとき」

ヨウシミスフィード : スキャナーユニット / ヨウシヲトリノゾイテクダサイ

スキャナーユニット内で紙づまり、または用紙の不送りが発生しました。
スキャナーユニット内の用紙を取り除いてください。

ヨウシサイズエラー / ヨウシヲセットシナオシテクダサイ

セットした用紙サイズが本機の［ヨウシセッテイ］で設定した用紙サイズと異なります。
適切な用紙をセットしなおしてください。P.138 「トレイや用紙の設定をする」

ヨウシナシ / ヨウシホキュウ

指定されたトレイ#(1、2）の用紙がなくなりました。
指定されたトレイ#(1、2）に用紙をセットしてください。または、［強制排紙 / 全色クリーニング］キーを押し、ほかの用紙がセットされているトレイを指定して印刷してください。データを取り消すときは［クリア / ストップ］キーを押してください。P.436 「用紙なし／セット不良（トレイ 1)」、P.437 「用紙なし／セット不良（トレイ 2)（オプション)」

リョウメンカバーガアイテイマス / リョウメンカバーヲシメテクダサイ

両面ユニットのカバーが開いています。
両面ユニットのカバーを閉めてください。P.447 「カバーオープン」

リョウメンユニットガミセットデス / ユニットヲセットシナオシテクダサイ

両面ユニットがセットされていません。
両面ユニットをセットしなおしてください。P.449「セット不良(両面ユニット)」

リョウメンヨミトリ フカサイズデス

両面読み取りできないサイズの原稿がセットされました。
何かキーを押してジョブをキャンセルしてください。

8

スキャナー機能使用中に表示されるメッセージ

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

参照

- P.427 「操作部の画面にエラーメッセージが表示されたとき」
- P.425 「TWAIN スキャナー使用中に本機の操作部に表示されるメッセージ」
- P.426 「TWAIN スキャナー使用中にクライアントコンピューターに表示されるメッセージ」

TWAIN スキャナー使用中に本機の操作部に表示されるメッセージ

TWAIN スキャナーを使用しているとき、本機の操作部に表示されるおもなエラーメッセージの原因と対処方法です。

ADF ニ ゲンコウヲ セット

ADF に原稿がセットされていません。
ADF に原稿をセットしてください。

ADF ガアイテイマス /ADF カバーヲシメテクダサイ

ADF カバーが開いています。
ADFに原稿をセットしてスキャンするときに、ADFカバーが開いているとスキャンできません。閉じていることを確認してください。

***PC カラ　ヨミトリ ***

PC から TWAIN スキャナーを使用されています。
TWAIN スキャナーの使用が終わってから操作してください。

PC ニセツゾクデキマセンデシタ

USB ケーブルが適切に接続されていません。
電源をオフにしてから、USB ケーブルが適切に接続されているか確認してください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。P.505 「お問い合わせ先のご案内」

ゲンコウミスフィード /ADF カバーヲアケテクダサイ

ADF で紙づまりが発生しています。

- 紙づまりを起こした原稿を取り除いてください。ミスフィードした場合は、原稿を元にもどしてください。P.402 「ADF で原稿がつまったとき」
- 使用している原稿が本機で読み取り可能なものか確認してください。P.285 「原稿をセットする（スキャナー）」

システム　エラー

何らかの原因で本機にエラーが発生しています。一度、電源をオフにしてから再度、オンにしてください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。P.505 「お問い合わせ先のご案内」

リョウメンヨミトリ フカサイズデス

両面読み取りできないサイズの原稿がセットされました。
何かキーを押してジョブをキャンセルしてください。

8

TWAIN スキャナー使用中にクライアントコンピューターに表示されるメッセージ

TWAIN スキャナーを使用しているとき、クライアントコンピューターに表示されるおもなエラーメッセージの原因と対処方法です。

ADF 読み取りモードは、「1200 × 1200 dpi」をサポートしていません。

- 原稿ガラスにセットして原稿を読み取ってください。
- 読み取りモードと解像度を変更して読み取ってください。P.301 「原稿種類を設定する」、P.301 「解像度を設定する」

ADF 読み取りモードは、「不定形サイズ」をサポートしていません。

- 原稿ガラスにセットして原稿を読み取ってください。
- 原稿サイズを変更して読み取ってください。P.302 「読み取りサイズを設定する」

スキャナーは使用中です。

本機がコピーなどのスキャナー以外の機能で使用されています。
しばらく待ってから接続しなおしてください。

スキャナーの準備ができていません。

クライアント PC、または本機にエラーが起きている可能性があります。
電源をオフにしてから、USB ケーブルが適切に接続されているか確認してください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。

データの読み込みに失敗しました。

8

クライアント PC が本機にあるデータの読み取りに失敗しました。
電源をオフにしてから、USB ケーブルが適切に接続されているか確認してください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。
ウィルス対策のソフトのファイアウォール機能が妨害している可能性があります。
ウィルス対策ソフトの設定で、「パーソナルファイアウォール」を無効に設定し、再度スキャンを実行してください。

プレスキャンは、ADF 読み取りモード時には選択できません。

- 原稿ガラスにセットして原稿を読み取ってください。
- そのまま直接原稿を読み取ってください。

メモリーが不足しています。

スキャナーのメモリーが足りません。
- 解像度を下げてください。P.301 「解像度を設定する」

操作部の画面にエラーメッセージが表示されたとき

本機の操作部に表示されるおもなエラーメッセージの原因と対処方法です。

ADF ガアイテイマス /ADF カバーヲシメテクダサイ

原稿を ADF にセットしたときに、ADF カバーが開いていると表示されます。
ADF カバーを閉めてください。

ADF ガアイテイマス /ADF ヲシメテクダサイ

ADF が完全に閉じていません。
ADF に原稿をセットしてスキャンするときに、ADF が少しでも開いているとスキャンできません。
閉じていることを確認してください。

***FTP サーバ エラー ***

本機から送信したデータが FTP サーバーに保存されていません。
本機の管理者に確認してください。

***IP アドレスノ シュトクシッパイ ***

DNS サーバーから IP アドレスを取得できません。
本機の管理者に確認してください。

（KCMY）シヨウズミカートリッジ

使用済みの GX カートリッジがセットされました。
印刷できませんので、新しい GX カートリッジに交換してください。

ゲンコウミスフィード /ADF カバーヲアケテクダサイ

ADF で紙づまりが発生しています。

- 原稿を取り除き、再度セットしてください。P.402「ADF で原稿がつまったとき」
- 使用している原稿が本機で読み取り可能なものか確認してください。P.111「使用できる用紙の種類」

*** サーバメモリー フル ***

メール送信中に、SMTP サーバーのメールサイズ容量が一杯になりました。

システムエラー

何らかの原因で本機にエラーが発生しています。一度、電源をオフにしてから再度、オンにしてください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。P.505「お問い合わせ先のご案内」

*** ジョブ ガ トリケサレマシタ ***

追加原稿をセットするまでに何も操作しないまま 1 分間放置すると時間切れとなり、ジョブがキャンセルされます。

*** セツゾク デキマセン ***

SMTP、DNS、または FTP サーバーに接続できない状態にあります。
本機の管理者に確認してください。

*** セッション タイムアウト ***

LDAP サーバーへの検索時間が切れました。
[ケンサクタイムアウト] で制限時間を設定してください。
P.180 「LDAP サーバーを使うには」

*** ツウシン エラー ***

送信中、または受信中にサーバーとの接続が切断されました。
本機の管理者に確認してください。

*** パスワード ガイッチシマセン ***

FTP サーバーに接続するためのパスワードが違います。
パスワードは控えを取るなどして、忘れないようにしてください。

ファクスエラー

ファクス用の用紙トレイに受信できる用紙サイズ・用紙種類がセットされていないため、ファクス文書が出力できません。
ファクス用の用紙トレイに正しい用紙サイズ・用紙種類をセットしてください。対応している用紙サイズは A4、Letter、Legal です。対応している用紙種類はハイグレード普通紙、普通紙です。
ファクス用に用紙トレイを設定する場合は、[メニュー] にある [ジュシンセッテイ] の [ファクスユウセントレイ] で設定してください。詳しくは P.173 「受信機能の設定をする」を参照してください。
用紙サイズ・用紙種類の設定については、P.138 「トレイや用紙の設定をする」を参照してください。

*** ネットワークセッテイ ミカンリョウ ***

ネットワーク設定が完了していません。
- オプションのネットワークボードが正しく装着されているか確認してください。
- [ネットワークセッテイ] の設定をしてください。P.179 「ネットワーク設定」
- [SMTP セッテイ] の SMTP サーバー名を設定してください。P.182 「インターネットファクス・メール送信機能を使うには（SMTP 設定）」

*** ミトウロクデス ***

ワンタッチキー、または [短縮] キーに宛先が登録されていません。
ワンタッチキー、[短縮] キーに宛先を登録すると簡単に送信操作が行えます。
P.148 「ワンタッチキーについて」、P.158 「短縮ダイヤルについて」

*** メールアドレスデハ アリマセン ***

ワンタッチキー、または [短縮] キーに e-mail アドレスが登録されていません。
ワンタッチキー、[短縮] キーに宛先を登録すると簡単に送信操作が行えます。
P.148 「ワンタッチキーについて」、P.158 「短縮ダイヤルについて」

メモリー ガ イッパイデス

原稿の読み取り中にメモリーが一杯になりました。
いままで読み取った原稿は消去されます。
- 読み取りサイズを設定しなおしてください。P.301 「原稿種類を設定する」
- 解像度を下げてください。P.301 「解像度を設定する」

ヨミトリメモリーガ イッパイデス

原稿の読み取り中にメモリーに蓄積できるファイル数を超えました。
原稿の枚数を減らしてください。

リョウメンヨミトリ フカサイズデス

両面読み取りできないサイズの原稿がセットされました。
何かキーを押してジョブをキャンセルしてください。

ファクス機能使用中に表示されるメッセージ

おもなメッセージについて説明します。その他のメッセージが表示されたときは、メッセージにしたがって対処してください。

参照

- P.433 「インターネットファクス使用中に本機の操作部に表示されるメッセージ」
- P.429 「ファクス使用中に本機の操作部に表示されるメッセージ」

ファクス使用中に本機の操作部に表示されるメッセージ

ファクス機能を使用しているとき、本機の操作部に表示されるおもなエラーメッセージの原因と対処方法です。

(KCMY) カートリッジナシ

GX カートリッジが未セットです。
カートリッジを正しくセットしてください。
P.448 「カバーオープン/セット不良 (GX カートリッジ)」

(KCMY) シヨウズミカートリッジ

使用済みの GX カートリッジがセットされました。
印刷できませんので、新しい GX カートリッジに交換してください。

ADF ガアイテイマス /ADF カバーヲシメテクダサイ

ADF カバーが開いています。
ADF に原稿をセットしてファクス送信するときに、ADF カバーが開いていると読み取りが開始されません。閉じていることを確認してください。通信がキャンセルされたときはエラーレポートが出力されます。

ADF ガアイテイマス /ADF ヲシメテクダサイ

ADF カバーが完全に閉じていません。
ADF に原稿をセットするときは、ADF が少しでも開いていると読み取りが開始されません。閉じていることを確認してください。通信がキャンセルされたときはエラーレポートが出力されます。

***SUB マタハ SID エラー ***

「SUB」または、「SID」機能を使って直接送信するとき、相手先のファクスに指定したコードが設定されていないと表示されます。エラーレポートが出力されます。

*** アテサキガ イッパイデス ***

一度にまとめて指定できる宛先の上限を超えています。
同報送信、またはポーリング受信で一度にまとめて宛先に指定できる件数は最大 124 件までです。

8

*** アテサキガ チョウフクシテイマス ***

ワンタッチキー、または、[短縮]キーに同じ宛先を登録したときに表示されます。

(KCMY) インクエンド / (KCMY) インクコウカン

操作部に表示されているGXカートリッジ内のインクが完全になくなりました。GXカートリッジを交換してください。印刷中にインクが完全になくなったときは、インクカートリッジを交換することで、中断した印刷を途中から再開することができます。

インクカイシュウユニットガミセット / カイシュウユニットヲ　サイセット

インク回収ユニットが正しくセットされていません。

インク回収ユニットを正しくセットしてください。P.452「セット不良(インク回収ユニット)」

インクカイシュウユニットマンパイ / インクカイシュウユニットコウカン

インク回収ユニットが満杯です。

インク回収ユニットを交換してください。P.505「お問い合わせ先のご案内」

カイセンガイジョウデス / カイセンヲカクニンシテクダサイ

回線が使用中、応答しない、または電話線が外れているなどの理由で、送信できません。

- しばらくしてから送信 / 受信しなおしてください。
- 電話線がちゃんと接続されていることを確認し、しばらくしてから送信しなおしてください。P.98「電話線を接続する」

ガイドバンガアイテイマス / ガイドバンヲシメテクダサイ

ガイド板が開いています。

ガイド板を閉めてください。

ゲンコウミスフィード /ADF カバーヲアケテクダサイ

ADFで紙づまりが発生しています。

- 紙づまりを起こした原稿を取り除いてください。ミスフィードした場合は、原稿を元にもどしてください。P.402「ADFで原稿がつまったとき」
- 使用している原稿が本機で読み取り可能なものか確認してください。P.111「使用できる用紙の種類」
- ADFカバーの開閉を行ってください。

*** サイソウシンスベテシッパイ ***

回線が使用中、応答しない、または電話線が外れているなどの理由で、リダイヤルでの送信に失敗しました。エラーレポートが出力されます。

- しばらくしてから送信 / 受信しなおしてください。
- 電話線が確実に接続されているか確認してください。P.98「電話線を接続する」

*** ジュワキヲ オイテクダサイ ***

外付け電話機の受話器が上がったままの状態になっています。

使用後は受話器をもどしてください。

システムエラー

何らかの原因で本機にエラーが発生しています。一度、電源をオフにしてから再度、オンにしてください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。P.505「お問い合わせ先のご案内」

*** スウジガ ムコウデス ***

入力した日時は設定できません。

スキャナーマタハ リョウメン / ユニットヲセットシナオシテクダサイ

スキャナーユニットが正しくセットされていません。
スキャナーユニットをセットしなおしてください。P.447「カバーオープン」
両面ユニットがセットされていません。
両面ユニットをセットしなおしてください。P.449「セット不良（両面ユニット）」

*** チョクセツ ニュウリョク / アテサキハ 10 ケン マデデス ***

アドレスを直接入力する場合は、10 件までです。

*** チュウケイ キノウ ナシ ***

中継依頼送信時に、指定した中継局に同報送信機能がないと表示されます。通信管理レポートが出力されます。

*** ツウシン エラー ***

通信先のエラー、またはプロトコルのエラーにより通信が中断されました。エラーレポートが出力されます。
本機の管理者に確認してください。

テキセツナ ヨウシガ アリマセン

適切な用紙がセットされていません。
受信した文書を印刷するには A4 の用紙をトレイ 1 にセットしてください。

テサシトレイガ セットサレテイマセン

手差しトレイが正しくセットされていません。
手差しトレイがをセットしなおしてください。
P.34「マルチ手差しフィーダー（オプション）の脱着」

トウロクサレテイマス グループ

中継依頼送信の宛先に、グループダイヤルが選択されています。
グループダイヤルを宛先から解除してください。

*** ファクスバンゴウデハアリマセン ***

中継依頼送信とポーリング受信を行うとき、宛先にメールアドレスを選択しました。
ファクス番号を選択してください。

*** フセイナ ID バンゴウ デス ***

中継依頼送信する文書、または F コードがついた文書をポーリング受信するとき、相手先に指定したコードが設定されていないと表示されます。エラーレポートが出力されます。

8

*** ポーリング RX ブンショ ナシ ***

相手先にポーリング文書がないときに、ポーリング受信を行うと表示されます。エラーレポートが出力されます。

ミギマエカバーガアイテイマス / ミギマエカバーヲシメテクダサイ

右前カバーが開いています。右前カバーを閉めてください。P.448 「カバーオープン／セット不良（GX カートリッジ)」

*** ミトウロクデス ***

何も登録されていないワンタッチキー、または［短縮］キーを押したときに表示されます。

ワンタッチキー、短縮ダイヤルに宛先を登録すると簡単にファクス送信できます。P.148「ワンタッチキーについて」、P.162「登録した短縮ダイヤルを変更する」

*** メモリーフル / ジュシンキャンセル ***

メモリー容量が足りないため、ファクス受信できません。また、メモリーの容量が足りない状態で、何も操作しない状態が 1 分間続くと表示されます。

解像度を設定しなおしてください。P.348 「原稿の読み取り条件を指定する」

*** メモリーフル / ソウシンキャンセル ***

メモリー容量が足りないため、ファクス送信できません。エラーレポートが出力されます。

・解像度を設定しなおしてください。P.348 「原稿の読み取り条件を指定する」

・原稿の枚数を減らしてください。

ヨウシミスフィード / スキャナユニットヲアケテクダサイ

本体内部で紙づまりが発生しています。

用紙を取り除いてください。

ヨウシナシ / ヨウシホキュウ

指定されたトレイ#(1、2）の用紙がなくなりました。

指定されたトレイ#(1、2）に用紙をセットしてください。P.123 「用紙をセットする」

ヨウシサイズエラー / ヨウシヲセットシナオシテクダサイ

トレイにある用紙がファクス文書を印刷するためのサイズと異なっています。

トレイ 1 に A4 サイズの用紙をセットしてください。P.123「用紙をセットする」

リョウメンカバーガアイテイマス / リョウメンカバーヲシメテクダサイ

両面ユニットのカバーが開いています。

両面ユニットのカバーを閉めてください。P.447 「カバーオープン」

リョウメンユニットガミセットデス / ユニットヲセットシナオシテクダサイ

両面ユニットがセットされていません。

両面ユニットをセットしなおしてください。P.449「セット不良（両面ユニット)」

8

インターネットファクス使用中に本機の操作部に表示されるメッセージ

インターネットファクスを使用しているとき、本機の操作部に表示されるおもなエラーメッセージの原因と対処方法です。

***IP アドレスノ シュトクシッパイ ***

DNS サーバーから IP アドレスを取得できません。
本機の管理者に確認してください。

システム エラー

何らかの原因で本機にエラーが発生しています。一度、電源をオフにしてから再度、オンにしてください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。エラー解除後に、エラーレポートが出力されます。P.505 「お問い合わせ先のご案内」

*** セツゾク デキマセン ***

SMTP、または DNS サーバーに接続できない状態にあります。
本機の管理者に確認してください。

*** スウジガ ムコウデス ***

入力したアドレスは設定できません。

*** ツウシン エラー ***

送信中、または受信中にサーバーとの接続が切断されました。
本機の管理者に確認してください。

*** サーバメモリー フル ***

メール送信中に、SMTP サーバーのメールサイズ容量が一杯になりました。

*** セッション タイムアウト ***

LDAP サーバーへの検索時間が切れました。
［ケンサクタイムアウト］で制限時間を設定してください。
P.180 「LDAP サーバーを使うには」

*** セツゾクシッパイ ***

SMTP、または POP3 サーバーとの接続が中断されました。
本機の管理者に確認してください。

＊ネットワークセッテイ ミカンリョウ＊

設定が間違っています。

- 送信の操作中に表示されたときは、［ネットワークセッテイ］と［SMTP セッテイ］の設定を確認してください。
- 受信の操作中に表示されたときは、［ネットワークセッテイ］と［POP3 セッテイ］の設定を確認してください。

P.179 「ネットワーク設定」

*** パスワード ガ イッチシマセン ***

POP3 サーバーに接続するためのパスワードが違います。
パスワードは控えを取るなどして、忘れないようにしてください。

＊フセイデータヲ ジュシンシマシタ＊

本機では印刷できない種類のデータを受信しました。

メモリー ガ イッパイデス

ファクス送信中、または受信中にメモリーが一杯になりました。

解像度を設定しなおしてください。P.348 「解像度を指定する」

ヨミトリメモリーガ イッパイデス

ファクス送信中、または受信中にメモリーに蓄積できるファイル数を超えました。

原稿の枚数を減らしてください。

Web Image Monitor使用中に表示されるメッセージ

Web Image Monitorを使用しているとき、本機の操作部に表示されるおもなエラーメッセージの原因と対処方法です。

＊シバラクオマチクダサイ＊/PC セツゾクチュウ オマチクダサイ

Web Image Monitorに管理者がログインしています。本機の管理者に確認してください。

ステータスモニターのエラー表示

本機に問題が起きると、ステータスモニターがエラーメッセージを表示します。また、ステータスモニターの［操作ガイド］をクリックすると、そのエラーに該当するページが表示され、より詳しく対処方法を確認できます。

ステータスモニターが表示されないとき

本機の共有はできているのにステータスモニターが起動しない場合の、確認事項を説明します。

共有の設定は正しいですか？

本機の共有設定を確認してください。一部の OS ではクライアント側にも、プリンタードライバーのインストールが必要です。

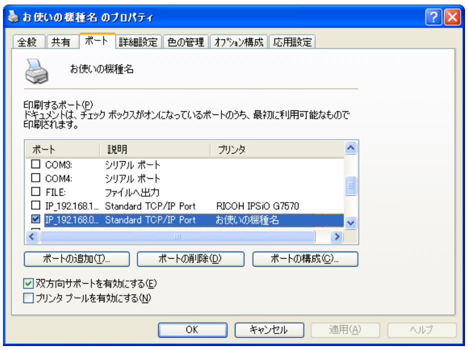
参照

- P.59 「サーバー側を設定する」
- P.62 「クライアント側を設定する」

通信不可

本機とパソコンの接続とポート設定を確認してください。

1. 本機の電源が入っていることを確認します。
2. 本機とパソコンがUSBケーブルで正しく接続されていることを確認します。
3. ［スタート］メニューからプリンタードライバーの設定画面を開きます。
4. ［ポート］タブをクリックします。
5. ［印刷するポート］で USB が選択されていることを確認します。



8

補足

- Windows 98/Me の場合は、[詳細] タブをクリックして、[印刷先のポート] で USB が選択されていることを確認します。

参照

- ネットワーク接続の場合は、ご使用の環境を確認してからポートの設定を変更してください。ポートの設定については、P.70 「Ridoc IO Navi ポートを使う（TCP/IP）」、P.78 「Standard TCP/IP ポートを使う」、P.82 「LPR ポートを使う」を参照してください。
- プリンタードライバーの設定画面を開く方法については、P.213 「2 種類の操作画面」を参照してください。

用紙なし／セット不良（トレイ 1）

トレイ 1 の用紙がないか、または正しくセットされていません。次の方法にしたがって解除してください。

- 用紙をセットする
- ジョブリセットする

補足

- プリンタードライバーの基本タブにある［給紙トレイ：］を「自動トレイ選択」に設定すると、自動的に適切なトレイを選択して印刷できます。

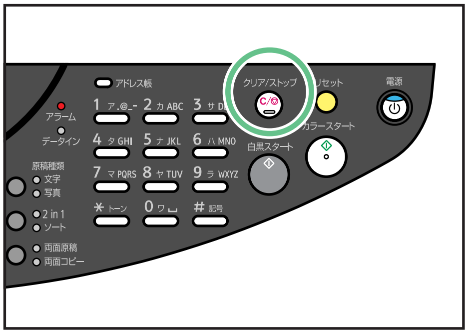
参照

- 用紙をセットする場合は、P.123 「用紙をセットする」を参照してください。

ジョブリセットする

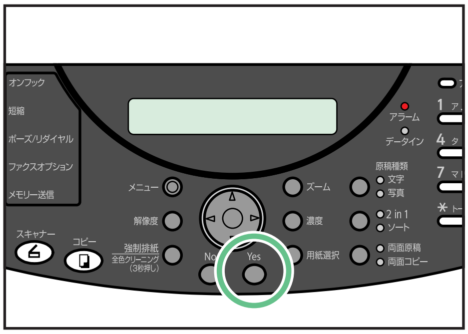
ジョブリセットします。

1 [クリア / ストップ] キーを押します。



AQQ100S

2 [Yes] キーを押します。



AQQ099S

用紙なし/セット不良(トレイ2)(オプション)

トレイ 2 の用紙がないか、または正しくセットされていません。次の方法にしたがって解除してください。

- 用紙をセットする
- ジョブリセットする

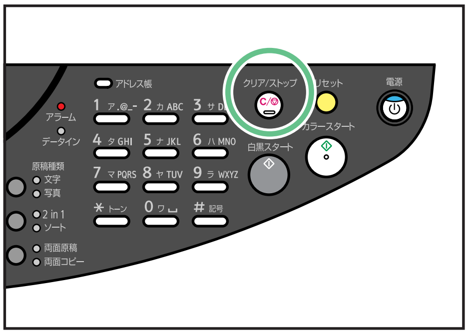
参照

- 用紙をセットする場合は、P.123 「用紙をセットする」を参照してください。

ジョブリセットする

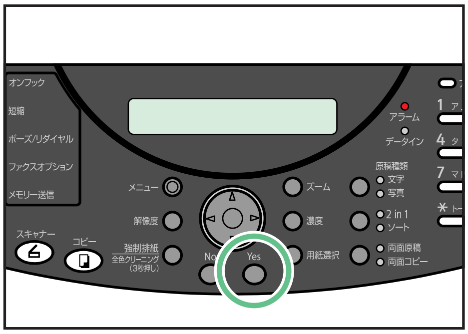
ジョブリセットします。

1 [クリア / ストップ] キーを押します。



AQQ100S

2 [Yes] キーを押します。



AQQ099S

用紙なし／セット不良（マルチ手差しフィーダー）（オプション）

マルチ手差しフィーダーの用紙がないか、または正しくセットされていません。次の方法にしたがって解除してください。

- 用紙をセットする
- ジョブリセットする

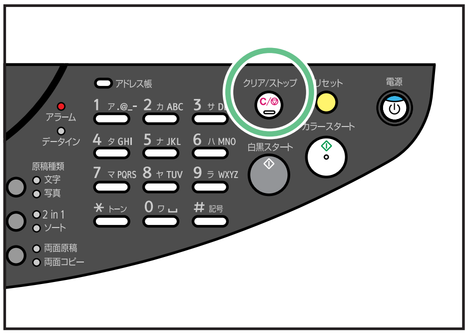
参照

- 用紙をセットする場合は、P.123 「用紙をセットする」を参照してください。

ジョブリセットする

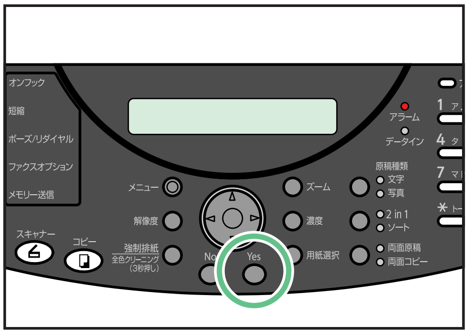
ジョブリセットします。

1 [クリア / ストップ] キーを押します。



AQQ100S

2 [Yes] キーを押します。



AQQ099S

用紙サイズ・用紙種類エラー（トレイ 1）

正しいサイズの用紙がセットされていないか、正しい種類の用紙がセットされていません。次の方法にしたがって解除してください。

・適切な用紙をセットする
・ジョブリセットする

適切な用紙をセットする

操作部に次の画面が表示されます。適切な用紙をセットし、[強制排紙 / 全色クリーニング] キーを押してください。

♦ 用紙サイズエラーの場合

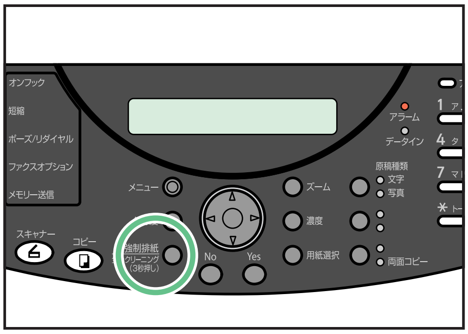
ヘンコウ1 A 4→1 A 5
ケイゾク=キョウセイハイシ　キー

♦ 用紙種類エラーの場合

タイプヘンコウ1 A 4　　OHP
ケイゾク=キョウセイハイシ　キー

ファクス使用中に用紙種類エラーが発生した場合、メッセージに表示される用紙種類が異なる可能性があります。その場合は普通紙かハイグレード普通紙をセットしてください。

1 [強制排紙 / 全色クリーニング] キーを押します。

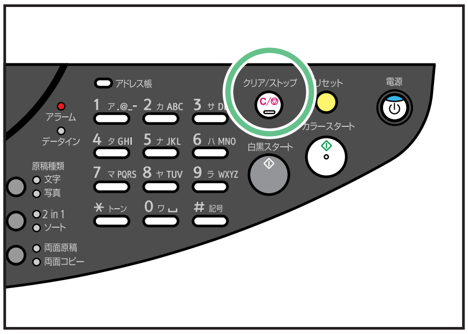


AQQ101S

ジョブリセットする

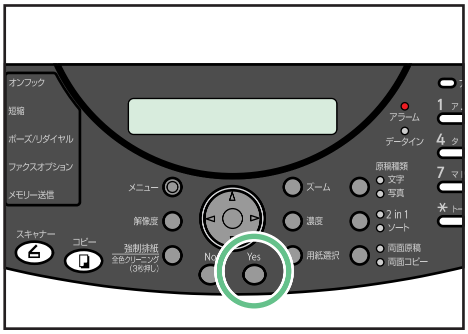
ジョブリセットします。

1 [クリア / ストップ] キーを押します。



AQQ100S

2 [Yes] キーを押します。



AQQ099S

用紙サイズ・用紙種類エラー（トレイ 2）

正しいサイズの用紙がセットされていないか、正しい種類の用紙がセットされていません。次の方法にしたがって解除してください。

- 適切な用紙をセットする
- ジョブリセットする

適切な用紙をセットする

操作部に次の画面が表示されます。適切な用紙をセットし、[強制排紙 / 全色クリーニング] キーを押してください。

♦ 用紙サイズエラーの場合

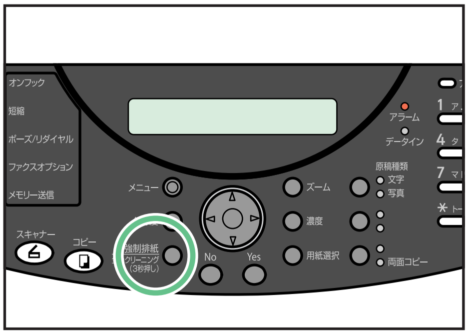
```
ヘンコウ2Ａ５→2Ａ４
 ケイゾク=キョウセイハイシ　キー
```

♦ 用紙種類エラーの場合

```
タイプヘンコウ2Ａ４　　フツウシ
 ケイゾク=キョウセイハイシ　キー
```

ファクス使用中に用紙種類エラーが発生した場合、メッセージに表示される用紙種類が異なる可能性があります。その場合は普通紙かハイグレード普通紙をセットしてください。

1 [強制排紙 / 全色クリーニング] キーを押します。



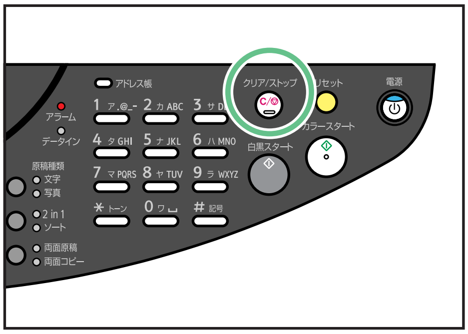
AQQ101S

8

ジョブリセットする

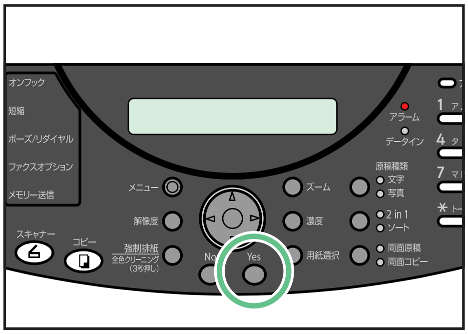
ジョブリセットします。

1 [クリア / ストップ] キーを押します。



AQQ100S

2 [Yes] キーを押します。



AQQ099S

8

用紙サイズ・用紙種類エラー（マルチ手差しフィーダー）（オプション）

正しいサイズの用紙がセットされていないか、正しい種類の用紙がセットされていません。次の方法にしたがって解除してください。
・適切な用紙をセットする
・ジョブリセットする

適切な用紙をセットする

操作部に次の画面が表示されます。適切な用紙をセットし、[強制排紙 / 全色クリーニング] キーを押してください。

◆ 用紙サイズエラーの場合

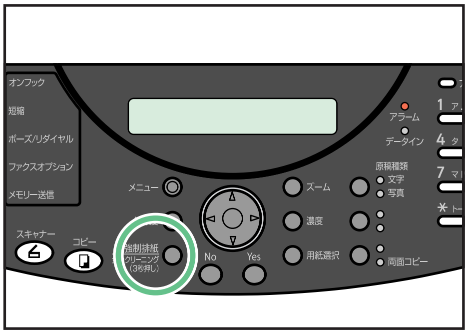
```
ヘンコウ▲A４→▲A５▯
 ケイゾク=キョウセイハイシ キー
```

◆ 用紙種類エラーの場合

```
タイプヘンコウ▲A４    フツウシ
 ケイゾク=キョウセイハイシ キー
```

ファクス使用中に用紙種類エラーが発生した場合、メッセージに表示される用紙種類が異なる可能性があります。その場合は普通紙かハイグレード普通紙をセットしてください。

1 [強制排紙 / 全色クリーニング] キーを押します。



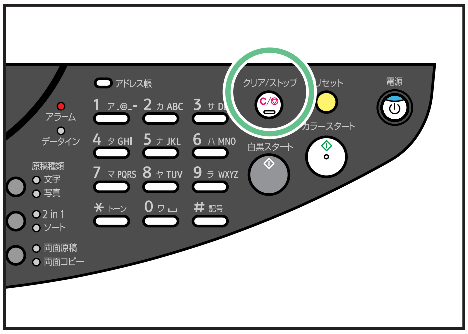
AQQ101S

8

ジョブリセットする

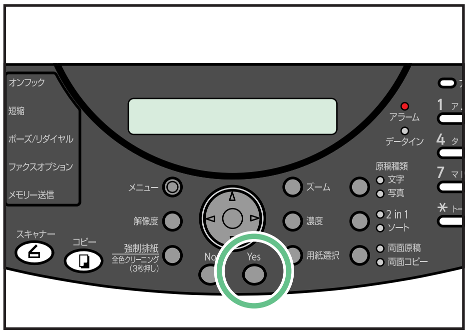
ジョブリセットします。

1 ［クリア / ストップ］キーを押します。



AQQ100S

2 ［Yes］キーを押します。



AQQ099S

用紙サイズ・用紙種類エラー（自動トレイ選択時）

自動トレイ選択時に正しいサイズの用紙と正しい種類の用紙が一致するトレイがありません。

次の方法にしたがって解除してください。

・適切な用紙をセットする
・ジョブリセットする

適切な用紙をセットする

操作部に次の画面が表示されます。適切な用紙をセットし、[強制排紙 / 全色クリーニング] キーを押してください。

♦ 用紙サイズエラーの場合

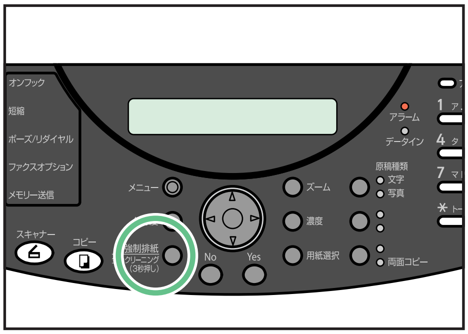
```
ヘンコウ1 A 4→1 A 5
  ケイゾク=キョウセイハイシ  キー
```

♦ 用紙種類エラーの場合

```
タイプヘンコウ1 A 4    O H P
  ケイゾク=キョウセイハイシ  キー
```

ファクス使用中に用紙種類エラーが発生した場合、メッセージに表示される用紙種類が異なる可能性があります。その場合は普通紙かハイグレード普通紙をセットしてください。

1 [強制排紙 / 全色クリーニング] キーを押します。

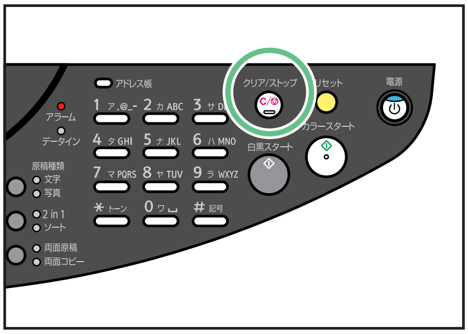


AQQ101S

ジョブリセットする

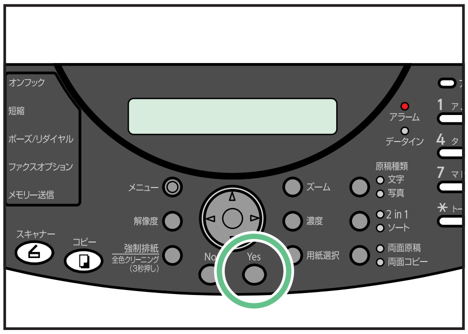
ジョブリセットします。

1 ［クリア / ストップ］キーを押します。



AQQ100S

2 ［Yes］キーを押します。



AQQ099S

8

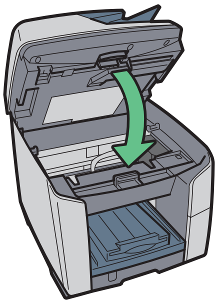
カバーオープン

カバーが開いています。開いているカバーを閉じてください。
スキャナーユニット、または両面ユニットカバーを閉じてください。
カバーが開いていない場合でも、一度開閉を行ってください。

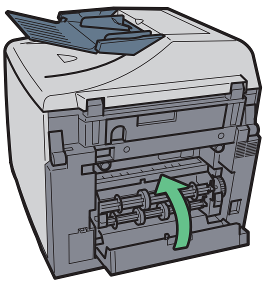
重要

- 両面ユニットカバーを開閉するときには、マルチ手差しフィーダー（オプション）の脱着が必要です。
- マルチ手差しフィーダー（オプション）を取り付けているときは、マルチ手差しフィーダー（オプション）を取り外してください。

1 カバーを閉じます。



AQR061S



AQR070S

両面ユニットが正しくセットされていることを確認してください。

参照

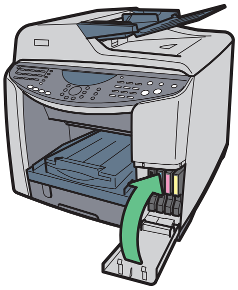
- マルチ手差しフィーダーの取り付け/取り外し方法については、P.34「マルチ手差しフィーダー（オプション）の脱着」を参照してください。

カバーオープン／セット不良（GX カートリッジ）

右前カバーが開いています。右前カバーを閉じてください。または、GX カートリッジがありません。または、正しくセットされていません。GX カートリッジを正しくセットしなおしてください。

カバーが開いている場合

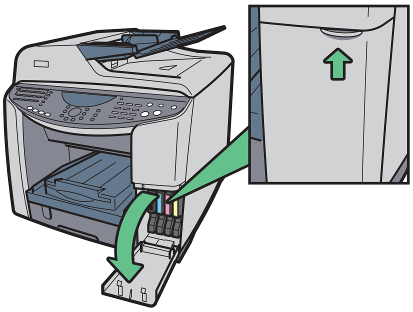
1 右前カバーを閉じます。



AQR052S

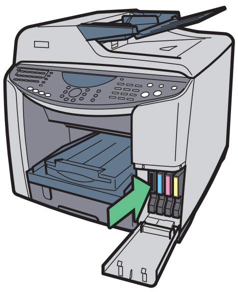
セット不良の場合（GX カートリッジ）

1 右前カバーを開けます。



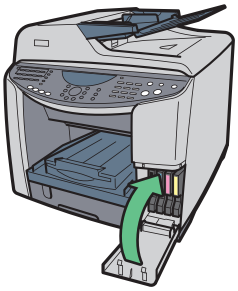
AQR280S

2 GX カートリッジのラベルにある「PUSH」部分を押し、確実に差し込みます。



AQR051S

3 右前カバーを閉じます。



補足

- エラーが解除されない場合は、GX　カートリッジを取り出し、差し込みなおしてください。この手順は、繰り返して行わないでください。

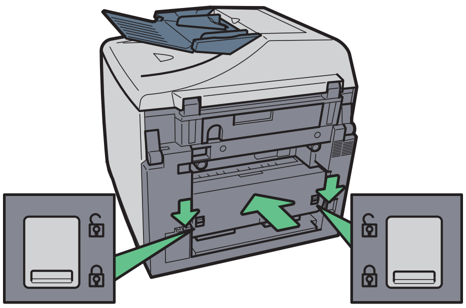
セット不良（両面ユニット）

両面ユニットが正しくセットされていません。両面ユニットを正しくセットしなおしてください。

重要

- マルチ手差しフィーダー（オプション）を取り付けているときは、マルチ手差しフィーダー（オプション）を取り外してください。

1 両面ユニットの脱着用レバーをロックします。



2 マルチ手差しフィーダー（オプション）を取り付けているときは、本体にマルチ手差しフィーダー（オプション）を取り付けます。

参照

- マルチ手差しフィーダー（オプション）の取り付け / 取り外し方法については、P.34「マルチ手差しフィーダー（オプション）の脱着」を参照してください。

8

カートリッジエンド

GX カートリッジのインクがなくなりました。本体内部に残っているインクで印刷できますが、GX カートリッジ内にはインクが残っていません。インクがなくなった GX カートリッジの色を確認し、カートリッジを交換してください。

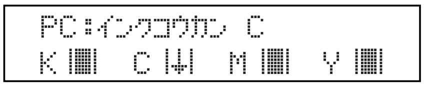
♦ インク色の確認方法

- ステータスモニターで確認する



ここではシアンの GX カートリッジのインクがなくなっています。

- 本機のディスプレイで確認する



BBF019S

ここではシアンの GX カートリッジのインクがなくなっています。

補足

- カートリッジ交換表示は、左からブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）の GX カートリッジの状態を表示します。
- 光沢紙に、全画面をベタに塗りつぶしたような、インクを大量に消費する印刷を行うと、ページの途中で印刷が止まる可能性があります。
- ヘッドクリーニングやヘッドリフレッシングは行えません。
- 電源を入れなおすと、本体内部でインクの調整が行われ、その結果インクエンドになる場合があります。

参照

- GX カートリッジの交換方法については、P.382「GX カートリッジの交換」を参照してください。
- ステータスモニターについては、P.457「ステータスモニターを使う」を参照してください。

インクエンド

インクが完全になくなりました。印刷できませんので、すぐに GX カートリッジを交換してください。

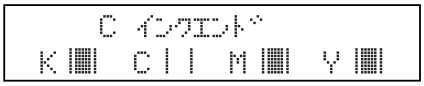
♦ インク色の確認方法

・ステータスモニターで確認する



ここではシアンのインクが完全になくなっています。

・本機のディスプレイで確認する



BBF020S

ここではシアンのインクが完全になくなっています。

8

補足

・カートリッジ交換表示は、左からブラック（K)、シアン（C)、マゼンタ（M)、イエロー（Y）の GX カートリッジの状態を表示します。
・ヘッドクリーニングやヘッドリフレッシングは行えません。

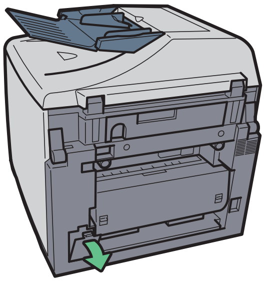
参照

・GX カートリッジの交換方法については、P.382 「GX カートリッジの交換」を参照してください。
・ステータスモニターについては P.457「ステータスモニターを使う」を参照してください。

セット不良（インク回収ユニット）

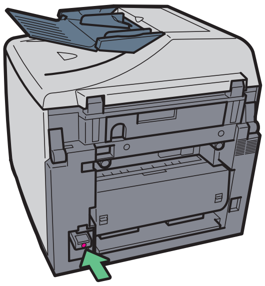
インク回収ユニットが正しくセットされていません。インク回収ユニットを正しくセットしてください。

1. 本体背面の左カバーをゆっくりと開けます。



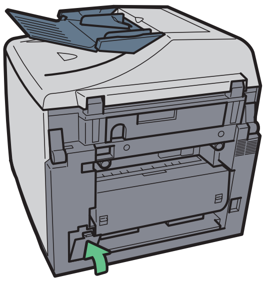
AQR075S

2. インクがあふれないように注意して、インク回収ユニットをカチッと音がするまで奥に押し込んでセットしてください。



AQR076S

3. 本体背面の左カバーをゆっくりと閉めます。



AQR077S

それでも同じメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。

使用可能温度範囲外

本体内部の温度が高すぎる、または低すぎるため、印刷ができません。

1. **電源をオフにします。**
2. **温度が 10〜32 ℃の環境に設置しなおします。**
3. **電源をオンにします。**

補足

- 湿度が 54%を超える場合は、使用できる温度の上限が低くなります。
- 電源をオンにした後も、本体が室温に十分になじむまで印刷待機中になる場合があります。その場合は、[電源] キーが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

参照

- 本機の使用環境（温度、湿度の使用範囲）については、『かんたんセットアップ』を参照してください。

ネットワークボードエラー

ネットワークボード上のネットワーク機能にエラーが発生しました。
次の方法にしたがって解除してください。

1. **電源を切ります。**
2. **電源を入れます。**
   それでも同じメッセージが表示される場合は次の手順に進んでください。
3. **電源を切ります。**
4. **電源コードを抜きます。**
5. **ネットワークボードを外します。**
6. **ネットワークボードを奥まで差し込み、固定します。**
7. **電源コードを挿します。**
8. **電源を入れます。**
   それでも同じメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。

機器エラー

機械内部でエラーが発生しました。電源を一度切ってから入れなおしてください。

補足

- 本機を寒い場所から暖かい場所に移動させたり、温度の変化が激しい場所に設置すると、機械内部に結露が生じ、機器エラーが起こる場合があります。その場合は、電源を入れなおしてもすぐにエラーが解除されないことがあります。本機が室温に十分になじむのを待ってから印刷してください。結露状態が解消する目安はおよそ 1 時間程度です。

参照

- 電源を入れなおしてもエラーが解除されない場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。P.505 「お問い合わせ先のご案内」

FAQ

本機についての疑問や質問は、よくある質問をまとめた FAQ をご覧ください。
リコーのホームページで、よくある質問に対する回答集をご覧いただけます。
また本機のトラブルシューティングについては、ジェルジェットプリンタートラブルシューティングを参照してください。

補足

- インターネットに接続している場合に利用できます。
- インターネットの通信料金がかかります。
- FAQ ページ
  FAQ ページ（自然文検索）
  FAQ ページ（製品別）

9. 機器の状態を確認する

本機の設定一覧や状態などの情報を取得できます。

ステータスモニターを使う

ステータスモニターで、印刷進行状況や、エラー表示、インク残量などの確認ができます。

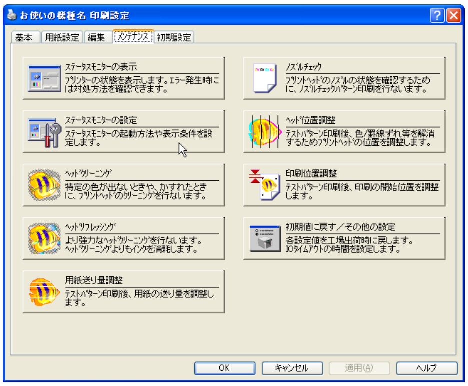
参照

- P.379 「インク交換時期の表示」
- P.435 「ステータスモニターのエラー表示」
- P.224 「ステータスモニターから中止する」

ステータスモニターで状態表示の設定をする

ステータスモニターで状態表示の設定を行います。

1. プリンタードライバーの設定画面を開きます。
2. [メンテナンス] タブをクリックします。
3. [ステータスモニターの設定] をクリックします。



4. [ステータスモニター起動/表示]グループにあるドロップダウンメニューから起動方法を選択します。
5. [OK] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。

Ridoc IO Navi を使用する

Ridoc IO Navi は、Peer-to-Peer プリント機能や機器監視機能などの機能を備えたソフトウェアです。本機をご使用になるすべての方がインストールされることをおすすめします。
Windows 98/Me の場合、ネットワーク接続で印刷を行うには Ridoc IO Navi が必要です。

重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。
- 対象 OS：Windows 98/Me 日本語版
  プロトコルスタック：
  Windows 98/Me に標準の TCP/IP プロトコル
  Windows 98/Me に標準の NetBEUI プロトコル
- 対象 OS：Windows 2000 日本語版
  プロトコルスタック：
  Windows 2000 に標準の TCP/IP プロトコル
  Windows 2000 に標準の NetBEUI プロトコル
- 対象 OS：Windows Server 2003 日本語版
  プロトコルスタック：
  Windows Server 2003 に標準の TCP/IP プロトコル
- 対象 OS：Windows XP 日本語版
  プロトコルスタック：
  Windows XP に標準の TCP/IP プロトコル
- 対象 OS：Windows Vista 日本語版
  Windows Vista に標準の TCP/IP プロトコル
  Novell Client for Windows NT/2000/XP/Vista
- 対象 OS：Windows NT 4.0 日本語版
  プロトコルスタック：
  Windows NT 4.0 に標準の TCP/IP プロトコル
  Windows NT 4.0 に標準の NetBEUI プロトコル

♦ どんなことができるのか？

Ridoc IO Navi では以下の操作ができます。

- Peer-to-Peer プリント機能
  - プリントサーバーがなくても、直接本機に印刷できます。
  - 本機が印刷中だったり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりのプリンターに印刷できます（代行印刷）。
  - 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷）。
  - 並行印刷 / 代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に本機にエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- 機器監視機能
  - 印刷中、用紙切れなど機器の情報をパソコン上で確認できます。
  - 複数台の機器を使い分けているときは、それらを同時に監視できます。
  - 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- 印刷が完了したときに、結果を通知することができます。
- 自分のジョブを 100 件まで一覧で表示することができます。

補足

- 機種によって使用できる機能が違います。同梱の CD-ROM「ドライバー & ユーティリティー」から［Ridoc IO Navi の使用説明書を見る］をクリックして、詳しい仕様情報を確認してください。



Ridoc IO Navi 経由で印刷通知をする

Ridoc IO Navi の印刷通知機能を設定する方法を説明しています。
ネットワークプリンターを Ridoc IO Navi 経由で接続している場合、印刷通知設定をすることができ、印刷結果をクライアントに通知することができます。

重要

- ［プリンタと FAX］フォルダーでプリンタープロパティを変更するには、Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Vista、Windows Server 2003 をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0 をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

参照

- P.59 「プリンターを共有する」

9

プリントサーバーの設定をする

プリントサーバーの設定をします。

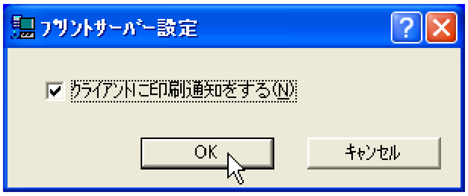
重要

- プリントサーバーの設定を変更するには、Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Vista、Windows Server 2003 をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0 をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［すべてのプログラム］-［RICOH Ridoc Desk Navigator］-［Ridoc IO Navi］の順にポイントして、［プリントサーバー設定］をクリックします。

プリントサーバー設定ダイアログが表示されます。

2 「クライアントに印刷通知をする」をチェックして、［OK］をクリックします。



プリントサーバーの設定によって、ダイアログが表示されます。記載内容を確認して［OK］をクリックします。

［キャンセル］をクリックすると、処理を中断します。

3 各クライアントへの設定についてダイアログが表示されます。［OK］をクリックします。

これでプリントサーバーの設定は終了です。各クライアントで、印刷通知の設定が必要です。

補足

- 印刷中のジョブはスプーラー一時停止後に最初から再印刷されます。
- 拡張機能を使用していない場合、自動的に拡張機能が有効に設定されます。

クライアントの設定をする

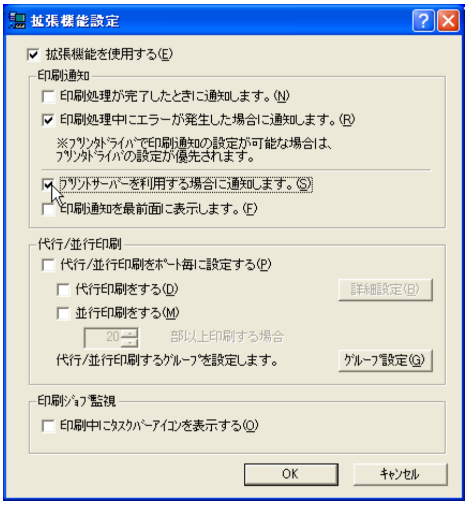
クライアントの設定をします。

1 **タスクバーの［スタート］ボタンから、［すべてのプログラム］-［RICOH Ridoc Desk Navigator］-［Ridoc IO Navi］の順にポイントして、［拡張機能設定］をクリックします。**

拡張機能設定ダイアログが表示されます。

2 **「拡張機能設定を使用する」にチェックを付けます。**

3 **「印刷通知」の「プリントサーバーを利用する場合に通知します。」にチェックを付けます。**



4 **［OK］をクリックします。**

拡張機能設定ダイアログが閉じます。これでクライアントの設定は終了です。

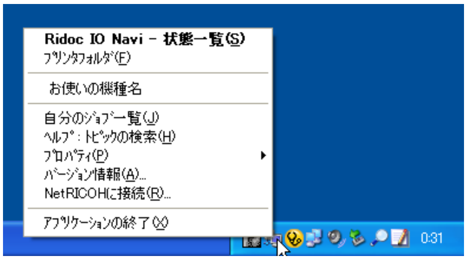
9

機器の監視を設定する

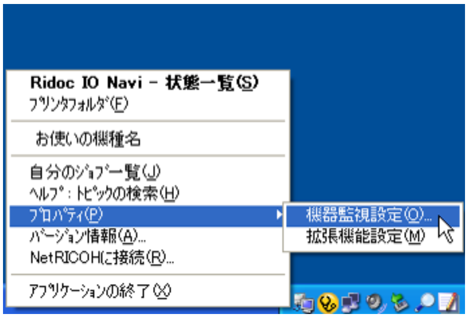
Ridoc IO Navi を使って機器の状態を確認できます。
Ridoc IO Navi を使用して機器の状態を表示させるには、あらかじめ状態を表示させたい機器を監視するように設定しておく必要があります。

1 Ridoc IO Navi を起動します。
タスクバーの右端にが表示されます。

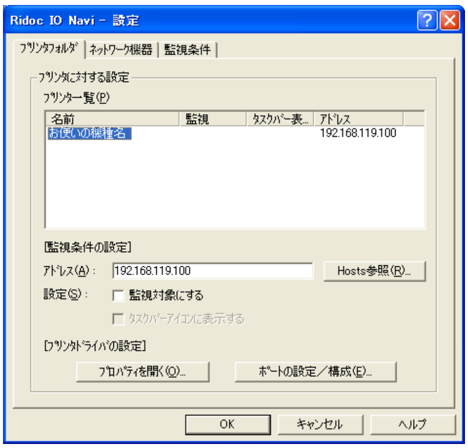
2 Ridoc IO Navi アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、表示されたポップアップメニューに目的の機器が設定されているかどうかを確認します。



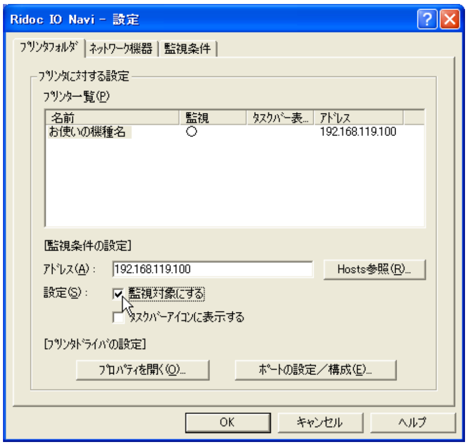
3 目的の機器が設定されていない場合は、ポップアップメニューの［プロパティ］をポイントして、［機器監視設定］をクリックします。



［Ridoc IO Navi-設定］ダイアログが表示されます。



4 監視する機器をクリックして反転表示させ、[設定] の [監視対象にする] にチェックを付けます。



[タスクバーアイコンに表示する] にチェックを付けると、タスクトレイの Ridoc IO Navi アイコンに機器の状態がアイコンで表示されるようになります。

5 [OK] をクリックします。

ダイアログが閉じ、設定した機器が監視の対象に含まれます。

補足

- 状態表示アイコンについて詳しくは、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

参照

- DHCP 環境で本機をご使用の場合、P.97 「DHCP を使用する」を参照してください。

機器の状態を表示する

機器の状態を表示します。

1 Ridoc IO Navi を起動します。

2 Ridoc IO Navi アイコンをマウスの右ボタンでクリックします。

タスクトレイの Ridoc IO Navi アイコンに機器の状態が表示されます。

3 より詳しい状態を知りたい場合は、Ridoc IO Navi アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、状態を知りたい機器をクリックします。



4 ［プリンタ］をクリックします。

機器の状態がダイアログに表示されます。

補足

- ダイアログの各項目について詳しくは、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。
- 状態アイコンについて詳しくは、Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi で IPP を使用するとき

Ridoc IO Navi で IPP を使用する際の注意事項です。

- 本機が受け付ける Ridoc IO Navi からの印刷ジョブは、1 件のみです。本機が印刷中のとき、他のユーザーが Ridoc IO Navi を使用して続けて接続しようとしても、先に行っている印刷が完了するまでは接続できません。この場合、後から接続しようとしたユーザーの Ridoc IO Navi は、リトライ設定時間経過ごとに接続を試みます。
- Ridoc IO Navi が本機に接続できずにタイムアウトになると、印刷ジョブが一時停止されます。この場合、プリンターウィンドウで一時停止を解除する必要があります。このとき、本機に接続し直されます。印刷ジョブは、プリンターウィンドウで取り消すことができますが、本機が印刷を開始してから印刷ジョブを取り消すと、この次にプリンターに接続したユーザーの印刷ジョブが正しく印刷できなくなる場合があります。
- Ridoc IO Navi からの印刷ジョブが途切れて印刷できなくなって本機により印刷ジョブが取り消された場合は、印刷の操作をもう一度やりなおす必要があります。
- 他のパソコンから出された印刷ジョブは、プロトコルにかかわらず、プリンターのアイコンをダブルクリックして開くウィンドウに表示されません。
- 複数のユーザーが Ridoc IO Navi を使用して印刷しようとした場合、本機に接続しようとした順に印刷が始まらない場合があります。
- IPP の印刷ポート名に IP アドレスは使用できません。Ridoc IO Navi がポート名として IP アドレスを使用するため、ポートの競合が発生します。

機器設定ユーティリティーを使用する

機器設定ユーティリティーを使って、ワンタッチキー、[短縮] キー、グループダイヤルの登録／変更や、本機に関する設定の変更を PC 側から行うことができます。

★ 重要

- 本機とクライアントコンピューターを USB 接続をしている必要があります。
- 機器設定ユーティリティーを使用するには、TWAIN ドライバーをインストールしている必要があります。
- Windows NT 4.0 には､機器設定ユーティリティーをインストールすることができません。
- あらかじめ付属の CD-ROM 「ドライバー & ユーティリティー」の「おすすめインストール（USB 接続用）」で、機器設定ユーティリティーをインストールしておいてください。

♦ どんなことができるのか？

- ワンタッチキーの登録 / 変更 / 印刷
- [短縮] キーの短縮ダイヤルの登録 / 変更 / 印刷
- グループダイヤルの登録／変更 / 印刷
- トータルカウンターの表示
- 本機に取り付けてあるオプションの表示
- 以下の本機に関する設定確認／変更
  - システムショキセッテイ （システム初期設定）
  - ヨウシセッテイ （用紙設定）
  - ユーザーセイゲン （ユーザー制限）
  - コピーショキセッテイ （コピー初期設定）
  - ソウシンセッテイ （送信設定）
  - ジュシンセッテイ （受信設定）
  - カイセン セッテイ （回線設定）
  - リスト / レポートインサツ （リスト / レポート印刷）
  - ネットワークセッテイ （ネットワーク設定）
  - LDAP セッテイ （LDAP 設定）
  - POP3 セッテイ （POP3 設定）
  - SMTP セッテイ （SMTP 設定）
  - スキャナーショキセッテイ （スキャナー初期設定）

補足

- オプションのネットワークボードを取り付けているときのみ、[ネットワークセッテイ]、[LDAP セッテイ]、[POP3 セッテイ]、[SMTP セッテイ]、[スキャナーショキセッテイ] の設定が行えます。

参照

- P.132 「システム初期設定を変更・調節する」
- P.138 「トレイや用紙の設定をする」
- P.141 「ユーザー制限を設定する」
- P.144 「コピー機能の設定をする」
- P.172 「送信機能の設定をする」
- P.173 「受信機能の設定をする」
- P.176 「電話回線の設定をする」
- P.177 「各種の通信レポートを印刷する」
- P.180 「LDAP サーバーを使うには」
- P.184 「インターネットファクス・メール受信機能を使うには（POP3 設定）」
- P.182 「インターネットファクス・メール送信機能を使うには（SMTP 設定）」
- P.185 「スキャナー機能の設定をする」
- P.179 「ネットワーク設定」
- P.89 「TWAIN ドライバーをインストールする」

操作の流れ

機器設定ユーティリティーの基本操作について説明します。

♦ アイコンの説明



AQQ105S

1) 本機に接続します。
2) 本機との接続を終了します。
3) 本機の設定情報をダウンロードします。
4) 本機の設定情報をアップロードします。
5) 機器設定ユーティリティーのファイルを開きます。
6) 機器設定ユーティリティーのファイルを保存します。
7) メニュー設定を行います。

1 機器設定ユーティリティーを起動します。

2 「ツール」メニューから「機器に接続」をクリックします。

または画面のをクリックします。

3 「ツール」メニューから「ダウンロード」をクリックします。

または画面のをクリックします。本機から機器設定ユーティリティーのデータをダウンロードします。

4 設定を確認／修正します。

5 「ツール」メニューから「アップロード」をクリックします。

または画面のをクリックします。本機にデータをアップロードします。

6 「ツール」メニューから「切断」をクリックします。

または画面のをクリックします。

7 「ファイル」メニューから「終了」をクリックします。

機器設定ユーティリティーが終了します。

補足

- 接続状態が「オフライン」と表示されている場合は、機器設定ユーティリティーからの操作が行えません。本機と接続してから操作を行ってください。

ワンタッチキー、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録 / 編集をする

ワンタッチキー、短縮ダイヤル、グループダイヤルの編集方法について説明します。

1 「ツール」メニューから「機器に接続」をクリックします。

または画面のをクリックします。

2 「ツール」メニューから「ダウンロード」をクリックします。

または画面のをクリックします。本機から機器設定ユーティリティーのデータをダウンロードします。

3 「表示」メニューから編集したいリストをクリックします。

4 登録したい番号のセルを反転させてダブルクリックします。

5 必要な情報を入力します。

◆ ワンタッチキー

登録 / 変更できるワンタッチ宛先は 30 件までです。

ファクス番号設定

項目名	説明
名前：	ワンタッチ宛先の名前を指定します。最大20文字まで入力できます。
ファクス番号：	相手先のファクス番号を指定します。
SUB：	サブアドレスナンバーを指定します。
SID：	SID パスワードを指定します。
通信速度	相手先との通信スピードを指定します。

E-mail 設定 *1

項目名	説明
名前：	ワンタッチ宛先の名前を指定します。最大20文字まで入力できます。
あて先	相手先の e-mail アドレスを指定します。

*1　この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

◆ 短縮ダイヤル

番号 00 から 89 までの合計 90 の短縮ダイヤルの表示 / 登録ができます。

ファクス番号設定

項目名	説明
名前	短縮ダイヤルの名前を指定します。最大 20 文字まで入力できます。
ファクス番号：	相手先のファクス番号を指定します。
SUB：	サブアドレスナンバーを指定します。
SID：	SID パスワードを指定します。
通信速度	相手先との通信スピードを指定します。

E-mail 設定 *1

項目名	説明
名前：	短縮ダイヤルの名前を指定します。最大 20 文字まで入力できます。
あて先	相手先の e-mail アドレスを指定します。

*1　この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

◆ グループダイヤル

ファクス番号と e-mail アドレスを区別することなく、混合させて一つのグループダイヤルに登録できます。

項目名	説明
グループ名：	グループダイヤルの名前を指定します。最大 20 文字まで入力できます。名前を入力しないと登録できません。必ず入力してください。

リストを出力する

ワンタッチキー、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録情報を出力して確認する手順について説明します。

1 「ツール」メニューから「機器に接続」をクリックします。

または画面のをクリックします。

2 「ツール」メニューからダウンロードをクリックします。

または画面のをクリックします。本機から機器設定ユーティリティーのデータをダウンロードします。

3 「ファイル」メニューから「印刷 ...」をクリックします。

4 出力したいダイヤルリストを選択して［OK］を押します。

参照

・P.177 「各種の通信レポートを印刷する」

本機の初期設定を変更する

本機に関する初期設定や、コピー、ファクス、スキャナー機能の初期設定の変更を行います。

1 「ツール」メニューから「機器に接続」をクリックします。

または画面のをクリックします。

2 「ツール」メニューから「ダウンロード」をクリックします。

または画面のをクリックします。本機から機器設定ユーティリティーのデータをダウンロードします。

3 「ツール」メニューから「機器設定ユーティリティー」をクリックします。

または画面のをクリックします。

参照

・各設定項目の詳細については、P.129 「機能の設定・調整をする」を参照してください。

トータルカウンターを表示する

トータルカウンターを表示します。

1 「ツール」メニューから「機器に接続」をクリックします。

または画面のをクリックします。

2 「ツール」メニューから「ダウンロード」をクリックします。

または画面のをクリックします。本機から機器設定ユーティリティーのデータをダウンロードします。

3 「ツール」メニューから「トータルカウンター」をクリックします。

参照

・トータルカウンターの詳細については、P.506「カウンターについて」を参照してください。

本機に装着しているオプションを表示する

本機に装着しているオプションを表示します。

1 「ツール」メニューから「機器に接続」をクリックします。

または画面のをクリックします。

2 「ツール」メニューから「ダウンロード」をクリックします。

または画面のをクリックします。本機から機器設定ユーティリティーのデータをダウンロードします。

3 「ツール」メニューの「構成」をクリックします。

Web ブラウザーを使用する

Web Image Monitor を使って、本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更することができます。

重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

♦ どんなことができるのか？

Web Image Monitor は、離れた場所にある機器の状態確認や設定変更を、ネットワークを介したパソコンの Web ブラウザー上からできる機能です。

Web Image Monitor では以下の操作ができます。

- 機器の状態／設定の確認
- 本機のリセット
- ワンタッチキー、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録・変更
- 本機の各種設定
- メール通知機能の設定
- ネットワークプロトコルに関する設定

♦ 本機の環境設定

この機能は TCP/IP プロトコルを使って動作します。Web Image Monitor を使用する場合は、本機で TCP/IP プロトコルの設定を行ってください。TCP/IP の設定が正しく行われると、この機能は自動的に有効になります。

♦ 推奨 Web ブラウザー

Internet Explorer 6.0 以降

Netscape Navigator 4.0 以降

補足

9

- 使用する Web ブラウザーのバージョンが推奨 Web ブラウザーより低い場合や、使用する Web ブラウザーの設定で、「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていない場合は、表示や操作に不具合が生じる場合があります。
- プロキシサーバーをご使用の場合、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者の方に確認してください。
- Web ブラウザーの［戻る］で前のページに戻れないことがあります。そのときは Web ブラウザーの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。
- Web ブラウザーで取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、Web ブラウザーの［更新］、［再読み込み］をクリックしてください。

トップページを表示する

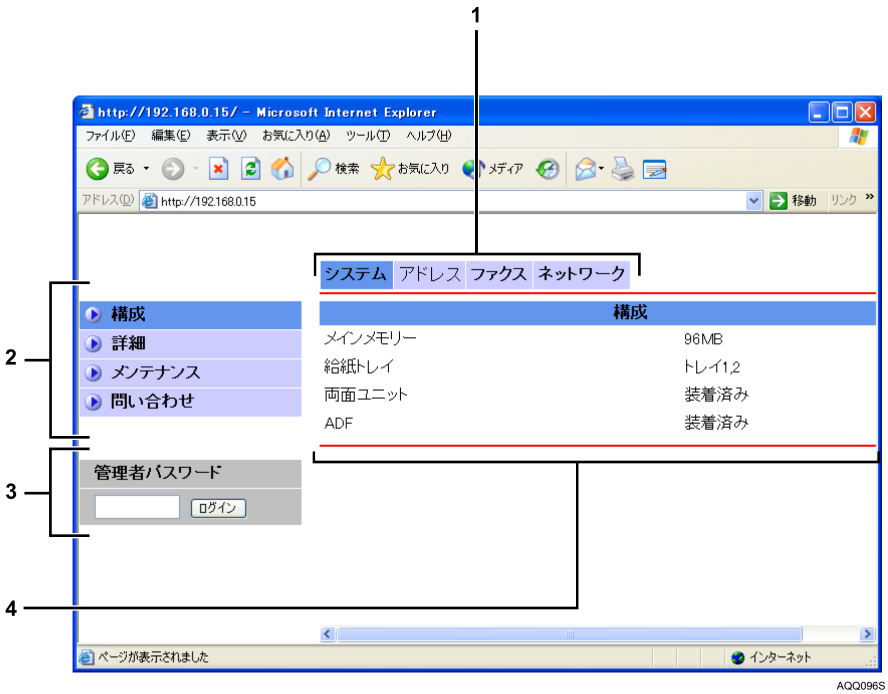
Web Image Monitor の表示とメニュー構成の説明です。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

DNS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されている場合、ホスト名を入力することができます。

Web Image Monitor は、フレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。



1 カテゴリタブ

カテゴリを選択すると、対応するメニューがメニューエリアに表示されます。

2 メニューエリア

メニュー項目を選択すると、その内容がワークエリアに表示、またはサブメニューが表示されます。

3 パスワード入力エリア

管理者モードでログインするときに、管理者パスワードを入力します。

4 ワークエリア

メニューエリアで選択された項目の内容が表示されます。

ワークエリア内の情報は自動的に更新されません。情報を更新したい場合は Web ブラウザーの更新、再読み込みをクリックしてください。

9

参照

・P.474 「メニュー構成とモード」

メニュー構成とモード

Web Image Monitor には、ユーザーモードと管理者としてログインする管理者モードがあり、表示されるメニューが異なります。
また、お使いの機種により表示される項目が異なります。

♦ ユーザーモード

ユーザーモードでは、機器の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、機器に関する設定を変更することはできません。

♦ 管理者モード

管理者としてログインする管理者モードでは、機器に関する各種の設定ができます。

Web Image Monitor で設定できる項目

重要

・［LDAP サーバー］の［属性］の項目は変更できません。

システム

メニュー	説明	設定できるモード
構成	取り付けているオプションや本機の構成と状況が確認できます。	ユーザーモード 管理者モード
詳細	インク残量、ファームウェアのバージョン、トレイの状態、インターフェース情報が確認できます。	ユーザーモード 管理者モード
パスワード / 言語	ログインするときのパスワードを変更したり、Web Image Monitor 内で表示される言語の設定ができます。	管理者モードのみ
バックアップ / リストア	本機の設定情報を取り込んで保存したり、保存した情報を機器に送り、変更された設定を元に戻すことができます。	管理者モードのみ
メンテナンス	本機を工場出荷値の状態に戻したり、カウンターの確認ができます。	ユーザーモード 管理者モード サブメニューの「設定値初期化」と「イーサネットボードリセット」は管理者モードのときだけ表示されます。
問い合わせ	本機のヘルプやサービスの連絡先が確認できます。	ユーザーモード 管理者モード

アドレス帳

メニュー	説明	設定できるモード
ワンタッチキーあて先表	ワンタッチキーに登録した情報を確認できます。	ユーザーモード 管理者モード 管理者モードの場合、新たにワンタッチ宛先を登録することができます。
短縮キーあて先表	短縮ダイヤルに登録した情報を確認できます。 短縮ダイヤルの登録先 90~99 では、FTP サーバーの接続設定と登録をします。	ユーザーモード 管理者モード 管理者モードの場合、新たに短縮ダイヤルを登録、または編集することができます。
グループあて先表	グループダイヤルに登録した情報を確認できます。	ユーザーモード 管理者モード 管理者モードの場合、新たにグループダイヤルを登録、または編集することができます。
アドレス帳バックアップ/リストア	ワンタッチキーあて先表、短縮キーあて先表、グループあて先表を csv 形式のファイルにして本機からダウンロード、また本機にアップロードします。	管理者モードのみ

ファクス

メニュー	説明	設定できるモード
ファクス設定	ファクス機能に関する設定ができます。	ユーザーモード 管理者モード

ネットワーク

メニュー	説明	設定できるモード
構成	インターフェース情報が確認できます。	ユーザーモード 管理者モード
TCP/IP	TCP/IP の設定ができます。	管理者モードのみ
IPP	IPP の設定ができます。	管理者モードのみ
SMTP/POP3	SMTP と POP3 の設定ができます。	管理者モードのみ
FTP/DNS	FTP と DNS の設定ができます。	管理者モードのみ
SMTP グループ設定	SMTP グループを登録・削除できます。	管理者モードのみ
SNMP	SNMP の設定ができます。	管理者モードのみ
LDAP サーバー	LDAP の設定や検索ができます。	管理者モードのみ
フィルター	フィルター設定ができます。	管理者モードのみ

管理者モードでアクセスするには

Web Image Monitor に管理者モードでアクセスする方法です。

1. Web Image Monitor のトップページを表示します。
2. パスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。
   パスワード「ricoh」は工場出荷時の設定です。

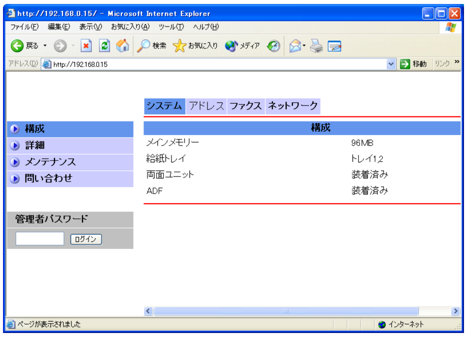
補足

- パスワードは変更してください。
- 同時に複数のユーザーがログインすることはできません。他のユーザーがすでにログインしているとメッセージが表示されます。
- ログイン中は、本機の操作部からの操作ができません。
- 本機が原稿読み取り中、印刷中、またはファクス送信 / 受信中の場合は、操作部にメッセージが表示され、ログインできません。

機器の状態を確認する

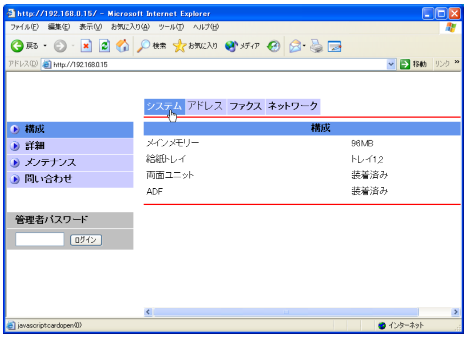
機器の状態を確認します。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. アドレスに「http://（本機のアドレス）/」と入力します。
   Web ブラウザーのトップページが表示されます。



9

3 カテゴリタブから目的のタブをクリックします。



4 メニューから目的の項目をクリックします。

選択した項目の情報がワークエリアに表示されます。

機器の設定を変更する

機器の設定を変更します。機器の設定を変更するためには、ログインして管理者モードに切り替える必要があります。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 アドレスに「http://（本機のアドレス）/」と入力します。

3 パスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。

工場出荷時のパスワードは「ricoh」に設定されています。

4 カテゴリタブから目的のタブをクリックします。

5 メニューから目的の項目をクリックします。

選択した項目の情報がワークエリアに表示されます。

6 各種設定を行います。

7 [適用] をクリックします。

設定が反映されます。

補足

- 設定を取り消すときは、[クリア] をクリックしてください。

本機の状態をメールで通知する

本機に用紙切れや紙づまりなどのアラートが発生したときに、メール通知機能を使用して本機の状態を通知できます。
本機の状態を通知するメールは、あらかじめ設定した送信先メールアドレスに送信されます。
アラートを通知するタイミングや状態なども設定することができます。
アラートは以下の通りです。

- 機器エラー
- インクなし
- インク残りわずか
- インク回収ユニット交換
- インク回収ユニットもうすぐ交換
- 用紙なし
- 用紙ミスフィード
- カバーオープン
- セット不良
- 使用温度範囲外
- 用紙サイズ・種類エラー

♦ メール通知の設定の流れ

本機を設定する ▼ ネットワークボードを設定する（Web ブラウザーを使う）

ネットワークボードを設定するには Web ブラウザーを使います。

9

E-Mail 送信機能の設定

［E-Mail 送信機能］の基本設定や認証の設定を行います。

♦ SMTP 設定

SMTP や SMTP サーバー名、SMTP ポート番号を設定します。

項目名	設定値	初期値
SMTP サーバー名	64 文字以下の文字列	なし
件名の初期値	20 文字以下の文字列	なし
送信者名	20 文字以下の文字列	なし
メールアドレス	64 文字以下の文字列	なし
ポート番号	1-65535	25
SMTP サーバータイムアウト	30-300	60
定型文挿入	する しない	しない

♦ **SMTP 認証設定**

SMTP 認証を設定することで、接続先のメールサーバーが SMTP 認証によるメール送信制限をしていても、メールを送信できます。

項目名	設定値	初期値
SMTP 認証	しない POP before SMTP SMTP 認証	しない
ユーザー名	64 文字以下の文字列	なし
パスワード	32 文字以下の文字列	なし（パスワードなし）

♦ **POP3 設定**

POP before SMTP、POP サーバー名、POP ポート番号、POP ユーザ名、POP パスワードを 設定します。

項目名	設定値	初期値
POP3 サーバー名	64 文字以下の文字列	なし
ユーザー名	64 文字以下の文字列	なし
パスワード	32 文字以下の文字列	なし
自動メール受信	する しない	しない
受信間隔	1-60	1
管理者メールアドレス	64 文字以下の文字列	なし
ポート番号	1-65535	110
POP3 サーバータイムアウト	30-300	60
発信元情報印字	する しない	しない

9

宛先：SMTP グループ 1-4

♦ **新しい SMTP グループを登録する**

グループリストから登録されていない SMTP グループの番号をクリックし、グループ名、表示言語、件名などの情報を入力します。

項目名	設定値	初期値
グループ名	19文字以下の文字列（日本語可）	なし
表示言語	English Japanese	English
件名	31文字以下の文字列（日本語可）	なし
通知メッセージ	255 文字以下の文字列（日本語可）	なし

♦ **あて先設定**

No1-No10 に、エラー通知したいユーザーの名前と、メールアドレスを入力します。

補足

- すでに登録済みの SMTP グループを削除したいときは、[削除] をクリックしてください。

エラー通知メール

アラートに関する各種設定項目です。

◆ 機器エラー

本機にエラーが起きると e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生	発生

◆ インクなし

インクが完全になくなると e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生 発生・解除	発生

◆ インク残りわずか

インクが残りわずかになると e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生	発生
残り（%）	10 20 30	10

◆ インク回収ユニット満杯

インク回収ユニットが一杯になると e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生	発生

♦ インク回収ユニットもうすぐ満杯

インク回収ユニットがもうすぐ満杯の状態になると e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生	発生
残り（%）	10 20 30	10

♦ ADF エラー

ADF カバーが開いているとき、または ADF で紙づまりが発生したときに e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生 発生・解除	発生

♦ 用紙ミスフィード

本体内部で紙づまりが発生したときに e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生 発生・解除	発生

♦ 用紙なし

用紙がなくなると e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生 発生・解除	発生

♦ カバーオープン

スキャナーユニット、または両面ユニットカバーが開いていると e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生 発生・解除	発生

♦ セット不良

ガイド板、手差しトレイ（オプション）、または両面ユニットが正しくセットされていないと e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生 発生・解除	発生

♦ 使用温度範囲外

本機の使用環境が一定温度範囲外になると e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生	発生

9

♦ 用紙サイズエラー

正しいサイズの用紙がセットされていないと e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生 発生・解除	発生

♦ 用紙種類エラー

正しい種類の用紙がセットされていないと e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生 発生・解除	発生

♦ 用紙サイズ・用紙種類エラー

正しいサイズの用紙、および正しい種類の用紙がセットされていないと e-mail で通知されます。

項目名	設定値	初期値
グループあて先 1-4	する しない	しない
通知する時	発生 発生・解除	発生

FTP サーバーの接続方法

Web Image Monitor から FTP サーバーの接続設定を行う方法について説明します。
短縮キーあて先表の登録先 90 ～ 99 に登録することができます。

★重要

- あらかじめ管理者モードでログインしてから操作を行ってください。

1 カテゴリタブの［アドレス］をクリックします。

2 メニューエリアの［短縮キーあて先表］をクリックします。
ワークエリアに短縮キーあて先表が表示されます。

3 あて先表の［90～99］をクリックします。
ワークエリアに短縮キーあて先表［90～99］が表示されます。

4 90 から 99 の中から登録したい宛先番号をクリックします。
登録画面が表示されます。

5 設定項目を入力し終えたら、［適用］をクリックし、設定を保存します。
ワークエリアに短縮キーあて先表が表示されます。

設定項目

項目名	説明
あて先名称	あて先の名称を入力します。
FTP サーバーアドレス	FTP サーバーのアドレスを入力します。
パス名	FTP サーバー内の送信先パスを入力します。
プロキシを有効にする	プロキシサーバーを使用するかどうか指定します。
ポート番号	プロキシサーバーを使用しない場合、FTP サーバーのポート番号を指定してください。

メール通知

項目名	説明
メール通知を有効にする	FTP サーバーにデータを送信したとき、指定した相手にメールでデータが送信されたことを知らせる機能を使用するかどうか指定します。
メールアドレス	メール通知機能を使用する場合は、通知したい相手の e-mail アドレスを入力してください。最大 10 件まで登録できます。

アカウント情報

項目名	説明
公開サーバー	匿名で FTP サーバーにログインします。
プライベートサーバー	FTP サーバーにログインするためのユーザー名、パスワードを入力します。パスワードは確認のため、再度入力します。

FTP プロキシサーバーの設定

FTP 接続にプロキシサーバーを使用する場合は、以下の手順で設定を行います。

1. カテゴリタブの［ネットワーク］をクリックします。
2. メニューエリアの［FTP/DNS］をクリックします。
3. 設定項目を入力し終えたら、［適用］をクリックし、設定を保存します。

設定項目

項目名	説明
プロキシサーバーアドレス	FTP のプロキシサーバーアドレスを指定します。
リモートポート番号	FTP プロキシサーバーのリモートポートを指定します。
FTP サーバータイムアウト	FTPプロキシサーバーが応答するのを待つ時間を指定します。

Telnet を使う

Telnet を使って本機の状態や設定内容の確認や、各種の設定を行うことができます。

重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

補足

- リモートメンテナンス（mshell）はネットワーク管理者だけが使用できるように、パスワードを設定して運用してください。
- パスワードは Web ブラウザーによるネットワークボード設定機能で使用するパスワードと共通です。mshell 上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

操作の流れ

Telnet を起動してから終了するまでの手順の説明です。

1 本機の IP アドレス（またはホスト名）を引数にして Telnet を起動します。

```
% telnet 本機の IP アドレス
```

2 パスワードを入力します。

工場出荷時の設定の場合、パスワードには「ricoh」と入力します。

3 番号を入力して設定する項目を選択します。

4 各種設定を行います。

設定を変更しようとすると確認メッセージが表示されます。そのまま変更する場合は「Y」または「y」を入力します。変更をキャンセルする場合は「N」または「n」を入力します。

5 「9」を入力して設定を終了します。

6 Telnet を終了します。

```
msh> logout
```

補足

- リモートメンテナンスを同時に複数のユーザーが使用することはできません。
- 変更内容を保存すると自動的にネットワークボードがリセットされます。
- リセットしても Active 状態（印刷中、または印刷処理待ち）の印刷ジョブは印刷されますが、Waiting 状態（本機へのファイル転送待ち）のジョブは破棄されます。

Telnet の設定項目一覧

設定項目について説明します。

- Root Menu
  1: System Settings
  2: Test Print
  3: Network Settings
  9: Logout

各メニューの詳細

♦ System Settings

項目	説明
Change Password	管理者パスワードを指定します。Web ブラウザーからログインするときのパスワードも変更されます。
Restart	ネットワークボードを工場出荷値の状態に戻します。
Exit to Root	root menu に戻ります。

♦ Test Print

項目	説明
Configuration Page	システム設定リストを印刷します。
Exit to Root	root menu に戻ります。

♦ Network Settings

項目	説明
TCP/IP	TCP/IP メニューに切り替えます。
Exit to Root	root menu に戻ります。

♦ TCP/IP

項目	説明
View TCP/IP Configuration	TCP/IP メニューに切り替えます。
Edit IP Address	IP アドレスを固定で指定します。
Edit Subnet Mask	サブネットマスクを指定します。
Edit Gateway Address	ゲートウェイアドレスを指定します。
Back to Previous Menu	Network Settings メニューに戻ります。
Exit to Root	root menu に戻ります。

SNMP

イーサネットインターフェースは UDP で動作する SNMP（Simple Network Management Protocol）エージェントが組み込まれています。SNMP マネージャを使って本機の情報を取得することができます。

重要

・この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

工場出荷時のコミュニティ名には「public」が設定されています。このコミュニティ名で MIB 情報を取得することができます。

◆ サポートしている MIB（SNMPv1/v2）

- MIB-II
- PrinterMIB
- HostResourceMIB
- RicohPrivateMIB（リコーオリジナル）

レポートで本機の設定・状態・通信記録を確認する

ここでは本機からレポートを印刷して本機の各種設定、通信記録を確認します。
次のレポートがあります：

- ワンタッチ宛先キーリスト（ワンタッチアテサキキーリスト）
- 短縮宛先キーリスト（タンシュクアテサキキーリスト）
- グループ宛先リスト（グループアテサキリスト）
- 本体ステータスリスト（ホンタイステータスリスト）
- 送信結果レポート（ソウシンケッカレポート）
- 受信結果レポート（ジュシンケッカレポート）
- 通信管理レポート（ツウシンカンリレポート）
- メモリーデータリスト
- メモリーイメージリスト

補足

- メール通信の受信時間・送信時間のカウントは対象外となります。

ワンタッチ宛先キーリスト（ワンタッチアテサキキーリスト）

ワンタッチ宛先キーリストについて説明します。
主に次の項目を確認できます。

- ワンタッチキー
  ワンタッチキーの番号が表示されます。
- 宛先
  通信先が表示されます。
- NO.
  最初の行は、本機に登録した 50 桁までの電話番号が表示されます。
  2 行目は、本機の F コードに登録した 20 桁までの SUB アドレスが表示されます。
- 設定日
  最後に設定した日付が表示されます。

短縮宛先キーリスト（タンシュクアテサキキーリスト）

短縮宛先キーリストについて説明します。
主に次の項目を確認できます。

- 短縮キー
  登録されている短縮宛先キーの番号が表示されます。
- 宛先
  通信先が表示されます。
- NO.
  最初の行は、本機に登録した 50 桁までの電話番号が表示されます。
  2 行目は、本機の F コードに登録した 20 桁までの SUB アドレスが表示されます。
- 設定日
  最後に設定した日付が表示されます。

グループ宛先リスト（グループアテサキリスト）

グループ宛先リストについて説明します。
主に次の項目を確認できます。

- グループ
  ワンタッチキーの番号が表示されます。
- 名前
  本機に登録したグループ名が表示されます。
- NO.
  1〜50 の数字が古い通信から番号付けされます。
- 宛先
  最初の行は、短縮宛先キー、またはコードダイヤルキー番号と、通信先、SUB アドレスが表示されます。
  2 行目は、本機に登録したファクス番号が表示されます。

本体ステータスリスト（ホンタイステータスリスト）

本体ステータスリストについて説明します。
主に次の項目を確認できます。

- システムショキセッテイ（システム初期設定）
- ヨウシセッテイ（用紙設定）
- ユーザーセイゲン（ユーザー制限）
- コピーショキセッテイ（コピー初期設定）
- アテサキトウロク（宛先登録）
- ソウシンセッテイ（送信設定）
- ジュシンセッテイ（受信設定）
- カイセン セッテイ（回線設定）
- リスト / レポートインサツ（リスト / レポート印刷）
- キホンセッテイ（基本設定）
- ネットワークセッテイ（ネットワーク設定）
- LDAP セッテイ（LDAP 設定）
- POP3 セッテイ（POP3 設定）
- SMTP セッテイ（SMTP 設定）
- スキャナーショキセッテイ（スキャナー初期設定）
- カウンター
- メンテナンス
- エンジンセッテイ
- インターフェースセッテイ

送信結果レポート（ソウシンケッカレポート）

送信結果レポートについて説明します。
主に次の項目を確認できます。

- セッション
  セッション番号が表示されます。
- 機能
  「TX」、「ドウホウ ソウシン」、「ポーリング ソウシン」、「ジコクシテイ ソウシン」、「チュウケイ イライ ソウシン」のいずれかの機能が表示されます。
- No.
  番号が表示されます。
- ナマエ
  最初の行は、本機に登録した送信先が表示されます。
  2 行目は、本機に登録したファクス番号が表示されます。
- 日付
  送信した日付が表示されます。
- 時間
  送信した時間が表示されます。
- ページ
  セッションの合計ページが表示されます。
- 継続時間
  セッションでの通信継続時間が表示されます。
- 送信モード
  「G3」、「ECM」、「メール」、もしくは「FTP」のいずれかのモードが表示されます。
- 結果
  「OK」、「NG」、「チュウシ」、「メモリー フル」、「ミスフィード」、「オウトウナシ」のいずれかの通信結果が表示されます。

受信結果レポート（ジュシンケッカレポート）

受信結果レポートについて説明します。

主に次の項目を確認できます。

- セッション
  セッション番号が表示されます。
- 機能
  「RX」、「ポーリング ジュシン」のいずれかの機能が表示されます。
- No.
  番号が表示されます。
- ナマエ
  最初の行は、本機に登録した通信先が表示されます。
  2 行目は、本機に登録したファクス番号が表示されます。
- 日付
  受信した日付が表示されます。
- 時間
  受信した時間が表示されます。
- ページ
  セッションの合計ページが表示されます。
- 通信時間
  セッションでの通信継続時間が表示されます。
- 送信モード
  「G3」、「ECM」、「メール」、もしくは「FTP」のいずれかのモードが表示されます。
- 結果
  「OK」、「NG」、「チュウシ」、「メモリー フル」、「ミスフィード」、「オウトウナシ」のいずれかの通信結果が表示されます。

通信管理レポート（ツウシンカンリレポート）

通信管理 レポートについて説明します。
主に次の項目を確認できます。

- No.
  1~60 の数字が古い通信から番号付けされます。
- セッション
  セッション番号が表示されます。
- 日付
  通信した日付が表示されます。
- 時間
  通信した時間が表示されます。
- 送信または受信
  通信が送信か受信であったかにより、「TX （送信）」または「RX （受信）」として表示されます。
- ナマエ
  最初の行は、本機に登録した通信先が表示されます。
  2 行目は、本機に登録したファクス番号が表示されます。
- ページ
  セッションの合計ページが表示されます。
- 通信時間
  セッションでの通信継続時間が表示されます。
- 送信モード
  「G3」、「ECM」、「メール」、もしくは「FTP」のいずれかのモードが表示されます。
- 結果
  「OK」、「NG」のいずれかの通信結果が表示されます。

メモリーデータリスト

メモリーデータリストについて説明します。

主に次の項目を確認できます。

- 機能

  「TX」、「ドウホウ ソウシン」、「ポーリング ソウシン」、「ジコクシテイ ソウシン」、「チュウケイ イライ ソウシン」のいずれかの機能が表示されます。
- 時刻

  通信した時刻が表示されます。
- No.

  番号が表示されます。
- セッション

  セッション番号が表示されます。
- 日付

  通信した日付が表示されます。
- 送信または受信

  通信が送信か受信であったかにより、「TX （送信）」または「RX （受信）」として表示されます。
- 宛先

  最初の行は、通信先と SUB アドレスが表示されます。

  2 行目は、本機に登録したファクス番号が表示されます。
- ページ

  セッションの合計ページが表示されます。

9

メモリーイメージリスト

メモリーイメージリストについて説明します。
主に次の項目を確認できます。

- 機能
「TX」、「ドウホウ ソウシン」、「ポーリング ソウシン」、「ジコクシテイ ソウシン」、「チュウケイ イライ ソウシン」のいずれかの機能が表示されます。
- 時刻
通信した時刻が表示されます。
- No.
番号が表示されます。
- セッション
セッション番号が表示されます。
- 日付
通信した日付が表示されます。
- 送信または受信
通信が送信か受信であったかにより、「TX（送信）」または「RX（受信）」として表示されます。
- 宛先
最初の行は、通信先と SUB アドレスが表示されます。
2 行目は、本機に登録したファクス番号が表示されます。
- ページ
セッションの合計ページが表示されます。

リストを印刷する

リストを印刷します。

1 ［ファクスオプション］キーを押します。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、「リスト / レポート インサツ」を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
リスト／レポート インサツ
  OK=Yes
```

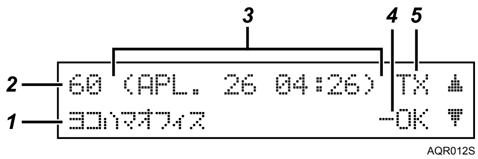
3 ［▲］または［▼］キーを押して、印刷するリストを表示させ、［Yes］キーを押します。

```
ホンタイ　ステータス　リスト
  OK=Yes
```

通信結果を確認する

通信結果確認画面の表示される項目について説明します。
［ソウシン / ジュシン ケッカ］で通信結果を確認できます。

［ソウシン / ジュシン ケッカ］



1 宛先

宛先が表示されます。

2 通信 No.

1〜60 の数字が古い通信から番号付けされます。
この番号は［ツウシンカンリレポート］に使用される番号と同じです。

3 送信日時

本機からの送信指示を受け付けた日時が表示されます。

4 状態

「OK」、「NG」のどちらかの送信状態が表示されます。

5 送信または受信

通信が送信か受信であったかにより、「TX（送信）」または「RX（受信）」として表示されます。

9

10. 保守・運用

本機の保守・運用方法について説明しています。

清掃するとき

本機の状態を保ち末永くお使いいただくために、定期的に本機の外側を清掃してください。

⚠警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はお客様相談センターにご連絡ください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。

本機の外装を清掃する際には、柔らかい布で乾拭きするか、水で濡らしてから固く絞った柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちない場合は、中性洗剤を含ませた布で拭き取ったあと、水拭きをしてから、乾拭きをして水気を十分に取ってください。

★重要

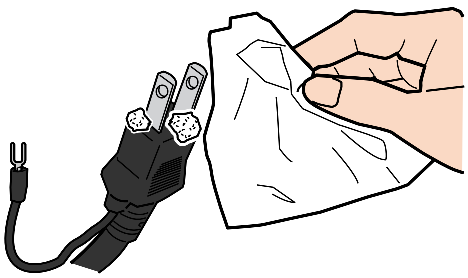
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、または殺虫剤を本機にかけないでください。変形や変色、ひび割れの原因になります。
- 中性洗剤を含ませた布で拭き取る場合は、外装以外は拭かないでください。

電源プラグの清掃

⚠警告



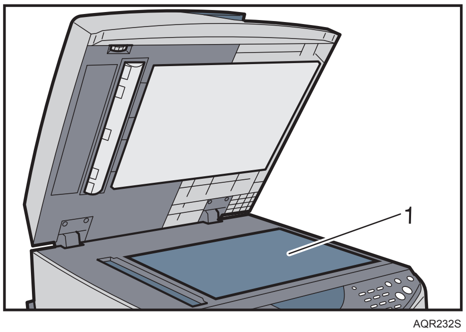
- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。



BBF024S

原稿ガラスを清掃する

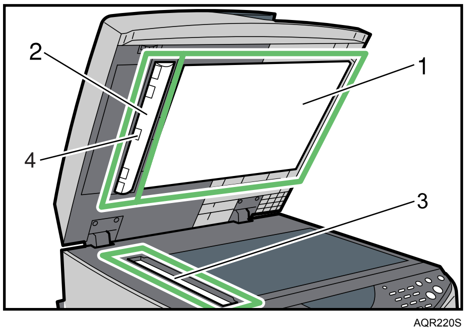
原稿ガラスの清掃方法について説明します。



1 原稿ガラスを清掃してください。柔らかい布で乾拭きするか、水で濡らしてから固く絞った柔らかい布で拭いてください。

ADF を清掃する

ADF と読み取りガラスの清掃方法について説明します。



1 ADF の原稿押さえの部分を清掃してください。柔らかい布で乾拭きするか、水で濡らしてから固く絞った柔らかい布で拭いてください。

2 ADF の細長い読取背景板を清掃してください。柔らかい布で乾拭きするか、水で濡らしてから固く絞った柔らかい布で拭いてください。

3 読み取りガラスを清掃してください。柔らかい布で乾拭きするか、水で濡らしてから固く絞った柔らかい布で拭いてください。

4 折らないでください。

移動するとき

本機を近くへ移動する場合や、長距離を移動させるときの注意事項について説明します。

⚠警告

- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを コンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

⚠注意

- 機械の重さは約 23.5kg あります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部のくぼみに手をかけ、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理に持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

★重要

- インクが漏れる可能性がありますので、運搬するときは傾けないでください。

近くへ移動する

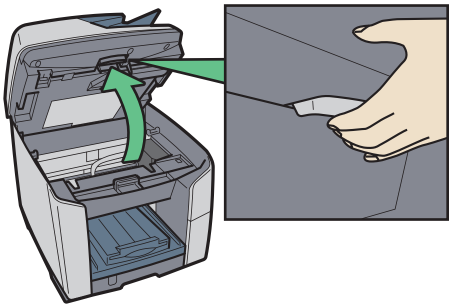
オプションのトレイをセットするときや同じ部屋の中での移動など、本機を近くへ移動するときの注意事項を説明します。

★重要

- 移動後は、運搬時固定レバーを解除してから電源を入れてください。ロックを解除する前に電源をいれると異常音がします。

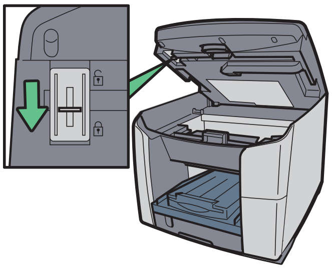
1 **本機の電源をオフにしてUSBケーブル、またはLANケーブルを取り外し、電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 スキャナーユニットを開けます。



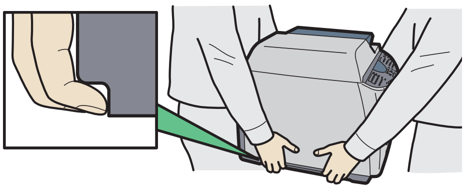
AQR277S

3 運搬時固定レバーをロック方向にセットし、スキャナーユニットを閉めます。



AQR143S

4 本機は、図のように 2 人で側面の中央下部のくぼみに手をかけ、ゆっくりと持ち上げてください。

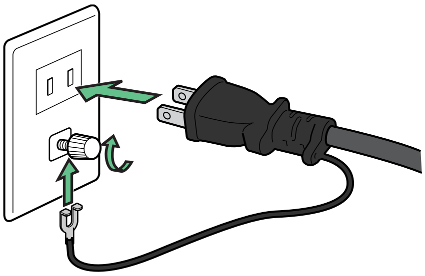


AQR156S

5 移動後は、運搬時固定レバーを解除してください。

補足

- 移動後は、必ずアースを接続してください。



ZHTH140J

長距離を移動する

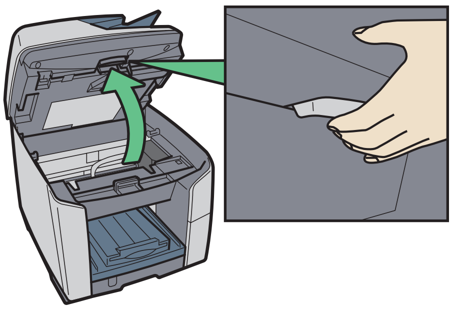
引っ越しなどで、本機を長距離移動させる場合は、梱包して輸送します。GX カートリッジは取り外さないでください。用紙は抜いてください。本機を購入したときの箱に入れて傾けないように輸送してください。移動後にネットワークボードをいったん取り外し、付けなおしてください。

重要

- 安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- 移動後は、運搬時固定レバーを解除してから電源を入れてください。ロックを解除する前に電源をいれると異常音がします。

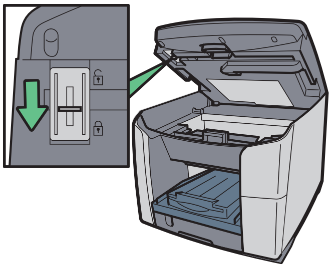
1 **本機の電源をオフにしてUSBケーブル、またはLANケーブルを取り外し、電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 **スキャナーユニットを開けます。**



AQR277S

3 運搬時固定レバーをロック方向にセットし、スキャナーユニットを閉めます。

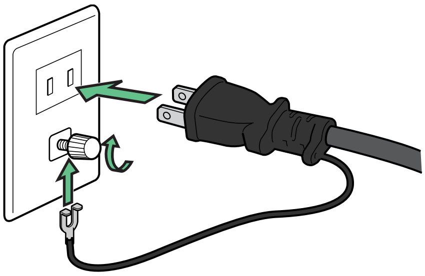


AQR143S

4 移動後は、運搬時固定レバーを解除してください。

補足

- 移動後は、必ずアースを接続してください。



ZHTH140J

- 輸送中に傾けると本体内部を汚す可能性があります。
- 本製品は日本国内に向けて製造されています。電源仕様が異なる諸外国では使用できません。

参照

- P.505 「お問い合わせ先のご案内」を参照してください。

10

廃棄するとき

本機を廃棄する場合は販売店にご相談ください。

長期間使用しないとき

本機を長期間使用しない場合は、電源をオフにして USB ケーブル、または LAN ケーブルを取り外し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

次のことに注意してください。

- ごみ、ほこり、紙粉などがプリントヘッドに付着し、ノズル抜けが発生する場合があります。ノズル抜けを防ぐために、定期的に印刷してください。印刷しない場合でも、月に一回は電源をオンにして、数分間放置してください。
- 長期間使用していなかった場合は、必ず「ノズルチェック」テストパターンを印刷し、ノズル抜けが発生していないか確認してください。必要に応じてヘッドクリーニングを行ってから印刷を始めてください。
- 長時間、本機を使用していない場合、ヘッドクリーニングを正常に繰り返しても、正常に印刷されないことがあります。その場合は、ヘッドリフレッシングを行ってください。それでもノズル抜けが解消されない場合は、10 分程度放置した後ノズルチェックを実行してください。それでも印刷結果が正常でない場合は、本機の電源をオフにして 8 時間以上放置してください。時間をおくことでノズル抜けが解消する場合があります。

補足

- ヘッドクリーニング・ヘッドリフレッシングを繰り返した後、時間をおくことでインク中の気泡が消え、ノズル抜けが解消することで正常に印刷できる場合があります。
- 上記の手順でも改善されない場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。

参照

- 「ノズルチェック」、「ヘッドクリーニング」、「ヘッドリフレッシング」については、P.193 「ノズルチェック」、P.194 「ヘッドクリーニング」、P.196 「ヘッドリフレッシング」を参照してください。

10

お問い合わせ先のご案内

♦ 消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
NetRICOH のホームページからもご購入できます。
http://www.netricoh.com/

♦ 故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。
http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

♦ 操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

0120 FreeDial **0120-000-475**
FAX 0120-479-417

- 受付時間：平日（月～金）9 時～ 18 時／土曜日 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時 （祝祭日、弊社休業日を除く）
- 通話料は無料です。
- 音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音させていただいております。
http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

♦ 最新ドライバー情報

最新版のドライバーをインターネットのリコーホームページから入手できます。また、トラブルシューティングやよくある質問に対する回答集（FAQ）もご覧いただけます。

- インターネット / リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/

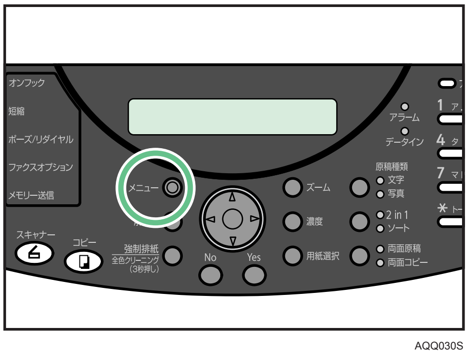
カウンターについて

本機が出力したカウンター枚数を確認、印刷できます。

カウンター枚数とは、本機で印刷した枚数やスキャンした回数です。[メンテナンス] で印刷したテストパターン、[リスト / レポートインサツ] で印刷したリスト、[エンジンメンテナンス] で印刷した設定リストなどはカウンター枚数の対象に含まれません。

- ヨミトリ
  原稿ガラスと ADF から原稿をスキャンした回数の合計が表示されます。
- レベルカラー
  プリンタードライバーの [カラー / 白黒選択] で、[レベルカラー] にチェックして印刷した枚数の合計が表示されます。
- フルカラー
  それぞれの機能でカラー印刷した枚数の合計が表示されます。
- ブラック
  それぞれの機能で、モノクロ印刷した枚数の合計が表示されます。

1 操作部の [メニュー] キーを押します。



2 [▲] または [▼] キーを押して [カウンター] を選択し、[Yes] キーを押します。

```
カウンター        ▲
 OK=Yes          ▼
```

カウンターを確認します。

[▲] または [▼] キーを押して、カウンター枚数を確認したい項目を選択します。

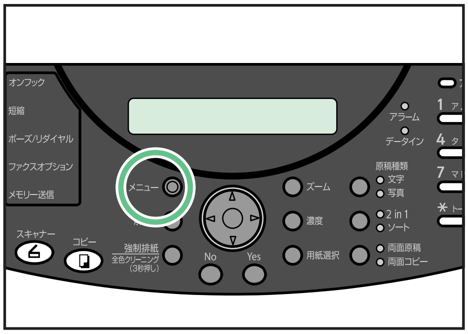
補足

- 1 枚（1 面）コピーするたびに「1」ずつ進みます。両面コピーの場合は表面、裏面、1 面ずつになり、「2」カウンターが進みます。
- カウント表示できる最大値は 999,999 枚までです。
- カウンターリストには機能ごとにカラー出力した枚数およびモノクロ出力した枚数の合計が記載されます。

カウンター印刷

カウンター枚数を印刷して確認します。
それぞれの機能ごとに、カラー印刷の枚数と白黒印刷の枚数が確認できます。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。



AQQ030S

2 ［▲］または［▼］キーを押して［カウンター］を選択し、［Yes］キーを押します。

```
カウンター                ▲
 OK=Yes                 ▼
```

3 ［▲］または［▼］キーを押して［カウンター インサツ］を選択し、［Yes］キーを押します。

```
カウンター インサツ?       ▲
 OK=Yes                 ▼
```

印刷が開始されます。

補足

・カウント表示できる最大値は 999,999 枚までです。

消耗品一覧

本機の消耗品の商品名をご確認ください。
印刷中に GX カートリッジのインクがなくなったり、用紙がなくならないように、早めにご購入ください。カートリッジのご注文は、本機をご購入された販売店へご連絡ください。NetRICOH のホームページからもご購入できます。

♦ GX カートリッジ

種類	商品
シアン	GX カートリッジ シアン GC21C（M サイズ）
マゼンタ	GX カートリッジ マゼンタ GC21M（M サイズ）
イエロー	GX カートリッジ イエロー GC21Y（M サイズ）
ブラック	GX カートリッジ ブラック GC21K（M サイズ）

♦ 普通紙

- タイプ 6200
- タイプ 6000（58W、70W）
- NBS マイペーパー
- 紙源タイプ S
- マイリサイクルペーパー 100
- マイリサイクルペーパー 100W
- マイリサイクルペーパー FC

♦ 専用紙

種類	商品名
ハイグレード普通紙	リコージェルジェットプリンター推奨ハイグレード普通紙タイプ E A4
光沢紙	リコービジネスグロス 100 A4
OHP シート	リコージェルジェットプリンター専用 OHP シート A4 RM-1OF01

補足

- 本機の消耗品のご注文は、販売店へお問い合わせください。

関連商品一覧

本機に装着できるオプション品は次のとおりです。

◆ 500 枚増設トレイ TK1020

500 枚の用紙をセットできるオプションの給紙トレイです。装着した場合、標準の給紙トレイ、手差しトレイ（オプション）とあわせて最大 850 枚までの用紙を同時にセットしておくことができます。

◆ マルチ手差しフィーダー BY1000

100 枚の用紙をセットできるオプションの給紙トレイです。装着した場合、標準の給紙トレイ、増設トレイとあわせて最大 850 枚までの用紙を同時にセットしておくことができます。

◆ ネットワークボード GX4

オプションのネットワークボードです。装着した場合、ネットワーク経由で印刷できるようになります。

◆ USB ケーブル

Ricoh の推奨品は USB2.0 プリンターケーブル 509600 4pin A-TYPE-4pin B-TYPE の USB2.0 ケーブル（2.5m）です。

補足

- 関連商品については、販売店へお問い合わせください。

お客様登録の方法

製品保証、保守サービスやサポートなどの提供をスムーズに受けられるよう、必ずお客様登録を行ってください。
お客様登録の方法は、お客様登録はがきを返送していただく方法と、インターネットで登録する方法の 2 種類があります。

補足

- 保証書の再発行はできませんので、大切に保管してください。
- ご登録がない場合は保守サービスなどの手続きに時間がかかる場合があります。
- どちらか1つの方法でお客様登録してください。2つの方法で登録する必要はありません。
- 付属の CD-ROM「ドライバー & ユーティリティー」からソフトウェアをインストールする際に、インストール時に、オンラインでお客様登録をすることもできます。

ハガキで登録する

ハガキでお客様登録をします。
必要事項をご記入の上、ご返送ください。

補足

- 登録はがきを返送された場合は、オンラインでの登録やソフトウェアのインストール時の登録は不要です。

インターネットで登録する

インターネットでお客様登録をします。
「製品名」と「製造機番（製品番号）」の入力が必要ですので、本機に付属の「保証書」をご用意ください。

10

補足

- インターネットに接続している場合に利用できます。
- インターネットの通信料金がかかります。
- インターネットで登録される場合、お客様登録はがきの送付は不要です。

リコーホームページからご登録ください。
お客様登録ページ：http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/regist/index.html

補足

- 付属の CD-ROM「ドライバー & ユーティリティー」からもアクセスできます。CD-ROM セット後、最初の画面で［お客様登録の受付］をクリックし、ページの指示にしたがって登録を行います。



10

11. 付録

本体とオプション品の仕様について説明しています。

本体仕様

◆ **連続コピー速度**

弊社 A4 測定パターン、コピー解像度「高速」、原稿種類「写真」の場合
モノクロ印刷：29 cpm
カラー印刷：29 cpm
動作環境によっては、通常よりも印刷に時間がかかる場合があります。

◆ **連続プリンター速度**

弊社 A4 測定パターン、プリント印刷品質「高速」の場合
モノクロ印刷：29 ppm
カラー印刷：29 ppm
動作環境によっては、通常よりも印刷に時間がかかる場合があります。

◆ **コピー印刷解像度**

最高 600 dpi×1,200 dpi 相当

◆ **プリンター印刷解像度**

最高 3,600 dpi×1,200 dpi 相当

◆ **ノズル数**

各色 192 ノズル

◆ **用紙サイズ（トレイ 1（標準））**

定型サイズ：A4（210 × 297 mm）、A5（210 × 148 mm）、A6（105 × 148 mm）、B5（182 × 257 mm）、Letter（8$^{1}/_{2}$" × 11"）、Legal（8$^{1}/_{2}$" × 14"）、8$^{1}/_{2}$" × 5$^{1}/_{2}$"、Executive（7$^{1}/_{4}$" × 10$^{1}/_{2}$"）、8" × 13"、8$^{1}/_{4}$" × 13"、8$^{1}/_{2}$" × 13"、16 開（195 × 267 mm）、郵便ハガキ（100 × 148 mm）、往復ハガキ（148 × 200 mm）、長形 3 号封筒（120 × 235 mm）、長形 4 号封筒（90 × 205 mm）、洋形 4 号封筒（105 × 235 mm）、Com10 Env.（4$^{1}/_{8}$" × 9$^{1}/_{2}$"）、Monarch Env.（3$^{7}/_{8}$" × 7$^{1}/_{2}$"）、C6 Env.（114 × 162 mm）、C5 Env.（162 × 229 mm）、DL Env.（110 × 220 mm）
不定形サイズ：縦 140～356 mm、横 90～216 mm

◆ **用紙サイズ（両面ユニット）**

定型サイズ：A4、B5、A5、A6、郵便ハガキ、往復ハガキ、Letter、8$^{1}/_{2}$"× 5$^{1}/_{2}$"、Executive、16 開

◆ 用紙種類
普通紙（リコピー PPC 用紙タイプ 6200）
専用普通紙（リコージェルジェットプリンター推奨ハイグレード普通紙）
再生紙（リサイクルペーパー紙源 PPC 用タイプ S、マイリサイクルペーパー 100）
カラー紙（マイリサイクルカラー 100）
光沢紙（リコービジネスグロス 100）
OHP シート（リコージェルジェットプリンター専用 OHP シート）
ハガキ（郵便ハガキ、インクジェット郵便ハガキ）
和封筒（高春堂社製ピース封筒）
洋封筒（ライフ社製 E-506B 洋型 4 号）

◆ 用紙厚
トレイ 1：52〜135 kg（60〜163 g/m^2）

◆ 給紙量
トレイ 1（標準）：250 枚（リコピー PPC 用紙タイプ 6200 使用時）

◆ 最大給紙量
850 枚（増設トレイ（オプション）、および手差しトレイ（オプション）装着時）

◆ 本体排紙容量
150 枚（リコー PPC 用紙タイプ 6200 使用時、一般オフィス環境）
画像によっては排紙容量が少なくなることがあります。

◆ ADF 排紙容量
30 枚（用紙サイズ、紙厚に関わらず）
画像によっては排紙容量が少なくなることがあります。

◆ 電源
100 V 1.6 A 50/60 Hz（フルシステム時）

◆ 消費電力
動作時平均：60 W 以下（本体のみ）
省エネモード時平均：11 W 以下
※完全に電力消費を無くすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
（電源プラグは、電源スイッチで電源をオフにしてから、抜いてください。）
環境によっては必ずしも本数値を保証するものではありません。

◆ 使用環境
温度：10〜32 ℃
湿度：15〜80%RH（最大湿球温度 25 ℃）
上記範囲外では機械保護のため印刷を停止させることがあります。

◆ 保存環境
温度：−20 ℃〜43 ℃
湿度：15〜80%RH

◆ 外形寸法
（幅×奥×高）
436 mm × 490.5 mm×366 mm
436 mm × 712.5 mm×443 mm（オプション装着時）

♦ 質量
23.5 kg （本体、カートリッジを含む）

♦ 騒音
67 dB 以下（きれいモード）

♦ インターフェース
USB2.0 Hi-Speed
イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX

♦ 自動両面原稿送り装置（ADF）
原稿サイズ（幅）: 139.7 mm〜216 mm
原稿サイズ（長さ）（片面）: 139.7 mm〜356 mm
原稿サイズ（長さ）ファクス使用時（片面）: 139.7 mm〜1000 mm
原稿サイズ（長さ）（両面）: 139.7 mm〜356 mm
セット枚数（A4（210×297）/ Letter（$8^1/_2$"×11"））（80 g/m^2）: 30 枚
セット枚数（Legal（11"×14"））（80 g/m^2）: 30 枚
セット枚数（その他）（80 g/m^2）: 30 枚
紙厚 : 50〜110 g/m^2（13〜28 lb）

♦ GX カートリッジ
GX カートリッジ ブラック GC21K
GX カートリッジ シアン GC21C
GX カートリッジ マゼンタ GC21M
GX カートリッジ イエロー GC21Y
本機購入時に同封されている GX カートリッジの寿命は、別途販売されている GX カートリッジの寿命よりも短いです。

プリンター機能仕様

プリンターの仕様についての一覧です。

- ♦ **インターフェース**

  USB2.0 Hi-Speed

  イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX

- ♦ **ページ記述言語**

  RPCS ラスター

コピー機能仕様

コピーの仕様について説明します。

♦ 拡大 / 縮小コピー

- 9 の固定倍率（4 つの拡大率と 5 つの縮小率）があります。
- 各々の倍率での、原稿とコピーされる用紙サイズの関係は次の通りです。
  200%（面積比 4 倍）: -
  141 %（面積比 2 倍）: A5→A4
  122 %: A5→B5
  115%: B5→A4
  93 %:-
  86%: A4→B5
  82 %: B4→A4、B5→A5、B6→A6
  71 %（面積比 $^{1}/_{2}$ 倍）:A3→A4、A4→A5、A5→A6、B4→B5、B5→B6
  50 %（面積比 $^{1}/_{4}$ 倍）:A4→B4、A5→B5、A6→B6
- 原稿や用紙サイズに関係なく倍率を選択できますが、設定や状態によっては画像が欠けたり、余白ができることがあります。

♦ ズーム

- 指定できる倍率は 25-400% です。
- 原稿や用紙サイズに関係なく倍率を指定できますが、設定や状態によっては画像が欠けたり、余白ができることがあります。

♦ ソート

原稿をメモリーに蓄積し、指定部数分を原稿蓄積順に出力します。

♦ 両面コピー

- 両面コピーできる用紙のサイズ、方向は次のとおりです。
  A4□、B5□、Letter（$8^{1}/_{2}$ × 11）□、Executive□（$7^{1}/_{4}$" × $10^{1}/_{2}$"）、16 開□、郵便ハガキ□（100 × 148 mm）、往復ハガキ□（148 × 200 mm）
- 次の用紙には両面コピーできません。ハイグレード普通紙は、［ヨウシシュルイ］を［フツウシ］に設定すると両面コピーできます。
  - OHP フィルム
  - 厚紙
  - 封筒
  - 専用光沢紙
- 自動両面原稿送り装置（ADF）に原稿を奇数枚セットしたとき、最後にコピーされた用紙の片面が白紙になります。
- 画像はとじしろ分だけ移動してコピーされます。

♦ 集約

- 用紙サイズと集約数に合わせて自動的に倍率を設定し、用紙にまとめてコピーします。
- 指定できる倍率は 25-400% です。
- 計算された縮小率が指定できる最小倍率以下のときは、最小倍率に補正されます。このとき画像が欠けることがあります。
- 不定形サイズの原稿は使用できません。
- 用紙指定変倍との併用はできません。

♦ ポスター

- 画像を 4 倍に拡大し、4 枚の用紙に分割してコピーします。
- ADF に原稿をセットした場合、この機能はご利用になれません。

♦ ミラー

- 画像を鏡に映したように左右に反転させてコピーします。
- ADF に原稿をセットした場合、この機能はご利用になれません。

♦ リピート

- 画像を 1 枚の用紙に繰り返してコピーします。
- ADF に原稿をセットした場合、この機能はご利用になれません。

♦ 用紙指定変倍

- 指定した用紙サイズに合わせ、自動的に拡大または縮小コピーします。
- ADF に原稿をセットした場合、この機能はご利用になれません。

スキャナー機能仕様

スキャナーの仕様について説明します。

◆ 原稿セット形式

本体 : 原稿台固定式・左奥コーナー基準
ADF: シートスルー方式センター基準

◆ 読み取り速度

- シロクロ (1bit)
  150dpi:8.5ipm、300dpi:8.5ipm、600dpi:2.5ipm
- グレー (8bit)
  150dpi:4.5ipm、300dpi:3ipm
- カラー (8bit)
  150dpi:3.5ipm、300dpi:1ipm

◆ 原稿の種類

シート、ブック、立体物

◆ インターフェース

USB2.0 Hi-Speed
イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX

◆ 最大原稿サイズ

A4（210×297 mm）/ Legal （$8^1/_2$"×14"）

◆ 原稿ガラスセット時に自動検知可能な原稿サイズ

なし

◆ 自動両面原稿送り装置（ADF）セット時に自動検知可能な原稿サイズ

なし

◆ 基本読み取り解像度

300 × 300 dpi

◆ メール送信 / フォルダー送信使用時の読み取り解像度可変範囲

シロクロ（1 bit ）: 150、300、600 dpi
グレー（8 bit）: 150、300 dpi
カラー（8 bit）: 150、300 dpi

◆ TWAIN スキャナー使用時の読み取り解像度可変範囲

100、150、200、300、400、600、1200 dpi

◆ 送信が可能なファイル形式

TIFF、JPEG、PDF

◆ 白黒 2 値の場合の画像圧縮形式

TIFF（MH、MR、MMR）

◆ グレースケール / フルカラーの場合の画像圧縮形式

JPEG

◆ ネットワーク接続時の使用プロトコル

TCP/IP

◆ メール送信時の使用プロトコル

SMTP、POP3

◆ フォルダー送信時の使用プロトコル

FTP

◆ 蓄積枚数

ネットワークスキャナー（Scan to E-mail、Scan to FTP）の蓄積できる画像枚数は以下のとおりです。

データの大きさによっては、蓄積できる枚数は異なります。標準的なオフィス文書を使用した時の蓄積枚数で、これらの数値は、使用する原稿や原稿種類の設定によって、大きくなる場合も、小さくなる場合もあります。

原稿種類	読取サイズ	解像度	蓄積枚数
シロクロ	A4	150 dpi	36 枚
		300 dpi	9 枚
カラー	A4	150 dpi	8 枚
		300 dpi	2 枚
グレー	A4	150 dpi	10 枚
		300 dpi	3 枚

ファクス機能仕様

ファクスの仕様について説明します。

♦ ファクス送受信

- 規格
  G3 規格
- 適用回線
  加入電話回線（PSTN）、自営構内回線（PBX）
- 走査線密度
  - 送信：
    8 × 3.85 本 /mm（普通字）
    8 × 7.7 本 /mm（小さい字 / 写真）
    8× 15.4 本 /mm（細かい字）
  - 受信：
    8 × 3.85 本 /mm（普通字）
    8 × 7.75 本 /mm（小さい字 / 写真）
  - 記録：
    16 × 15.4 本 /mm
- 伝送時間
  G3: 3 秒台
- 符号化方式
  MH、MR、MMR、JBIG
- 最大原稿サイズ
  A4（210 × 297 mm）/ Legal （8 $^{1}/_{2}$" × 14"）
- 記録方式
  GELJET による普通紙記録
- 通信速度
  G3: 33.6 k～2400 bps（オートシフトダウン方式）
- 届出番号（識別番号）
  000138（識別番号 :000138AD06）

♦ インターネットファクス送受信

- 適用回線
  LAN : ローカルエリアネットワーク
  イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX
- 伝送機能
  電子メール
- 走査線密度
  - 送信：
    8 × 3.85 本 /mm（普通字）
    8 × 7.7 本 /mm（小さい字 / 写真）
    8 × 15.4 本 /mm（細かい字）
  - 受信：
    8 × 3.85 本 /mm（普通字）
    8 × 7.75 本 /mm（小さい字 / 写真）
  - 記録：
    16 × 15.4 本 /mm
- 最大原稿サイズ
  A4（210 × 297 mm）/ Legal （$8^1/_2$" × 14"）
- 伝送手順
  - 電子メール送信
    SMTP 手順、TCP/IP 通信
  - 電子メール受信
    POP3 手順、SMTP 手順、TCP/IP 通信
- 電子メール形式
  シングル / マルチパート、MIME 変換
  添付ファイル形式：TIFF-F（MH、MR、MMR 圧縮）
- インターネットとの相互交信
  電子メールアドレスを持ったパソコンと電子メールの送受信が可能です。
- 認証方法
  SMTP 認証、POP before SMTP 認証
- メール送信機能
  メールアドレス指定時、送信原稿を自動的に電子メール形式に変換して送信します。
  すべてメモリー送信となります。
- メール受信機能
  TIFF-F の添付ファイル形式を自動認識して印字出力します。
  ひらがな、カタカナ、英数字および第一水準、第二水準漢字のテキストメールの文字を自動認識して印字出力します。
  すべてメモリー受信となります。

オプション（増設トレイ）

♦ 500 枚増設トレイ TK1020

♦ 用紙サイズ

定型サイズ：A4（210 × 297 mm）、B5（182 × 257 mm）、Letter（$8^{1}/_{2}$" × 11"）、Legal（$8^{1}/_{2}$" × 14"）、Executive（$7^{1}/_{4}$" × $10^{1}/_{2}$"）、8" × 13"、$8^{1}/_{4}$" × 13"、$8^{1}/_{2}$" × 13"、16 開（195 × 267 mm）

不定形サイズ：縦 210〜356 mm、横 148〜216 mm

♦ 用紙種類

普通紙（リコピー PPC 用紙タイプ 6200）
専用普通紙（リコージェルジェットプリンター推奨ハイグレード普通紙）
再生紙（リサイクルペーパー紙源 PPC 用タイプ S、マイリサイクルペーパー 100）
カラー紙（マイリサイクルカラー 100）

♦ 用紙厚

52〜90 kg（60〜105 g/m^2）

♦ 給紙量

500 枚（リコピー PPC 用紙タイプ 6200 使用時）

オプション（マルチ手差しフィーダー）

- ◆ マルチ手差しフィーダー BY1000

  - ◆ **用紙サイズ**

    定型サイズ：A4（210 × 297 mm）、A5（148 × 210 mm）、A6（105 × 148 mm）、B5（182 × 257 mm）、Letter ($8^1/_2$" × 11")、Legal ($8^1/_2$" × 14")、$5^1/_2$" × $8^1/_2$"、Executive（$7^1/_4$" × $10^1/_2$"）、8" × 13"、$8^1/_4$" × 13"、$8^1/_2$" × 13"、16 開（195 × 267 mm）、郵便ハガキ（100 × 148 mm）、往復ハガキ（148 × 200 mm）、長形 3 号封筒（120 × 235 mm）、長形 4 号封筒（90 × 205 mm）、洋形 4 号封筒（105 × 235 mm）、Com10 Env.（$4^1/_8$" × $9^1/_2$"）、Monarch Env.（$3^7/_8$" × $7^1/_2$"）、C6 Env.（114 × 162 mm）、C5 Env.（162 × 229 mm）、DL Env.（110 × 220 mm）
    不定形サイズ：縦 127～1295.4 mm×横 55～216 mm

  - ◆ **用紙種類**

    普通紙（リコピー PPC 用紙タイプ 6200）
    専用普通紙（リコージェルジェットプリンター推奨ハイグレード普通紙）
    再生紙（リサイクルペーパー紙源 PPC 用タイプ S、マイリサイクルペーパー 100）
    カラー紙（マイリサイクルカラー 100）
    光沢紙（リコービジネスコート紙、三菱化学メディア社製光沢紙 MPGSA420）
    ラベル紙（リコピー PPC 用紙タイプ SA）
    OHP シート（リコージェルジェットプリンター専用 OHP シート）
    ハガキ（郵便ハガキ、インクジェット郵便ハガキ）
    和封筒（高春堂社製ピース封筒）
    洋封筒（ライフ社製 E-506B 洋型 4 号）

  - ◆ **用紙厚**

    52～220 kg（60～255 g/m^2）

  - ◆ **給紙量**

    100 枚（リコピー PPC 用紙タイプ 6200 使用時）

オプション（ネットワークボード）

♦ ネットワークボード GX4

- インターフェース
  イーサネット（10BASE-T、100BASE-TX）
- データ転送速度
  10 Mbps、100 Mbps
- ネットワークプリンター :
  TCP/IP
- ネットワークスキャナー :
  TCP/IP
- スキャナーメール送信 :
  SMTP、POP3
- スキャナーフォルダー送信 :
  FTP
- PC ファクス :
  TCP/IP
- インターネットファクス :
  TCP/IP、SMTP、POP3

CD-ROM 収録ソフトウェアについて

ここでは、本機に同梱されている CD-ROM「ドライバー & ユーティリティー」について説明しています。

ファイル一覧

CD-ROM「ドライバー & ユーティリティー」に入っているファイルの一覧です。

ファイル名
Setup.exe
プリンタードライバー
TWAIN ドライバー
PC FAX ドライバー
機器設定ユーティリティー
Ridoc IO Navi
ICM（プリンター用カラープロファイルデータ）
各種マニュアル（HTML ファイル）

RPCS ラスタープリンタードライバー

RPCS ラスタープリンタードライバーのファイル格納場所と動作環境についての説明です。

♦ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

- Windows 98/Me 用 RPCS ラスタープリンタードライバー
  `DRIVERS¥PRINTER¥RPCS_R¥WIN9X_ME¥DISK1`
- Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 用 RPCS ラスタープリンタードライバー
  `DRIVERS¥PRINTER¥RPCS_R¥WIN2K_XP¥DISK1`
- Windows NT 4.0 用 RPCS ラスタープリンタードライバー
  `DRIVERS¥PRINTER¥RPCS_R¥NT4¥DISK1`

11

♦ プリンタードライバーの動作環境

- パソコン
  対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機
  - Windows NT 4.0 で使用する場合、RISC ベースのプロセッサ（MIPS R シリーズ、Alpha AXP、PowerPC）環境では動作しません。
- 対象 OS
  Windows 98/Me 日本語版・英語版
  Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003 日本語版・英語版
  Windows NT 4.0 日本語版・英語版
- ディスプレイ解像度
  SVGA 800×600 ドット以上

補足

- Windows XP/Vista、Windows Server 2003 の 64-bit Edition には対応していません。
- Windows 2000、Windows Server 2003 のクラスタ構成はサポートしていません。
- 詳しい使い方については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

参照

- RPCS ラスタープリンタードライバーのインストール方法は、P.70 「プリンタードライバーをインストールする（ネットワーク接続用）」、P.53 「おすすめインストール（USB 接続用）」、P.67 「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」を参照してください。

RPCS ラスタープリンタードライバー（Mac）

RPCS ラスタープリンタードライバーのファイル格納場所と動作環境についての説明です。

♦ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

- Mac OS 9 用 RPCS ラスタープリンタードライバー
  `OS 9¥RPCS Raster`
- Mac OS X 用 RPCS ラスタープリンタードライバー
  `OS X¥RPCS Raster`

♦ プリンタードライバーの動作環境

詳しくは『プリンタードライバーガイド Macintosh 編』を参照してください。

RICOH TWAIN ドライバー

リコー製のスキャナーから原稿を読み取るために必要なドライバーです。
本機をネットワーク TWAIN スキャナーとして利用するためには、インストールする必要があります。

♦ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。
`¥DRIVERS¥TWAIN`

♦ 動作環境

- コンピューター本体
  対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機
- 対象 OS
  Windows 98/Me 日本語版
  Windows 2000/XP/Vista 日本語版
  Windows NT 4.0 日本語版
  Windows Server 2003 日本語版
- ディスプレイ
  640×480 ドット以上

Windows NT で使用する場合、RISC ベースのプロセッサ（MIPS R シリーズ、Alpha AXP、PowerPC）環境では動作しません。

PC FAX ドライバー

PC ファクス機能を使用するためのドライバーです。

♦ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

DRIVERS¥PCFAX

♦ 動作環境

- コンピューター本体
  対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機
- 対象 OS
  Windows 98/Me 日本語版
  Windows 2000/XP/Vista 日本語版
  Windows Server 2003 日本語版
- ディスプレイ
  640×480 ドット以上

機器設定ユーティリティー

機器設定ユーティリティーは電話番号や e-mail などの登録が可能です。ここでは機器設定ユーティリティーのファイル格納場所と動作環境についての説明です。

♦ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

DEVSET

♦ 動作環境

- 対象 OS
  Windows 98/Me 日本語版
  Windows 2000/XP/Vista 日本語版
  Windows Server 2003 日本語版
- パソコン
  ハードディスク容量 100MB 以上の IBM PC （Pentium II 互換機）
- 接続インターフェース
  USB 2.0

Ridoc IO Navi

Ridoc IO Navi の機能とファイル格納場所の説明です。
Ridoc IO Navi は以下のような機能を備えたソフトウェアです。プリンター機能をご使用になるすべての方がインストールされることをおすすめします。

- Windows 98/Me、Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 から TCP/IP、NetBEUI（Windows XP/Vista、Windows Server 2003 は除く）を使用して、Peer-to-Peer ネットワークで印刷する機能を提供します。
- TCP/IP を使用してネットワークにある機器の状態を常に監視できる機能を提供します。

♦ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。
`NETWORK¥RIDOCIO¥NAVI¥DISK1`

補足

- P.458 「Ridoc IO Navi を使用する」、または Ridoc IO Navi のヘルプを参照してください。

参照

- インストール方法は、P.94 「Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi をインストールする」を参照してください。

各種マニュアル（HTML ファイル）

各種マニュアル（HTML ファイル）のファイル格納場所についての説明です。

♦ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。
`MANUAL`

補足

- Mac 用の『プリンタードライバーガイド Macintosh 編』は HTML ファイルではなく PDF になります。

プリンタードライバーについて

プリンタードライバーのバージョンアップ

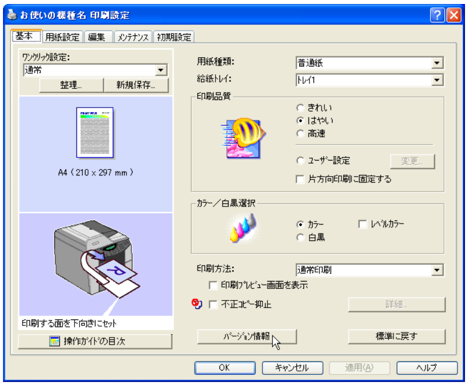
最新のプリンタードライバーがインターネット上で配信されますので、ダウンロードしてプリンタードライバーをバージョンアップしてください。

現在のプリンタードライバーのバージョンを確認する

現在使用しているプリンタードライバーのバージョンを確認します。

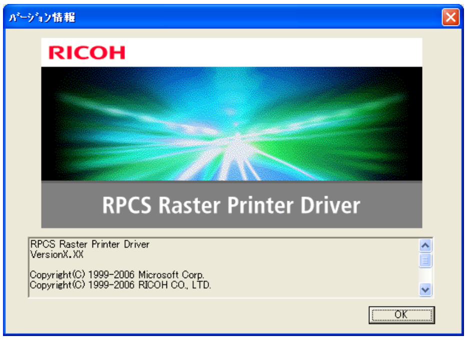
1. プリンタードライバーの設定画面を開きます。

2. ［基本］タブにある［バージョン情報］をクリックします。



［バージョン情報］ダイアログが開きます。

3. ［Version］を確認します。



参照

• P.213 「2 種類の操作画面」
• P.216 「アプリケーションから表示する」

インターネットから最新のバージョンをインストールする

最新のプリンタードライバーをダウンロードし、インストールします。

1 **「最新ドライバインストールページ」を開き、お使いの機種と OS に合ったプリンタードライバーをダウンロードします。**

最新ドライバインストールページ
ダウンロードしたプリンタードライバーの保存先を確認してください。

2 **ダウンロードファイルのアイコンをダブルクリックし、ファイルを解凍してください。**

ファイルの解凍先を確認してください。

3 **ファイルの解凍後、[プリンタードライバーの導入]画面で[はい]をクリックすると、インストールが開始されます。**

4 **ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は[同意します]をクリックし、[次へ]をクリックします。**

[プリンタードライバーの導入]ダイアログが表示されたら、[次へ]をクリックします。

5 **ご使用のプリンター接続法を選び、[次へ]をクリックします。**

6 **ドライバーを更新するプリンター名が表示されていることを確認し、[次へ]をクリックします。**

7 **インストールの結果を確認し、[完了]をクリックします。**

補足

- ファイル解凍時に[セキュリティの警告]が表示された場合は、[実行]をクリックしてください。
- [プリンタードライバーの導入]画面で[いいえ]を選択すると、インストールは開始されず、解凍されたファイルが保存されます。
- あとでプリンタードライバーをインストールする場合は、保存した「RDISETUP.exe」ファイルを実行してください。

W-NET FAX について

W-NET FAX とは、TTC 標準 JT-T37 に適合したインターネットファクシミリの呼称です。以下の相互接続試験（HATS 推進会議実施）で相互接続性が実証された製品に使用します。

♦ 確認した項目

- A4 版 200×200 dpi ／ 200×100 dpi 各 1 ページの送受信
- A4 版 200×200 dpi 2 ページの送受信
- 受信能力以外の画像を受信したときのエラー通知発行

♦ 製品の形態

- LAN 接続型／ダイヤルアップ接続型

♦ 基本仕様

- 通信プロトコル
  送信 :SMTP
  受信 :SMTP あるいは POP3
- メールフォーマット
  フォーマット :MIME、Base64
  Content-Type:Image/tiff、Multipart/mixed［text/plain,Image/tiff］（添付ファイル形式）
- データフォーマット
  Profile:TIFF-S
  符号化方式 :MH
  原稿サイズ :A4
  解像度（dpi）:200×100 ／ 200×200 あるいは 204×98 ／ 204×196

電波障害について

本機をエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

・テレビやラジオなどからできるだけ離す。
・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
・コンセントを別にする。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波電流規格　JIS　C61000-3-2 適合品

（社）電子情報技術産業協会情報処理機器　高調波電流抑制対策実行計画に基づく定格入力電力値：　83 W

各種シートの一覧

本機の操作部から印刷できるシートの一覧は次のとおりです。

印刷シート名	印刷方法	給紙トレイ	用紙サイズ	用紙種類
システム設定リスト	[メニュー]→[エンジンセッテイ]→[セッテイリストインサツ]→[システムセッテイリスト]	優先給紙トレイ(オプショントレイが付いていない場合は、トレイ1から給紙されます)	A4	普通紙
カウンターリスト	[メニュー]→[カウンター]→[カウンターインサツ]	優先給紙トレイ(オプショントレイが付いていない場合は、トレイ1から給紙されます)	A4	普通紙
ノズルチェックシート	[メニュー]→[メンテナンス]→[ノズルチェック]	トレイ1	A4	普通紙
ヘッド位置調整シート	[メニュー]→[メンテナンス]→[ヘッドイチチョウセイ]→[テストパターンインサツ]	トレイ1	A4	普通紙
用紙送り調整シート	[メニュー]→[メンテナンス]→[ヨウシオクリチョウセイ]→[テストパターンインサツ]	トレイ1	A4	普通紙
印刷位置調整シート	[メニュー]→[メンテナンス]→[インサツイチチョウセイ]	指定したトレイ	A4	指定した用紙種類(普通紙、光沢紙、OHP)
ホンタイステータスリスト	[ファクスオプション]→[リスト / レポートインサツ]→[ホンタイステータスリスト]	[メニュー]→[ジュシンセッテイ]→[ファクスユウセントレイ]で設定したトレイ	A4、Letter、Legal	普通紙(専用普通紙含む)
送信結果レポート	[ファクスオプション]→[リスト / レポートインサツ]→[ソウシンケッカレポート]	[メニュー]→[ジュシンセッテイ]→[ファクスユウセントレイ]で設定したトレイ	A4、Letter、Legal	普通紙(専用普通紙含む)

11

印刷シート名	印刷方法	給紙トレイ	用紙サイズ	用紙種類
受信結果レポート	[ファクスオプション]→[リスト / レポートインサツ]→[ジュシンケッカレポート]	[メニュー]→[ジュシンセッテイ]→[ファクスユウセントレイ]で設定したトレイ	A4、Letter、Legal	普通紙（専用普通紙含む）
通信管理レポート	[ファクスオプション]→[リスト / レポートインサツ]→[ツウシンカンリレポート]	[メニュー]→[ジュシンセッテイ]→[ファクスユウセントレイ]で設定したトレイ	A4、Letter、Legal	普通紙（専用普通紙含む）
メモリーデータリスト	[ファクスオプション]→[リスト / レポートインサツ]→[メモリーデータリスト]	[メニュー]→[ジュシンセッテイ]→[ファクスユウセントレイ]で設定したトレイ	A4、Letter、Legal	普通紙（専用普通紙含む）
メモリーイメージリスト	[ファクスオプション]→[リスト / レポートインサツ]→[メモリーイメージリスト]	[メニュー]→[ジュシンセッテイ]→[ファクスユウセントレイ]で設定したトレイ	A4、Letter、Legal	普通紙（専用普通紙含む）
ワンタッチダイアルリスト	[ファクスオプション]→[リスト / レポートインサツ]→[ワンタッチアテサキキーリスト]	[メニュー]→[ジュシンセッテイ]→[ファクスユウセントレイ]で設定したトレイ	A4、Letter、Legal	普通紙（専用普通紙含む）
短縮ダイアルリスト	[ファクスオプション]→[リスト / レポートインサツ]→[タンシュクアテサキキーリスト]	[メニュー]→[ジュシンセッテイ]→[ファクスユウセントレイ]で設定したトレイ	A4、Letter、Legal	普通紙（専用普通紙含む）
グループ宛先リスト	[ファクスオプション]→[リスト / レポートインサツ]→[グループアテサキリスト]	[メニュー]→[ジュシンセッテイ]→[ファクスユウセントレイ]で設定したトレイ	A4、Letter、Legal	普通紙（専用普通紙含む）

入力文字一覧

入力できる文字の一覧です。

♦ ファクス番号

	1	2
1	1	
2	2	
3	3	
4	4	
5	5	
6	6	
7	7	
8	8	
9	9	
0	0	
*	*	
#	(Space)	#
	#	*[*1]

AQR004S

*1 オプションのネットワークボードを取り付けているとき

♦ 名前（表示 :A）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1	.	@	_	-	1																									
2	A	B	C	2	a	b	c																							
3	D	E	F	3	d	e	f																							
4	G	H	J	4	g	h	j																							
5	J	K	L	5	j	k	l																							
6	M	N	O	6	m	n	o																							
7	P	Q	R	S	7	p	q	r	s																					
8	T	U	V	8	t	u	v																							
9	W	X	Y	Z	9	w	x	y	z																					
0	(Space)	0																												
*																														
#	#	+	&	/	*	=	!	?	(	)	%	[	]	^	`	’	{	}	|	~[*1]	$									

AQQ177S

*1 画面上では “~”（チルダ）が “→” と表示されます。

◆ 名前（表示 : 1）

	1
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
0	0
*	
#	#

AQR001S

◆ 名前 (表示：ア)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ
2	カ	キ	ク	ケ	コ					
3	サ	シ	ス	セ	ソ					
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ				
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ					
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ					
7	マ	ミ	ム	メ	モ					
8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ				
9	ラ	リ	ル	レ	ロ					
0	ワ	ヲ	ン	(Space)						
*										
#	＃	゛	゜							

AQR003S

11

♦ E-mail アドレス

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1	.	@	_	-																										
2	A	B	C	a	b	c																								
3	D	E	F	d	e	f																								
4	G	H	I	g	h	i																								
5	J	K	L	j	k	l																								
6	M	N	O	m	n	o																								
7	P	Q	R	S	p	q	r	s																						
8	T	U	V	t	u	v																								
9	W	X	Y	Z	w	x	y	z																						
0	(Space)	0																												
*																														
#	-	.	*	#	!	"	,	;	:	^	`	_	=	/	|	'	?	$	@	%	&	+	(	)	[	]	{	}	<	>

AQR006S

♦ ユーザーファクス番号 (表示：A)

	1	2
1	-	1
2	2	
3	3	
4	4	
5	5	
6	6	
7	7	
8	8	
9	9	
0	(Space)	0
*		
#	+	

AQR005S

11

♦ ユーザーファクス番号 (表示：1)

	1
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
0	0
*	
#	

AQQ142S

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報を記載しています。

expat

本製品に搭載しているコントローラなどのソフトウェア（以下、ソフトウェア）には expat を下記の条件のもとで使用しています。

- expat を含むソフトウェアに関するサポートと保証等は株式会社リコーが行うものであり、expat の作者および著作権者には一切の責任および義務はありません。

Copyright （c）1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd
and Clark Cooper

Copyright (c) 2001, 2002 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files （the “Software”）, to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

補足

- expat に関する情報は次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。
  http://expat.sourceforge.net/

NetBSD

1.Copyright Notice of NetBSD
For all users to use this product:
This product contains NetBSD operating system:
For the most part, the software constituting the NetBSD operating system is not in the public domain; its authors retain their copyright.
The following text shows the copyright notice used for many of the NetBSD source code. For exact copyright notice applicable for each of the files/binaries, the source code tree must be consulted
A full source code can be found at http://www.netbsd.org/.
Copyright （c）1999, 2000 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS “AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES （INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION）HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT （INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE） ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

2.Authors Name List

All product names mentioned herein are trademarks of their respective owners.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This product includes software developed by Jonathan R. Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

This product includes software developed by Manuel Bouyer.

This product includes software developed by Charles Hannum.

This product includes software developed by Charles M. Hannum.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.

This product includes software developed by TooLs GmbH.

This product includes software developed by Terrence R. Lambert.

This product includes software developed by Adam Glass and Charles Hannum.

This product includes software developed by Theo de Raadt.

This product includes software developed by Jonathan Stone and Jason R. Thorpe for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by Christos Zoulas.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Paul Kranenburg.

This product includes software developed by Adam Glass.

This product includes software developed by Jonathan Stone.

This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.

This product includes software developed by Frank van der Linden for the NetBSD Project.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Frank van der Linden.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Jason R. Thorpe.

The software was developed by the University of California, Berkeley.

This product includes software developed by Chris Provenzano, the University of California, Berkeley, and contributors.

Sablotron

Sablotron (Version 0.82) Copyright (c) 2000 Ginger Alliance Ltd. All Rights Reserved.

a) The application software installed on this product includes the Sablotron software Version 0.82 (hereinafter, "Sablotron 0.82"), with modifications made by the product manufacturer. The original code of the Sablotron 0.82 is provided by Ginger Alliance Ltd., the initial developer, and the modified code of the Sablotron 0.82 has been derived from such original code provided by Ginger Alliance Ltd.

b) The product manufacturer provides warranty and support to the application software of this product including the Sablotron 0.82 as modified, and the product manufacturer makes Ginger Alliance Ltd., the initial developer of the Sablotron 0.82, free from these obligations.

c) The Sablotron 0.82 and the modifications thereof are made available under the terms of Mozilla Public License Version 1.1 (hereinafter, "MPL 1.1"), and the application software of this product constitutes the "Larger Work" as defined in MPL 1.1. The application software of this product except for the Sablotron 0.82 as modified is licensed by the product manufacturer under separate agreement(s).

d) The source code of the modified code of the Sablotron 0.82 is available at: http://support-download.com/services/device/sablot/notice082.html

e) The source code of the Sablotron software is available at: http://www.gingerall.com

f) MPL 1.1 is available at: http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html

JPEG LIBRARY

The software installed on this product is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Open LDAP

索引

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

IPSiO GX 3000SF 操作ガイド



JA 2007 年 11 月 J013-6604B